LYNX SH-10B

ISSUE DATE: '10.7

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

NTT docomo

Bluetooth®機器／無線LAN機器ご使用上の注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先＜ドコモ・スマートフォン・ケア＞

- 受付時間　午前 9：30 ～ 午後 9：00
- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

0120-045-360　※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

ドコモスマートフォンサイト　http://smartphone.nttdocomo.co.jp/

TCTLJA060AFZZ
10F 42.9 DS TU①

ドコモ　W-CDMA・無線LAN方式

このたびは、「LYNX SH-10B」をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

SH-10Bは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

本書の引きかたについて

次のような方法で、説明ページを探すことができます。

索引から（☞P.304）	機能名・サービス名で探します。
表紙インデックスから（☞表紙）	表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

（詳しくは次ページ）

目次から	☞P.4
主な機能から	☞P.6
アプリケーション一覧から	☞P.256

- この『SH-10B取扱説明書』の本文中においては、「SH-10B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

キー表記と操作手順

- 本書ではキーの表記を簡略したデザインで表記しております。

実際のキー	本書での表記
Enter	Enter（P.22「各部の名称と機能」を参照してください）

- 操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表　記	意　味
メインメニューで[設定]▶[音・バイブ・ランプ]▶[ランプ設定]	メインメニューで[設定]をタッチする→[音・バイブ・ランプ]をタッチする→[ランプ設定]をタッチする

- 本書では、タッチパネルでもキーボードでも操作できる場合はタッチパネル操作を優先して記載しています。

- お買い上げ時の設定については☞P.256

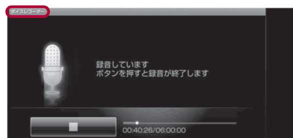
ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- アニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

索引、表紙インデックスからの引きかたは、ボイスレコーダーを例に説明します。
- 本文中のページとは内容が異なります。

索引から☞P.304

ディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。



P.184
「ボイスレコーダーとして使う」
の説明ページへ

表紙インデックスから☞表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に知りたい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

機能名称
索引には、この名称を記載しています。

各機能の概要や補足事項などを記載しています。

操作を順番に説明しています。

操作に関する補足事項、注意事項やアドバイスを記載しています。
選択する項目によって操作が異なるときは、「◆」で分けて各操作を説明しています。

インデックスから章ごとに検索できます。

ページ

画面表示について、説明を記載しています。お使いのFOMA端末と照らし合わせてご覧ください（数値や設定、任意に入力する文字などはすべて一例です）。

各機能を利用する場合に必要な内容、注意事項や参考となる内容を記載しています。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。

録音する

● 保存先の空き容量が300Kバイト未満のときは、録音できません。

1 メインメニューで［ボイスレコーダー］

2 ［■］
• 録音開始音が鳴り、録音が開始されます。録音中は着信ランプが点滅します。

録音時間　最大録音時間

3 ［■］
• 録音停止音が鳴り、録音データが保存されます。

● 録音開始音／停止音は、FOMA端末の設定にかかわらず鳴ります。
● 最大録音時間はモードによって異なります。［メール添付モード］に設定した場合、メール添付可能な最大サイズを上限とした録音時間が設定されます。また、［長時間モード］に設定した場合、1件あたり最大6時間録音できます。
● 録音中に最大録音時間に達したときや、保存先の空き容量が不足したときは、自動的に録音が停止します。
● 録音中に電話がかかってくると、録音は停止され、それまでの録音を自動的に保存し、電話に出ることができます。通話終了後、保存完了通知画面が表示されます。

便利な機能

184

■ ボイスレコーダー画面のタッチパネル操作
● 表示されるキーで次の操作ができます。

［■］／［■］	録音を開始／停止
［モード］	録音時間モードの選択
［再生］	録音したデータの再生※
［本体→SD］／［SD→本体］	保存先の切替

※ 録音前に操作した場合は、コンテンツマネージャーが起動します。録音後に操作した場合は、前回録音したデータが再生されます。

■ ボイスレコーダー画面のキー操作

録音時間モードの選択	MENU＋M
録音したデータの再生※	MENU＋P
保存先の選択	MENU＋D

※ 録音前に操作した場合は、コンテンツマネージャーが起動します。

■ ボイスレコーダー画面のメニュー操作

［モード］▶録音時間を選ぶ
［再生］ ☞P.185
［本体→SD］／［SD→本体］

［本体→SD］、［SD→本体］について
● 指定した保存先の空き容量が300Kバイト未満の場合、録音時に保存先が自動的に変更されます。

● 本文中のページとは内容が異なります。

目次

SH-10Bの主な機能

■ 待受画面の利用☞P.26

FOMA端末の電源を入れると、待受画面が表示されます。ウィジェットを貼り付けたり、ショートカットやアプリケーションアイコンを選択してアプリケーションを起動することができます。

■ タッチパネル、トラックボール、キーボードを利用した便利な操作☞P.32

タッチパネル、トラックボール、キーボードの３つの操作方法で、機能に応じた使い方ができます。

■ 電話帳☞P.56

電話帳には名前、電話番号、メールアドレスのほかにさまざまな個人データを登録することができます。

■ メール☞P.76

インターネットを経由してメールのやりとりができます。

■ ブラウザ☞P.106

パソコン向けのインターネットホームページを見ることができます。

■ 有効画素数約530万画素の多機能カメラ搭載☞P.126

（記録画素数：約500万画素）
ピクチャーライト／オートフォーカス対応のデジタルカメラで、静止画や動画の撮影・再生が可能です。

■ ワンセグ☞P.154

モバイル機器向けの地上デジタル放送を視聴できます。番組を録画することもできます。

■ コンテンツマネージャー☞P.166

FOMA端末、microSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

■ ブルーレイディスクレコーダー連携☞P.179

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して、メディアプレーヤーで再生できます。

■ DLNAサーバーの利用☞P.180

FOMA端末またはmicroSDカードの画像や音楽データを、DLNA対応のテレビなどで視聴することができます。

■ スケジュール機能☞P.198

カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。FOMA端末のカレンダーとサイト上のGoogleカレンダーを同期させることができます。

■ Documents To Go☞P.187

パソコンで作成したWordファイル、Excelファイル、PowerPointファイル、PDFファイルなどを見ることができます。WordファイルやExcelファイル、PowerPointファイルは編集することもできます。

■ 電子辞書☞P.190

内蔵辞書に用語を入力して、意味などを調べることができます。

■ Wi-Fi☞P.218

無線LAN機能を利用して、自宅や会社のネットワークの無線アクセスポイントに接続したり、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、インターネットを利用したりできます。

■ 国際ローミング☞P.246

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアのみ対応）。
また、海外でもGPS機能を利用して現在地を確認できます。

- ■ メディアプレーヤー☞P.147
- ■ GPS機能☞P.196
- ■ 各種ネットワークサービス☞P.240
- ■ あんしん設定☞P.66

高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、最大受信速度7.2Mbps、最大送信速度5.7Mbpsでデータの送受信を行います。

- 最大7.2Mbps、最大5.7Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
- FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

SH-10Bのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモード機能(ｉモードメール、ｉモードのサイト(番組)への接続、ｉアプリなど)には対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、動画の視聴などを行うと、大量のパケット通信が発生します。このため、「パケ・ホーダイ ダブル/パケ・ホーダイ シンプル」などのパケット定額サービスのご利用を強くおすすめします(なお、「パケ・ホーダイ ダブル/パケ・ホーダイ シンプル」ご契約の場合、短期間で上限額に達します)。
- 本FOMA端末は、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続していない場合はハンズフリーでの通話になり、相手の声がスピーカから聞こえます。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声(カメラのシャッター音など)は消音されません。
- お客様の電話番号(自局番号)の確認については☞P.42
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンについては☞P.42
- 本FOMA端末は、OSのバージョンアップにより機能が追加されたり、機能の操作方法が変更になることがあります。この追加・変更に関する内容の最新情報は、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や、意図しない不具合が発生する場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- mopera UおよびビジネスmoperaインターネットURL制限)以外のプロバイダはサポートしておりません。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ・FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険


禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。


禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告


禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。


指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。


指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- FOMA端末の電源を切る。
- 電池パックをFOMA端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意


禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。


禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。


指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。


指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告


禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。


禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

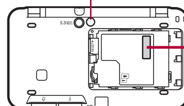

禁止

ピクチャーライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
注意事項：
当製品に使用されているピクチャーライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001

クラス 1 LED製品




禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。


指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。


指示

ハンズフリー通話の際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

Earphone Signal Level
The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 36.0 mV.


指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。


指示
医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。


指示
高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


指示
万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意


禁止
ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。


禁止
FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。


禁止
誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。


禁止
ディスプレイの表面には、落下や衝撃等により破損した場合の安全性確保（強化ガラスパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。


指示
自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。


指示
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。☞P.14「材質一覧」


指示
FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。


指示
ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険


禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。


禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。


禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。


禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。


指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告


禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。


指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。


指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意


禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。


禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。


指示

電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠警告


禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。


禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）


指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。


指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。


指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。


指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。


電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。


電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。


電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意


指示

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告


指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。


指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
FOMA端末の表面	ヒンジ部裏側、ディスプレイ面の金属部分	マグネシウム／塗装
	ディスプレイ面、ディスプレイ面の裏側、キーボード面、キーボード面の裏側、ヒンジ部表側	ABS／塗装、ハードコート
	側面	レニー／塗装、ハードコート
ディスプレイ		ポリエステル（飛散防止フィルム）／ハードコート
着信／充電ランプ		ABS／生地
カメラ窓		PMMA／ハードコート
リアカバー		ABS／塗装、ハードコート
ピクチャーライト		PC／生地
当りカバー		エラストマー／生地
脚（滑り止め）		エラストマー／生地
操作キー	電源／終話キー、ホームキー、戻るキー、メニューキー	PC／塗装、ハードコート
キーボード		ABS／塗装、ハードコート
トラックボール		フッ素ゴム／生地

使用箇所		材質／表面処理
外部接続端子	外部接続端子	SUS／ニッケルメッキ
	カバー	PC／塗装、ハードコート
イヤホンマイク端子	イヤホンマイク端子	SUS／すずメッキ
	カバー	PC／塗装、ハードコート
赤外線ポート		ABS／生地
microSDカードスロット内部		SUS／ニッケルメッキ
FOMAカードトレイ		POM／シボ加工
電池収納面		PET／生地
電池収納部		ABS／生地
電池端子	電池端子コネクター本体	LCP／生地
	電池端子	銅合金／金メッキ
電池パック	電池パック本体	PA（ポリアミド）、PC（ポリカーボネート）／放電目加工
	端子部	銅合金／全面ニッケル下地メッキ、金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は５℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- トラックボールに磁気を帯びたものを近づけないでください。
  誤動作の原因となります。
- キーボードのゴミやほこりは、乾いた柔らかい布で拭き取るか、柔らかいブラシなどで取り除いてください。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（５℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - ■ 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - ■ 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。

次ページへ続く

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

  2.4DS4/OF4
  ■■■■

  2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
  DS／OF：変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であることを示します。
  4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  ■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
  本製品の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
  利用可能なチャンネルは国により異なります。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
  フランスなど、一部の国／地域では、無線LANの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク 〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 通信中は、FOMA端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

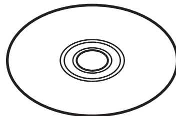
本体付属品および主なオプション品

■ 本体付属品

SH-10B本体
（保証書・リアカバー SH43含む）



SH-10B用CD-ROM



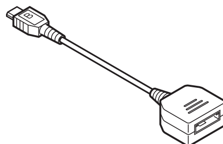
- PDF版「USBドライバインストールマニュアル」を収録しています。

microSDカード（2Gバイト）（試供品）
（取扱説明書付き）

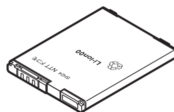


- お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

充電用microUSB変換アダプタ（試供品）
（取扱説明書付き）



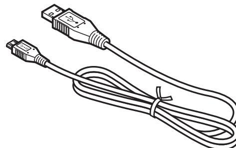
電池パック SH24



取扱説明書

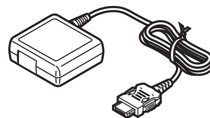


PC用microUSBケーブル（試供品）
（取扱説明書付き）

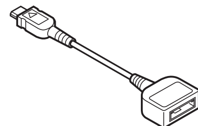


■ 主なオプション品

FOMA ACアダプタ01／02
（保証書・取扱説明書付き）



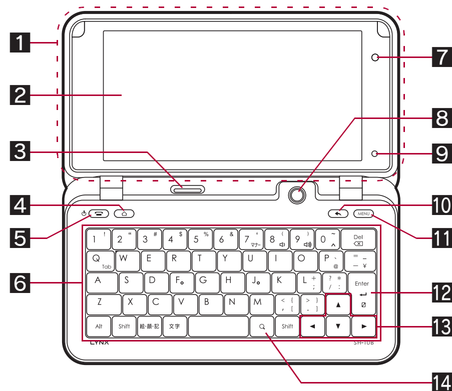
FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
（取扱説明書付き）

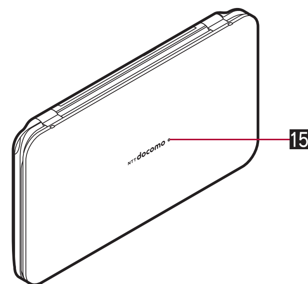


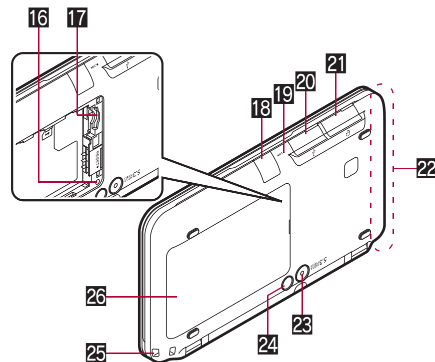
その他のオプション品については☞P.273

ご使用前の確認

各部の名称と機能







- 本書で記載しているキーは、実際のデザインとは異なります。

1 ワンセグアンテナ（☞P.154）
- ワンセグアンテナが内蔵されています。よりよい条件で受信するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

2 ディスプレイ／タッチパネル（☞P.24、P.32）

3 スピーカ
- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- 通話中は相手の声がここから聞こえます。

4 ホームキー：ホームキー
- 待受画面を表示します。

5 電源キー：電源／終話キー
- 電源を入れる／切るときに利用します（☞P.40）。
- 表示中のアプリケーションや通話を終了するときなどに利用します。

6 キーボード
- 文字入力時の操作については☞P.230

7 インカメラ
- 自分を撮影するときに使用します。

8 トラックボール（☞P.34）

9 明るさセンサー（☞P.214）
- 周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。
- センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

10 戻るキー：戻るキー
- 1つ前の画面に戻します。

11 MENU：メニューキー
- その画面で使用できる機能（メニュー）を表示します。

12 Enter：エンターキー
- 選択している項目を実行／決定します。

13 ▲▼◀▶：カーソルキー
- カーソルを上下左右に移動させます。

14 検索キー：検索キー
- クイック検索ボックスを表示します（☞P.31）。

15 着信／充電ランプ
- 着信時などに点滅します（☞P.215）。
- 充電中に点灯します（☞P.37）。

16 RESETボタン（☞P.74）
- データが正常に表示されない、正しく操作できないなどの異常が発生したときに押します。

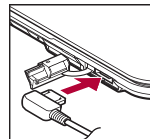
17 microSDカードスロット（☞P.171）

18 赤外線ポート
- 赤外線通信、IrSS™通信を利用するときに使用します（☞P.177）。

19 送話口／マイク
- 自分の声をここから伝えます。

20 外部接続端子
- 充電時およびパソコン接続時などに使用する端子です。
- 充電用microUSB変換アダプタ（試供品）やPC用microUSBケーブル（試供品）などを接続します（☞P.38、P.250）。

21 イヤホンマイク端子
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。



22 FOMAアンテナ
- FOMAアンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

23 アウトカメラ
- 静止画や動画を撮影するときに使用します（☞P.126）。

24 ピクチャーライト
- カメラ撮影時に点灯します（☞P.132、P.135）。

25 ストラップ取り付け口

26 リアカバー（☞P.35）

ディスプレイについて
- FOMA端末上では、microSDカードは［microSD］または［SD］と表示されます。
- 本書で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

次ページへ続く

- 利用するアプリケーションによっては画面が縦表示になるものがあります。また、FOMA端末を傾けるだけで横／縦表示が自動的に切り替わるものもあります。この場合は、FOMA端末を傾けて横／縦表示を切り替えるかどうかを設定できます（☞P.214）。

ディスプレイに表示されるアイコンについて

画面上部のステータスバーにさまざまなアイコンが表示されます。表示されるアイコンには、現在の時刻や電池残量などFOMA端末の状態を表すステータスアイコンと、不在着信や新着メールなどをお知らせするお知らせアイコンの２種類があります。
ステータスアイコンはステータスバーの右側（ステータスエリア）に、お知らせアイコンはステータスバーの左側（お知らせエリア）に表示されます。

ステータスバー



ステータスアイコンについて

現在の時刻や電池残量、電波状況など、FOMA端末の状態を表します。
- ここでは、主に表示されるアイコンを記載します。

アイコン	内　容
	アラーム設定中
	スヌーズ中
	電池残量表示 ● 充電中は電池マークに［ ］が重なって表示されます。
	電波状態表示 強 ⟷ 弱
	サービスエリア外、または電波の届かない場所にいるとき
	国際ローミング中
	3G使用可能
	3Gデータの送受信中
	FOMAカードが未挿入のとき
	電波OFFモード設定中
	文字入力モード中
	通常マナー設定中
	サイレントマナー設定中
	ドライブマナー設定中
	ミュート中
	外部機器を利用せずにスピーカで通話中
	Wi-Fi接続の電波状態表示
	Bluetooth待機中
	Bluetooth接続中
	赤外線通信で他の機器とデータ通信中
	USB接続で外部メモリ転送モード中
	USB接続で高速転送モード中
	USB接続でMTPモード中
	GPS測位中
	GPS測位完了表示

アイコン	内　容
	データ同期中
	ベールビュー設定中
	microSDカード挿入中
	音声発信制限中
	伝言メモ設定中に伝言メモが0件のとき
	伝言メモ設定中に伝言メモが1～9件のとき
	伝言メモ設定中に伝言メモが10件のとき
	2つ以上のアプリケーションが起動中
	DLNA表示

■ ステータスパネルを利用する<ステータスパネル>

FOMA端末の状態を確認したり、ステータスアイコンに対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスエリアをタッチ

- ステータスエリアをタッチしたまま下にスライドしても操作できます。
- 利用中のアプリケーションによってはAlt＋Shift＋Nでも操作できます。



1 ステータスパネル

2 ステータスアイコン
- アイコンにカーソルを合わせると詳細情報が表示されます。
- ステータスパネルに[起動する]が表示されている場合、アイコンを選ぶか、アイコンにカーソルを合わせる▶[起動する]でアイコンに対応したアプリケーションを起動できます。

3 閉じるキー
- タッチするか、タッチしたまま上にスライドすると、ステータスパネルを閉じることができます。

お知らせアイコンについて

不在着信や新着メールなどをお知らせします。また、アイコンの横に吹き出しで詳細情報が表示されます。

- 同じ種類のお知らせが複数ある場合は、お知らせアイコンの右側に件数が表示されます。
- 吹き出しの右側に表示されている[×]をタッチすると吹き出しを削除できます。
- お知らせアイコンがすべて表示されていないときは、[+]が表示されます。
- ここでは、主に表示されるアイコンを記載します。

アイコン	内　容
	不在着信があるとき
	伝言メモがあるとき
	留守番電話の伝言メッセージがあるとき
	新着SMSがあるとき
	新着PCメールがあるとき
	新着Gmailがあるとき
	ワンセグ情報があるとき
	ダウンロード中／ダウンロード済みのデータがあるとき
	インストールが完了したアプリケーションがあるとき
	インストールしたアプリケーションのアップデートがあるとき
	システムエラーがあるとき
	バックグラウンドで音楽再生／早戻し／早送り中
	microSDカードのマウントを解除したとき

次ページへ続く

アイコン	内 容
	Wi-Fi接続状態
	Wi-Fi接続の認証中
	Wi-Fi接続の認証エラー表示
	Wi-Fi接続の認証完了(ログオフ可能)表示
	Bluetooth機器からの登録要求/接続要求があるとき
	microSDリーダーライターとして利用可能
	メジャーアップデートのお知らせがあるとき
	ソフトウェア更新が可能
	ソフトウェア更新完了

- 利用中のアプリケーションによってはお知らせアイコンや吹き出しが表示されないことがあります。
- お知らせとして保存される件数の上限は、次のとおりです。
  - ■ 不在着信:20件 ■ SMS:100件 ■ PCメール:100件
  - ■ 伝言メモ:10件 ■ ワンセグ:50件 ■ ダウンロード:50件

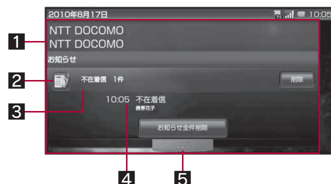
  伝言メモ以外は、お知らせ件数が上限を超えた場合、古いお知らせから順に削除されます。

■ お知らせパネルを利用する<お知らせパネル>

お知らせの内容を確認したり、お知らせアイコンに対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 お知らせエリアをタッチ

- お知らせエリアをタッチしたまま下にスライドしても操作できます。
- 利用中のアプリケーションによっては[Alt]+[N]でも操作できます。



1 お知らせパネル
- お知らせがカテゴリごとに表示されます。
- お知らせを削除するときは[削除]を選びます。すべてのお知らせを削除するときは[お知らせ全件削除]を選びます。
- お知らせがすべて表示されていないときは[もっと見る...]と表示されます。[もっと見る...]を選ぶと対応するアプリケーションが起動します。

2 お知らせアイコン
- アイコンやお知らせを選ぶと対応したアプリケーションを起動できます。
- アイコンによっては、右上にお知らせの件数が表示されたり、エラーがある場合に左上に[⚠]が表示されます。

3 カテゴリ
- お知らせの種別と件数が表示されます。

4 お知らせ詳細表示
- お知らせの詳細内容が表示されます。

5 閉じるキー
- タッチするか、タッチしたまま上にスライドすると、お知らせパネルを閉じることができます。

待受画面から機能を呼び出す

FOMA端末の電源を入れると、待受画面が表示されます。ウィジェットを貼り付けたり、ショートカットやアプリケーションアイコンを選択してアプリケーションを起動することができます。

- 本書では、メインメニューからアプリケーションを起動する方法を基準に説明しています。

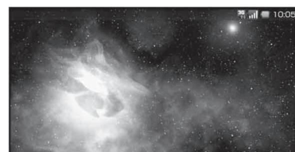
● 待受画面には次の３つの状態があります。

壁紙表示	壁紙画像のみ表示されている状態です。
デスクトップ表示	壁紙画像にクイックメニュー、ショートカット、ウィジェットが重なって表示されている状態です。 ● デスクトップ表示では、待受画面を５枚まで作成して、各ページにそれぞれショートカット、ウィジェットを配置することができます。
メインメニュー表示	メインメニューが表示されている状態です。

● 次のメニューやショートカットなどを利用して、待受画面からさまざまな機能を呼び出すことができます。

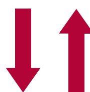
メインメニュー	メインメニューには、搭載されているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリケーションを起動することができます。 ● 新しいアプリケーションをインストールすると、メインメニューにアイコンが追加されます。 ● お買い上げ時に登録されているアプリケーションについては☞P.256
クイックメニュー	メインメニューのアイコンをクイックメニューに移動すると、デスクトップ表示からすばやくアプリケーションを起動できます。 ● クイックメニューには、アイコンを４個まで登録できます。
ショートカット	待受画面にショートカットを作成すると、よく使う機能をすばやく起動できます。
ウィジェット	待受画面にウィジェットを配置すると、スケジュールや方位計など、簡単な機能を待受画面で利用できます。

● お買い上げ時にインストールされているアプリケーションやウィジェットを削除した場合は、サイト（http://3sh.jp）からダウンロードできます。



壁紙表示

壁紙をタッチ
または（ ）など

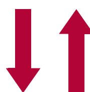


壁紙をタッチ
または（ ）



デスクトップ表示

［ ］または
上にすばやくスライド



［ ］または
下にすばやくスライド



メインメニュー表示

1 ウィジェット
2 クイックメニュー
3 ショートカット
4 起動中アプリキー
● タッチすると、起動中の機能を一覧表示します。
5 メインメニュー
6 インジケータ
● 表示しているメインメニューのページを表します。

■ 待受画面のメニュー操作

[壁紙変更](メインメニュー表示以外)
▶[データ選択]▶データを選ぶ
▶[OFF]
● 壁紙を解除します。
[追加](デスクトップ表示のみ)
▶[ショートカット] ☞P.29
▶[ウィジェット] ☞P.30
[並べ替え](壁紙表示以外)▶並べ替える対象の表示場所を選ぶ▶▲▼◀▶で並べ替える対象を選ぶ▶Enter▶▲▼◀▶で移動先を選ぶ▶Enter
[デスクトップ](デスクトップ表示のみ)
▶[設定]▶設定を選ぶ
▶[追加]▶設定を選ぶ
▶[削除]
[お知らせ]
[ステータス表示]
[光ナビ](壁紙表示以外)▶設定を選ぶ
[ウィジェットのCookieをすべて削除](デスクトップ表示のみ)

[壁紙変更]について
● 壁紙には、JPEG、PNG、静止画GIFの画像を設定することができます。

クイックメニューの登録とアイコンの並べ替え

アプリケーションアイコンをロングタッチすると、アイコンを移動できます。クイックメニューに配置したり、アイコンを並べ替えることができます。

例:クイックメニューの[メール]とメインメニューの[カメラ]を入れ替える



クイックメニューで[メール]をロングタッチ





メインメニューとして配置したい位置までスライド





メインメニューで[カメラ]をロングタッチ





クイックメニューとして配置したい位置までスライド

- 同様の操作で、クイックメニューやメインメニューのアイコンを並べ替えることができます。
- メインメニューのアイコンを別のページに移動したい場合は、ページの右端／左端までスライドすると、ページを切り替えることができます。

ショートカットを作成する

1 **待受画面(デスクトップ表示)でMENU▶[追加]▶[ショートカット]**

2 **項目を選ぶ**

■ アプリケーションアイコンからショートカットを作成する

アプリケーションアイコンを壁紙に移動してショートカットを作成することができます。

例：メインメニューの[カメラ]からショートカットを作成する



メインメニューで[カメラ]をロングタッチ





壁紙までスライドし、ショートカットを作成したい位置までスライド

ウィジェットを貼り付ける

1 **待受画面(デスクトップ表示)でMENU ▶[追加]▶[ウィジェット]**

- インストールされているウィジェットを一覧表示します。

2 **ウィジェットを選ぶ**

- FOMA端末では、Android標準のウィジェットのほか、Droidgetにも対応しています。Droidget対応のウィジェットは、ウィジェット選択画面で[✪](待受画面に貼り付けてある場合は[✔])が表示されます。
- ウィジェット選択画面でDroidget対応のウィジェットを選択した場合は確認画面が表示されます。[設置する]を選ぶと待受画面にウィジェットが追加されます。
- 表示している待受画面に空きスペースがない場合、ウィジェットは追加できません。ただし、Droidget対応のウィジェットは、他のウィジェットに重ねて追加することができます。

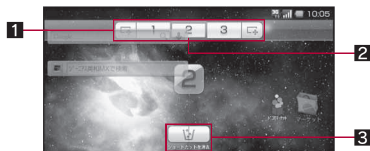
ナビゲーションバーを利用して待受画面(デスクトップ表示)を管理する

待受画面(デスクトップ表示)のページを増やしたり、ウィジェットやショートカットを削除したりできます。

■ ナビゲーションバーを表示する

1 **待受画面でウィジェット/ショートカットをロングタッチ**

- デスクトップ表示で左右にスライドしても操作できます。



1 ナビゲーションバー
- 登録されている待受画面のページ番号が表示されます。番号を選ぶと、該当するページが表示されます。

2 現在の待受画面のページ番号(青枠で表示)

3 ごみ箱
- ウィジェットやショートカット、待受画面を削除します。

■ 待受画面のページを追加する

1 **ナビゲーションバー表示中に[⊕]/[⊕]**

■ 待受画面を並べ替える

1 **ナビゲーションバー表示中にナビゲーションバーのページ番号をロングタッチ**

2 **ページ番号をタッチしたままナビゲーションバーの移動先のページ番号までスライド**

■ 待受画面を削除する

1 **ナビゲーションバー表示中にナビゲーションバーのページ番号をロングタッチ**

2 **ページ番号をタッチしたままごみ箱までスライド**

■ ウィジェット/ショートカットを移動する

1 **待受画面でウィジェット/ショートカットをロングタッチ**

2 **ウィジェット/ショートカットをタッチしたまま移動したい位置までスライド**

- ウィジェット/ショートカットをタッチしたままページの左端/右端までスライドして停止すると、前/次のページが表示され、ウィジェット/ショートカットを別のページに移動することができます。
一番端のページでこの操作を行うと、新しいページが作成されます。

- ウィジェット／ショートカットをタッチしたままナビゲーションバーのページ番号までスライドしても、ウィジェット／ショートカットを別のページに移動することができます。
  ナビゲーションバーの[ ]／[ ]までスライドすると、新しいページが作成されます。

■ ウィジェット／ショートカットを削除する

1 待受画面でウィジェット／ショートカットをロングタッチ

2 ウィジェット／ショートカットをタッチしたままごみ箱までスライド

FOMA端末内やサイトの情報を検索する

クイック検索ボックスに文字を入力したり、音声検索をすることでFOMA端末内やサイトの情報を検索できます。

文字を入力してFOMA端末内やサイトを検索する

1 待受画面で[Q]

- はじめて利用するときは、Googleとの共有についての確認画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 クイック検索ボックスにキーワードを入力

- 入力した文字から始まるアプリケーションやデータなどを検索し、一覧表示します。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果を選ぶと対応するアプリケーションが起動します。
- サイトを検索：[ウェブを検索]

音声検索を利用してサイトを検索する

1 メインメニューで[音声検索]

- クイック検索ボックスで[ ]でも操作できます。

2 キーワードを音声入力

- ブラウザが起動します。

● 音声が正しく認識されないとき、クイック検索ボックスのキーワード入力欄をタッチすると、似た発音のキーワードの一覧が表示されます。

Google検索の設定をする

文字入力時の検索候補の表示や検索履歴を検索候補に反映させるかどうかなどを設定することができます。また、ブラウザでサイト検索履歴設定のページを開くことができます。

● Googleアカウントが未設定の場合は、アカウントのセットアップ画面が表示されます。アカウントの設定については☞P.40

1 メインメニューで[設定]▶[検索]▶[Google検索の設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[検索候補の表示]**
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[検索履歴]**
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[検索履歴を管理する]**

■ 検索対象を設定する＜検索対象＞

検索対象とするFOMA端末内のデータの種類を選択できます。

1 メインメニューで[設定]▶[検索]▶[検索対象]

2 検索対象を選ぶ

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

■ 検索結果の履歴を削除する＜検索ショートカットをクリアする＞

クイック検索ボックスで以前に選択した検索結果の履歴を削除できます。

1 メインメニューで[設定]▶[検索]▶[検索ショートカットをクリアする]▶[OK]

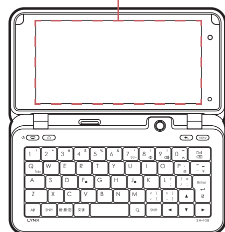
タッチパネル

タッチパネルの操作

タッチパネル(画面)を直接指で触り、操作を行うことができます。

- 本書では主にタッチパネルによる操作を記載しています。
- タッチパネルで操作できる範囲は次のとおりです(機能によって操作範囲は異なります)。

タッチパネルの操作範囲



タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ■ 手袋をしたままでの操作
  - ■ 爪の先での操作
  - ■ 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ■ 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチパネルの基本操作

タッチパネルの操作のしかたと主な操作の目的、同じ役割をするキー操作例は次のとおりです。

操作のしかた	主な操作の目的	キー操作例
タッチ ● タッチパネルに触れて、指を離します。	選択・決定 ● 画面に表示されるキーをタッチします。	Enter
	カーソルを移動して選択 ● 一覧画面などはタッチしてカーソルを合わせてから、もう一度タッチします。	▲/▼/◀/▶▶Enter
ロングタッチ ● タッチパネルに触れたままにします。	メニュー表示 ● 利用中の機能や画面によっては、画面をロングタッチするとメニューが表示されることがあります。	−
スライド ● タッチパネルに触れたまま、指を動かします。	画面のスクロール ● メニュー表示中など、上下にスライドします。	▲/▼
	選択の中止 ● メニューや項目に間違って触れたときは、メニューや項目から離れるようにスライドします。	−

操作のしかた	主な操作の目的	キー操作例
すばやくスライド ● すばやくスライドし、指を離します。	ページ切替 ● メインメニューなどで左右にすばやくスライドします。	[◀]／[▶]
2本の指の間隔を広げる／狭める ● 2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げるようにスライド、または狭めるようにスライドします。	拡大／縮小 ● 画像表示中などに2本の指の間隔を広げる／狭めます。	[9]／[0]など

● 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

機能利用中の操作

■ 画面に表示されるキーについて

機能利用中は、画面右側に表示されるキーにタッチして、さまざまな操作ができます。

ここでは、主に表示されるキーを記載します。

例：静止画撮影画面



[ホーム]	待受画面を表示 ● [⌂]でも同様の操作ができます。
[戻る]	1つ前の画面に戻る ● [↶]でも同様の操作ができます。
[MENU]	メニューを表示 ● [MENU]でも同様の操作ができます。
[検索]	クイック検索ボックスを表示 ● [Q]でも同様の操作ができます。
[決定]	選択した項目を決定
[全チェック]／[全件チェック]	データの複数移動や複数削除などをする場合に、データ選択画面ですべての項目を選択 ● [Alt]＋[A]でも同様の操作ができます。
[全解除]／[全件チェック解除]	データの複数移動や複数削除などをする場合に、データ選択画面ですべての項目を選択解除 ● [Alt]＋[Shift]＋[A]でも同様の操作ができます。
[実行]	選択した項目を実行 ● [Alt]＋[O]でも同様の操作ができます。

■ タッチ操作で操作する

メニューやキーを表示しなくても、指の操作で簡単に操作できます。

- 機能や画面によって操作できるタッチ操作は異なります。

- 画面に表示されているキーなどをタッチしないように操作してください。

■ ロングタッチでメニューを呼び出す

利用中の機能や画面によっては、画面をロングタッチするとメニューが表示されることがあります。

- 本書では、ロングタッチでしか呼び出せない機能がある場合のみ、操作方法を記載しています。

■ その他の操作

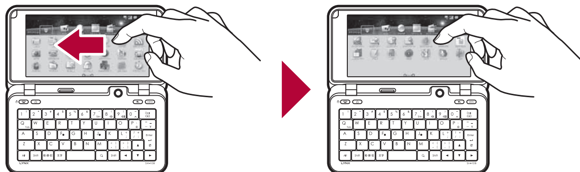
ページの切り替え

待受画面やメインメニューなど、複数のページがある場合は、左右にすばやくスライドしてページを切り替えます。

- 戻るときは右にすばやくスライドします。

例：メインメニューの1/2ページから2/2ページに切り替えるとき

左にすばやくスライド



メインメニュー 1/2ページ　　メインメニュー 2/2ページ

数字入力



日付や時間などの数字入力が必要なときは数字パネルが表示されます。[+]／[−]をタッチして数字を入力できます。

- ロングタッチすると連続して数字を増減できます。
- 数字入力欄を選んで直接入力することもできます。

タッチパネルを補正する<タッチパネル補正>

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[タッチパネル補正]

2 表示された6箇所の円の中心をタッチ

トラックボール

トラックボールを使う

トラックボールを使って、タッチパネル操作やキーボード操作と同様にカーソルの移動や項目の決定などができます。

- カーソルの移動：トラックボールを動かす
- 選択している項目の実行／決定：トラックボールを押す

FOMAカード

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。FOMAカードに保存されている電話帳データを読み込んで利用することができます（☞P.63）。

- FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話、メールの送受信、パケット通信などの通信機能を利用できません。

取り付けかた／取り外しかた

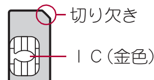
● FOMAカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。FOMA端末は、閉じた状態で両手でしっかり持ってください。

■ 取り付けかた

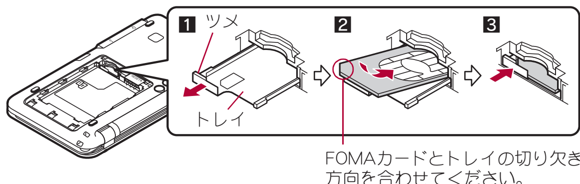
1 ツメに指などをかけて、トレイを引き出す（1）

• トレイが止まるところまで、まっすぐ引き出します。

2 FOMAカードのＩＣ(金色)面を上に向けて、トレイにセットする（2）



3 トレイを奥まで差し込む（3）

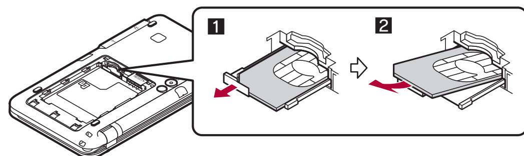


FOMAカードとトレイの切り欠き方向を合わせてください。

■ 取り外しかた

1 ツメに指などをかけて、トレイを引き出し（1）、FOMAカードを取り外す（2）

• 取り外す際は、FOMAカードを落とさないようにご注意ください。



● 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとFOMAカードが破損したり、トレイが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
● FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。
● 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
● トレイが外れたときは、トレイをガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

暗証番号

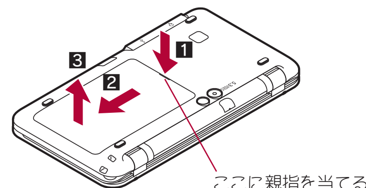
FOMAカードには「PINコード」という暗証番号があります。
ご契約時は［0000］に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます（☞P.69）。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックは、FOMA端末専用の電池パック SH24をご利用ください。
● FOMA端末の電源を切り、閉じた状態で、両手で持って行ってください。

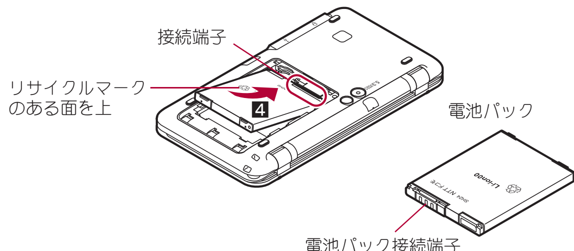
■ 取り付けかた

1 リアカバーの凹部を矢印の方向（1）へ親指で押しながら約3mmスライドさせて（2）、リアカバーを取り外す（3）

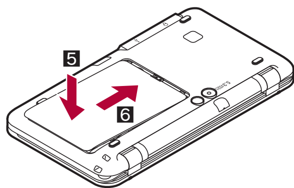


2 電池パックを取り付ける（4）

- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、FOMA端末の接続端子と電池パックの接続端子を合わせて取り付けてください。



3 リアカバーを約 3 mm開けた状態でFOMA端末のミゾに合わせ、矢印の方向（5）へ押しながらスライドさせて（6）、リアカバーを取り付ける

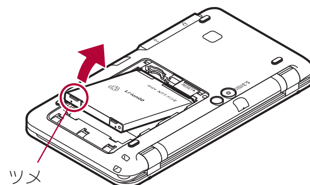


■ 取り外しかた

1 「取り付けかた」の操作 1 の手順でリアカバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指をかけて上方向に取り外してください。



- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だとリアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電用microUSB変換アダプタ（試供品）またはFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01（別売）と、専用のACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）で充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされてから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。

- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

■ 充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

FOMA ACアダプタ01／02	約200分
FOMA DCアダプタ01／02	約200分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- 充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークに[ ]が重なって表示されます)。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。充電停止中は、充電ランプは消灯します(電池マークは停止中でも[ ]が重なって表示されます)。

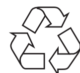
■ 十分に充電したときの利用可能時間(目安)

連続通話時間	FOMA／3G	約270分
連続待受時間	FOMA／3G	移動時：約360時間
		静止時：約410時間
ワンセグ視聴時間		約310分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。画像の撮影や編集、ワンセグの視聴、メールの作成、メディアプレーヤー、Bluetooth機能の使用、データ通信などによって、通話(通信)・待受時間は、短くなります。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、平型ステレオイヤホンセット P01(別売)を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに 1 回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1 回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。



Li-ion00

■ 充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ01／02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ01(別売)、FOMA DCアダプタ01／02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02／FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

[必ずFOMA ACアダプタ01／02(別売)、FOMA DCアダプタ01／02(別売)の取扱説明書を参照してください]

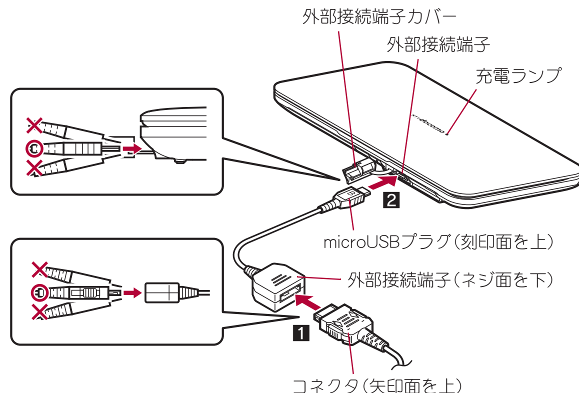
● FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

1 ACアダプタまたはDCアダプタを充電用microUSB変換アダプタの外部接続端子に水平に差し込む(1)

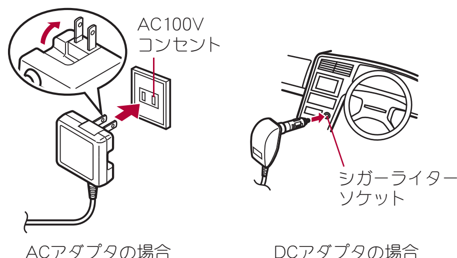
- コネクタの向き(裏表)をよく確かめ、充電用microUSB変換アダプタに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 FOMA端末の外部接続端子カバーを開き、充電用microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを外部接続端子に水平に差し込む(2)

- microUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、水平に差し込んでください。
- 次の図は充電用microUSB変換アダプタ(試供品)の取り付け例です。

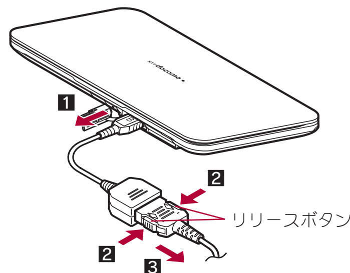


3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する



4 充電ランプが消灯すると、充電が完了する

- 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に抜いてください(1)。
- 充電用microUSB変換アダプタからコネクタを取り外すときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押したまま(2)、コネクタを水平に抜いてください(3)。



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグ、コネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、FOMA DCアダプタ01/02の取扱説明書をご覧ください。

PC用microUSBケーブルを使って充電する

FOMA端末の電源が入っているときに、FOMA端末とパソコンをPC用microUSBケーブル(試供品)で接続すると、FOMA端末を充電することができます。

- あらかじめ、パソコンにUSBドライバをインストールしておいてください。また、USB充電(☞P.250)を有効にしておいてください。
  - ・USBドライバのインストールについては、付属のCD-ROM内またはシャープのホームページ上のPDF版「USBドライバインストールマニュアル」をご覧ください。
- パソコンとの接続方法については☞P.250

電池残量

電池残量の確認のしかた

- 表示されるマークは目安です。
- 使用状況によっては、電池残量が大きく変動することがあります。
- 充電完了後でも、FOMA端末を長時間放置している場合や、電源を入れたままにしている場合は、電池残量が減少している場合があります。

	約90%~約100%	電池残量が十分残っています。
	約70%~約80%	電池残量が残っています。
	約50%~約60%	電池残量が少なくなっています。
	約30%~約40%	電池残量が残りわずかになっています。
	約20%	電池残量がほとんどありません。
	約10%	電池残量がほとんどありません。充電してください。
	約0%	電池残量がありません(しばらくすると電源が切れます)。

電池が切れたら

電源が切れそうになると、[電池が残り少なくなっています:残量10%以下]と表示されます([OK]をタッチするか、充電を開始すると表示は消えます)。
電池残量がさらに少なくなると、[まもなくシャットダウンします　保存していないデータは失われます]と表示されます([OK]をタッチするか、充電を開始すると表示は消えます)。約30秒後に電源が切れます。

- [理由]を選ぶと、電池使用量画面(☞P.42)が表示されます。
- 通話中は警告音が鳴ります。通話終了後に確認画面が表示されます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （4秒以上）

- ウェイクアップ画面が表示されるまで時間がかかることがあります。
- はじめて電源を入れたときは、タッチパネルが正しく反応するように調整するための画面が表示されます。通常操作する指で、表示された6箇所の円の中心をタッチしてください。

Welcomeメールについて

- お買い上げ時は、「SHARPからのお知らせ」が保存されています。
- Welcomeメールの確認：メインメニューで［メール］▶［受信ボックス］
  - 以降の操作については☞P.84

- ［ ］が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。

電源を切る

1 （1秒以上）▶［電源を切る］▶［OK］

- 電源が切れるまで時間がかかることがあります（電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます）。

スリープモードについて

FOMA端末を一定時間使用しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

- スリープモード中に、いずれかのキーを押すとスリープモードが解除されます。
- スリープモードになるまでの時間の設定については☞P.214
- 充電中にスリープモードにならないようにするには☞P.123

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントが必要となるアプリケーションを起動したときにGoogleアカウントが未設定の場合、セットアップ画面が表示されます。

- Googleアカウントでログインする場合は、あらかじめデータ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続の状態については☞P.24

1 セットアップ画面で［次へ］

2 Googleアカウントをセットアップする

- アカウントがないとき：［新規登録］▶画面に従って操作
- アカウントがあるとき：［ログイン］▶画面に従って操作

- Googleアカウントを設定すると［バックグラウンドデータ］、［自動同期］が有効になります。データの同期については☞P.120
- Googleアカウントを設定しなくても、本FOMA端末をお使いいただくことはできますが、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- Googleアカウントを設定後、別のGoogleアカウントを設定する場合は、オールリセットを行う必要があります。
- 設定したGoogleアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

Googleアカウントのパスワードを再取得する

Googleアカウントをセットアップするためには Googleのパスワードが必要です。パスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 メインメニューで［ブラウザ］▶ MENU ▶［URL入力］

2 URL入力欄を選ぶ▶「http://www.google.co.jp」を入力▶［移動］▶［ログイン］▶［アカウントにアクセスできない場合］

3 ［Googleアカウント：アカウントのログインに関する問題］で［パスワードを忘れた］▶画面に従って操作

日時設定

日付･時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[日時設定]

2 [自動時刻補正]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- [自動時刻補正]が無効のとき：[日付設定]▶日付を入力▶[設定]▶[タイムゾーン]▶タイムゾーンを選ぶ▶[時刻設定]▶時刻を入力▶[設定]
- 12時間制／24時間制の切替：[24h表示]
  - 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- 日付形式の切替：[日付形式]▶日付形式を選ぶ

[自動時刻補正]を有効にしたとき

- 電源を入れたときにネットワークの時刻情報をもとに、時刻の補正を行います。
- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

[自動時刻補正]を無効にしたとき

- 自動時刻補正を無効にしていても、現在日時から前後７日以上離れた日付･時刻を設定した場合、自動的に正しい日付･時刻に補正されます。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話をかけるときに、相手の電話機（ディスプレイ）に自分の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号を表示可能な場合に利用できます。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にするか「186」を付けてからおかけ直しください。

あらかじめ通知／非通知を設定する <発信者番号通知設定>

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[NWサービス]▶[発信者番号通知]▶[発信者番号通知設定]

2 設定を選ぶ

現在の設定を確認する<発信者番号通知設定確認>

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[NWサービス]▶[発信者番号通知]▶[発信者番号通知設定確認]

プロフィール

自分の名前や画像を登録する

- お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号が登録されています。その他に、次の項目が登録できます。

項　目	内　容	登録件数
画像	プロフィール確認時に表示するデータを登録します。	1件
名前	名前を入力します。	1件
よみ	ふりがなを入力します。	1件
メモ	メモを登録できます。	1件
電話番号	電話番号を登録できます。電話番号は6種類のアイコンで分類できます。	3件
メールアドレス	メールアドレスを登録できます。メールアドレスは4種類のアイコンで分類できます。	3件
チャットアドレス	チャットアドレスを登録できます。チャットアドレスは8種類のアイコンで分類できます。	3件
住所	住所を登録できます。住所は4種類のアイコンで分類できます。	1件
勤務先	勤務先名や所属、役職を登録できます。勤務先は3種類のアイコンで分類できます。	1件
GPS情報	位置情報を登録できます。	1件
誕生日	誕生日を登録できます。	1件

1 メインメニューで[設定]▶[プロフィール]▶[編集]

2 項目の入力／選択▶[保存]▶[はい]

- 入力／選択方法については☞P.56

■ プロフィール表示画面のキー操作

編集	MENU＋E
赤外線送信	MENU＋I
Bluetooth送信	MENU＋B
メールへ添付	MENU＋J

■ プロフィール表示画面のメニュー操作

- 次の機能については、電話帳詳細表示画面のメニュー操作(☞P.61)を参照してください。
  - ■ 電話番号メニュー　■ メール作成　■ GoogleMap表示
  - ■ GPS情報メニュー(GPSメール作成、GoogleMap表示)

[編集]	☞P.42
[赤外線送信]	☞P.178
[Bluetooth送信]	☞P.225
[メールへ添付]▶画面に従って操作▶メールを作成・送信	

端末情報

FOMA端末についての情報を確認する

FOMA端末の状態や法的情報、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[端末情報]

FOMA端末の状態を確認する<端末の状態>

電池残量や電話番号、利用中のネットワークなどが確認できます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[端末の状態]

電池の使用量を確認する<電池使用量>

アプリケーションごとの電池の使用量を確認できます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[電池使用量]

- 内容を更新：[MENU]▶[更新]

法的情報を確認する<法的情報>

著作権情報や利用規約などが確認できます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[法的情報]

2 項目を選ぶ

電話

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

マナーモード

イヤホンを使う

電話をかける

1 メインメニューで[電話]

2 電話番号を入力

- 32桁まで入力できます。
- 入力した電話番号を1桁削除：Del
  - ・カーソル左側の桁が消えます。
- 入力した電話番号をすべて削除：Del（1秒以上）
  - ・カーソル左側の桁がすべて消えます。



3 [発信]

4 通話が終わったら[切断]

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続していない場合はハンズフリーでの通話になり、相手の声がスピーカから聞こえます。ハンズフリーで通話する際には、次の内容にご注意ください。
  - ・送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
  - ・屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
  - ・ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、通話音量を下げてください。

■ 電話画面のタッチパネル操作

電話番号入力画面

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[発信]	発信
[電話帳登録]	電話帳に登録
[P付加]	「P」を付加
[＋付加]	「＋」を付加

通話中画面

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[音声メモ]	通話中に相手の声を録音
[マイクON]／[マイクOFF]	マイクON／OFF

■ 電話画面のキー操作

電話番号入力画面

発信	Alt＋D
日本へ発信※	Alt＋J
SMS作成	Alt＋M
電話帳に登録	Alt＋S
「184」を付加	MENU＋H
「186」を付加	MENU＋T
「P」を付加	P
「＋」を付加	Alt＋L
音声発信制限設定	MENU＋L

※ 国際ローミング中のみ操作できます。

通話中画面

通話音量の変更	[▲]／[▼]
マイクON／OFF	[Alt]＋[O]
Bluetooth機器を利用	[MENU]＋[B]
音声メモ	[Alt]＋[M]
リダイヤル	[MENU]＋[O]
着信履歴	[MENU]＋[I]
電話番号入力画面表示	[MENU]＋[D]
電話帳参照	[MENU]＋[R]
プロフィール参照	[MENU]＋[P]
相手切替※	[MENU]＋[S]

※ キャッチホンでの通話中のみ操作できます。

■ 電話番号入力画面のメニュー操作

[発信]

▶[音声発信]

▶[日本へ発信]（国際ローミング中のみ）
- 電話番号の先頭に「＋81」を付加します。

▶[メール作成] ☞P.63

▶[SMS作成]▶SMSを作成・送信

[電話帳に登録]▶電話帳に登録

[特番付加]

▶[184付加]
- 電話番号の先頭に「184」を付加します。

▶[186付加]
- 電話番号の先頭に「186」を付加します。

▶[P付加]
- プッシュホン信号送信の詳細については☞P.48

▶[＋付加]
- 「＋」を利用した国際電話発信の詳細については☞P.48

[音声発信制限設定]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶設定を選ぶ▶[OK]

■ 通話中画面のメニュー操作

[マイクON]／[マイクOFF]

[Bluetooth]（Bluetooth機器接続時のみ）
- Bluetooth機器を利用した通話の詳細については☞P.225

[音声メモ]
- 録音を停止：[停止]
- 通話を終了：[切断]

[ダイヤラー]
- 電話番号入力画面が表示されます。

[履歴参照]

▶[リダイヤル] ☞P.46

▶[着信履歴] ☞P.46

[電話帳参照]
- 以降の操作については☞P.59「電話帳から電話をかける」の操作2へ

[プロフィール参照]

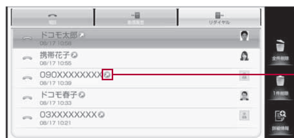
[相手切替]（キャッチホンでの通話中のみ）
- 通話相手を切り替えます。

リダイヤル／着信履歴を利用する

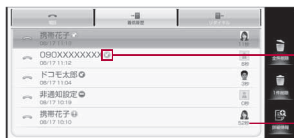
最新の履歴からそれぞれ20件までFOMA端末に記憶されます。

- 「186」や「184」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前などが表示されます。ただし、電話帳制限中は表示されません。

1 メインメニューで[電話]▶[リダイヤル]／[着信履歴]



リダイヤル一覧画面



着信履歴一覧画面

発着信ステータスアイコン

●	音声発信したもの
●（緑色）	電話に応答したもの
●（赤色）	着信鳴動時間が３秒以内で電話に応答しなかったもの
●	着信を拒否したもの
●	電話に応答しなかったもの、転送したもの、伝言メモ機能で用件を録音したもの

2 電話番号を選ぶ

3 [音声発信]

- 電話帳に画像を登録しているときは、リダイヤル／着信履歴画面に登録している画像が表示されます。電話帳に画像が登録されていないときは、代替画像が表示されます。

■ 各リダイヤル／着信履歴画面のタッチパネル操作

リダイヤル／着信履歴一覧画面

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[全件削除]	全件削除
[１件削除]	１件削除
[詳細情報]	詳細画面を表示

リダイヤル／着信履歴詳細画面

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	表示中の履歴を削除
[音声発信]	音声発信

■ 各リダイヤル／着信履歴画面のキー操作

音声発信	Alt＋D
日本へ発信※1	Alt＋J
メール作成※2	MENU＋M
SMS作成	Alt＋M
編集して発信	Alt＋H
特番付加	Alt＋T
電話帳に登録	Alt＋R
着信拒否登録※3	Alt＋I
１件削除	Del
全件削除※4	Shift＋Alt＋Del
次／前の履歴を表示※5	►／◄

※１　国際ローミング中のみ操作できます。

※2　選択中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合に操作できます。
※3　着信履歴一覧画面／着信履歴詳細画面で操作できます。登録した電話番号からの着信を拒否するには、着信の拒否を有効にしてください（☞P.71）。
※4　リダイヤル／着信履歴一覧画面で操作できます。
※5　リダイヤル／着信履歴詳細画面で操作できます。

■ リダイヤル一覧画面のメニュー操作

[発信]
- ▶[音声発信]
- ▶[日本へ発信]（国際ローミング中のみ）
  - ● 電話番号の先頭に「＋81」を付加します。
- ▶[メール作成]▶メールを作成・送信
- ▶[SMS作成]▶SMSを作成・送信
- ▶[編集して発信]▶電話番号を編集▶[発信]
- ▶[特番付加]
  - ● 電話番号入力画面が表示されます。

[電話帳に登録]▶電話帳に登録

[1件削除]▶[はい]

[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[メール作成]について
● 選択中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合に操作できます。

■ 着信履歴一覧画面のメニュー操作

● 次の機能については、リダイヤル一覧画面のメニュー操作（☞P.47）を参照してください。
■ 発信　■ 電話帳に登録　■ 1件削除　■ 全件削除

[着信拒否登録]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶登録する番号を選ぶ

[着信拒否登録]について
● 登録した電話番号からの着信を拒否するには、着信の拒否を有効にしてください（☞P.71）。

■ リダイヤル詳細画面のメニュー操作

● 次の機能については、リダイヤル一覧画面のメニュー操作（☞P.47）を参照してください。
■ 発信　■ 電話帳に登録

[削除]▶[はい]

■ 着信履歴詳細画面のメニュー操作

● 次の機能については、リダイヤル一覧画面のメニュー操作（☞P.47）を参照してください。
■ 発信　■ 電話帳に登録

[着信拒否登録]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶登録する番号を選ぶ
● [着信拒否登録]について☞P.47

[削除]▶[はい]

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

1回の通話ごとに、相手に自分の電話番号を通知するかどうかを設定できます。

■「186」を付けてダイヤルする（番号通知）

1 メインメニューで[電話]
2 「186」を入力▶相手先電話番号を入力
3 [発信]

■「184」を付けてダイヤルする(番号非通知)

1 メインメニューで[電話]

2 「184」を入力 ▶ 相手先電話番号を入力

3 [発信]

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を送る

チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ(番号)などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

- キーボードで番号を入力すると、押したキーの番号がプッシュホン信号として1つずつ送信できます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力 ▶ Shift + P

2 送信する番号を入力

- 番号を入力したあと、Shift + P を押すと続けて番号を入力できます。

3 電話帳を登録

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から音声電話をかける

- 登録した「P」以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて[送信]

- 「P」以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- 「P」で区切った複数の番号を登録しているときは、[送信]をタッチするたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できないときがあります。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

[通話方法]010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号(市外局番) ▶ 相手先電話番号 ▶ [発信]

- 009130 ▶ 010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号(市外局番) ▶ 相手先電話番号 ▶ [発信]でもかけられます。
- 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- WORLD CALLの料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

■「+」を入力して国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときに、国際電話アクセス番号を入力する代わりに、電話番号の先頭に「+」を入力しても発信できます。

1 メインメニューで[電話]

2 [+付加] ▶ 国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力

3 [発信]

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01(別売)やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- Bluetooth接続(ワイヤレス)でのみ利用することができます(☞P.225)。
- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を[0]に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

電話を受ける

着信は、着信音、着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 着信中は[着信]と表示されます。
- 発信者番号が通知されたときは、電話番号を表示します。電話帳に登録されている電話番号からの着信のときは、名前なども表示します。緊急通報番号からの着信のときは、[緊急通報番号]が表示されます。
- 発信者番号が通知されないときは、非通知理由が表示されます。
  - [非通知設定]:発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信したとき
  - [公衆電話]:公衆電話などから発信したとき
  - [通知不可能]:海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信したとき(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されることもあります)

2 [応答]

3 通話が終わったら[切断]

- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続していない場合はハンズフリーでの通話になり、相手の声がスピーカから聞こえます。ハンズフリー利用時の注意事項については☞P.44

■ 着信画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[応答]	応答
[保留]	応答保留
[伝言メモ]	伝言メモで応答※
[拒否]	着信拒否
[サイレント]	着信音を止める

※ 伝言メモを設定していないときも、その着信に限り用件を録音できます。

■ 着信画面のキー操作

着信音量の変更	[▲]/[▼]
応答保留	[保留キー]
着信拒否	[Alt]+[D]
伝言メモ	[Alt]+[M]
着信音を止める	[Alt]+[7]

エニーキーアンサー設定

着信時の動作をキーに割り当てる

着信時に次のキーを押して、電話に応答したり、一時的に着信音を止めたりできるように設定します。

応答	1～9、0、A～Z、－、/、/、・、Del、絵・顔・記、文字、□(スペース)
サイレント	☎、Enter以外のキー

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[エニーキーアンサー設定]

2 設定を選ぶ

- [応答]に設定している場合は、着信後1秒経過すると操作できます。

通話音量調節

相手の声の音量を調節する

1 通話中に▲／▼で音量を調節

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

- 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約されているときは、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます(☞P.240、P.242)。

1 着信中に[保留]

- 応答保留中に[切断]をタッチ、☎を押す、または相手が電話を切ると通話が終了します。

2 電話に出られるようになったら[応答]

公共モード(電源OFF)

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 留守番電話サービス※、転送でんわサービス※は、公共モード(電源OFF)に優先して動作します。
  ※ 呼出時間が0秒以外での音声電話に対しては、公共モード(電源OFF)のガイダンスのあとにサービスが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モード(電源OFF)は動作しません。

1 メインメニューで[電話]

2 「※25251」を入力

3 [発信]

- 公共モード(電源OFF)が設定されます(待受画面上の変化はありません)。
- 公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に、携帯電話の電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れます。

公共モード(電源OFF)を解除する

- メインメニューで[電話]▶「※25250」を入力▶[発信]
  - 公共モード(電源OFF)が解除されます。

公共モード(電源OFF)の設定を確認する

- メインメニューで[電話]▶「※25259」を入力▶[発信]
  - 現在の設定状況を確認できます。

■ 公共モード(電源OFF)を設定すると

公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったときは、不在着信があったことを示すアイコン[]が表示されます。

1 お知らせエリアをタッチ▶[不在着信]

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきたときは、音声ガイダンスを流して相手の用件を録音します。

- 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには利用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスをあわせてご利用になると便利です。
- 伝言メモは10件（1件あたり約60秒）まで録音できます。音声メモの件数は含みません。
- マナーモード中は、伝言メモ設定に関係なく伝言メモが有効になります。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音内容が消失するときがあります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

伝言メモを設定する<伝言メモ設定>

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[音声・伝言メモ]▶[伝言メモ設定]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- 伝言メモが設定され、ディスプレイに[]が表示されます。
- 伝言メモが1～9件あるときは、[]が表示されます。
- 伝言メモが10件録音されると、[]が表示され、それ以降、音声電話がかかってきた場合、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。

- マナーモードが[OFF]のときに設定が反映されます。
- 留守番電話サービスを利用すると、1件あたり最長約3分間、20件まで録音できます。設定しているときは、伝言メモが10件録音されていても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。

応答メッセージが始まるまでの時間を設定する<応答時間設定>

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[音声・伝言メモ]▶[応答時間設定]

2 応答時間を入力▶[設定]

■ 応答時間設定画面のキー操作

数字を増やす	▲
数字を減らす	▼

- オート着信と同じ時間に設定した場合は、伝言メモが優先されます。

応答メッセージを設定する<応答メッセージ設定>

1 **メインメニューで[設定]▶[通話]▶[音声･伝言メモ]▶[応答メッセージ設定]**

2 **応答メッセージを選ぶ**

■ 応答メッセージ画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[再生]	再生

■ 応答メッセージ再生画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[停止]	停止
[設定]	応答メッセージに設定する

■ 応答メッセージ画面のキー操作

再生	Alt + P

■ 応答メッセージ再生画面のキー操作

停止	Alt + S
音量を上げる	▲
音量を下げる	▼

● 応答メッセージは、あらかじめ次のメッセージが登録されています。
■ [通常]
ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに、お名前、ご用件をお話しください。
■ [ドライブ]
ただいま運転中です。ピーッという発信音のあとに、お名前、ご用件をお話しください。
■ [公共]
ただいま電話の利用を、控えなければならない場所にいます。ピーッという発信音のあとに、お名前、ご用件をお話しください。
● 応答メッセージは削除できません。

伝言メモを設定したときは

1 **電話がかかってくると、応答時間のあとに伝言メモが応答する**

- 応答中の画面が表示されます。相手には音声ガイダンスが流れます。
- 伝言メモ応答中、録音中に[応答]で電話に出ることができます。

2 **相手の用件を録音する**

- 録音を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
- インジケータは目安です。
- 録音中は、[受話ON]を選択すると相手の声がスピーカから聞こえるようになります。



伝言メモ録音中

伝言メモ･音声メモ再生

伝言メモ･音声メモを再生する

伝言メモの用件、音声メモの内容を再生します。

● 電話帳制限を有効にしているときは、電話帳に登録された名前は表示されず、電話番号を表示します(非通知理由は除く)。

1 **メインメニューで[設定]▶[通話]▶[音声･伝言メモ]▶[伝言メモリスト]/[音声メモリスト]**

伝言メモの種類

(赤色)	伝言メモ	(緑色)	再生済み伝言メモ

- 保護有のときは、[🔒]が小さいマークで表示されます。

2 メモを選ぶ

- 伝言メモ・音声メモの再生中に着信やアラームが動作した場合や他の機能を起動した場合は、再生を一時停止します。他の機能の動作終了後、再生を再開します。



メモ再生画面
伝言メモの場合

- 伝言メモ・音声メモの削除を行うと、保護されている伝言メモ・音声メモも削除されます。

■ 伝言メモリスト・音声メモリスト画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[全件削除]	全件削除
[1件削除]	1件削除
[保護/解除]	保護/解除
[再生]	再生

■ 伝言メモ・音声メモ再生画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[◀]/[▶]	前/次のメモを再生
[削除]	削除
[保護/解除]	保護/解除
[停止]	停止

■ 伝言メモリスト・音声メモリスト画面のキー操作

全件削除	Shift+Alt+Del
1件削除	Del
保護/解除	Alt+L
再生	Enter

■ 伝言メモ・音声メモ再生画面のキー操作

削除	Del
保護/解除	Alt+L
停止	Enter
音量を上げる	▲
音量を下げる	▼
次のメモを再生	▶
前のメモを再生	◀

■ 伝言メモリスト・音声メモリスト画面のメニュー操作

[1件削除]▶[はい]

[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

マナーモード

電話から鳴る音を消す

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、切り替えることができます。

- マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、撮影開始音/停止音は鳴ります。

1 メインメニューで[設定]▶[マナーモード]

- 待受画面でAlt+7でも操作できます。

2 設定を選ぶ

- 設定の確認:設定にカーソルを合わせる▶[詳細]

- マナーモードを設定すると、伝言メモが有効になります。
  伝言メモの応答時間は応答時間設定に従います。ただし、ドライブマナーに設定した場合は応答時間が約3秒に設定されます。
- マナーモード中はメディアプレーヤーの音は鳴りません。ただし、マナーモード設定後にメディアプレーヤーの音量を変更した場合は、マナーモードを解除しなくても設定した音量で動作します。

ワンタッチでマナーモードを設定／解除する

1 待受画面でAlt＋7（1秒以上）

- （1秒以上）▶［マナーモード］でも操作できます。
- 前回設定したマナーモードが設定されます。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02（別売）などを接続すると、スイッチを押して電話を受けることができます。

- イヤホンマイク端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、操作音はイヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの通話音量は通話音量調節（☞P.50）で設定されている音量で聞こえます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しくはたらかないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。
- 通話中にプラグの差し込みが不完全なときは「プー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れたときや操作したときに「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する

2 電話がかかってきたら、スイッチを押す

- 通話中にスイッチを押すたびに、マイクのON／OFFが切り替わります。

3 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

- 着信音が鳴ってから接続すると、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。

イヤホン種類

イヤホンの種類を設定する

平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02（別売）などを接続しているときは、イヤホン種類を［マイクあり］に設定するとイヤホン側のマイクを利用することができます。

1 メインメニューで［設定］▶［音･バイブ･ランプ］▶［イヤホン設定］▶［イヤホン種類］

2 種類を選ぶ

- マイクのないイヤホンを接続する場合は、［マイクなし］に設定してください。

オート着信

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02（別売）などを接続しているときに、かかってきた音声電話を自動的に受けるように設定できます。

1 メインメニューで［設定］▶［音･バイブ･ランプ］▶［イヤホン設定］▶［オート着信］

2 着信時間を設定▶［設定］

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末の電話帳に、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

- 他のFOMA端末でFOMAカード電話帳に登録した連絡先も、データを読み込んで利用することができます（☞P.63）。ただし、本FOMA端末でFOMAカード電話帳に新規登録したり、FOMAカード電話帳の内容を編集、削除することはできません。

■ 1件の電話帳に登録できる内容

項　目	内　容
画像	発信時や電話帳確認時に表示するデータを登録します。
名前	名前を入力します。
よみ	ふりがなを入力します。
メモ	メモを登録できます。
電話番号	電話番号を登録できます。電話番号は6種類のアイコンで分類できます。
グループ設定	グループに分けて登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを登録できます。メールアドレスは4種類のアイコンで分類できます。
チャットアドレス	チャットアドレスを登録できます。チャットアドレスは8種類のアイコンで分類できます。
住所	住所を登録できます。住所は4種類のアイコンで分類できます。
勤務先	勤務先名や所属、役職を登録できます。勤務先は3種類のアイコンで分類できます。
GPS	位置情報を登録できます。
誕生日	誕生日を登録できます。
音声着信	電話がかかってきたときに、専用の着信音やランプ色、ランプパターン、バイブパターンで相手を識別できます。
メール受信	お買い上げ時にインストールされているメールアプリケーションでメールを受信したときに、専用の受信音やランプ色、ランプパターン、バイブパターンで相手を識別できます。

電話帳登録

電話帳に登録する

1 メインメニューで[電話帳]▶[新規登録]



電話帳編集画面

2 項目の入力／選択▶[保存]▶[はい]

■ 項目の入力／選択方法

名前、電話番号、メールアドレス、チャットアドレス、住所のいずれかのみでも登録できます。

画像を選択／撮影する

画像表示欄を選ぶ▶項目を選ぶ

- ◆ [カメラ]▶静止画を撮影
- ◆ [コンテンツマネージャー]▶画像を選ぶ
- ◆ [OFF]
  - ・すでに設定された画像がある場合、設定を解除します。

名前を入力する

名前入力欄を選ぶ▶名前を入力

ふりがなを入力する

ふりがな入力欄を選ぶ▶ふりがなを入力

- 名前を入力すると自動的に入力されます。

メモを登録する

[メモ]欄を選ぶ▶メモを入力

電話番号と電話番号種別を登録する

1. [電話番号]欄を選ぶ ▶ 電話番号を入力
   - [電話番号]欄を追加:電話番号の[ ]
   - 電話番号を削除:削除する電話番号の[ ]
   - 通常使用する電話番号に設定:通常使用する電話番号の[ ]
2. 電話番号種別アイコンを選ぶ ▶ 電話番号種別を選ぶ
   - [カスタム...]を選ぶと、任意のテキストを入力して登録できます。

グループを設定する

[グループ設定]欄を選ぶ ▶ グループを選ぶ ▶ [設定]

- グループを登録していないときは、グループを設定できません。

メールアドレスとメールアドレス種別を登録する

1. [メールアドレス]欄を選ぶ ▶ メールアドレスを入力
   - [メールアドレス]欄を追加:メールアドレスの[ ]
   - メールアドレスを削除:削除するメールアドレスの[ ]
   - 通常使用するメールアドレスに設定:通常使用するメールアドレスの[ ]
2. メールアドレス種別アイコンを選ぶ ▶ メールアドレス種別を選ぶ
   - [カスタム...]を選ぶと、任意のテキストを入力して登録できます。

チャットアドレスとチャットアドレス種別を登録する

1. [チャットアドレス]欄を選ぶ ▶ チャットアドレスを入力
   - [チャットアドレス]欄を追加:チャットアドレスの[ ]
   - チャットアドレスを削除:削除するチャットアドレスの[ ]
2. チャットアドレス種別アイコンを選ぶ ▶ チャットアドレス種別を選ぶ

住所を登録する

1. [住所]欄を選ぶ ▶ 住所を入力
   - [住所]欄を追加:住所の[ ]
   - 住所を削除:削除する住所の[ ]
2. 住所種別アイコンを選ぶ ▶ 住所種別を選ぶ
   - [カスタム...]を選ぶと、任意のテキストを入力して登録できます。

勤務先を登録する

1. [勤務先]欄を選ぶ ▶ 勤務先を入力
   - 所属を入力:[所属]欄を選ぶ ▶ 所属を入力
   - 役職を入力:[役職]欄を選ぶ ▶ 役職を入力
   - [勤務先]欄を追加:勤務先の[ ]
   - 勤務先を削除:削除する勤務先の[ ]
2. 勤務先種別アイコンを選ぶ ▶ 勤務先種別を選ぶ
   - [カスタム...]を選ぶと、任意のテキストを入力して登録できます。

GPS情報を登録する

[GPS]欄を選ぶ ▶ GPS情報を登録

- 現在地を測位してGPS情報を登録:[現在位置を取得] ▶ [OK]
  - [地図]を選ぶと、測位した位置情報の地図を表示します。
- 現在地測位の履歴からGPS情報を登録:[位置履歴から] ▶ 履歴を選ぶ
  - 履歴にカーソルを合わせて[詳細]を選ぶと、履歴の測位日時や緯度、経度を確認できます。
- 登録しているGPS情報を更新:[更新]
- 登録しているGPS情報を削除:[削除] ▶ [はい]
- 登録しているGPS情報からGoogleマップを表示:[GoogleMap表示]

誕生日を登録する

[誕生日]欄を選ぶ ▶ 誕生日を入力 ▶ [設定]

- 1900年1月1日～2100年12月31日まで入力できます。
- 誕生日を削除:誕生日の[ ]

音声着信について設定する

[音声着信]欄の各項目を設定する

- 着信音を設定:[ ]欄を選ぶ ▶ 着信音を選ぶ
- ランプ色を設定:[ ]欄を選ぶ ▶ ランプ色を選ぶ
- ランプパターンを設定:[ ]欄を選ぶ ▶ ランプパターンを選ぶ
- バイブパターンを設定:[ ]欄を選ぶ ▶ バイブパターンを選ぶ

メール受信について設定する

[メール受信]欄の各項目を設定する

- 着信音を設定:[ ]欄を選ぶ ▶ 着信音を選ぶ
- ランプ色を設定:[ ]欄を選ぶ ▶ ランプ色を選ぶ
- ランプパターンを設定:[ ]欄を選ぶ ▶ ランプパターンを選ぶ
- バイブパターンを設定:[ ]欄を選ぶ ▶ バイブパターンを選ぶ

次ページへ続く ▶▶

画像について
- JPEG、PNG、GIF、BMP形式の画像を登録できます。
- GIFアニメーションを設定したとき、電話帳の画像は、最初の１コマ目が表示されます。

グループの設定について
- グループ設定については☞P.58

GPSについて
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしておいてください（☞P.114）。

着信音／着信ランプについて
- 着信音、着信ランプの設定方法については☞P.212

グループ新規登録

グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、アイコン、着信音や着信ランプを設定することができます。

1 メインメニューで［電話帳］

2 グループ検索画面でタブにカーソルを合わせる▶MENU▶［グループ新規登録］
- グループ検索画面については☞P.59

3 項目の入力／選択▶［保存］▶［はい］

■ 項目の入力／選択方法

アイコンを選択する
　アイコン表示欄を選ぶ▶グループアイコンを選ぶ

グループ名を入力する
　［グループ名］欄にカーソルを合わせる▶グループ名を入力

音声着信について設定する
- 音声着信を設定する方法については☞P.56

メール受信について設定する
- メール受信を設定する方法については☞P.56

音声着信、メール受信の設定について
- 個別の電話帳で音声着信、メール受信について設定されている場合は、個別の電話帳の設定が優先されます。
- １つの電話帳が複数のグループに設定されている場合は、電話帳一覧画面（グループ検索）で上に表示されているグループの設定が優先されます。

グループに電話帳を登録する＜ユーザー登録＞

1 グループ検索画面でタブにカーソルを合わせる▶MENU▶［グループ編集］▶［ユーザー登録］

2 名前を選ぶ▶［保存］

グループの設定を修正する＜グループ情報編集＞

1 グループ検索画面でタブにカーソルを合わせる▶MENU▶［グループ編集］▶［グループ情報編集］

2 内容を修正▶［保存］▶［はい］

グループを並べ替える＜グループ並べ替え＞

1 グループ検索画面でグループにカーソルを合わせる▶MENU▶［グループ編集］▶［グループ並べ替え］

2 移動先を選ぶ▶［設定］

グループを削除する＜グループ削除＞

● グループを削除しても、登録されている電話帳は削除されません。

1 グループ検索画面でタブにカーソルを合わせる ▶ (MENU) ▶ [グループ削除]

2 削除方法を選ぶ

◆ **[1件削除]**
◆ **[選択削除] ▶ グループを選ぶ ▶ [実行]**
◆ **[全件削除] ▶ ロックNo.を入力 ▶ [OK]**

3 [はい]

電話帳検索

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。

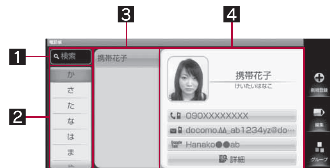
● 次の2種類の方法で電話帳を検索できます。

ヨミ検索	電話帳に登録したふりがなによって、名前の読み方(50音の行と英数記)ごとに表示されます。名前の読み方で検索できます。 ● 英数記のタブでは、よみなし→スペース→記号→数字→英字の順で表示されます。
グループ検索	電話帳登録時に指定したグループごとに表示されます。グループで検索できます。

1 メインメニューで[電話帳]

2 名前にカーソルを合わせる

• 検索方法の切替:[グループ]/[ヨミ]



ヨミ検索



グループ検索

1 検索エリア
● 文字を1文字ずつ入力して、最も近い電話帳を順次表示できます。

2 タブ
● ヨミ検索では50音の行と英数記のタブが、グループ検索では登録されているグループ名のタブが表示されます。

3 リスト
● 選択しているタブに該当する電話帳が一覧表示されます。

4 簡易表示
● 電話帳に登録した内容が、一部表示されます。
● [詳細]を選ぶと電話帳に登録した項目がすべて表示されます。項目を選ぶと利用可能な機能が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

3 電話番号を選ぶ▶発信方法を選ぶ

◆［音声電話］
◆［編集して発信］▶電話番号を編集▶［発信］
◆［SMS作成］▶SMSを作成・送信
◆［特番付加発信］▶［184付加］／［186付加］▶［発信］
◆［日本へ発信］
・海外でご利用時のみ表示されます。電話番号の先頭に「+81」を付加します。

■ 電話帳画面のキー操作

検索方法の切替	Alt ＋ T
新規登録	MENU ＋ N
電話帳の編集	MENU ＋ E
グループ新規登録※1	MENU ＋ G
グループに電話帳を登録※1	MENU ＋ U
グループ情報の編集※1	Shift ＋ E
グループの並べ替え※1	MENU ＋ R
1件削除※2	Del
選択削除※3	Shift ＋ Del
全件削除※3	Shift ＋ Alt ＋ Del
スピードダイヤル／メール設定	Shift ＋ Alt ＋ S
電話帳制限※4	MENU ＋ L
メモリ登録件数表示※5	MENU ＋ K
1件赤外線送信※6	MENU ＋ I
選択赤外線送信※7	Shift ＋ I
全件赤外線送信※7	Shift ＋ Alt ＋ I
1件Bluetooth送信※6	MENU ＋ B
選択Bluetooth送信※7	Shift ＋ B
全件Bluetooth送信※7	Shift ＋ Alt ＋ B
1件メール添付※6	MENU ＋ J
選択メール添付※7	Shift ＋ J
全件メール添付※7	Shift ＋ Alt ＋ J
音声電話※6	Alt ＋ D
編集して発信※6	Shift ＋ Alt ＋ D
SMS作成※6	Alt ＋ M
特番付加発信※6	Shift ＋ D
メール作成※6	MENU ＋ M
チャット開始※8	MENU ＋ C

※1 グループタブ選択中のみ操作できます。
※2 グループタブ、リスト、簡易表示選択中のみ操作できます。
※3 グループタブ、リスト選択中のみ操作できます。
※4 タブ、リスト選択中のみ操作できます。
※5 タブ選択中のみ操作できます。
※6 リスト、簡易表示選択中のみ操作できます。
※7 リスト選択中のみ操作できます。
※8 簡易表示選択中のみ操作できます。

■ 電話帳表示画面（タブ選択中）のメニュー操作

［新規登録］	☞P.56
［編集］	☞P.62
［グループ新規登録］（グループ検索のみ）	☞P.58
［グループ編集］（グループ検索のみ）	
▶［ユーザー登録］	☞P.58
▶［グループ情報編集］	☞P.58
▶［グループ並べ替え］	☞P.58
［グループ削除］（グループ検索のみ）	☞P.59
［スピードダイヤル／メール設定］	☞P.62
［電話帳制限］ ● 以降の操作については☞P.70「電話帳の利用を制限する」の操作2へ	
［メモリ登録件数］ ● 電話帳の登録件数が確認できます。	
［連絡先をインポート］	☞P.63

電話帳

■ 電話帳表示画面（リスト選択中）のメニュー操作

- 次の機能については、電話帳表示画面（タブ選択中）のメニュー操作（☞P.60）を参照してください。
  ■ 新規登録　■ 編集　■ 電話帳制限　■ 連絡先をインポート

[削除]	☞P.62
[赤外線送信]	☞P.178
[Bluetooth送信]	☞P.225
[メールへ添付]	
▶[1件添付]▶画面に従って操作▶メールを作成・送信	
▶[選択添付]▶名前を選ぶ▶[実行]▶画面に従って操作▶メールを作成・送信	
▶[全件添付]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶画面に従って操作▶メールを作成・送信	
[電話番号メニュー] ● 以降の操作については☞P.60「電話帳から電話をかける」の操作3へ	
[メール作成]▶メールを作成・送信	

[赤外線送信]、[Bluetooth送信]について
- 全件送信するとプロフィールも送信されます。

■ 電話帳表示画面（簡易表示選択中）のメニュー操作

- 次の機能については、電話帳表示画面（タブ選択中）のメニュー操作（☞P.60）を参照してください。
  ■ 新規登録　■ 編集
- 次の機能については、電話帳表示画面（リスト選択中）のメニュー操作（☞P.61）を参照してください。
  ■ 電話番号メニュー　■ メール作成

[1件削除]▶[はい]
[赤外線1件送信]▶画面に従って操作
[Bluetooth 1件送信]▶画面に従って操作
[メール1件添付]▶画面に従って操作▶メールを作成・送信
[チャット開始] ● チャットの詳細については☞P.102

■ 電話帳詳細表示画面のメニュー操作

- 次の機能については、電話帳表示画面（簡易表示選択中）のメニュー操作（☞P.61）を参照してください。
  ■ 1件削除　■ 赤外線1件送信　■ Bluetooth 1件送信
  ■ メール1件添付　■ チャット開始

[GPSメール作成]（GPS情報のみ）▶メールを作成・送信	
[GoogleMap表示]（住所、GPS情報のみ）	
[新規登録]	☞P.56
[編集]	☞P.62
[電話番号メニュー] ● 以降の操作については☞P.60「電話帳から電話をかける」の操作3へ	
[メール作成]▶メールを作成・送信	

[GPSメール作成]について
- メール本文に緯度、経度をあらわすURLが挿入されます。位置情報URLも文字数にカウントされます。

電話帳

電話帳編集

電話帳を修正する

電話帳に登録／設定した内容を、項目ごとに編集できます。

1 メインメニューで[電話帳]▶名前にカーソルを合わせる▶[編集]

2 電話帳を修正▶[保存]▶[はい]

電話帳削除

電話帳を削除する

1 メインメニューで[電話帳]▶名前にカーソルを合わせる▶MENU▶[削除]

2 削除方法を選ぶ

- ◆ [1件削除]
- ◆ [選択削除]▶名前を選ぶ▶[実行]
- ◆ [全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]

3 [はい]

スピードダイヤル／スピードメール

少ないキー操作で電話発信やメール送信をする

スピードダイヤル／スピードメールに電話帳を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールやSMSを作成して送信することができます。

- 電話帳は20件まで登録できます。

スピードダイヤル／スピードメールに登録する <スピードダイヤル／メール設定>

1 メインメニューで[電話帳]▶タブにカーソルを合わせる▶MENU▶[スピードダイヤル／メール設定]

2 設定する番号を選ぶ

3 名前を選ぶ

- 上書きするとき：名前を選ぶ▶[はい]

■ スピードダイヤル／スピードメール一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[編集]	編集
[1件解除]	1件解除

■ スピードダイヤル／スピードメール一覧画面のキー操作

1件解除	Del
選択解除	Shift＋Del
全件解除	Shift＋Alt＋Del

■ スピードダイヤル／スピードメール一覧画面のメニュー操作

[1件解除]▶[はい]	
[選択解除]▶解除する番号を選ぶ▶[実行]▶[はい]	
[全件解除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]	

スピードダイヤル／スピードメールを利用する

1 メインメニューで[電話]

2 1～20の番号を入力

3 機能を選ぶ

- 音声電話：[発信]
- メール送信：MENU▶[発信]▶[メール作成]▶メールを作成・送信
  - MENU＋M▶メールを作成・送信でも操作できます。
- SMS送信：MENU▶[発信]▶[SMS作成]▶SMSを作成・送信

連絡先をインポート

FOMAカード電話帳の連絡先を利用する

他のFOMA端末でFOMAカード電話帳に登録した連絡先を読み込んで利用することができます。

1 メインメニューで[電話帳]▶MENU▶[連絡先をインポート]

2 名前を選ぶ▶[保存]

- すべて読み込む：[MENU]▶[すべてインポート]
- 編集して保存：名前を選ぶ▶項目の入力／選択▶[保存]▶[はい]

vCard形式のファイルを電話帳に登録する

例：コンテンツマネージャーから登録するとき

1 コンテンツマネージャー画面でvCard形式のファイルを選ぶ▶MENU

2 登録方法を選ぶ

◆ [1件登録]
◆ [選択登録]▶名前を選ぶ▶[実行]
◆ [全件登録]

3 [はい]

- 表示できるデータは次のいずれかの内容が登録されたデータです。読み込んだリストの中に表示できないデータが含まれていた場合は、直前のデータまで表示されます。
  - ■ 名前　■ 電話番号　■ メールアドレス
  - ■ チャットアドレス　■ 住所
- シークレット設定されたデータも表示されます。
- 登録中にFOMA端末のメモリの空き容量がなくなったときは、登録を中止します。

■ vCard表示画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[1件登録]	1件登録※1
[全件登録]	全件登録※2

※1　詳細表示選択中のみ操作できます。
※2　リスト選択中のみ操作できます。

■ vCard表示画面のキー操作

1件登録	MENU＋A
選択登録※	Shift＋A
全件登録※	Shift＋Alt＋A

※ リスト選択中のみ操作できます。

■ vCard表示画面（リスト選択中）のメニュー操作

[1件登録] ☞P.63

[選択登録] ☞P.63

[全件登録] ☞P.63

■ vCard表示画面（詳細表示選択中）のメニュー操作

[1件登録] ☞P.63

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

お買い上げ時の状態に戻す

その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用のロックNo.のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- ロックNo.(各種機能用の暗証番号)、PINコード入力時は、[＊]や[･]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までご相談ください。

ロックNo.(各種機能用の暗証番号)

ロックNo.は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(☞P.67)。

- 間違ったロックNo.を入力したときは、[ロックNo.が違います]と表示されます。正しいロックNo.を入力してください。
- ロックNo.の入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ・スマートフォン・ケアでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

- 「My docomo」については、取扱説明書の裏表紙の裏面をご覧ください。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。これらの暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(☞P.69)。

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。

※ 本FOMA端末ではPIN2コードは利用できません。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとFOMAカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

ロックNo.

ロックNo.を変更する

ロックNo.(４～８桁の数字)を変更できます。

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[ロック解除パターン変更]▶[ロックNo.]

2 ロックNo.を入力▶[OK]

3 新しいロックNo.を入力▶[OK]

4 もう一度、新しいロックNo.を入力▶[確認]

5 [確認]

ロック解除方法

ロック解除方法を変更する

■ ロック解除方法を指リストパターンへ変更する

指リストパターンは、垂直、水平、あるいは対角線方向に画面をタッチしたままスライドし、４つ以上のドットを結んでロックの設定／解除を行います。



1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[ロック解除方法]▶[指リスト]

2 ロックNo.を入力▶[OK]

- はじめて指リストパターンを設定するときは、携帯電話の保護画面が表示されます。画面に従って操作してください。

3 指リストパターンを入力▶[次へ]

- ヘルプを表示：MENU
  - ・ヘルプ表示を終了：[OK]

4 もう一度指リストパターンを入力

- 入力をやり直す：[やり直す]

5 [確認]

■ ロック解除方法をロックNo.へ変更する

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[ロック解除方法]▶[ロックNo.]

2 指リストパターンを入力

3 ロックNo.を入力▶[OK]

4 もう一度ロックNo.を入力▶[確認]

5 [確認]

- ロックNo.は４～８桁の数字で入力できます。

指リストパターン

指リストパターンについて設定する

- 指リストパターンについて設定する場合は、あらかじめロック解除方法を［指リスト］に設定しておいてください（☞P.67）。

指リストパターンを変更する

1 メインメニューで［設定］▶［セキュリティ&位置情報］▶［ロック解除パターン変更］▶［指リスト］
2 指リストパターンを入力
3 新しい指リストパターンを入力▶［次へ］
4 もう一度指リストパターンを入力
5 ［確認］

指リストパターンを実行する

1 指リストパターン認証画面で、登録した指リストパターンを入力

- 指リストパターンの入力に５回続けて失敗すると、30秒間入力ができなくなります。

指リストパターン入力時の軌跡を線で表示する ＜指の軌跡を線で表示＞

1 メインメニューで［設定］▶［セキュリティ&位置情報］
2 ［指の軌跡を線で表示］
   - 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

入力時のバイブレーションを設定する ＜入力時のバイブレーション＞

1 メインメニューで［設定］▶［セキュリティ&位置情報］
2 ［入力時のバイブレーション］
   - 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

PINコード設定

PINコードを設定する

- 日本国内では、PINコードの入力画面やPINロック解除コードの入力画面、またFOMAカードが完全にロックされた状態では、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定する＜入力要否設定＞

- 解除するときも、同様の操作となります。

1 メインメニューで［設定］▶［セキュリティ&位置情報］▶［PINコード設定］▶［入力要否設定］
2 PINコードを入力▶［OK］

- 設定はFOMAカードに保存されます。

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

入力要否設定を有効にすると、電源を入れたときに、PINコードの入力画面が表示されます。

1 PINコードの入力画面でPINコードを入力▶［OK］

PINコードを変更する<PINコード変更>

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[PINコード設定]▶[PINコード変更]

2 現在のPINコードを入力▶[OK]

3 新しいPINコードを入力▶[OK]▶もう一度、新しいPINコードを入力▶[OK]

- 設定はFOMAカードに保存されます。
- 入力要否設定が無効の場合は、PINコードを変更できません。

PINロックを解除する

1 PINロック中画面で[緊急通報]

2 「＊＊05＊」を入力▶PINロック解除コードを入力▶「＊」を入力▶新しいPINコードを入力▶「＊」を入力▶もう一度、新しいPINコードを入力▶「#」を入力

- PINロック解除コードが「88888888」で、PINコードを「7777」に変更する場合は、「**05*88888888*7777*7777#」を入力します。

パスワードを表示

入力時のパスワード表示を設定する

パスワードを入力する際、[•]が表示される前に入力した数字を表示させることができます。

- 次のパスワードを入力するときに設定が反映されます。
  - ■ PINコード
  - ■ Wi-Fi接続時のパスワード
  - ■ 認証情報ストレージパスワード

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]

2 [パスワードを表示]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

各種ロック機能

電話帳の呼び出し、登録、削除や発信などの機能を制限できます。

ロック機能	動作・制限内容	ページ
クローズロック	FOMA端末の開閉や電源のON／OFFに応じて、FOMA端末をロックします。	P.69
電話帳制限	電話帳を利用できないようにします。	P.70
音声発信制限	緊急通報番号（110番、119番、118番）以外への発信ができないようにします。	P.70
電波OFFモード	電話やメールなど、通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。	P.70

クローズロック

FOMA端末を閉じたときにロックする

FOMA端末の開閉などに応じて、FOMA端末をロックします。

- 次のときにFOMA端末をロックします。
  - ■ FOMA端末を閉じたとき
  - ■ 電源を入れたとき
  - ■ バックライトが消灯したとき
- クローズロック設定中は、次の機能のみ利用できます。
  - ■ 電源ON／OFF
  - ■ 緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信
  - ■ 着信への応答

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[クローズロック]

2 ロックNo.を入力▶[OK]

クローズロックを解除する

- クローズロック中にロック解除画面でロックNo.を入力▶[OK]

Googleアカウントにログインしてクローズロックを解除する

クローズロックの解除に5回連続で失敗した場合、Googleアカウントにログインしてロックを解除することができます。

- あらかじめ、Googleアカウントを設定してください。

1 ロック解除画面で[忘れた場合]

2 [ユーザー名(メール)]▶ユーザー名を入力

3 [パスワード]▶パスワードを入力

4 [ログイン]

- クローズロックが解除され、ロックNo.が初期化されます。ロックNo.を再度登録してください。

電話帳制限

電話帳の利用を制限する

電話帳からの発信や、電話帳の編集ができないようにします。

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[機能制限]▶[電話帳制限]

2 ロックNo.を入力▶[OK]

- 解除方法は、設定時の操作と同様です。

- 電話帳制限を設定すると、発着信時やリダイヤル／着信履歴などに、電話帳に登録した内容(名前など)が表示されません。
- 電話帳制限中に電話帳を利用する場合、ロックNo.を入力すると一時的に電話帳制限を解除できます。

音声発信制限

発信を禁止する

緊急通報番号(110番、119番、118番)以外への発信ができないようにします。

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[機能制限]▶[音声発信制限]

2 ロックNo.を入力▶[OK]

- 解除方法は、設定時の操作と同様です。

- 音声発信制限中に音声発信を利用する場合、ロックNo.を入力すると一時的に音声発信制限を解除できます。

電波OFFモード

電波OFFモードを利用する

電話やメールなど、通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。

- PINコード設定の入力要否設定が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
  入力要否設定が無効の場合は、電波OFFモード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、電波OFFモードが無効になり、発信を行います。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]

2 [電波OFFモード]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
  - PINコード設定の入力要否設定が有効の場合は、電波OFFモードを無効にする際にPINコードの入力が必要です。

あんしん設定

指定着信拒否

指定した電話番号からの電話だけを受けない

指定した相手からの着信だけ受けないように設定できます。

- 相手が電話番号を通知してきたときのみ有効です。非通知理由別着信拒否をあわせて設定することをおすすめします。
- SMSは、この機能に関係なく受信されます。

着信を拒否する電話番号を登録する

指定着信拒否のリストには、20件まで登録できます。

1 **メインメニューで[設定]▶[通話]▶[着信拒否]**

2 **ロックNo.を入力▶[OK]▶[指定番号]にカーソルを合わせる▶[編集]**

3 **[新規登録]**

- 登録済みの電話番号を変更:電話番号にカーソルを合わせる▶[変更]▶[はい]
- 登録済みの電話番号を削除:電話番号にカーソルを合わせる▶[削除]▶削除方法を選ぶ▶[はい]

4 **電話番号の入力方法を選ぶ**

◆ **[電話帳引用]▶電話番号を選ぶ**
◆ **[直接入力]▶電話番号を入力▶[完了]**

着信の拒否を有効にする

1 **メインメニューで[設定]▶[通話]▶[着信拒否]**

2 **ロックNo.を入力▶[OK]▶[指定番号]**

3 **設定を選ぶ**

- 拒否メッセージを確認する:メッセージにカーソルを合わせる▶[再生]
- 着信の拒否を無効にする:[OFF]

■ **拒否メッセージ再生画面のタッチパネル操作**

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[停止]	停止

■ **拒否メッセージ再生画面のキー操作**

停止	Alt+S
音量を上げる	▲
音量を下げる	▼

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号が通知されない着信があったとき、非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 非通知理由には次の種類があります。内容については☞P.49
  - ■ 非通知 ■ 公衆電話 ■ 通知不可能
- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきたとき、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由のときはつながります。
- SMSは、この機能に関係なく受信されます。

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[着信拒否]

2 ロックNo.を入力▶[OK]

3 非通知理由の種類を選ぶ

4 設定を選ぶ

- 拒否メッセージを確認する：メッセージにカーソルを合わせる▶[再生]
- 拒否メッセージ再生画面の操作については☞P.71
- 着信の拒否を無効にする：[OFF]

電話帳登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手から電話がつながらないように設定できます。

- 相手が発信者番号を通知しているときのみ有効です。
- SMSは、この機能に関係なく受信されます。

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[着信拒否]

2 ロックNo.を入力▶[OK]▶[電話帳登録外]

3 設定を選ぶ

- 拒否メッセージを確認する：メッセージにカーソルを合わせる▶[再生]
- 拒否メッセージ再生画面の操作については☞P.71
- 相手の用件を録音する：[伝言メモ録音]
  - ・未再生の伝言メモが10件録音されている場合は伝言メモを録音できないため、[無応答切断]と同じ動作となります。
- 着信の拒否を無効にする：[OFF]

着信履歴保存

着信拒否した相手からの着信履歴を保存する

着信を拒否に設定している相手からの電話を着信履歴に記憶するように設定できます。

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[着信拒否]

2 ロックNo.を入力▶[OK]

3 [着信履歴保存]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

ネットワークセキュリティを設定する

安全な認証情報を使用する<安全な認証情報を使用する>

● あらかじめ認証情報ストレージパスワードを設定しておいてください（☞P.73）。

1 **メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]**

2 **[安全な認証情報を使用する]▶認証情報ストレージパスワードを入力▶[OK]**

- 無効にするとき：[安全な認証情報を使用する]

認証情報ストレージパスワードを設定する<パスワードの設定>

● 認証情報ストレージパスワードは、8文字以上で設定してください。

1 **メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[パスワードの設定]**

2 **[新しいパスワード]欄にカーソルを合わせる▶新しいパスワードを入力**

3 **[新しいパスワードの確認]欄にカーソルを合わせる▶もう一度、新しいパスワードを入力▶[OK]**

ストレージをクリアする<ストレージをクリアする>

すべての認証情報を削除して、認証情報ストレージパスワードをリセットします。

1 **メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]▶[ストレージをクリアする]▶[OK]**

FOMA端末や設定内容をリセットする

設定をリセットする<設定リセット>

アプリケーションの[設定]でお客様が設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

● お買い上げ時の状態については☞P.256

1 **メインメニューで[設定]▶[リセット]▶[設定リセット]▶[はい]**

2 **ロックNo.を入力▶[OK]**

- PINコード設定の入力要否設定が有効の場合は、設定リセットのあとにPINコードの入力が必要です。

FOMA端末を初期化する<オールリセット>

お客様が登録されたデータの削除や設定内容のリセットを行います。
また、Droidget対応のウィジェットも削除されます。

1 **メインメニューで[設定]▶[リセット]▶[オールリセット]▶[はい]**

2 **ロックNo.を入力▶[OK]▶[携帯電話をリセット]▶[すべて消去]**

- FOMA端末を再起動し、初期化を行います。

電源／終話キーの設定をリセットする <終話キー設定初期化>

ダウンロードしたアプリケーションなどを利用して電源／終話キーの機能を変更した場合に、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[終話キー設定初期化]▶[はい]

FOMA端末をリセットする

データが正常に表示されなかったり、正しく操作できないなどの異常が発生した場合は、FOMA端末をリセットしてください。

1 リアカバーを取り外す

2 細い棒などでRESETボタンを2秒以上押す

- FOMA端末が再起動します。

- 編集中のデータは削除される場合があります。保存されているデータは削除されません。
- microSDカード利用中、データの保存中はリセットしないでください。

その他の「あんしん設定」

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用できます。

機能／サービス名称	目　的	参照先
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない。	P.243
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい。	P.281

メール

メールメイン画面を表示する

1 メインメニューで[メール]

- 未開封メールがある場合は、受信ボックスに件数が表示されます。
- 送信に失敗したメールがある場合は、未送信ボックスに件数が表示されます。
- メール機能制限を設定している場合は、ロックNo.の入力画面が表示されます。ロックNo.を入力すると一時的にロックが解除されます。

■ メールメイン画面のメニュー操作

[並べ替え]	☞P.76
[並べ替えリセット]▶[はい]	
[件数表示設定]▶設定を選ぶ ● 受信ボックス、未送信ボックスに表示される件数について設定できます。 ● SMSの件数のみ表示するときは、[ケータイメールのみ]を選びます。	

メールメイン画面のメニューを並べ替える <並べ替え>

1 メールメイン画面で移動したいメニューにカーソルを合わせる▶MENU▶[並べ替え]

2 移動先を選ぶ

アカウント設定

PCメールのアカウントを設定する

● アカウントは3件まで登録できます。

1 メールメイン画面で[設定]▶[PCメール設定]▶[アカウント設定]

2 登録先を選ぶ

- 新規に登録：[<未登録>]
- アカウントの変更：変更するアカウントを選ぶ
- アカウントの削除：削除するアカウントにカーソルを合わせる▶[削除]▶[はい]

3 [表示名設定]▶表示名を入力▶[OK]

- 全角・半角20文字まで入力できます。

4 [受信設定]

5 項目の入力／選択

◆ **[ユーザー名]▶ユーザー名を入力▶[OK]**
・半角128文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

◆ **[パスワード]▶パスワードを入力▶[OK]**
・半角32文字まで入力できます。

◆ **[受信メールサーバー]▶サーバーアドレスを入力▶[OK]**
・半角128文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

◆ **[ポート番号(1～65535)]▶ポート番号を入力▶[OK]**
・1～65535の数値を入力します。

◆ **[受信認証方式]▶認証方式を選ぶ**

◆ **[セキュリティ(SSL)]**
・選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[メールをサーバーに残す]**
・選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

6 [戻る]

7 [送信設定]

8 **項目の入力／選択**

◆ **[送信者名] ▶ 送信者名を入力 ▶ [OK]**
・全角・半角20文字まで入力できます。

◆ **[メールアドレス] ▶ メールアドレスを入力 ▶ [OK]**
・半角128文字（半角英数字と記号）まで入力できます。

◆ **[送信メールサーバー] ▶ サーバーアドレスを入力 ▶ [OK]**
・半角128文字（半角英数字と記号）まで入力できます。

◆ **[ポート番号（1～65535）] ▶ ポート番号を入力 ▶ [OK]**
・1～65535の数値を入力します。

◆ **[送信認証方式] ▶ 認証方式を選ぶ**
・[SMTP認証]を選んだ場合、以降の操作については☞P.77「SMTP認証を設定する」の操作2へ

◆ **[セキュリティ（SSL）]**
・選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[返信先アドレス] ▶ アドレスを入力 ▶ [OK]**
・半角128文字（半角英数字と記号）まで入力できます。
・アドレスを入力済みの場合は、選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
・アドレスを入力済みの場合にアドレスを編集：[返信先アドレス]にカーソルを合わせる ▶ [編集] ▶ アドレスを編集 ▶ [OK]

9 **[戻る]**

10 **[完了] ▶ [OK]**

● SSLの設定を変更しても、ポート番号は自動で変更されません。メールサーバーの設定を参照して、変更してください。
● 最初に登録したアカウントが、自動的に優先して使用するアカウントとして登録されます。変更する場合は作成時優先アカウントを設定してください。
● アカウントを削除すると、削除したアカウントに届いたメールがすべて削除されます。保護されているメールがあるときは、アカウントを削除することはできません。

■ アカウント設定画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除

■ アカウント設定画面のキー操作

削除	Del

SMTP認証を設定する<SMTP認証>

1 **送信認証方式選択画面で[SMTP認証]**

2 **設定方法を選ぶ**
● [受信設定を利用する]を選んだ場合、操作完了となります。

3 **[ユーザー名] ▶ ユーザー名を入力 ▶ [OK]**
● 半角128文字（半角英数字と記号）まで入力できます。

4 **[パスワード] ▶ パスワードを入力 ▶ [OK]**
● 半角32文字まで入力できます。

5 **[完了]**

■ 個別設定画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[編集]	編集
[完了]	完了

■ 個別設定画面のキー操作

完了	Alt＋S

Gmail、Yahoo!、mopera Uのアカウントを設定する

アカウントがGmail、Yahoo!、mopera Uのときは、簡単な登録でアカウントを設定できます。

1 アカウント設定画面で[PCメール簡単設定]

2 アカウントを選ぶ

3 [メールアドレス]▶メールアドレスを入力▶[OK]

- 半角128文字(半角英数字と記号)まで入力できます。
- メールアドレス入力時は、「@」以降の文字を省略できます。
- Gmail、Yahoo!のアカウントを設定している場合は、操作5へ

4 [ユーザー名]▶ユーザー名を入力▶[OK]

- 半角128文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

5 [パスワード]▶パスワードを入力▶[OK]

- 半角32文字まで入力できます。

6 [完了]▶[OK]

■ PCメール簡単設定画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[編集]	編集
[完了]	完了

■ PCメール簡単設定画面のキー操作

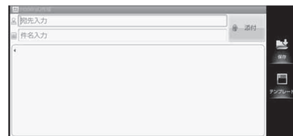
完了	Alt+S

PCメール作成

PCメールを作成して送信する

● あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(☞P.76)。

1 メールメイン画面で[PCメール作成]



メール作成画面

2 [👤]欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ

◆ **[電話帳引用]▶相手を選ぶ**

◆ **[送受信履歴引用]▶相手を選ぶ**

・シークレット設定中は表示されません。Q▶ロックNo.を入力▶[OK]で一時的に表示できます。

◆ **[メールグループ引用]▶P.80「メールグループを宛先に設定する」の操作2へ**

◆ **[プロフィール引用]▶宛先を選ぶ**

◆ **[直接入力]▶宛先を入力▶[OK]**

- [👤]欄にカーソルを合わせて、宛先や相手の名前を入力すると、送受信履歴や電話帳から自動的に検索して相手を表示します。相手を選ぶと宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力すると宛先を追加することができます。
- 宛先の追加:[👤]欄を選ぶ▶[👤]欄を選ぶ
  - ・宛先は30件まで設定できます。
- メール種別の変更:[👤]欄を選ぶ▶宛先にカーソルを合わせる▶MENU▶メール種別を選ぶ
- 宛先の編集:[👤]欄を選ぶ▶宛先を選ぶ▶宛先を入力▶[OK]
- 宛先の削除:[👤]欄を選ぶ▶宛先にカーソルを合わせる▶[削除]
- 電話帳に登録されている相手のときは、名前が表示されます。

3 [☰]欄にカーソルを合わせる▶件名を入力

- 件名に[↲](改行)は入力できません。

4 本文入力欄にカーソルを合わせる▶本文を入力

- 半角10000文字(約10Kバイト)まで入力できます。

5 [送信]

- 送信の中止:[中止]
  - ・タイミングにより送信されることがあります。

宛先の追加

同じ内容のメールを同時に最大30人の相手に送信(同報送信)できます。

To :送信相手の宛先です。[To]で指定したアドレスは他の送信相手に表示されます。

Cc :[To]宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。

Bcc:[Cc]と同じように第三者に知らせるときに使いますが、[Bcc]で指定したアドレスは、[To]や[Cc]の相手には表示されません。

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。
- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。
- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に削除されます。

■ メール作成画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[保存]	保存
[テンプレート]	テンプレート呼出
[送信]	送信

- 次のタッチ操作ができます。

すべて選択	本文をロングタッチ▶[すべて選択]
すべて切り取り/すべてコピー	本文をロングタッチ▶[すべて切り取り]/[すべてコピー]
選択範囲を切り取り/コピー	始点へ移動▶Shiftを押したまま終点へ移動▶選択した本文をロングタッチ▶[切り取り]/[コピー]
貼り付け	貼り付け位置をロングタッチ▶[貼り付け]
選択範囲を辞書検索	始点へ移動▶Shiftを押したまま終点へ移動▶選択した本文をロングタッチ▶[検索]▶辞書を選ぶ
入力方法の選択	本文をロングタッチ▶[入力方法]▶入力方法を選ぶ

■ 宛先一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除

■ 宛先一覧画面のキー操作

削除	Del

■ メール作成画面のメニュー操作

[送信]

[テンプレート呼出]▶テンプレートを選ぶ

[装飾解除](テンプレート利用中のみ)▶[はい]

[引用]▶引用先を選ぶ▶情報を選ぶ

[文字サイズ]▶サイズを選ぶ

[保存]

▶[テンプレート保存]

▶[新規保存]▶テンプレート名を入力▶[OK]

▶[上書保存]

▶[未送信ボックスへ保存]▶保存方法を選ぶ

[メール種別変更]

▶[SMSへ変更]▶[はい]▶[はい]
- 本文以外の情報は、削除されます。

▶[×××へ変更]▶[はい]
- 「×××」には、登録しているアカウントの表示名が表示されます。

[送信オプション]

▶[優先度]▶優先度を選ぶ

▶[返信先アドレス] ☞P.81

[ヘルプ]

[テンプレート保存]について
- テンプレート名は、全角・半角40文字まで入力できます。

[メール種別変更]について
- 宛先を入力後、PCメールをSMSに種別変更すると、宛先は削除されます。
- 宛先を入力後、SMSをPCメールに種別変更すると、入力されている電話番号をもとに電話帳検索を行い、登録されているメールアドレスに自動で設定します。
電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合、一番上に登録されているメールアドレスが設定されます。メールアドレスが登録されていない場合、宛先が削除されます。
- 本文を入力後、SMSをPCメールに種別変更すると、半角カタカナが全角カタカナに変換されます。

■ 送受信履歴一覧画面のメニュー操作

[1件削除]

[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[シークレット設定]/[シークレット解除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[OK]

[シークレット設定]、[シークレット解除]について
- シークレット設定を設定すると送受信履歴を利用できなくなります。

■ 宛先一覧画面のメニュー操作

[Toへ変更]

[Ccへ変更]

[Bccへ変更]

[1件削除]

[全件削除]▶[はい]

メールグループを宛先に設定する<メールグループ引用>

- あらかじめ、メールグループ(☞P.97)を登録してください。

1 メール作成画面で[👤]欄を選ぶ▶[メールグループ引用]

2 メールグループを選ぶ
- メールグループ登録されている相手を選ぶ:メールグループにカーソルを合わせる▶[表示]▶[グループ宛先追加]

■ メールグループ選択画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[表示]	メンバー表示

■ メンバー表示画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[グループ宛先追加]	グループ宛先追加

■ メールグループ選択画面のキー操作

メールグループの内容表示	MENU+P

■ メンバー表示画面のキー操作

グループ宛先追加	MENU+A

■ メールグループ選択画面のメニュー操作

[メンバー表示]

■ メンバー表示画面のメニュー操作

[グループ宛先追加]

返信先アドレスを設定する<返信先アドレス>

差出人アドレス以外のアドレスへメールを返信してもらいたいときに設定します。
- 設定した返信先アドレスはReply-TOとして作成中のメールに保存されます。

1 メール作成画面でMENU▶[送信オプション]▶[返信先アドレス]

2 [On／Off設定]▶[On]
- [Off]に設定したとき、または返信先アドレスがすでに登録済みのときは、操作完了となります。
- 返信先のアドレスを編集：[返信先アドレス]

3 アドレスを入力▶[OK]

- On／Off設定が[Off]のときは、返信先アドレスを編集できません。また、設定したアドレスを削除すると、On／Off設定は[Off]になります。

テンプレートを利用して作成する

テンプレートとは、レイアウトがすでに決められているメール用のひな形です。作成または送受信したメールをテンプレートとして保存できます。
- テンプレートは合計で200件まで保存できます。

1 メールメイン画面で[テンプレートボックス]

2 テンプレートを選ぶ

■ テンプレートボックス画面のタッチパネル操作
- 表示されるキーで次の操作ができます。

[プロパティ]	プロパティ表示
[プレビュー]	プレビュー表示
[選択]	テンプレートを選択

プレビュー画面
- 表示されるキーで次の操作ができます。

[前へ]	前のテンプレートを表示
[次へ]	次のテンプレートを表示
[選択]	テンプレートを選択

■ テンプレートボックス画面のキー操作

プレビュー表示	MENU＋V
タイトル名変更	MENU＋E
プロパティ表示	MENU＋P
1件削除	Del
全件削除	Shift＋Alt＋Del
前ページを表示	Shift＋□(スペース)
次ページを表示	□(スペース)
最初のテンプレートにカーソルを合わせる	Alt＋▲
最後のテンプレートにカーソルを合わせる	Alt＋▼

■ テンプレートボックス画面のメニュー操作

[プレビュー]

[タイトル名変更]▶タイトルを編集

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[並べ替え]▶並べ替え方法を選ぶ

[プロパティ]

[タイトル名変更]について
- 全角・半角40文字まで入力できます。

添付ファイル

ファイルを添付する

メールに静止画や動画などのデータを添付して送信できます。

- データは合計で最大500Kバイト、20個まで添付できます。
- テンプレートと、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。

1 メール作成画面で[添付]

2 添付ファイルを選ぶ

- ◆ **[コンテンツマネージャー] ▶ ファイルを選ぶ**
- ◆ **[撮影] ▶ カメラモードを選ぶ ▶ 撮影**
- ◆ **[個人データ] ▶ ファイルの種類を選ぶ ▶ ファイルを選ぶ**
- ◆ **[その他] ▶ アプリケーションを選ぶ ▶ ファイルを選ぶ**
- 添付ファイルの追加：[添付] ▶ [ファイル添付追加]
- 添付ファイルの確認：[添付] ▶ ファイルを選ぶ

- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できないことがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されることがあります。
- 添付ファイルがJPEG、PNG、GIF、BMP形式などの画像のとき、添付できるサイズを超えた場合は、自動的に画像を縮小することがあります。

■ 添付ファイル一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	添付ファイル削除
[追加]	添付ファイル追加

■ 添付ファイル一覧画面のキー操作

添付ファイル削除	Del
添付ファイル全件削除	Shift ＋ Alt ＋ Del
添付ファイル追加	Alt ＋ P

■ 添付ファイル一覧画面のメニュー操作

[追加]
- 以降の操作については☞P.82「ファイルを添付する」の操作2へ

[1件削除]

[全件削除] ▶ [はい]

[表示／再生]

メール保存

メールを保存しておき、あとで送信する

作成したメールを保存しておき、あとで送信することができます。

メールを保存する<保存>

1 メール作成画面で[保存]

保存したメールを編集・送信する

1 未送信ボックス一覧画面でメールを選ぶ

2 メールを編集 ▶ [送信]

メール自動受信

メールを受信したときは

メールを受信すると、着信通知テロップが表示され、メール着信音が鳴ります。

- FOMA端末に保存した受信メールが最大保存件数を超えた場合は、受信メールのうち古い開封済みのメールから順に削除されます。開封済みのメールがない場合は、古い未開封のメールが削除されます。
- 受信メールのサイズが添付ファイルを含めて1Mバイトを超えるときは、件名や差出人、宛先情報のみを受信します。
- Wi-Fiを利用してPCメールを受信する場合、大量のメールを受信すると接続が途中で切れることがあります。その場合は、Wi-Fiのスリープ設定(☞P.219)を[スリープにしない]に設定してください。

- Gmail利用時に一部のメールが受信されない場合は、Gmailサイトのヘルプをご覧ください。

新着メール問合せ

新着メールがあるかを問い合わせる

圏外、電源が入っていないときなどに送られてきたメールはメールサーバーに保管されています。メールサーバーに問い合わせて受信できます。

1 メールメイン画面で[新着メール問合せ]

- PCサーバーメールの保存件数が指定数を超えていた場合は、古いサーバーメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- PCメールの問い合わせは、登録されているアカウントごとに受信されます。また、受信中にエラーがあった場合は、次のアカウントを受信するかどうかの確認画面が表示されます。

返信

メールに返信する

- 受信メールの本文を引用して返信することもできます（☞P.96）。

1 受信メール詳細画面で[返信]

- 宛先が複数のときは、MENU ▶［返信／転送］▶［返信］で返信先を選ぶことができます。

2 メールを作成・送信

転送

メールを他の宛先に転送する

1 受信メール詳細画面で[転送]

2 宛先を入力・送信

- 取得が完了した添付ファイルのみ転送されます。
- 識別できなかったファイルも転送できます。
- 転送元のSMSに絵文字が含まれている場合は、送信時に絵文字の部分が空白に変更されます。

添付ファイルを確認・保存する

受信した添付ファイルを確認、保存します。

- 添付ファイルによっては、正しく再生・表示できないことがあります。

添付ファイルを確認する

1 添付ファイルを選ぶ▶［表示／再生］

- 添付ファイルのプロパティを確認：添付ファイルを選ぶ▶［プロパティ］

- ファイルの種類によって、再生／表示するためのアプリケーションを起動します。

添付ファイルを保存する<保存>

1 添付ファイルを選ぶ▶［保存］

- ファイルによって、ファイル名を入力する画面が表示されたり、保存するためのアプリケーションが起動されます。

2 ファイルを保存

■ メール本文に挿入されている画像やデコメ絵文字®を保存する<ファイル保存>

1 メール詳細画面でMENU▶［移動／保存］▶［ファイル保存］

2 ファイルを保存

受信／送信／未送信ボックスのメールを表示する

- それぞれのボックスにはPCメール、SMSを合わせて、次の件数まで保存できます。ただし、メールサイズによっては、件数は異なります。

受信メール	最大9999件
送信／未送信メール	合計で最大3000件

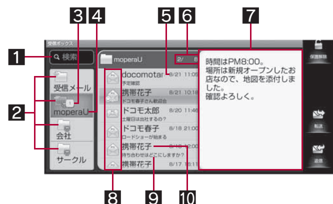
- お買い上げ時は、Welcomeメール「SHARPからのお知らせ」が受信ボックスに保存されています。通信料はかかっていません。また、Welcomeメールには返信できません。

1 メールメイン画面でボックスを選ぶ

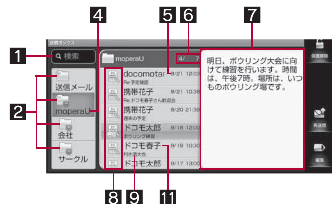
2 メールを選ぶ

■ ボックス一覧画面の見かた

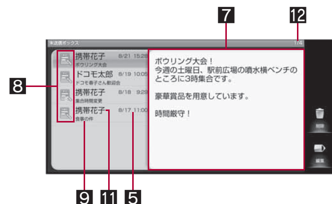
受信ボックス一覧



送信ボックス一覧



未送信ボックス一覧



1 検索欄

2 フォルダマーク

(SMSフォルダのアイコン)	SMSフォルダ	(PCメールフォルダのアイコン)	PCメールフォルダ

3 未開封メール件数

4 フォルダ名

5 受信日時（受信メール）／送信日時（送信メール）／保存日時（未送信メール）

6 フォルダ内のメール番号／保存件数
選んだフォルダ内のメール番号／保存件数が表示されます。

7 本文

8 メールの種類
- 返信したメールには、[(返信マーク)]が小さいマークで表示されます。
- 転送したメールには、[(転送マーク)]が小さいマークで表示されます。
- 保護されているメールには、[(保護マーク)]が小さいマークで表示されます。

● ファイルが添付されているPCメールには、[]が小さいマークで表示されます。

受信メール

	未開封PCメール		開封済みPCメール
	未開封SMS		開封済みSMS
	サーバーに続きのある未開封PCメール		サーバーに続きのある開封済みPCメール

送信メール

(白色)	PCメール
(白色)	SMS
	配信レポート付きのSMS

未送信メール

(グレー)	PCメール
(グレー)	SMS
	送信に失敗したPCメール
	送信に失敗したSMS

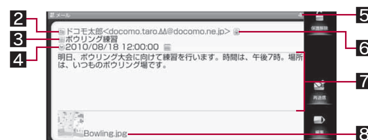
9 件名
10 差出人(送信元)
11 宛先(送信先)
12 メール番号/保存件数

■ 詳細画面の見かた

受信メール詳細



送信メール詳細



1 差出人(送信元)
2 宛先(送信先)
3 件名
4 受信日時(受信メール)/送信日時(送信メール)
● SMSの送信オプションで配信レポートを要求している場合は、送信日時の右側に[]が表示されます。[]を選ぶと、配信レポートが表示されます。
5 メール番号
6 アドレス詳細表示キー
● 複数の宛先がある場合に表示されます。[]を選ぶと、アドレス詳細表示画面(☞P.90)が表示されます。
7 本文
8 添付ファイル名

■ 各メール画面のタッチパネル操作

ボックス一覧画面

● フォルダにカーソルを合わせているときは、表示されるキーで次の操作ができます。

[新着受信]	新着受信※1	[たたむ]/[展開]	フォルダをたたむ/開く
[開封]	フォルダ内のメールをすべて開封※2		

※1 受信ボックスでPCメールフォルダのみ操作できます。
Gmail利用時に一部のメールが受信されない場合は、Gmailサイトのヘルプをご覧ください。
※2 受信ボックスのみ操作できます。

メール

次ページへ続く

- メールにカーソルを合わせているときは、表示されるキーで次の操作ができます。

[保護]／[保護解除]	保護／保護解除※1	[返信]	返信※3
		[再送信]	再送信※4
[受信]	1件続き受信※2	[編集]	編集※5
[削除]	1件削除	[エラー詳細]	エラー詳細表示※6
[転送]	転送※3		

※1　未送信メールでは操作できません。
※2　全文受信が完了していない受信メールのみ操作できます。
※3　受信メールのみ操作できます。
※4　送信メールのみ操作できます。
※5　送信メール、未送信メールのみ操作できます。
※6　送信失敗の未送信メールのみ操作できます。

- 次のタッチ操作ができます。

フォルダをたたむ／開く	フォルダをタッチ
開封済み／未開封メールの切替	[ ]／[ ]をタッチ

メール詳細画面

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[保護]／[保護解除]	保護／保護解除※1	[返信]	返信※3
		[再送信]	再送信※4
[受信]	1件続き受信※2	[編集]	編集※5
[削除]	削除	[エラー詳細]	エラー詳細表示※6
[転送]	転送※3		

※1　未送信メールでは操作できません。
※2　全文受信が完了していない受信メールのみ操作できます。
※3　受信メールのみ操作できます。
※4　送信メールのみ操作できます。
※5　送信メール、送信失敗の未送信メールのみ操作できます。
※6　送信失敗の未送信メールのみ操作できます。

- 次のタッチ操作ができます。

拡大／縮小	2本の指の間隔を広げる／狭める

配信レポート表示	[ ]をタッチ

■ 各メール画面のキー操作

ボックス一覧画面

新着受信※1	MENU＋R	1件移動※6	MENU＋M
フォルダ内のメールをすべて開封※2	MENU＋K	選択移動※6	Shift＋M
フォルダをたたむ／開く※3	Alt＋F	全件移動※6	Shift＋Alt＋M
		再送信※9	MENU＋S
ヘルプ※3	MENU＋H	編集※10	MENU＋E
1件削除※4	Del	エラー詳細※11	Alt＋V
選択削除※5	Shift＋Del	前ページを表示	Shift＋ (スペース)
全件削除※5	Shift＋Alt＋Del	次ページを表示	(スペース)
保護／保護解除※6	MENU＋P	最初のメールにカーソルを合わせる	Alt＋▲
1件続き受信※7	MENU＋R		
電話帳へ登録※6	MENU＋A	最後のメールにカーソルを合わせる	Alt＋▼
転送※8	Alt＋W		
差出人へ返信※8	Alt＋R		

※1　受信ボックス一覧画面でPCメールフォルダのみ操作できます。Gmail利用時に一部のメールが受信されない場合は、Gmailサイトのヘルプをご覧ください。
※2　受信ボックス一覧画面でフォルダのみ操作できます。
※3　フォルダのみ操作できます。
※4　ユーザーフォルダ、メールのみ操作できます。
※5　メールのみ操作できます。
※6　受信メール、送信メールのみ操作できます。
※7　全文受信が完了していない受信メールのみ操作できます。
※8　受信メールのみ操作できます。
※9　送信メールのみ操作できます。
※10　送信メール、未送信メールのみ操作できます。
※11　送信失敗の未送信メールのみ操作できます。

メール詳細画面

保護／保護解除※1	MENU＋P	編集※5	MENU＋E
削除	Del	エラー詳細※6	Alt＋V
続き受信※2	MENU＋R	前ページを表示	Shift＋（スペース）
転送※3	Alt＋W		
返信※3	Alt＋R	次ページを表示	（スペース）
1件移動※1	MENU＋M	最初のページを表示	Alt＋▲
再送信※4	MENU＋S	最後のページを表示	Alt＋▼

※1 受信メール、送信メールのみ操作できます。
※2 全文受信が完了していないメールのみ操作できます。
※3 受信メールのみ操作できます。
※4 送信メールのみ操作できます。
※5 送信メール、未送信メールのみ操作できます。
※6 送信失敗の未送信メールのみ操作できます。

■ 受信ボックス一覧画面のメニュー操作

フォルダにカーソルを合わせているとき

[新着PCメール受信]（PCメールフォルダのみ）
- カーソルを合わせたPCメールフォルダのアカウントで新着メールを受信します。

[振り分け登録]（ユーザーフォルダのみ） ☞P.95

[検索] ☞P.90

[すべて開封済みにする]

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.93
- ▶[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集
  - PCメールのメインフォルダを編集するとアカウントの表示名も編集されます。
- ▶[フォルダ並べ替え] ☞P.93
- ▶[フォルダシークレット]／[フォルダシークレット解除]（ユーザーフォルダのみ）▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[OK]
  - フォルダ着信通知設定を設定している場合は着信を通知するかどうかの確認メッセージが表示されます。[はい]を選ぶとフォルダ着信通知の設定を選ぶことができます。
- ▶[フォルダ着信通知設定]（ユーザーフォルダのみ）▶設定を選ぶ▶[OK]
- ▶[フォルダ削除]（ユーザーフォルダのみ） ☞P.93

[ヘルプ]

メールにカーソルを合わせているとき

[続き受信]（全文受信が完了していないメールのみ）
- ▶[1件受信]
- ▶[複数件受信]▶メールを選ぶ▶[実行]
- ▶[全件受信]

[返信／転送]
- ▶[返信] ☞P.83
- ▶[転送] ☞P.83

[削除]
- ▶[1件削除]▶項目を選ぶ▶[はい]
- ▶[選択削除]▶メールを選ぶ▶[実行]▶項目を選ぶ▶[はい]
- ▶[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[移動／保存]
- ▶[フォルダ移動] ☞P.93
- ▶[本体へ保存] ☞P.94
- ▶[microSDへ保存] ☞P.94

[メール操作]
- ▶[保護]／[保護解除] ☞P.94
- ▶[開封済みにする]／[未開封にする] ☞P.94

次ページへ続く▶▶

▶[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.178
▶[IrSS送信]	☞P.178
▶[Bluetooth送信]	☞P.225
[検索]	☞P.90
[電話帳へ登録]▶電話帳に登録	
[並べ替え]▶並べ替え方法を選ぶ	
[メール情報表示]	
▶[アドレス詳細表示]	
▶[メールプロパティ]	

[新着PCメール受信]について

- Gmail利用時に一部のメールが受信されない場合は、Gmailサイトのヘルプをご覧ください。

[すべて開封済みにする]について

- フォルダをたたんでいる場合でもすべてのメールが開封済みになります。
- サーバーからすべてを取得していないメールについても開封済みにします。
- フォルダシークレットが設定されているフォルダ内は開封されません。

[フォルダシークレット]について

- フォルダシークレットを設定すると、フォルダは表示されなくなります。
- ボックス一覧画面でMENU＋Qを押し、ロックNo.を入力すると、フォルダシークレットを一時解除できます。

[電話帳へ登録]について

- 受信メールのときは差出人、送信メールのときは最初の宛先を電話帳に登録できます。

■ 送信ボックス一覧画面のメニュー操作

フォルダにカーソルを合わせているとき

- 次の機能については、受信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.87）を参照してください。
  - ■ 振り分け登録　■ 検索
  - ■ フォルダ管理（フォルダ新規作成、フォルダ名編集、フォルダ並べ替え、フォルダシークレット、フォルダ削除）
  - ■ ヘルプ

メールにカーソルを合わせているとき

- 次の機能については、受信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.87）を参照してください。
  - ■ 削除　■ 移動／保存
  - ■ メール操作（保護／保護解除、データ送信）　■ 検索
  - ■ 電話帳へ登録　■ 並べ替え
  - ■ メール情報表示（アドレス詳細表示、メールプロパティ）

[編集]▶メールを作成・送信
[再送信]
[メール情報表示]
▶[配信レポート表示]（配信レポートがあるSMSのみ）

■ 未送信ボックス一覧画面のメニュー操作

[編集]▶メールを作成・送信
[削除]
▶[1件削除]▶[はい]
▶[選択削除]▶メールを選ぶ▶[実行]▶[はい]
▶[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]
[エラー詳細]（送信失敗の未送信メールのみ）
[メールプロパティ]

■ 受信メール詳細画面のメニュー操作

● 次の機能については、受信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.87）を参照してください。

■ 返信／転送　■ 移動／保存（フォルダ移動）
■ メール操作（データ送信）　■ 電話帳へ登録　■ メール情報表示

[続き受信]（全文受信が完了していないメールを表示中のときのみ）	
[1件削除]▶[はい]	
[移動／保存]	
▶[ファイル保存]	☞P.83
▶[テンプレート保存]▶テンプレート名を入力▶[OK]	
▶[本体へ保存]	☞P.94
▶[microSDへ保存]	☞P.94
[コピー]	☞P.94
[メール操作]	
▶[辞書検索]	☞P.93
▶[保護]／[保護解除]	
▶[スケジュールへ登録]	☞P.92
[表示設定]	
▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ	
▶[文字コード変換]▶文字コードを選ぶ	

[テンプレート保存]について

● テンプレート名は、全角・半角40文字まで入力できます。

■ 送信メール詳細画面のメニュー操作

● 次の機能については、受信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.87）を参照してください。

■ 移動／保存（フォルダ移動）　■ メール操作（データ送信）
■ 電話帳へ登録
■ メール情報表示（アドレス詳細表示、メールプロパティ）

● 次の機能については、送信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.88）を参照してください。

■ 編集　■ 再送信　■ メール情報表示（配信レポート表示）

● 次の機能については、受信メール詳細画面のメニュー操作（☞P.89）を参照してください。

■ 1件削除
■ 移動／保存（ファイル保存、テンプレート保存、本体へ保存、microSDへ保存）
■ コピー
■ メール操作（辞書検索、保護／保護解除、スケジュールへ登録）
■ 表示設定

■ 未送信メール詳細画面のメニュー操作

● 次の機能については、未送信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.88）を参照してください。

■ 編集　■ エラー詳細　■ メールプロパティ

[1件削除]▶[はい]

アドレス詳細表示

アドレス情報を表示する

メールのFROM、TO、CC、BCC、Reply-TOを一覧で表示できます。また、それぞれのアドレスの詳細を表示することもできます。

1 メール詳細画面でMENU▶[メール情報表示]▶[アドレス詳細表示]

2 アドレスを選ぶ

■ アドレス詳細表示画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[振り分け登録]	振り分け条件を登録
[電話帳登録]	電話帳登録
[メール作成]	メール作成
[詳細]	アドレスの詳細表示

■ アドレス詳細表示画面のキー操作

振り分け条件を登録	MENU＋D
電話帳登録	MENU＋A
メール作成	Alt＋N

■ アドレス詳細表示画面のメニュー操作

[メール作成]▶メールを作成・送信

[電話帳へ登録]▶電話帳に登録

[振り分け登録]▶項目を選ぶ▶フォルダを選ぶ▶[OK]
- フォルダを新規作成：[新規]▶フォルダ名を入力▶[OK]
- フォルダ振り分けの詳細については☞P.95

[アドレスコピー]

メールを検索する

条件を指定してメールを検索する<検索>

1 受信／送信ボックス一覧画面でMENU▶[検索]

2 検索条件を選ぶ

◆ **[アドレス検索]▶入力方法を選ぶ▶メールアドレスを選択／入力**
- 入力した場合は入力後、[OK]を選びます。
- [アドレス検索]にカーソルを合わせて検索する相手を入力すると電話帳に登録しているアドレスを検索します。検索する相手が表示されたときは、相手を選んで[OK]を選びます。

◆ **[添付メール検索]**

◆ **[件名検索]▶キーワードを入力▶[OK]**

◆ **[本文検索]▶キーワードを入力▶[OK]**

◆ **[本文件名検索]▶キーワードを入力▶[OK]**

◆ **[検索対象]▶検索対象を選ぶ**

3 [実行]

● 設定済みの検索条件を選ぶと、修正することができます。

■ 検索条件選択画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[条件追加]	検索条件の追加
[対象切替]	検索対象の切替
[条件削除]	検索条件の削除

■ 検索結果一覧画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[保護]／[保護解除]	保護／保護解除
[削除]	削除
[転送]	転送※1
[返信]	返信※1
[再送信]	再送信※2
[編集]	編集※2

※1 受信メールのみ操作できます。
※2 送信メールのみ操作できます。

■ 検索条件選択画面のキー操作

検索条件の追加	MENU＋A
検索対象の切替	Alt＋C
検索条件の削除	Del
設定した検索条件を実行	Alt＋O

■ 検索結果一覧画面のキー操作

保護／保護解除	MENU＋P	編集※2	MENU＋E
1件削除	Del	再送信※2	MENU＋S
選択削除	Shift＋Del	1件移動	MENU＋M
全件削除	Shift＋Alt＋Del	選択移動	Shift＋M
転送※1	Alt＋W	全件移動	Shift＋Alt＋M
返信※1	Alt＋R	電話帳へ登録	MENU＋A

※1 受信メールのみ操作できます。
※2 送信メールのみ操作できます。

■ 検索条件選択画面のメニュー操作

[検索方法] ▶ 検索方法を選ぶ
● 登録している検索条件によっては、検索方法を変更すると、削除され、確認画面が表示されることがあります。

[実行]

[条件削除]

[対象切替]

[条件追加] ▶ 検索条件を選ぶ
● 検索条件が2件以上登録されている場合は、[検索条件追加]を選択すると操作できます。
● 検索条件の設定については☞P.90「条件を指定してメールを検索する」の操作2へ

● 選択している検索条件や、登録されている件数によって、表示される項目が異なります。

■ 検索結果一覧画面のメニュー操作

● 次の機能については、受信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.87）を参照してください。
■ 続き受信 ■ 返信／転送 ■ 削除 ■ 移動／保存
■ メール操作 ■ 電話帳へ登録 ■ メール情報表示
● 次の機能については、送信ボックス一覧画面のメニュー操作（☞P.88）を参照してください。
■ 編集 ■ 再送信

サーチ機能を利用する

入力した文字が含まれるメールを検索します。

1 **受信／送信ボックス一覧画面で検索するフォルダにカーソルを合わせる**

2 **キーワードを入力**

メール内のメールアドレスを利用する

メール詳細画面に表示されるメールアドレスを電話帳に登録したり、メールを送ることができます。

1 メール詳細画面でメールアドレスを選ぶ

2 項目を選ぶ

◆ **[メール作成]/[SMS作成]▶メールを作成・送信**
◆ **[電話帳へ登録]▶電話帳に登録**
◆ **[振り分け登録]▶項目を選ぶ▶フォルダを選ぶ▶[OK]**
・フォルダを新規作成:[新規]▶フォルダ名を入力▶[OK]
・フォルダ振り分けの詳細については☞P.95
◆ **[アドレスコピー]**

件名や本文の情報を利用する

メールに記載されている情報(電話番号、メールアドレス、URL、日付・時刻など)を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したり、電話帳やスケジュールに登録したりできます。
また、本文の単語を辞書検索することもできます。

電話番号の情報を使う

1 電話番号の情報を選ぶ

2 利用方法を選ぶ

◆ **[音声発信]▶電話をかける**
◆ **[SMS作成]▶メールを作成・送信**
◆ **[電話帳へ登録]▶電話帳に登録**
◆ **[振り分け登録]▶項目を選ぶ▶フォルダを選ぶ▶[OK]**
・フォルダを新規作成:[新規]▶フォルダ名を入力▶[OK]
・フォルダ振り分けの詳細については☞P.95
◆ **[電話番号コピー]**

メールアドレスの情報を使う

1 メールアドレスを選ぶ

2 利用方法を選ぶ

◆ **[メール作成]▶メールを作成・送信**
◆ **[電話帳へ登録]▶電話帳に登録**
◆ **[振り分け登録]▶項目を選ぶ▶フォルダを選ぶ▶[OK]**
・フォルダを新規作成:[新規]▶フォルダ名を入力▶[OK]
・フォルダ振り分けの詳細については☞P.95
◆ **[アドレスコピー]**

URLを利用する

1 URLを選ぶ

2 利用方法を選ぶ

◆ **[ブラウザ接続]▶[はい]**
◆ **[URLコピー]**

日付・時刻からスケジュールを登録する <スケジュールへ登録>

メールの件名や本文の日付キーワードからスケジュールを登録できます。

● 日付キーワードとは、日付、または日付と時刻のほか、「本日」、「明日」、「曜日」などです。

1 メール詳細画面でMENU▶[メール操作]▶[スケジュールへ登録]

● [▦]が表示されているときは[▦]をタッチしても操作できます。

2 スケジュールを登録

● タイトルにはメールの件名、開始日時には日付キーワードをもとに日時、詳細にはメール本文が自動的に入力されます。
● 以降の操作については☞P.201「スケジュールを登録する」の操作2へ

● メール内に日付キーワードが含まれている場合、[▦]が表示されます。
● 時刻だけでは日付キーワードとして認識されません。

メール

● メールの内容や表現によっては、正しく自動入力されないことがあります。

本文の文字を辞書検索する＜辞書検索＞

1 メール詳細画面でMENU ▶［メール操作］▶［辞書検索］

2 始点へ移動 ▶ Shiftを押したまま終点へ移動 ▶ Enter

3 辞書を選ぶ

4 辞書で検索

● 全角・半角15文字まで検索できます。

メールを管理する

フォルダを管理する

■ ユーザーフォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞

受信／送信ボックス一覧画面にユーザーフォルダを新規作成することができます。ユーザーフォルダは、それぞれ最大20個作成することができます。

1 受信／送信ボックス一覧画面でフォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶［フォルダ管理］▶［フォルダ新規作成］

2 フォルダ名を入力 ▶［OK］
- 全角・半角8文字まで入力できます。

■ フォルダを並べ替える＜フォルダ並べ替え＞

1 フォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶［フォルダ管理］▶［フォルダ並べ替え］

2 移動先を選ぶ

● フォルダシークレットを設定している場合、非表示のフォルダは移動できません。

■ ユーザーフォルダを削除する＜フォルダ削除＞

1 ユーザーフォルダにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶［フォルダ管理］▶［フォルダ削除］

2 ロックNo.を入力 ▶［OK］▶［はい］

● 保護されているメールや保護されているメールがあるフォルダは削除できません。ただし、フォルダに設定されている振り分け登録の条件は削除されます。

メールを管理する

■ メールを別のフォルダに移動する＜フォルダ移動＞

1 メールにカーソルを合わせる ▶ MENU ▶［移動／保存］▶［フォルダ移動］

2 移動方法を選ぶ
- ◆［1件移動］
- ◆［選択移動］▶ メールを選ぶ ▶［実行］
- ◆［全件移動］

3 フォルダを選ぶ ▶［OK］
- フォルダを新規作成：［新規］▶ フォルダ名を入力 ▶［OK］

● SMSをPCメールフォルダへ移動することはできません。また、PCメールをSMSフォルダや別のアカウントのフォルダに移動することはできません。

■ 複数選択画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

［表示］	カーソルを合わせているメールを表示
［チェック］／［解除］	選択／解除

■ 複数選択画面のキー操作

カーソルを合わせているメールを表示	Alt＋V
前ページを表示	Shift＋（スペース）
次ページを表示	（スペース）
最初のページを表示	Alt＋▲
最後のページを表示	Alt＋▼

■ 複数選択画面のメニュー操作

[表示]

[実行]

■ メールを本体やmicroSDカードに保存する＜本体へ保存／microSDへ保存＞

1 メールにカーソルを合わせる▶MENU▶[移動／保存]▶[本体へ保存]／[microSDへ保存]

2 保存形式を選ぶ

- [microSDへ保存]に設定した場合は、操作が終了します。

3 保存方法を選ぶ

◆ [1件保存]▶[OK]

◆ [選択保存]▶[OK]▶メールを選ぶ▶[実行]

- 選択保存のとき、選択できるのは50件までです。
- vmg形式で保存したメールに対しては、保護など一部の機能が利用できません。
- FOMA端末外への移動が禁止されているメールは利用できません。

■ メールの本文をコピーして利用する＜コピー＞

1 メール詳細画面でMENU▶[コピー]

2 始点へ移動▶Shiftを押したまま終点へ移動▶Enter

■ メールを保護／保護解除する＜保護／保護解除＞

- 受信メールは5000件まで、送信メールはすべて保護できます。

1 メールにカーソルを合わせる▶MENU▶[メール操作]▶[保護]／[保護解除]

2 保護／保護解除方法を選ぶ

◆ [1件保護]／[1件解除]

◆ [選択保護]／[選択解除]▶メールを選ぶ▶[実行]

◆ [全件保護]／[全件解除]

■ メールを開封済み／未開封にする＜開封済みにする／未開封にする＞

1 メールにカーソルを合わせる▶MENU▶[メール操作]▶[開封済みにする]／[未開封にする]

2 開封済み／未開封方法を選ぶ

◆ [1件]

◆ [複数件]▶メールを選ぶ▶[実行]

◆ [全件]

共通設定

PCメールとSMSの共通機能を設定する

振り分け条件の設定や表示方法の設定などができます。

メールを自動的にフォルダに振り分ける <振り分け登録>

ユーザーフォルダに振り分け条件を設定すると、条件に合ったメールを自動的に振り分けることができます。

- 1つのフォルダに20件まで振り分け条件を設定できます。
- 振り分け条件を設定中、設定した条件によって次のアイコンが表示されます。

	差出人メールアドレス（電話帳未登録）
	差出人メールアドレス（電話帳登録済み） ● 電話帳に画像が登録してある場合は、登録した画像が表示されます。
	ドメイン
	件名
	電話帳登録なし

1 **ユーザーフォルダを選ぶ ▶ MENU ▶［振り分け登録］**

2 **［新規登録］**

3 **振り分け条件を選ぶ**

◆ **［差出人］▶ 差出人を指定**
◆ **［ドメイン指定］▶ ドメインを指定**
◆ **［件名］▶ 件名を入力 ▶［OK］**
◆ **［電話帳登録なし］**

4 **複数の振り分け条件を設定するときは、操作２～３を繰り返す**

5 **［完了］**

■ 振り分け条件画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

［削除］	削除
［完了］	完了

■ 振り分け条件画面のキー操作

1件削除	Del
選択削除	Shift＋Del
全件削除	Shift＋Alt＋Del
完了	Alt＋S

■ 振り分け条件画面のメニュー操作

［1件削除］▶［はい］

［選択削除］▶ 振り分け条件を選ぶ ▶［実行］▶［はい］

［全件削除］▶［はい］

［完了］

挿入されている画像の表示サイズを設定する <画像拡大表示>

1 **メールメイン画面で［設定］▶［共通設定］▶［受信／表示設定］▶［画像拡大表示］**

2 **表示サイズを選ぶ**

メール着信のお知らせに表示する内容を設定する <着信通知テロップ>

1 **メールメイン画面で［設定］▶［共通設定］▶［受信／表示設定］▶［着信通知テロップ］**

2 **表示方法を選ぶ**

メール返信時の本文の引用を設定する<引用返信>

1 **メールメイン画面で[設定]▶[共通設定]▶[送信／作成設定]**

2 **[引用返信]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

メール作成の優先形式を設定する<優先作成設定>

メモ帳からメールを作成するときに使用するメール形式を変更します。

1 **メールメイン画面で[設定]▶[共通設定]▶[送信／作成設定]▶[優先作成設定]**

2 **メールの種類を選ぶ**

送信できる宛先を限定する<送信先限定設定>

- 宛先を1件以上登録すると、送信先限定設定が有効になります。すべての宛先を削除すると無効になります。
- 宛先は20件まで登録できます。

1 **メールメイン画面で[設定]▶[共通設定]▶[送信／作成設定]▶[送信先限定設定]**

2 **ロックNo.を入力▶[OK]▶[新規登録]**

3 **登録方法を選ぶ**

◆ **[電話帳引用]▶メールアドレスを選ぶ**

◆ **[送受信履歴引用]▶メールアドレスを選ぶ**

・シークレット設定中は表示されません。Q▶ロックNo.を入力▶[OK]で一時的に表示できます。

◆ **[メールグループ]▶メールグループを選ぶ**

・メールグループ登録されているメールアドレスを選ぶ：メールグループにカーソルを合わせる▶[メンバー]▶メールアドレスを選ぶ

◆ **[直接入力]▶メールアドレスを入力▶[OK]**

■ 限定送信先一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除
[変更]	変更
[新規登録]	新規登録

■ 限定送信先一覧画面のキー操作

削除	Del

■ 限定送信先一覧画面のメニュー操作

[新規登録] ☞P.96

[変更]

- 以降の操作については☞P.96「送信できる宛先を限定する」の操作3へ

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶メールアドレスを選ぶ▶[実行]▶[はい]

▶[全件削除]▶[はい]

メールの機能を制限する<メール機能制限>

メール送信や新着メールの問い合わせ、メールの表示ができないようにします。

1 **メールメイン画面で[設定]▶[共通設定]▶[メール機能制限]**

2 **ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]**

- 解除方法は、設定時の操作と同様です。

- メール機能制限中にメール送信や送受信したメールの表示を行う場合、ロックNo.を入力して一時的にメール機能制限を解除できます。
- メール機能制限中でもPCメールやSMSの自動受信は行われます。

メールグループを登録する<メールグループ設定>

メールグループを登録しておくと、一度に複数の宛先にメールを送信できます。

- メールグループは20件まで登録できます。1つのメールグループには、宛先を20件まで登録できます。
- 通信料は、1通のみの送信時と同じです。ただし、追加した宛先の情報量に応じて通信料が増えます。

1 **メールメイン画面で[設定]▶[メールグループ設定]▶[新規登録]**

2 **グループ名を入力▶[OK]**
- 全角・半角16文字まで入力できます。

3 **宛先を登録するグループを選ぶ**

4 **[新規登録]**
- メールグループ内のメンバーを変更:変更するメンバーを選ぶ

5 **登録方法を選ぶ**

◆ **[電話帳引用]▶メールアドレスを選ぶ**

◆ **[送受信履歴引用]▶メールアドレスを選ぶ**
- シークレット設定中は表示されません。Q▶ロックNo.を入力▶[OK]で一時的に表示できます。

◆ **[直接入力]▶メールアドレスを入力▶[OK]**
- 半角128文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

■ メールグループ一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	グループの削除
[変更]	グループ名の変更
[新規登録]	グループの新規登録

■ メンバー一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	メンバーの削除
[変更]	メンバーの変更
[新規登録]	メンバーの新規登録

■ メールグループ一覧画面/メンバー一覧画面のキー操作

削除	Del
グループ新規作成※	MENU+N
グループ名変更※	MENU+E

※ メールグループ一覧画面でのみ操作できます。

■ メールグループ一覧画面のメニュー操作

[新規登録] ☞P.97

[削除]

▶[1件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

▶[選択削除]▶メールグループを選ぶ▶[実行]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

▶[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[メンバーの変更]
- 以降の操作については☞P.97「メールグループを登録する」の操作4へ

[グループ名の変更]▶グループ名を編集▶[OK]

■ メンバー一覧画面のメニュー操作

[新規登録] ☞P.97

[変更]
- 以降の操作については☞P.97「メールグループを登録する」の操作5へ

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶メンバーを選ぶ▶[実行]▶[はい]

▶[全件削除]▶[はい]

メールボックスの容量を確認する＜メール容量確認＞

- テンプレートボックスに保存されているテンプレートの容量も確認できます。

1 メールメイン画面で[メール容量確認]

- [設定]▶[メール容量確認]でも操作できます。

PCメール設定

PCメールを設定する

PCメールサーバーをメンテナンスする ＜サーバーメンテナンス＞

- アカウントごとに、PCメールサーバーのメンテナンスを行います。

1 メールメイン画面で[設定]▶[PCメール設定]▶[アカウント設定]

2 アカウントを選ぶ▶[サーバーメンテナンス]

3 メンテナンス方法を選ぶ▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

優先して使用するアカウントを変更する ＜作成時優先アカウント＞

PCメール作成時に優先的に使用するアカウントを設定します。

1 メールメイン画面で[設定]▶[PCメール設定]▶[作成時優先アカウント]

2 アカウントを選ぶ

PCメールの受信方法を変更する＜受信単位＞

1 メールメイン画面で[設定]▶[PCメール設定]▶[受信単位]

2 受信方法を選ぶ

3 設定を選ぶ

- [指定全受信]を選んだ場合、以降の操作については☞P.98「PCメールの受信方法を指定する」の操作2へ

■ 受信単位画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[詳細]	詳細設定※

※ [指定全受信]を選択している場合に表示されます。

■ 受信単位画面のキー操作

詳細設定	Alt ＋ P

■ PCメールの受信方法を指定する

1 受信単位画面で[受信単位]にカーソルを合わせる▶[詳細]

2 単位を選ぶ

◆ **[電話帳登録]**
・選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[電話帳グループ]▶[追加指定]▶電話帳グループを選ぶ▶↩**

◆ **[メールグループ]▶[追加指定]▶メールグループを選ぶ▶↩**
・メールグループに登録されているメンバーの確認：メールグループを選ぶ

◆ **[ドメイン]▶[追加指定]▶ドメインの選択／入力▶↩**
・ドメインの入力：[直接入力]▶ドメインを入力▶[OK]▶↩

◆ **[件名]▶[追加指定]▶件名を入力▶[OK]▶↩**

◆ **[個別アドレス]▶[追加指定]▶アドレスの選択／入力▶↩**
・アドレスの入力：[直接入力]▶アドレスを入力▶[OK]▶↩

- [電話帳登録]以外の各単位の内容はそれぞれ20件まで登録できます。
- [電話帳登録]以外の場合に、各単位の内容設定済みのときは、選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- 各単位の内容設定済みのときに内容を編集：単位にカーソルを合わせる▶[詳細]▶内容を編集▶(戻る)

3 [完了]

■ メール受信単位画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[詳細]	各単位の内容設定
[選択]／[解除]	選択／解除
[完了]	完了

■ 各単位の内容一覧画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[解除]	解除
[変更]	変更
[追加指定]	追加指定

■ メール受信単位画面のキー操作

各単位の内容設定	Alt＋P
選択／解除	Alt＋K
完了	Alt＋S

■ 各単位の内容一覧画面のキー操作

追加指定	MENU＋N
変更	MENU＋E

■ 各単位の内容一覧画面のメニュー操作

[追加指定]▶単位内容を追加

[変更]（単位内容にカーソルを合わせているときのみ）

[解除]
▶[1件解除]（単位内容にカーソルを合わせているときのみ）▶[はい]
▶[選択解除]▶単位内容を選ぶ▶[実行]▶[はい]
▶[全件解除]▶[はい]

新着メールを自動受信する<自動受信>

1 メールメイン画面で[設定]▶[PCメール設定]▶[自動受信]

2 受信方法を選ぶ

◆ **[自動受信]**
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[受信間隔]▶時間を選ぶ**

◆ **[自動受信無効時間]**
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- 無効にする時間帯を設定：[自動受信無効時間]にカーソルを合わせる▶[時間帯設定]▶[▲]／[▼]で自動受信無効開始時間／終了時間を入力▶Enter

● 自動受信を無効にしていても、mopera Uメールは自動受信されます。
● 自動受信が解除のときは、時間を設定できません。
● 自動受信無効時間が解除のときは、無効にする時間帯を設定できません。

■ 自動受信画面のキー操作

無効にする時間帯を設定	Alt＋T

サーバーの保有数が設定値を超えたときにお知らせする<サーバーメール保有数通知>

サーバーに保存されているメールが設定値を超えたときにお知らせするように設定できます。

1 メールメイン画面で[設定]▶[PCメール設定]▶[サーバーメール保有数通知]

2 設定値を選ぶ

起動メールソフト設定
起動メールソフトを設定する

他のアプリケーションからメール添付操作を行った際、起動するメールソフトを設定します。

1 **メインメニューで[設定]▶[アプリケーション]▶[起動メールソフト設定]**

2 **[ファイル送信メールソフト設定]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

3 **メールソフトを選ぶ**

- 起動メールソフト設定が無効の場合にメール添付操作を行ったときは、メールソフトを選択する画面が表示されます。

mopera Uメールを利用する

mopera Uをご利用いただいているお客様は、mopera UメールのPOPメールを利用できます。メールボックスは50Mバイト利用可能です。ウェブメールでも利用が可能です。

- mopera Uの設定方法については☞P.227
- mopera Uメールのアカウント設定については☞P.78

SMSを利用する

電話番号を利用してSMSを送受信できます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- SMSの操作は、PCメールの操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

SMSを作成して送信する<SMS作成>

1 **メールメイン画面で[SMS作成]**

2 **[👤]欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ**

- ◆ **[電話帳引用]▶相手を選ぶ**
- ◆ **[送受信履歴引用]▶相手を選ぶ**
  - ・シークレット設定中は表示されません。Q▶ロックNo.を入力▶[OK]で一時的に表示できます。
- ◆ **[プロフィール引用]▶宛先を選ぶ**
- ◆ **[直接入力]▶宛先を入力▶[OK]**
- [👤]欄にカーソルを合わせて、宛先や相手の名前を入力すると、送受信履歴や電話帳から自動的に検索して相手を表示します。相手を選ぶと宛先に設定されます。
- 宛先の電話番号は20桁まで入力できます。
- 電話帳に登録されている相手のときは、名前が表示されます。

3 **本文入力欄にカーソルを合わせる▶本文を入力**

4 **[送信]**

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者のときは、「＋」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「０」で始まるときは「０」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。受信した海外からのSMSに返信するときは、「010」を入力してください。
- SMSの本文に半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に削除されます。
- 何らかの原因で送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないことがあります。
- 「186」／「184」を付けての送信はできません。

■ SMS作成画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[保存]	保存
[テンプレート]	テンプレート呼出
[送信]	送信

■ SMS作成画面のメニュー操作

● 次の機能については、メール作成画面のメニュー操作(☞P.79)を参照してください。
■ 送信　■ テンプレート呼出　■ 引用　■ 文字サイズ
■ 保存　■ メール種別変更(×××へ変更)※　■ ヘルプ
※「×××」には、登録しているアカウントの表示名が表示されます。

[送信オプション] ▶ [配信レポート] ▶ 設定を選ぶ

相手に届いたら通知を受け取る<配信レポート>

送信するSMSの配信レポートを受け取るかどうかを設定できます。

1 メールメイン画面で[設定] ▶ [SMS設定]

2 [配信レポート]
- 選択するたびに、有効/無効が切り替わります。

本文に入力できる文字を設定する<文字コード設定>

1 メールメイン画面で[設定] ▶ [SMS設定] ▶ [文字コード設定]

2 文字の種類を選ぶ

Gmailを利用する

Gmailは、Googleのメールサービスです。
● Googleアカウントが未設定の場合は、アカウントのセットアップ画面が表示されます。アカウントの設定については☞P.40
● Gmailの連絡先リストは、FOMA端末の電話帳と同期します。

1 メインメニューで[Gmail]

Gmailを更新する

FOMA端末のGmailアプリケーションとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイで[MENU] ▶ [更新]

メールを作成して送信する

● 連絡先リストに登録されているメールアドレスを宛先に利用する場合は、電話帳から操作してください(☞P.59)。
● ファイルを添付する場合は、コンテンツマネージャーから操作してください(☞P.166)。

1 受信トレイで[MENU] ▶ [新規作成]

2 [To]欄に宛先を入力

3 タイトル・本文を入力 ▶ [送信]

送信済みメッセージを表示する

1 受信トレイで[MENU] ▶ [ラベル一覧] ▶ [送信済みメール]

メール

メールを受信／表示する

■ メールを表示する

1 ステータスバーを下へドラッグしてお知らせパネルを開く ▶ 新着メールを選ぶ

■ メールを検索する

アドレス、タイトルなどからFOMA端末内だけでなくサーバー上のGmailアカウント内のメールを検索できます。
検索の詳細についてはGmailサイトをご覧ください。

1 受信トレイで[検索]

2 キーワードを入力 ▶ [🔍]

メールを返信／転送する

1 受信メール詳細画面で[返信]／[全員に返信]／[転送]

新着メール通知の設定

メールを受信するたびに着信音やバイブレータなどでお知らせするよう設定できます。

1 受信トレイで[MENU] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[メール着信通知]**
・選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[着信音を選択] ▶ 着信音を選ぶ ▶ [OK]**

◆ **[バイブレーション]**
・選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

チェックボックスを表示する

メールの左にチェックボックスを表示することができます。

- チェックボックスを利用すると、選択したメールをまとめて操作（保存、削除など）することができます。

1 受信トレイで[MENU] ▶ [設定]

2 [バッチ操作]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

Googleトークを利用する

GoogleトークはGoogleのインスタントメッセージサービスです。
Googleトークを利用するとFOMA端末やサイト上で、他の利用者とリアルタイムでコミュニケーションをすることができます。

- Googleアカウントが未設定の場合は、アカウントのセットアップ画面が表示されます。アカウントの設定については☞P.40

1 メインメニューで[チャット]



1 画像
- 自分の画像をタッチすると表示する画像を変更できます。

2 ステータスメッセージ

3 会話中のチャット
- 会話中のチャットには吹き出しが表示されます。

4 モバイルインジケーター
- Android搭載の携帯電話からログインしていることを示します。

5 オンラインステータス

オンラインステータスとメッセージを変更する

- オンラインステータスは、Googleトークの友だちリストだけでなく、Gmail、Googleマップなどのアプリケーションでも名前の横に表示されます。

■ オンラインステータスを変更する

1 名前の右端にあるオンラインステータスアイコンを選ぶ▶設定するオンラインステータスを選ぶ

■ ステータスメッセージを変更する

1 オンラインステータスアイコンの左のテキストボックスを選ぶ▶ステータスメッセージを入力

チャットを開始する

1 友だちリスト画面でチャットする友だちの名前を選ぶ

2 メッセージを入力▶[送信]

- 自分と相手が最後にやりとりしたメッセージには、それぞれ時刻が表示されます。

チャット中の会話を切り替える

複数のチャットを実行中のとき、会話を切り替えることができます。

1 チャット画面／友だちリスト画面で[MENU]▶[チャット相手の切替]

2 メンバーを選ぶ

チャットを終了する

1 友だちリスト画面でチャット中のメンバーをロングタッチ▶[チャット終了]

- チャット画面で[MENU]▶[チャット終了]でも操作できます。

友だちリストを管理する

友だちリストのメンバーはオンラインステータス別に表示されます。ステータスは、チャット中、オンライン、チャット不可、オフラインに分けられます。各ステータスの中でメンバーはアルファベット順に表示されます。

■ 新しいメンバーを追加する

Googleアカウントを持っている相手を友だちリストに追加できます。

1 友だちリスト画面で[MENU]▶[友だちを追加]

2 追加したいメンバーのGoogleアカウントを入力

3 [招待状を送信]

■ 招待状を表示、承認する

招待状を受信したときは、ステータスバーにお知らせアイコン（☞P.25）を受信し、友だちリストに招待状が表示されます。

- 招待状を受信した相手が承認すると、返信待ちの招待状リストから該当する招待状が削除されます。
- 未承認の招待状の表示を端末から削除したい場合は、パソコンからGoogleアカウントにログインし、削除を行ってください。

1 友だちリスト画面で招待状を選ぶ▶[承諾]／[キャンセル]

■ メンバーをブロックする

特定の相手から送信されるメッセージをブロックできます。

- ブロックしたメンバーは、リストから削除されます。

1 友だちリスト画面でメンバーの名前をロングタッチ▶[ユーザーをブロック]

- ブロックの解除：友だちリスト画面で[MENU]▶[ブロック中]▶メンバーの名前を選ぶ▶[OK]

Googleトークの設定を変更する

■ 新着メッセージの通知方法を設定する

メッセージを受信するたびに、着信音やバイブレータなどでお知らせするように設定できます。

1 **友だちリスト画面で[MENU]▶[その他]▶[設定]▶[チャットの通知]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[着信音を選択]**
◆ **[バイブレーション]**

■ モバイルインジケーターを相手の友だちリストに表示する

自分の名前とともにモバイルインジケーターを相手の友だちリストに表示し、Android搭載の携帯電話からログインしていることを伝えることができます。

1 **友だちリスト画面で[MENU]▶[その他]▶[設定]▶[モバイルインジケーター]**

■ 自動でログインする

FOMA端末の電源を入れたときにGoogleトークに自動でログインすることができます。

1 **友だちリスト画面で[MENU]▶[その他]▶[設定]▶[自動ログイン]**

ログアウト

Googleトークからログアウトして、チャットを終了します。

1 **友だちリスト画面で[MENU]▶[その他]▶[ログアウト]**

ｉモード.net モバイルモード

ｉモード.netとは

ｉモード.netとは、パソコンやスマートフォンからもｉモードメールを送受信できるサービスです。モバイルモードはｉモード.netの画面モードの１つであり、スマートフォンに適したシンプルな画面構成でご利用いただけます。

- ｉモード.netはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモード.netの詳細については、ｉモード.netのサイト（http://imode.net）をご覧ください。

■ ｉモード.net モバイルモードを使うための準備

- JavaScriptとCookieを「有効」に設定してください。

ｉモード.net モバイルモードを利用する

1 **メインメニューで[ブラウザ]▶ｉモード.netのサイト（http://imode.net）に接続する**

2 **TOP画面が表示されたらdocomo ID、Passwordを入力▶[ログイン]**

- 認証が正常に終了すると、受信メール一覧画面が表示されます。
- 詳しい利用方法については、ｉモード.net モバイルモードのTOP画面▶[ヘルプ]でご確認ください。

- ご利用には別途ｉモード対応機種が必要です。
- ご利用方法やご利用頻度により、パケット通信料金が高額になる場合がありますので、パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプルでのご利用をおすすめいたします。
- その他注意事項は、ｉモード.net モバイルモードのTOP画面▶[ご利用上のご注意]でご確認ください。

ブラウザ

ブラウザを利用する

本FOMA端末では、パケット通信や無線LANによる接続でサイトを表示できます。

1 メインメニューで[ブラウザ]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイト表示画面のタッチパネル操作

- 次のタッチ操作ができます。

画面を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
画面の一部を中心に拡大	画面を２回タッチ
画面の一部を拡大／縮小	２本の指の間隔を広げる／狭める
電話帳の登録	電話番号の情報をロングタッチ▶[連絡先を追加]▶登録方法を選ぶ▶電話帳に登録
電話番号のコピー	電話番号の情報をロングタッチ▶[コピー]
メールアドレスのコピー※	メールアドレスの情報をロングタッチ▶[コピー]
リンクを新しいウィンドウで開く	リンクをロングタッチ▶[新しいウィンドウで開く]
リンクをブックマークに登録	リンクをロングタッチ▶[リンクをブックマーク]▶名前、場所を入力▶[OK]
リンクをダウンロード	リンクをロングタッチ▶[リンクを保存]
リンクを共有	リンクをロングタッチ▶[リンクを共有]▶メールを作成・送信
URLをコピー	リンクをロングタッチ▶[URLをコピー]
コピーしたテキストを貼付	テキストボックスをロングタッチ▶[貼り付け]
画像をダウンロード	画像をロングタッチ▶[画像を保存]
コンテンツをダウンロード	ダウンロードするコンテンツをタッチ
RSSを登録	RSSリンクをタッチ▶RSSを選ぶ

※ 件名や本文の情報がある場合は、件名や本文もコピーされます。

■ サイト表示画面のメニュー操作

[URL入力]	☞P.107
[ブックマーク]	☞P.108
[履歴]	☞P.109
[新規ウィンドウ]／[ウィンドウリスト]	
[RSS登録]	☞P.116
[進む]	
[戻る]	
[再読み込み]／[停止] ● 現在表示しているサイトの再読み込みや再読み込みの停止ができます。	
[拡大]	
[縮小]	
[等倍]	
[ページ内検索]	☞P.108
[テキスト選択コピー]	☞P.108
[ページ情報] ● ページ名とアドレス(URL)を表示します。	
[ページを共有]▶メールを作成・送信 ● ページのURLを記載したメールを作成します。	
[ダウンロード履歴]	☞P.108
[ホームページへ移動] ● ホームページ設定で設定したサイトへ移動します。	
[設定]	☞P.111

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

リンクが設定されているテキストは、通常、青色で表示されます。

1 サイト表示中にリンクを選ぶ

- リンクをタッチすると画面を移動できます。

- リンク先が画像やページ以外の場合、リンク先に指定されているものをダウンロードします。

サイトを移動する<URL入力>

インターネットホームページのアドレス（URL：「http://」などで始まるアドレス）を入力して接続できます。また、キーワードを入力してサイトを検索することもできます。

1 サイト表示中にMENU▶［URL入力］

2 URLまたはキーワードを入力▶［移動］

- URLやキーワードを入力するとサイトの表示履歴や入力履歴などが表示されます。表示された項目を選択して移動することもできます。

複数のホームページを表示する<新規ウィンドウ>

サイトを表示中に、新しいウィンドウで別のサイトを表示することができます。

- 最大8枚までウィンドウを開くことができます。

1 サイト表示中にMENU▶［新規ウィンドウ］

- ホームページに設定したサイトを表示します。

複数のホームページを切り替えて表示する<ウィンドウリスト>

1 サイト表示中にMENU▶［ウィンドウリスト］

2 サイトを選ぶ

■ ウィンドウリスト画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

［×］	ウィンドウを閉じる
［新規ウィンドウ］	新しいウィンドウを開く

■ ウィンドウリスト画面のメニュー操作

サイトにカーソルを合わせていないとき

［新規ウィンドウ］

サイトにカーソルを合わせているとき

［表示］

［閉じる］

［ブックマーク登録］▶［OK］

［ページ情報］
- ページ名とアドレス（URL）を表示します。

［新規ウィンドウ］

表示中のページ内でテキストを検索する
<ページ内検索>

1 **サイト表示中にMENU▶[ページ内検索]**

2 **[ページ内検索]欄を選ぶ**

3 **キーワードを入力**

- 文字を入力するたびに、検索バーの右下に一致した件数が表示されます。
- カーソルが当たっているテキストは緑色で表示されます。
- 一致したテキストは緑色の枠で囲まれます。

■ ページ内検索画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[▶]	次の検索結果を表示
[◀]	前の検索結果を表示
[×]	検索バーを閉じる

ダウンロードの状態を表示する<ダウンロード履歴>

1 **サイト表示中にMENU▶[ダウンロード履歴]**

- ダウンロード中のデータも表示されます。

■ ダウンロード履歴画面のタッチパネル操作

● 次のタッチ操作ができます。

ダウンロードの中止	ダウンロード中のデータをロングタッチ▶[ダウンロードを中止]
ダウンロード済みのデータを開く	ダウンロード済みのデータをタッチ
ダウンロード済みのデータを削除	ダウンロード済みのデータをロングタッチ▶[リストから削除]
ダウンロードのやり直し※	ダウンロードに失敗したデータをタッチ▶[はい]

※ データによっては再ダウンロードできないものもあります。

■ ダウンロード履歴画面のメニュー操作

[リスト全削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]
● すべてのダウンロード済みのデータを削除します。

[全ダウンロード中止]▶ロックNo.を入力▶[OK]
● すべてのダウンロードを中止します。

サイトに表示されたテキストをコピーする
<テキスト選択コピー>

サイトに表示されたテキストをコピーし、メールやテキストボックスなどに貼り付けることができます。

1 **サイト表示中にMENU▶[テキスト選択コピー]**

2 **コピーする範囲をタッチしたままスライド**

- ピンク色で表示されたテキストがコピーされます。

ブックマークや履歴からサイトをすばやく表示する

ブックマークに登録する<現在のページをブックマーク>

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。

1 **サイト表示中にMENU▶[ブックマーク]▶[現在のページをブックマーク]▶[OK]**

● 表示しているページによっては登録されないことがあります。

■ ブックマーク画面のメニュー操作

[現在のページをブックマーク]にカーソルを合わせているとき

[ブックマーク登録]▶[OK]

[ブックマーク全送信]

▶[赤外線送信] ☞P.178

▶[Bluetooth送信] ☞P.225

[ブックマーク全削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

ブックマークにカーソルを合わせているとき

[開く]

[新しいウィンドウで開く]

- サイト表示中に新しいウィンドウで別のサイトを表示することができます。

[ブックマークを編集]▶[名前]欄を選ぶ▶名前を入力▶[場所]欄を選ぶ▶URLを入力▶[OK]

[ショートカットを作成]

- 選択しているブックマークから待受画面にショートカットを作成します。

[リンクを共有]▶メールを作成・送信

- 選択しているブックマークのURLを記載したメールを作成します。

[ブックマークを送信]

▶[赤外線送信] ☞P.178

▶[Bluetooth送信] ☞P.225

[URLをコピー]

- 選択しているブックマークのURLをコピーします。

[ブックマークを削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

ブックマークからサイトを表示する<ブックマーク>

1 サイト表示中に(MENU)▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

頻繁に表示するサイトに接続する<よく使用>

サイトの表示履歴を、使用頻度順に並べて表示します。

1 サイト表示中に(MENU)▶[ブックマーク]▶[よく使用]

2 履歴を選ぶ

- サイトによっては、使用頻度順に表示されない場合があります。

■ よく使用画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[☆](青色)	ブックマークから削除
[☆](グレー)	ブックマークに登録

履歴からサイトに接続する<履歴>

1 サイト表示中に(MENU)▶[履歴]

2 日付を選ぶ

3 履歴を選ぶ

- 履歴は表示した日付ごとに分類されて保存されます。

■ 履歴画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[☆](青色)	ブックマークから削除
[☆](グレー)	ブックマークに登録

■ 履歴画面のメニュー操作

日付にカーソルを合わせているとき

[展開]／[折りたたみ]

[履歴全削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]

内容にカーソルを合わせているとき

[開く]

[新しいウィンドウで開く]
- サイト表示中に新しいウィンドウで別のサイトを表示することができます。

[ブックマーク登録]▶[OK]

[リンクを共有]▶メールを作成・送信
- 選択している履歴のURLを記載したメールを作成します。

[URLをコピー]
- 選択している履歴のURLをコピーします。

[履歴から削除]

▶[1件削除]

▶[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]

サイト内の情報を利用する

サイトで表示された情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したり、地図を起動したりできます。

電話番号の情報を使う

電話番号の情報を使って、音声電話の発信ができます。

1 **電話番号の情報を選ぶ**

2 **電話をかける**

メールアドレスの情報を使う

メールアドレスの情報を使って、メールを送ることができます。

1 **メールアドレスの情報を選ぶ**

2 **メールを作成・送信**

アップロード

サイトに画像や動画をアップロードする

FOMA端末またはmicroSDカードに保存されている静止画(JPEG画像、GIF画像)や動画を、サイトにアップロードすることができます。
- サイトによって、アップロードできるファイルの種類が異なる場合があります。
- メモリの空き容量によってはアップロードできない場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません。
- アップロードの方法はサイトによって異なります。画面表示に従って操作してください。

■ アップロード画面のメニュー操作

[停止]

設定

ブラウザの設定を行う

ブラウザ接続に関する各種の設定を行います。

ページコンテンツ設定	文字サイズ	文字サイズを変更できます。
	デフォルトの解像度	サイト表示時の画面の解像度を変更できます。
	テキストエンコード	文字コードを変更できます。
	ポップアップウィンドウをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
	画像の読み込み	ページを表示するときに、画像を表示するかどうかを設定します。
	ページの自動調整	画面に合わせてサイトの表示サイズを自動調整するかどうかを設定します。
	JavaScriptを有効にする	サイトにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定できます。
	バックグラウンドで開く	新しいウィンドウを開くとき、現在表示しているウィンドウのバックグラウンドで開くかどうかを設定します。
	ホームページ設定	ブラウザを起動したときや新規ウィンドウを開いたときに表示するページを設定します。
プライバシー設定	キャッシュを削除	キャッシュしたコンテンツをすべて削除します。
	履歴削除	ブラウザの閲覧履歴を削除します。
	Cookieを受け入れる	サイトによるCookieの保存と読み取りを許可します。
	Cookieをすべて削除	保存されているCookieをすべて削除します。
	フォームデータを保存	フォームに入力したデータを保存してあとで呼び出せるようにします。
	フォームデータを削除	保存されているフォームデータをすべて削除します。
セキュリティ設定	パスワードを保存	サイトのユーザー名とパスワードを保存できるようにします。
	パスワードを削除	保存されているパスワードをすべて削除します。
	セキュリティ警告を表示	サイトの安全性に問題がある場合に警告を表示するかどうかを設定します。
詳細設定	ダウンロードデータの保存先	ダウンロードしたデータをFOMA端末とmicroSDカードのどちらに保存するか設定します。
	Gearsを有効にする	ブラウザの機能拡張を有効にします。
	Gearsの設定	アプリケーションごとのブラウザ機能拡張の設定をします。
	ブックマークをリセット	登録したブックマークを削除して、お買い上げ時の状態に戻します。
	初期設定にリセット	ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **サイト表示中にMENU ▶ [設定]**

2 **項目を選ぶ**

3 **設定する**

[テキストエンコード]について

- サイトの文字が正しく表示されない場合、テキストエンコードで文字コードを変更すると正しく表示できることがあります。変換できる文字コードは次のとおりです。
  - ■ Latin-1(ISO-8859-1)　■ Unicode(UTF-8)
  - ■ 日本語(ISO-2022-JP)　■ 日本語(Shift_JIS)　■ 日本語(EUC-JP)

[ページの自動調整]について

- ページの自動調整を設定しても、正しく表示されない場合があります。

次ページへ続く ▶▶

[JavaScriptを有効にする]について

- JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、サイトの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、サイト全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのはJavaScriptによるものです。
- JavaScriptを有効にすることで第三者にお客様がサイトに入力した情報やサイトの訪問履歴などが知られる可能性もありますので、十分ご注意ください。

[Cookieを受け入れる]について

- Cookieを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

[フォームデータを保存]について

- フォームデータを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリケーション

アプリケーションを利用する

アプリケーションを管理する

Googleマップを利用する

Googleマップを利用すると、現在地の測位やリアルタイムでの道路状況の表示、目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。また、興味のある場所や住所を地図や航空写真で検索したり、場所によっては通りから撮影された画像を表示することができます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップアプリケーションは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

位置情報サービスを有効にする

FOMA端末のGPS機能は、GPSの電波が受信可能な状態で現在地の測位が可能です。また、現在地を測位するためには、[ワイヤレスネットワークを使用]もしくは[GPS機能をONにする]を有効にする必要があります。

ワイヤレスネットワークを使用	ワイヤレスネットワークを使用して位置情報を測位することができます。
GPS機能をONにする	より精度の高い位置情報を測位することができます。 ● 電波状況によっては、位置情報を正しく測位できない場合があります。 ● FOMA端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
Googleと共有する	Googleに位置情報を提供するかどうかを設定します。

1 メインメニューで[設定]▶[セキュリティ&位置情報]

2 項目を選ぶ

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

Googleマップを開く<マップ>

- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしておいてください（☞P.114）。

1 メインメニューで[マップ]



1 現在地

2 縮小キー
- タッチすると、地図を縮小します。

3 拡大キー
- タッチすると、地図を拡大します。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上では、テキストメッセージやメールを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地までの移動方法を検索したりできます。

- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 地図表示中に[MENU]▶[Latitudeに参加]

- はじめて利用するときは、Googleのプライバシーポリシーが表示されます。プライバシーポリシーに同意してください。次回起動時からはプライバシーポリシーが表示されません。

友人を招待する

Latitudeに参加すると、自分の位置情報を友人と共有することができます。自分が招待した友人や自分を招待した友人にだけ位置情報を見せることができます。

1 地図表示中に[MENU]▶[Latitude]▶[MENU]▶[友人を追加]

招待に応じる

友人からLatitudeで位置情報を共有する招待を受けたときは、次の中から回答を選ぶことができます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を見ることができます。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分は友人の位置情報を見ることができますが、友人からは自分の位置情報を見ることができません。
承認しない	招待を辞退し、お互いの位置情報は共有されません。

友人の現在地を確認する

友人の現在地を、地図画面またはリスト画面で確認することができます。

- マップを開くと、友人の現在地が表示されます。友人はそれぞれ写真アイコンで表示され、おおよその位置に矢印が示されます。
- 友人が都市レベルの位置情報の共有を選択している場合は、その友人のアイコンには矢印がなく、都市の中央にアイコンが表示されます。
- 友人がGoogleトークを利用している場合は、友人の写真の下に丸いアイコンが現れ、オンラインステータス(オンライン、取り込み中など)が表示されます。

■ 友人の詳細情報／接続オプションを表示する

1 地図表示中に友人の名前を選ぶ

- Latitudeを開くと、Latitudeの友人リストが、最後に取得された位置情報、ステータスなどの概要とともに表示されます。
- リストの友人にタッチすると、友人の詳細情報や接続オプションを見ることができます。

共有情報を管理する

友人への見え方や見える時間を管理することができます。Googleアカウントには、Latitudeに最後に送られた位置情報だけが保存されます。Latitudeを停止したり、情報を非公開にしている場合は、位置情報は保存されません。

1 地図表示中に[MENU]▶[Latitude]▶自分の名前を選ぶ▶[プライバシー設定を編集]

UkiUkiView

UkiUkiViewを利用する

カメラモードで撮影した場所や地図モードで表示された場所の位置情報に登録されているUkiUki玉(コメント)や店舗情報が表示され、その場所に関する情報を見ることができます。また、自分でUkiUki玉を投稿し、位置情報に情報を登録することもできます。

- UkiUkiViewの詳細については、初期設定画面の[ヘルプ]をご覧ください。

1 メインメニューで[UkiUkiView]

- はじめて利用するときは、UkiUkiView初期設定画面が表示されます。画面に従って登録操作を行ってください。

twit SH

Twitterを利用する

Twitterを利用するとサイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

- Twitterの詳細については、Twitterサイトをご覧ください。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

1 メインメニューで[twit SH]

- はじめて利用するときは、アカウント入力画面が表示されます。画面に従って登録操作を行ってください。

YouTube

YouTubeを利用する

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

- YouTubeにアクセスするには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- 動画コンテンツのダウンロード・アップロードの際に、パケット通信料が発生する場合があります。

1 メインメニューで[YouTube]

YouTube動画を再生する

1 YouTube画面で再生する動画を選ぶ

動画を検索する

YouTubeホームページには、複数の動画検索方法があります。
ホームページには、再生回数の多い動画や話題の動画などが一覧表示されます。
また、[MENU]▶[カテゴリ]でカテゴリごとに分類した動画の一覧から検索したり、[検索]でキーワードを入力して動画を検索したりできます。

■ 検索履歴を削除する

1 YouTube画面で[MENU]▶[設定]▶[検索履歴を消去]▶[OK]

YouTubeで動画を共有する

YouTubeに動画をアップロードして動画を共有することができます。

- 動画をアップロードするにはYouTubeへのログインが必要です。

1 YouTube画面で[MENU]▶[アップロード]

RSSリーダー

RSSリーダーを利用する

ニュースサイトやブログなどが提供するRSSをRSSリーダーに登録しておくと、RSSを更新することで、登録したサイトの最新記事の見出しや概要などを取得できます。

- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

RSSリーダーにRSSを登録する<RSS登録>

1 RSS対応サイト表示中に(MENU)▶[RSS登録]

- 登録できるRSS対応サイトを表示しているときは[RSS]が表示されます。

2 登録するRSSを選ぶ

- RSS URLやRSSタイトルを編集:[URL]欄／[タイトル]欄を選ぶ▶編集

3 [追加]

- サイトのRSSによっては、登録できない場合があります。

アプリケーション

RSSリーダーを利用する<RSSリーダー>

1 メインメニューで[RSSリーダー]

- 登録しているRSSタイトルの一覧と未読更新情報数が表示されます。

2 RSSタイトルを選ぶ



更新情報一覧表示

1 更新情報アイコン

▶（青色）	未読更新情報	▶（グレー）	既読更新情報

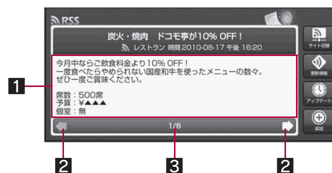
2 RSS切替キー

- 前／次のRSSを表示します。

3 RSSタイトル

4 未読更新情報数

3 更新情報を選ぶ



更新情報詳細表示

1 詳細更新情報

- タッチすると、サイトに接続します。
- 左右にすばやくスライドすると、前／次の更新情報を表示します。

2 更新情報切替キー

- 前／次の更新情報を表示します。

3 更新情報番号／更新情報数

■ RSSリーダー画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[サイト切替]	RSSタイトル一覧を表示
[更新情報]	更新情報一覧を表示
[アップデート]	更新
[追加]	サイトを追加

■ RSSリーダー画面のメニュー操作

[サイト切替]	
[更新情報]	
[アップデート]	
[追加]	☞P.118
[次のサイト]（更新情報一覧表示のみ）	
[前のサイト]（更新情報一覧表示のみ）	
[読む]（更新情報一覧表示のみ）	
[次の更新情報]（更新情報詳細表示のみ）	
[前の更新情報]（更新情報詳細表示のみ）	
[削除]（RSSタイトル一覧表示、更新情報一覧画面のみ）▶[OK]	
[全削除]（更新情報一覧画面のみ）▶[OK]	

URLを入力してRSSを追加する

1 **RSSリーダー画面で[追加]**

2 **[URL]欄を選ぶ ▶ URLを入力**

3 **[タイトル]欄を選ぶ ▶ タイトルを入力**

4 **[追加]**

mixi for SH

mixiを利用する

mixi(ミクシィ)を利用すると、日記の投稿、写真のアップロード、ボイスの投稿など、さまざまなサービスで友人・知人とのコミュニケーションをすることができます。

- mixiの詳細については、mixiサイトをご覧ください。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

1 **メインメニューで[mixi for SH]**

- はじめて利用するときは、mixiサイトに自動的に接続されます。画面に従って登録操作を行ってください。



1 情報タブ
- タッチするたびにそれぞれの情報の表示/非表示が切り替わります。

2 情報表示エリア
- 投稿されている情報が表示されます。

3 mixiキー
- タッチするとmixiサイトに接続します。

4 リスト表示キー
- ボイス作成画面、日記作成画面でタッチするとリスト表示に戻ります。

5 ボイス投稿キー
- ボイス作成画面が表示されます。

6 日記投稿キー
- 日記作成画面が表示されます。

7 更新キー
- タッチすると情報を更新します。

ボイスを投稿する

1 **mixi画面で[ボイス投稿アイコン]**

2 **ボイス入力欄を選ぶ ▶ ボイスを入力**

3 **[つぶやく]**

日記を投稿する

1 **mixi画面で[日記投稿アイコン]**

2 **タイトル入力欄を選ぶ ▶ タイトルを入力**

3 **本文入力欄を選ぶ ▶ 本文を入力**

- 画像の添付:[参照] ▶ 画像を選ぶ

4 **[日記を作成する]**

静止画をアップロードする

例:静止画プレビュー画面からアップロードするとき

1 **静止画プレビュー画面で[mixiフォト]**

2 **アルバムを選ぶ**

アルバムを作成する＜アルバムを新規作成＞

1 **静止画プレビュー画面で[mixiフォト]**

2 **[アルバムを新規作成]**

3 **タイトルを入力 ▶ [登録]**

- タイトルは100文字まで入力できます。

- 画像の公開レベルは、友人まで公開に設定されます。
- [説明]の項目にも、入力したタイトルが反映されます。

動画をアップロードする

例：動画撮影確認メニュー画面からアップロードするとき

1 **動画撮影確認メニュー画面で[動画アップロード] ▶ [mixi for SH]**

2 **動画のタイトルを入力 ▶ [アップロード]**

- タイトルは100文字まで入力できます。

- 動画の公開レベルは、友人まで公開に設定されます。
- タイトルを入力しなかった場合、動画のファイル名がタイトルになります。

millmo for SH

millmoを利用する

millmo for SHは音楽や動画など、さまざまなサイト上のコンテンツを利用できるアプリケーションです。

- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

1 **メインメニューで[millmo SH]**



1 カテゴリタブ
- タッチすると、カテゴリごとのカテゴリメニューを表示します。

2 カテゴリメニュー
- タッチすると、サイトに接続します。

2 **カテゴリメニューを選ぶ**

- 利用規約を確認：[Home] ▶ [利用規約]

Book store

Book storeを利用する

電子書籍の購入サイトに接続して、コミックや写真集などの電子書籍を購入したり、購入した電子書籍を管理・閲覧したりできます。

- Book storeの詳細については、[ヘルプ]をご覧ください。

1 **メインメニューで[Book store]**

書籍を購入する

1 TOP画面で[デジコミストアへ]／[デジフォトストアへ]

2 購入する書籍を選ぶ ▶ [購入する] ▶ 画面に従って操作

データの同期

Googleアプリケーションを自動同期する

FOMA端末に搭載されているGmail／電話帳／スケジュールのデータは、パソコンからインターネットを利用したGoogleサービス上で同じ個人情報（Gmail／Gmail連絡先／Googleカレンダー）にアクセスできます。お使いのパソコンからGmail／Gmail連絡先／Googleカレンダーの追加や表示、編集をすることができます。FOMA端末上のデータと同期し、最新状態にしてご利用ください。

1 メインメニューで[設定] ▶ [データの同期]

2 [バックグラウンドデータ]と[自動同期]を有効にする

3 アプリケーションを選ぶ

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

- [バックグラウンドデータ]を有効にすると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うことを許可します。また、[自動同期]を有効にすると、GmailやGmail連絡先、Googleカレンダーを同期することを許可します。これらの通信は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- プロフィール、電話帳の編集中に同期が行われた場合、編集中の内容は破棄されます。
- 絵文字をパソコンで表示した場合、正しく表示されないことがあります。

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスしてFOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。

- Googleアカウントが未設定の場合は、アカウントのセットアップ画面が表示されます。アカウントの設定については☞P.40
- あらかじめバックグラウンドデータ（☞P.120）を有効にしてください。

1 メインメニューで[マーケット]

- はじめて利用するときは、サービス利用規約が表示されます。サービス利用規約を確認し、同意してください。

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ヘルプを表示する

1 Androidマーケット画面で[MENU] ▶ [ヘルプ]

アプリケーションを検索する

Androidマーケットホームページには、複数のアプリケーション検索方法があります。
ホームページには、注目のアプリケーション、カテゴリごとに分類したアプリケーションアイテムの一覧、ゲーム一覧、検索へのリンク、マイダウンロードへのリンクが表示されます。
注目のアイテムを縦方向にスクロールするか、内容を検索するカテゴリを選択し、サブカテゴリを選択します。各サブカテゴリ内では、アイテムを[有料アプリケーション]、[無料アプリケーション]または[新着]で分類して表示することができます。

アプリケーションをインストールして開く

1 **Androidマーケット画面でダウンロードするアプリケーションを選ぶ**

2 **アプリケーションの情報、コメントを確認する**

3 **[インストール]/[購入]▶[OK]**

4 **インストール済みのアプリケーションを選ぶ▶[開く]**

- アプリケーションのインストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。
- アプリケーションをインストールすると、メインメニューにもインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

アプリケーションを購入する

- 有料のアプリケーションをダウンロードする場合は、Googleチェックアウトアカウントを作成してアプリケーションを購入する必要があります。

1 **Androidマーケット画面で購入するアプリケーションを選ぶ▶[購入]**

- アプリケーションの初回購入時は、Googleチェックアウト支払い請求サービスにログインする必要があります。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリケーションは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- FOMA端末にはGoogleチェックアウトパスワードが記憶されるため、クローズロック(☞P.69)を設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。
- Androidマーケットからのアプリケーションの購入および返金等については、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ 返金を要求する

アプリケーションの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

1 **Androidマーケットのホームページで[ダウンロード]**

2 **アンインストールするアプリケーションを選ぶ**

3 **[アンインストール&返金]欄で[アンインストール]**

4 **質問フォームに回答する▶[OK]**

ドコモマーケット

ドコモマーケットを利用する

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 メインメニューで[ドコモマーケット]

- ブラウザが起動し、「ドコモマーケット」が表示されます。

- ドコモマーケットのご利用には、パケット通信(3G)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認のうえご利用ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物(文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど)の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。
- ドコモマーケット上に掲載されているドコモのまたはサービスの名称等は、ドコモの商標または登録商標です。その他の製品及び会社名は、各社の商号、登録商標または商標です。

アプリケーションの管理

アプリケーションを管理する

アプリケーションの情報を確認する

アプリケーションの名前やバージョン、メモリの使用状況などが確認できます。

1 メインメニューで[設定]▶[アプリケーション]▶[アプリケーションの管理]

2 アプリケーションを選ぶ

- アプリケーション情報画面が表示されます。

アプリケーションをアンインストールする

1 アプリケーション情報画面で[アンインストール]▶[OK]▶[OK]

- お買い上げ時に登録されているアプリケーションは、アンインストールできません。[データを消去]▶[OK]でデータを削除することができます。

- アプリケーションをアンインストールすると、ショートカットやメインメニューのアイコンも削除されます。

アプリケーションのキャッシュを削除する

1 アプリケーション情報画面で[キャッシュを消去]

デフォルトで使用する設定を解除する<設定を消去>

特定のファイルを開くときに優先して起動するアプリケーションを設定している場合、その設定を解除します。

1 **アプリケーション情報画面で[設定を消去]**

アプリケーションを強制停止する<強制停止>

不正な処理を行ったアプリケーションを強制停止します。

1 **アプリケーション情報画面で[強制停止]**

よく使うアプリケーションをすばやく起動する

よく使うアプリケーションをあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でそのアプリケーションを起動できます。

■ キーにアプリケーションを割り当てる<クイック起動>

1 **メインメニューで[設定]▶[アプリケーション]▶[クイック起動]**

2 **キーを選ぶ**

- 1～9、0、A～Zに割り当てることができます。

3 **割り当てるアプリケーションを選ぶ**

■ キーに割り当てたアプリケーションを起動する

1 **Qを押したままアプリケーションを割り当てたキーを押す**

開発

アプリケーションの開発機能を利用する

USBデバッグや擬似ロケーションなど開発機能の詳細については、http://developer.android.com/をご覧ください。

USBデバッグモードを利用する<USBデバッグ>

パソコン上のデバッグツールがUSB接続時にFOMA端末と通信するのを許可します。

1 **メインメニューで[設定]▶[アプリケーション]▶[開発]**

2 **[USBデバッグ]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

充電中にスリープモードにならないようにする<スリープモードにしない>

1 **メインメニューで[設定]▶[アプリケーション]▶[開発]**

2 **[スリープモードにしない]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

擬似ロケーションを許可する<擬似ロケーションを許可>

1 **メインメニューで[設定]▶[アプリケーション]▶[開発]**

2 **[擬似ロケーションを許可]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

提供元不明のアプリケーションを利用する ＜提供元不明のアプリ＞

Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

1 **メインメニューで[設定]▶[アプリケーション]**

2 **[提供元不明のアプリ]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

- サイトからダウンロードするアプリケーションは情報源が不明な場合もあります。FOMA端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなど信頼できる情報源からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

マルチメディア

カメラを使う

フォトを使う

メディアプレーヤーを使う

著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

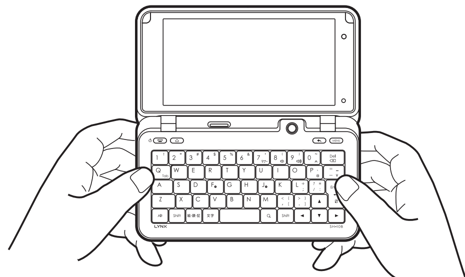
- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影したり、長時間カメラを起動するとFOMA端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。しばらくたってからカメラをご利用ください。
- フォーカス設定を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生するときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠（Exif Ver.2.2、JPEG準拠）の形式で保存されます。
  - ・「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
  - ・「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。
- ワンセグ動作中はカメラをご利用になれません。

カメラを使用中の動作について

- 各カメラモード起動中に約３分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。未保存のデータは保存され、読み取り結果は削除されます。
- 各カメラモード起動中にピクチャーライトを計３分間点灯すると、点灯できなくなります。再度点灯する場合は、各カメラモードを終了して、もう一度起動してください。
- シャッター音は変更できます（☞P.132）。シャッター音の音量は変更できません。

撮影ポジションについて

FOMA端末は、図のようにしっかりと持って撮影してください。



撮影画面のタッチパネル操作

静止画

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[フォト]	フォトを起動
[ノーマル→笑顔]／[笑顔→振り向き]／[振り向き→ノーマル]	笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード／ノーマルモードに切替
[撮影]	撮影※

※ ロングタッチすると、セルフタイマーを[2秒]に設定して撮影します（撮影後、セルフタイマーは解除されます）。

- 次のタッチ操作ができます。

明るさ設定	上下にすばやくスライド
ズーム設定	左右にすばやくスライド※
撮影時の設定変更	画面下部のアイコンをタッチ
撮影した画像を表示	サムネイルをタッチ

※ 左右にスライドする長さに応じてズーム幅が変わります。

- 撮影後のプレビュー画面では表示されるキーで次の操作ができます。

[mixiフォト]	mixiにアップロード
[保存]	保存

動画

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[コンテンツマネージャー]	コンテンツマネージャーを起動
[ライト]	ピクチャーライトの点灯／オート／消灯を切替
[録画]	撮影開始
[停止]	撮影停止

- 静止画と同様に明るさ設定／ズーム設定のタッチ操作や、タッチメニューの表示ができます。

名刺リーダー／情報リーダー

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[読取]	読み取り

- 静止画と同様に明るさ調整のタッチ操作ができます。
- 読み取り結果画面では表示されるキーで次の操作ができます。

[コピー]	コピー
[登録]	電話帳に登録

テキストリーダー

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[撮影]	撮影

- 静止画と同様に明るさ調整のタッチ操作ができます。
- 読み取り画面では表示されるキーで次の操作ができます。

[読取]	読み取り
[▲]／[▼]	カーソルを移動※1
[◀]／[▶]	カーソルを移動※2

※1 横書き文字を認識した場合のみ、表示されます。
※2 縦書き文字を認識した場合のみ、表示されます。

次ページへ続く

● 読み取り結果モード選択画面では表示されるキーで次の操作ができます。

[モード]	読み取りモード変更

● 読み取り結果画面では表示されるキーで次の操作ができます。

[編集]	テキストを編集
[選択]	リンクを選択

● 編集画面では表示されるキーで次の操作ができます。

[完了]	編集を完了

バーコードリーダー

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[AF]	フォーカスロック
[中断]	読み取りの中断
[再読取]	読み取りの再開
[選択]	リンクが含まれる読み取り結果を選択

● 静止画と同様に明るさ調整のタッチ操作ができます。

タッチメニューを利用する

静止画／動画撮影画面で画面下部に表示されるアイコンをタッチすると、タッチメニューが表示され、撮影時の設定を変えることができます。

● タッチメニューで設定できる項目は、撮影画面のメニュー項目（☞P.132、P.135）と同様です。

例：静止画撮影画面のとき



1 設定値リスト
2 設定項目リスト
3 現在の設定値

● 次のタッチ操作ができます。

通常の撮影画面に戻る	設定項目、設定値以外をタッチ

撮影画面のキー操作

■ 静止画撮影画面

明るさアップ※1	▲
明るさダウン※1	▼
ズームダウン※1	◀
ズームアップ※1	▶
撮影	Enter
セルフタイマー撮影	Enter（1秒以上）
アイコン表示設定切替※2	（スペース）
カメラモードの設定メニュー表示	1
カメラ切替の設定メニュー表示	2
撮影サイズの設定メニュー表示	3
フォーカス設定の設定メニュー表示	4
シーン設定の設定メニュー表示	5
ホワイトバランスの設定メニュー表示	6
画質の設定メニュー表示	7
ピクチャーライトの設定メニュー表示	8

セルフタイマーの設定メニュー表示	9
明るさバー表示	0
ズームバー表示	Q
撮影モードの設定メニュー表示	W
各種設定の設定メニュー表示	E
シャッターモード切替	R
フォーカスロック	A
フォーカスロック解除	S
ヘルプ表示	MENU＋H

※1　キーを押し続けると、連続して調整できます。
※2　キーを押すたびに、表示／非表示が切り替わります。

プレビュー画面

画像を削除※1	Del
保存	Enter
アイコン表示設定切替※2	（スペース）
拡大※3	1
縮小※3	2
等倍	3
正像／鏡像の切替※4	4
mixiにアップロード	5
ヘルプ表示	MENU＋H

※1　連続撮影時のみ操作できます。
※2　キーを押すたびに、表示／非表示が切り替わります。
※3　キーを押し続けると、連続して調整できます。
※4　インカメラで撮影した場合のみ操作できます。

■ 動画撮影画面

明るさアップ※1	▲
明るさダウン※1	▼
ズームダウン※1	◀
ズームアップ※1	▶
録画開始／録画停止	Enter
セルフタイマー撮影	Enter（1秒以上）
アイコン表示設定切替※2	（スペース）
カメラモードの設定メニュー表示	1
カメラ切替の設定メニュー表示	2
録画サイズの設定メニュー表示	3
フォーカス設定の設定メニュー表示	4
ホワイトバランスの設定メニュー表示	5
ピクチャーライトの設定メニュー表示	6
セルフタイマーの設定メニュー表示	7
明るさバー表示	8
ズームバー表示	9
各種設定の設定メニュー表示	0
ピクチャーライト切替※3	A
ヘルプ表示	MENU＋H

※1　キーを押し続けると、連続して調整できます。
※2　キーを押すたびに、表示／非表示が切り替わります。
※3　キーを押すたびに、ON→オート→OFFの順に切り替わります。

■ 名刺リーダー画面／情報リーダー画面

明るさアップ※	▲
明るさダウン※	▼
読み取り	Enter
カメラモードの設定メニュー表示	1
明るさバー表示	2
ピクチャーライトの設定メニュー表示	3
フォーカス設定の設定メニュー表示	4
ヘルプ表示	MENU＋H

※ キーを押し続けると、連続して調整できます。

■ テキストリーダー画面

明るさアップ※	▲
明るさダウン※	▼
撮影	Enter
カメラモードの設定メニュー表示	1
明るさバー表示	2
ピクチャーライトの設定メニュー表示	3
フォーカス設定の設定メニュー表示	4
ヘルプ表示	MENU＋H

※ キーを押し続けると、連続して調整できます。

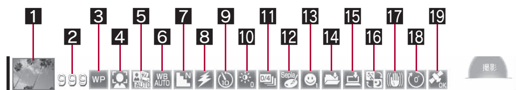
■ バーコードリーダー画面

明るさアップ※	▲
明るさダウン※	▼
中断／再読取	Enter
カメラモードの設定メニュー表示	1
明るさバー表示	2
ピクチャーライトの設定メニュー表示	3
ヘルプ表示	MENU＋H
フォーカスロック	A
フォーカスロック解除	S

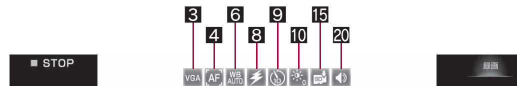
※ キーを押し続けると、連続して調整できます。

撮影画面の見かた

静止画撮影画面



動画撮影画面



名刺リーダー画面／情報リーダー画面／テキストリーダー画面／バーコードリーダー画面

● 画面は名刺リーダーの画面です。



1 サムネイル
- タッチすると撮影した画像を表示することができます（☞P.135）。

2 撮影可能枚数表示
- 撮影可能枚数を3桁の数字で表示します。

3 撮影サイズ表示

静止画撮影

5M	5M：2560×1920	WP	待受：960×480
3M	3M：2048×1536	FWVGA	FWVGA：854×480
2M	2M：1600×1200	VGA	VGA：640×480
Full HD	フルHD：1920×1080	QVGA	QVGA：320×240
1.2M	1.2M：1280×960		

動画撮影

VGA	VGA：640×480	QCIF	QCIF：176×144
QVGA	QVGA：320×240		

4 フォーカス設定表示

静止画撮影

	顔優先AF		接写固定
	センターAF		AF OFF
	接写AF		

動画撮影

	標準AF		接写固定
	接写AF		AF OFF

名刺リーダー／情報リーダー

	標準AF		接写AF

テキストリーダー

	標準AF		接写AF

5 シーン設定表示

	自動認識		風景		逆光
	標準		料理		文字
	人物		夜景		スポーツ

6 ホワイトバランス表示

	オート		蛍光灯		曇り・日陰
	電球		太陽光		

7 画質表示

	ノーマル		ファイン

8 ピクチャーライト表示

	オート		点灯不可
	ON		

9 セルフタイマー表示

	2 秒		5 秒		10秒

10 明るさ設定表示

	暗い ← 標準 → 明るい

11 連写表示

	4 枚	～	4 枚連写中
	9 枚	～	9 枚連写中

12 特殊効果表示

	セピア		モノクロ

13 笑顔レベル表示

	レベル 1（微笑）		レベル 3
	レベル 2		

14 自動保存表示

	ON		保存中（残り 2 枚）
	OFF		保存中（残り 3 枚）
	保存中（残り 1 枚）		

15 保存先

	本体		microSD

16 カメラモード自動切替表示

	ON

17 手ぶれ補正表示

	オート

次ページへ続く

⑱ 画面方向記録表示

(90)	画面90度回転時	(270)	画面270度回転時
(180)	画面180度回転時		

⑲ 位置情報取得状態表示

(OK)	取得成功時	(NG)	取得失敗時

⑳ 録画音声表示

(音声)	ON

静止画撮影

静止画を撮影する

- 撮影をするときは、シャッター音が鳴ります。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください(☞P.138)。

1 メインメニューで[カメラ]



- 名刺／バーコードを検出すると、自動で名刺リーダー／バーコードリーダーが起動します(☞P.132)。
- ズーム(☞P.136)を利用したり、タッチメニュー(☞P.128)を表示できます。
- 自分を撮影：インカメラに切り替える(☞P.132)

2 [撮影]

- 静止画を撮影します。
- 自動保存が[ON]のときは、操作完了となります。

3 [保存]

- 静止画を保存します。
- 静止画を削除して撮影し直す：(戻る)
- mixiにアップロード：[mixiフォト]

■ 静止画撮影画面のメニュー操作

[カメラモード] ▶ カメラモードを選ぶ	
[カメラ切替] ● アウトカメラとインカメラを切り替えます。	
[撮影サイズ]	☞P.136
[フォーカス設定]	☞P.138
[シーン設定]	☞P.137
[ホワイトバランス]	☞P.137
[画質]	☞P.136
[ピクチャーライト] ▶ 設定を選ぶ	
[セルフタイマー]	☞P.137
[明るさ設定]	☞P.136
[ズーム設定]	☞P.136
[撮影モード]	
▶ [連写]	☞P.134
▶ [特殊効果]	☞P.137
▶ [フレーム撮影]	☞P.137
[各種設定]	
▶ [笑顔レベル]	☞P.139
▶ [アイコン表示] ▶ 設定を選ぶ ● 撮影画面のアイコンを表示するかどうかを設定します。	
▶ [シャッター音] ▶ シャッター音を選ぶ	
▶ [自動保存] ▶ 設定を選ぶ ● 撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。	

▶［カメラモード自動切替］▶設定を選ぶ

● 名刺／バーコードを検出したときに、自動で名刺リーダー／バーコードリーダーを起動するかどうかを設定します。

▶［位置情報］

▶［位置情報付加］▶GPS情報を付加

● 現在地を測位してGPS情報を付加：［はい］▶［現在位置を取得］▶［OK］
  ・［地図］を選ぶと、測位した位置情報の地図を表示します。
● 現在地測位の履歴からGPS情報を付加：［はい］▶［位置履歴から］▶履歴を選ぶ
  ・履歴にカーソルを合わせて［詳細］を選ぶと、履歴の測位日時や緯度、経度を確認できます。
● 電話帳からGPS情報を付加：［はい］▶［電話帳から］▶GPS情報を選ぶ
● プロフィールからGPS情報を付加：［はい］▶［プロフィールから］
● 付加されているGPS情報を更新：［更新］
● 付加されているGPS情報を削除：［削除］

▶［自動付加設定］▶設定を選ぶ

▶［手ぶれ補正］ ☞P.138

▶［保存先］ ☞P.139

▶［画面方向記録］▶設定を選ぶ

● 他の機能からの起動時は、選択／設定できない項目があります。

［カメラ切替］について

● アウトカメラからインカメラに切り替えた直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

［ピクチャーライト］について

● ピクチャーライトを［オート］に設定すると、周囲の明るさによって自動的に点灯します。
● ピクチャーライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありませんので、ご注意ください。
● ピクチャーライトは［OFF］に設定しても赤色で点滅します。
● 蛍光灯の下などで白い部分が多い印刷物などを接写する場合、撮影角度とピクチャーライトの点灯／消灯により、FOMA端末の色や影が映りこむ場合がありますが異常ではありません。

［自動保存］について

● 撮影した静止画は、設定した保存先に自動的に保存されます。

［カメラモード自動切替］について

● バーコードや名刺が小さく表示されている場合やディスプレイの中央に表示されていない場合は、カメラモードが自動で切り替わらないときがあります。

［位置情報］について

● 撮影する画像に位置情報を付加します。
● 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしておいてください（☞P.114）。

［自動付加設定］について

● ［ON］に設定すると、カメラ起動時に現在地を測位します。

■ プレビュー画面のメニュー操作

［画像共有］▶アプリケーションを選ぶ

［画像編集］ ☞P.145

［保存先］▶保存先を選ぶ

［正像・鏡像表示切り替え］（インカメラ利用時のみ）
● 選択するたびに、正像／鏡像が切り替わります。

［鏡像で保存］（インカメラ利用時のみ）

［アイコン表示設定］
● 選択するたびに、表示／非表示が切り替わります。

［ブログ投稿］ ☞P.177

［メールへ添付］▶メールを作成・送信

［IrSS送信］ ☞P.178

［赤外線送信］ ☞P.178

［Bluetooth送信］ ☞P.225

［電話帳に登録］▶電話帳に登録

［壁紙設定］▶壁紙に設定

［ヘルプ表示］

[画像共有]、[電話帳に登録]、[壁紙設定]について

- 撮影サイズによっては、画像サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると画像編集画面が表示されます。

[正像・鏡像表示切り替え]について

- ファインダー画面には、常に鏡像(左右逆向き)で表示されます。

笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモードで撮影する

- 次の3種類のシャッターモードを利用できます。

ノーマルモード	通常の撮影モードです。
笑顔フォーカスシャッターモード※	人物の笑顔を検出すると自動的に撮影します。検出する笑顔のレベルも設定できます(☞P.139)。
振り向きシャッターモード※	新たに人物の顔を検出する(顔がカメラを向く)と自動的に撮影します。

※ フォーカス設定を[顔優先AF]に設定している場合に利用できます。

1 静止画撮影画面でシャッターモードを切り替える

- [ノーマル→笑顔]をタッチすると、ノーマルモードから笑顔フォーカスシャッターモードに切り替わります。
- [笑顔→振り向き]をタッチすると、笑顔フォーカスシャッターモードから振り向きシャッターモードに切り替わります。
- [振り向き→ノーマル]をタッチすると、振り向きシャッターモードからノーマルモードに切り替わります。
- タッチするたびに[ノーマル→笑顔]→[笑顔→振り向き]→[振り向き→ノーマル]の順にキーが切り替わります。

2 笑顔／新たな顔を検出すると自動的に撮影する

- 笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード中でも、[撮影]をタッチすると静止画撮影できます。
- 一度撮影するとノーマルモードに戻ります。

連続撮影をする<連写>

- 連写速度を[速い]、[普通]に設定したときは、自動的に静止画を連続して撮影します。連写速度を[マニュアル]に設定したときは、自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。
- 撮影サイズを変更、またはカメラ切り替えを行ったとき、連写設定は自動的に[OFF]に設定されます。
- 笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード中は利用できません。

1 静止画撮影画面で[メニュー]▶[撮影モード]▶[連写]

2 撮影枚数を選ぶ

3 連写速度を選ぶ

4 [撮影]

- 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。
- マニュアル撮影のときは、連続撮影最大枚数まで[撮影]をタッチします。撮影枚数が連続撮影最大枚数に達するまで、明るさの調整、ズーム調整機能は利用できません。また、(ホーム)、(戻る)、Enter以外のキー操作は無効になります。
- 全枚数を撮影または[中止]をタッチして連続撮影を中止すると、連続撮影プレビュー画面が表示されます。

5 静止画にカーソルを合わせる▶[保存]

- 1枚プレビュー画面を表示:画像を選ぶ

- 自動保存が[ON]のときは、自動的に全件保存されます。

■ 連続撮影プレビュー画面のメニュー操作

[全件保存]

[全件削除]

[1件保存]

[1件削除]

撮影中に画像を表示する

自動保存が[ON]のときは、静止画を撮影すると画面左下にサムネイルが表示されます。サムネイルをタッチすると、撮影した画像を表示することができます。

1 **静止画撮影画面でサムネイルをタッチ**

動画撮影

動画を撮影する

- 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。
- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になったとき（撮影中に最大録画可能時間に達したときや、microSDカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に撮影が停止します。撮影した動画は保存／動画アップロード／メールへ添付／再生／取り消しができます。

1 **メインメニューで[ビデオカメラ]**



- ズーム（☞P.136）を利用したり、タッチメニュー（☞P.128）を表示できます。
- 自分を撮影：インカメラに切り替える（☞P.135）

2 **[録画]**

3 **撮影を止めるときは[停止]**

- 撮影停止音が鳴り、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。

4 **[保存]**

- 動画を保存します。
- SNSや動画サイトに投稿：[動画アップロード] ▶ 投稿先を選ぶ ▶ 動画を投稿
- メールで送信：[メールへ添付] ▶ メールを作成・送信
- 動画の再生：[再生]
- 動画を取り消す：[取り消し] ▶ [はい]

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、00:00:00より前に撮影が自動的に停止するときがあります。
- 動画撮影中にキー操作を行うと、操作音が録音されるときがありますので、ご注意ください。
- 動画撮影中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了すると動画撮影確認メニュー画面が表示されます。表示に従って操作してください。
- 他の機能からの起動時は、選択／設定できない項目があります。

■ 動画撮影画面のメニュー操作

- 次の機能については、静止画撮影画面のメニュー操作（☞P.132）を参照してください。

■ カメラモード	■ カメラ切替	■ フォーカス設定
■ ホワイトバランス	■ ピクチャーライト	■ セルフタイマー
■ 明るさ設定	■ ズーム設定	■ 各種設定（保存先）

[録画サイズ] ☞P.136

[各種設定]

▶ [録画音声] ▶ 設定を選ぶ

▶ [アイコン表示設定] ▶ 設定を選ぶ

- 撮影画面のアイコンを表示するかどうかを設定します。

撮影時の設定を変える

明るさの調整や撮影サイズの変更などができます。

- 撮影サイズによっては設定できないものや、インカメラでは設定できないものもあります。
- 設定の組み合わせによっては、自動的に設定が解除されたり変更される場合があります。

明るさを調整する<明るさ設定／明るさ調整>

明るさを5段階で調整できます。

1 撮影画面で上下にすばやくスライド

デジタルズームを利用する<ズーム設定>

1 静止画／動画撮影画面で左右にすばやくスライド

- ズームできる範囲(倍率)は撮影サイズによって異なります。

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)
静止画撮影	5M:2560×1920	等倍(－)
	3M:2048×1536	約1.3倍(3段階)
	2M:1600×1200	約1.6倍(6段階)
	フルHD:1920×1080	約1.3倍(4段階)
	1.2M:1280×960	約2.0倍(8段階)
	待受:960×480	約1.3倍(4段階)
	FWVGA:854×480	約3.0倍(12段階)
	VGA:640×480	約4.1倍(15段階)
	QVGA:320×240	約8.1倍(20段階)
動画撮影	VGA:640×480	約4.1倍(15段階)
	QVGA:320×240	約8.1倍(20段階)
	QCIF:176×144	約13.4倍(20段階)

撮影サイズを設定する<撮影サイズ／録画サイズ>

撮影サイズが大きいほど、解像度が高いきれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数／撮影できる時間は少なくなります(☞P.288)。

- 静止画の各撮影サイズは主に次の用途でご利用いただけます。

5M:2560×1920	パソコンでの表示や出力するのに適したサイズです。 ● L判サイズのプリントには「3M:2048×1536」以上のサイズが適しています。
3M:2048×1536	
2M:1600×1200	
フルHD:1920×1080	
1.2M:1280×960	
待受:960×480	FOMA端末のディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画などを撮影するときに便利です。
FWVGA:854×480	メールに添付してパソコンなどに送信するのに適したサイズです。
VGA:640×480	
QVGA:320×240	

- カメラモードやアウトカメラ／インカメラによって設定できるサイズは異なります。

1 静止画／動画撮影画面で[メニュー]▶[撮影サイズ]／[録画サイズ]

2 サイズを選ぶ

- 動画撮影のサイズを「VGA:640×480」に設定した場合は、保存先がmicroSDカードに設定されます。

画質を設定する<画質>

画質が高いほど、きれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数／撮影できる時間は少なくなります(☞P.288)。

ファイン	高画質で撮影します。
ノーマル	標準の画質で撮影します。

- アウトカメラとインカメラについてそれぞれ設定できます。

1 静止画撮影画面で[メニュー]▶[画質]

2 画質を選ぶ

セルフタイマーを使って撮影する<セルフタイマー>

1 静止画／動画撮影画面で[メニュー]▶[セルフタイマー]

2 セルフタイマー時間を選ぶ

3 [撮影]／[録画]

- セルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。タイマーのカウント中は[2]／[5]／[10]が点滅します。設定した時間が経過すると、シャッター音／撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。
- タイマーのカウント中は、、、、Enter以外のキー操作は無効になります。また、静止画撮影の場合は明るさ調整、ズーム調整機能が利用できません。
- 撮影を中止する：[中止]

色合いを調節する<ホワイトバランス>

撮影時の光の状況に応じて、色合いを調節して撮影できます。

オート	自動的に色合いを調節します。
電球	白熱灯の下での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯の下での撮影に適しています。
太陽光	晴れた日の屋外での撮影に適しています。
曇り・日陰	曇りの日の屋外や、日陰での撮影に適しています。

1 静止画／動画撮影画面で[メニュー]▶[ホワイトバランス]

2 ホワイトバランスの種類を選ぶ

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

1 静止画撮影画面で[メニュー]▶[撮影モード]▶[フレーム撮影]▶[プリセット]

2 フレームを選ぶ

3 [撮影]

効果を付けて撮影する<特殊効果>

撮影する静止画に特殊効果を設定し、色合いやタッチを変えて撮影できます。

特殊効果の種類

OFF	特殊効果を解除する
セピア	セピア色で濃淡を表現
モノクロ	モノトーンで濃淡を表現

1 静止画撮影画面で[メニュー]▶[撮影モード]▶[特殊効果]

2 特殊効果を選ぶ

3 [撮影]

撮影環境や被写体に応じた設定を行う<シーン設定>

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じたモードを設定できます。

1 静止画撮影画面で[メニュー]▶[シーン設定]

2 モードを選ぶ

- シーン設定を[自動認識]に設定すると、被写体に合わせて自動的にモードを切り替えます。撮影環境や被写体によっては正しいモードにならない場合があります。

AFモードを設定する<フォーカス設定>

被写体に合わせて、AF(オートフォーカス)モードの切り替えができます。

- 設定できるAFモードは次のとおりです。

顔優先AF※1※2	人物の顔を検出して、顔にピントを合わせます。人物の顔を検出すると、被写体が動いても顔検出枠が顔を追跡してピントを合わせます。複数の顔を検出した場合は、どの顔にピントを合わせるかを指定することができます。
センターAF※1	フォーカスが動作し、中央の被写体にピントを合わせます。
標準AF※3	
接写AF	近距離(約10〜30cm)の撮影に適したモードです。
接写固定※4	近距離(約10cm)の撮影に適したピントに固定します。
AF OFF※4	オートフォーカスを解除します。遠距離の撮影に適したモードです。

※1　静止画撮影のみ設定できます。
※2　連写設定が[OFF]のときのみ設定できます。[顔優先AF]に設定した状態で連写設定を[OFF]以外に設定したときは、[センターAF]に設定されます。連写設定を再度[OFF]に設定したときは[顔優先AF]に戻ります。
※3　静止画撮影では設定できません。
※4　静止画撮影、動画撮影のみ設定できます。

例：静止画撮影のとき

1 **静止画撮影画面で[メニュー]▶[フォーカス設定]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[顔優先AF]**
- 最大5人までの顔を検出できます。複数の顔検出枠が表示されているときは、赤色の顔検出枠にピントが合います。
- ピントを合わせる顔を指定するには、ピントを合わせたい顔検出枠をタッチします。

◆ **[センターAF]**
◆ **[接写AF]**
◆ **[接写固定]**
◆ **[AF OFF]**

- [顔優先AF]に設定しているとき、顔の向きや被写体との距離、撮影環境によっては、正しく顔を検出できないことがあります。また、顔以外の被写体や背景を、顔として誤検出することがあります。

手ぶれを補正して撮影する<手ぶれ補正>

1 **静止画撮影画面で[メニュー]▶[各種設定]▶[手ぶれ補正]**

2 **設定を選ぶ**

3 **[撮影]**

- 手ぶれの起きやすい暗い場所などでの手ぶれを補正します。
- 手ぶれを補正して撮影すると、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがありますが故障ではありません。そのときは、手ぶれ補正を[OFF]にして撮影してください。

フォーカスロックで撮影する<フォーカスロック>

ピントを合わせた状態でフォーカスをロックして、構図を変えて撮影できます。

- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください。
- フォーカスがロックされると音が鳴ります。
- フォーカス設定を[接写固定]、[AF OFF]に設定しているときは利用できません。

1 静止画撮影画面で被写体をタッチ

- タッチした場所にフォーカス枠が移動し、フォーカスがロックされます。
- フォーカスロックの解除:フォーカス枠以外をタッチ
- バーコードリーダーでは、[AF]をタッチするとフォーカスがロックされます。

2 構図を変えて[撮影]

- 被写体との距離は変えないでください。

● フォーカス設定が[顔優先AF]で顔を検出しているときはフォーカスロックを利用できません。

笑顔を検出するレベルを設定する<笑顔レベル>

● 次のような笑顔を検出できます。

レベル1(微笑)	微笑
レベル2	笑って歯が見える
レベル3	口を開けて大きく笑う

1 静止画撮影画面で[メニュー]▶[各種設定]▶[笑顔レベル]

2 設定を選ぶ

保存先を設定する<保存先>

1 静止画/動画撮影画面で[メニュー]▶[各種設定]▶[保存先]

2 保存先を選ぶ

● microSDカード未挿入時は設定できません。
● microSDカードに保存できる動画の撮影時間はmicroSDカードのメモリにより異なります。
● 撮影サイズが「VGA:640×480」の動画は、microSDカードにのみ保存できます。

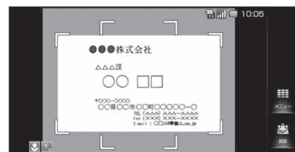
名刺リーダー

名刺リーダーを利用する

カメラを使って名刺(日本語、英語)を読み取り、電話帳に新規登録できます。

● 次の項目を電話帳に登録できます。また、撮影した画像も保存されます。
■ 名前 ■ふりがな(姓のみ)
■ 電話番号/携帯電話番号/FAX番号(最大合計3件)
■ メールアドレス(最大3件) ■ 郵便番号/住所
■ 会社名 ■ 部署名 ■ 役職名 ■ メモ(URL、その他の項目)

1 メインメニューで[名刺リーダー]



2 ディスプレイの中央に名刺を表示▶[読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるようにFOMA端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。
- できるだけ名刺を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを名刺に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 [登録]

- 撮影した名刺画像が自動的に保存されます。

4 画像の登録範囲を指定▶[保存]

- 指定した範囲の画像が、電話帳に画像として登録されます。
- 画像を登録しない:[キャンセル]

次ページへ続く

5 電話帳に登録

- 電話帳編集画面には、読み取った項目が入力されています。

- 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外の名刺は次のとおりです。
  - 日本語および英語以外の名刺
  - 背景が付いている名刺
  - 手書きまたは手書き風のフォントを使用した名刺
  - 縦書きと横書きが混在した名刺
  - ディスプレイなどに表示された名刺
- 読み取り性能が低下する名刺は次のとおりです。
  - 文字が薄くコントラストの低い名刺
  - 極端に小さい文字を含む名刺
  - 斜体フォントを含む名刺
  - 光沢のある用紙に印刷された名刺
  - ロゴまたはロゴ風書体の文字を含む名刺
  - 文字どうしの間隔が狭く接触している文字を含む名刺
- ふりがなは正しい読みかたにならない場合や、自動付与されないときがあります。
- 項目の分類は正しく認識されないことがあります。
- 撮影した名刺画像はFOMA端末に保存されます。
- 保存に失敗した場合、名刺画像は保存されません。名刺画像以外の情報は電話帳に登録されます。

■ 名刺リーダー画面のメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ	
[明るさ調整]	☞P.136
[ピクチャーライト]▶設定を選ぶ	
[フォーカス設定]	☞P.138
[ヘルプ]	

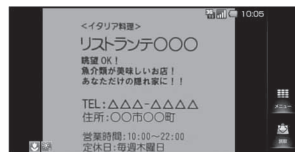
情報リーダー

情報リーダーを利用する

カメラを使って、雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に新規登録できます。

- 次の項目を電話帳に登録できます。また、撮影した画像も保存されます。
  - 店名
  - 電話番号（最大合計3件）
  - メールアドレス（最大3件）
  - 住所
  - メモ（営業時間、定休日、URL、アクセス、駐車場、座席数、料金、予算、その他の項目）

1 メインメニューで[情報リーダー]



2 ディスプレイの中央に情報を表示▶[読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 読み取りたい情報がディスプレイに納まるようにFOMA端末を固定してください。ただし、ディスプレイに表示される文字が小さくなる場合は、電話番号や住所などを表示して読み取れる大きさにしてください。
- 読み取りたい情報をディスプレイの中央付近に表示してください。
- できるだけ読み取りたい情報を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを読み取りたい情報に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 [登録]

- 撮影した画像が自動的に保存されます。

4 画像の登録範囲を指定▶[保存]

- 指定した範囲の画像が、電話帳に画像として登録されます。

マルチメディア

- 画像を登録しない：［キャンセル］

5 電話帳に登録

- 電話帳編集画面には、読み取った項目が入力されています。

- 雑誌などの記載内容によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外のものは次のとおりです。
  - 漢数字で書かれた電話番号
- 読み取り性能が低下するものは次のとおりです。
  - ざらついた紙面などに印刷されたもの
  - 店名などにふりがながあるもの
  - 部分的に文字が反転しているもの
- その他の読み取り対象外のものや、読み取り性能が低下するものなどの注意事項については、名刺リーダーを参照してください。
- 撮影した画像はFOMA端末に保存されます。

■ 情報リーダー画面のメニュー操作

- 情報リーダー画面のメニュー操作は、名刺リーダー画面のメニュー操作（☞P.140）を参照してください。

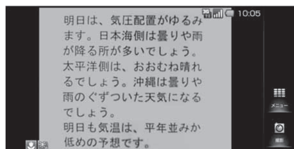
テキストリーダー

テキストリーダーを利用する

カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、メールやメモ帳を作成できます。

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

1 メインメニューで［テキストリーダー］



2 ディスプレイに読み取る文字を表示 ▶［撮影］

- シャッター音が鳴ります。

3 ［▲］／［▼］で読み取る行にカーソルを合わせる ▶［読取］

- 縦書きの文字を認識した場合：［◀］／［▶］
- カーソルを合わせている行に水色の枠が表示されます。

4 ［決定］

- 読み取りモードの変更：［モード］▶ モードを選ぶ

5 読み取り結果を利用する

- メールを作成：メールアドレスを選ぶ
- サイトに接続：URLを選ぶ
- 電話をかける：電話番号を選ぶ
- 読み取った文字を編集：［編集］▶ テキストを編集

■ テキストリーダー画面のメニュー操作

- テキストリーダー画面のメニュー操作は、名刺リーダー画面のメニュー操作（☞P.140）を参照してください。

■ 読み取り結果画面のメニュー操作

［続き読取］
- 以降の操作については☞P.141「テキストリーダーを利用する」の操作2へ

［追加読取］
- 以降の操作については☞P.141「テキストリーダーを利用する」の操作2へ

［メモ帳登録］▶ メモ帳に登録

［辞書検索］▶ アプリケーションを選ぶ

［編集］▶ テキストを編集

［全コピー］

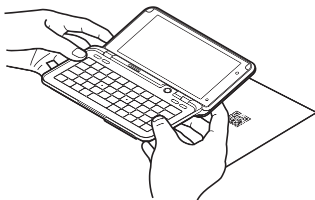
［続き読取］について
- 「前に読み取ったテキスト＋今回読み取ったテキスト」を表示します。

［追加読取］について
- 「前に読み取ったテキスト＋改行＋今回読み取ったテキスト」を表示します。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ると、読み取った文字の内容に応じて、コピーやメモ帳登録、電話発信、メール作成、電話帳登録、サイト表示、ブックマーク登録などを行うことができます。



- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。
- 読み取り結果をmicroSDカードに保存することはできません。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- 右のJANコードを読み取ると[4942857119022]と表示されます。
- JAN８、JAN13を読み取ることができます。



QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの１つです。
- 右のQRコードを読み取ると[株式会社NTTドコモ]と表示されます。

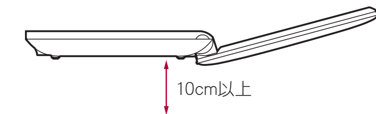


1 メインメニューで[バーコードリーダー]



2 バーコードを読み取る

- バーコードリーダー画面が表示されると、読み取りを開始します。ディスプレイの中央に読み取るバーコード（JANコード、QRコード）を表示させてください。



- バーコード（JANコード、QRコード）の真正面からカメラまでを10cm以上離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 読み取りの中断／再開：[中断]／[再読取]

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って１つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取ったときはメッセージが表示されます。（　）には読み取り完了数／全連結数が表示されています。
  [はい]を選ぶと次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。



3 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字や数字に下線が付いているとき：読み取った文字を選ぶ▶［選択］
  - ・読み取った文字の内容に応じた画面が表示されます。

■ バーコードリーダー画面のメニュー操作

- 次の機能については、名刺リーダー画面のメニュー操作（☞P.140）を参照してください。

■ カメラモード切替　■ 明るさ調整　■ ピクチャーライト
■ ヘルプ

■ 読み取り結果画面のメニュー操作

［全コピー］

［メモ帳登録］

フォト

画像を表示する

静止画やGIFアニメーションを再生できます。

- フォトで再生できるデータ形式は次のとおりです。

■ JPEG　■ PNG　■ GIF　■ GIFアニメーション　■ BMP

1 メインメニューで［フォト］

2 画像を選ぶ

- サイトなどからダウンロードしたGIFアニメーションは、見えかたが異なるときがあります。
- GIFアニメーションを拡大表示すると最初の1コマ目が表示されます。

■ 画像表示画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

［削除］	削除
［ブログ投稿］	ブログに投稿
［mixiフォト］	mixiにアップロード
［メールへ添付］	メールに添付

- 次のタッチ操作ができます。

前／次の画像を表示	左右にすばやくスライド
画像を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
画像の一部を中心に拡大／拡大中に等倍に戻す	画像を2回タッチ
画像の一部を拡大／縮小	2本の指の間隔を広げる／狭める

■ 画像一覧画面のキー操作

メールへ添付	MENU＋J
赤外線送信	MENU＋I
Bluetooth送信	MENU＋B
画像編集	MENU＋E
削除	MENU＋D
最初の画像にカーソルを合わせる	Shift＋□（スペース）
最後の画像にカーソルを合わせる	□（スペース）

■ 画像表示画面のキー操作

全画面再生／通常画面再生	8	IrSS™送信	MENU＋I
		Bluetooth送信	MENU＋B
拡大	9／Alt＋L	詳細表示	MENU＋V
		ヘルプ表示	MENU＋H
縮小	0／Alt＋－	前の画像を表示	◀
		次の画像を表示	▶
メールへ添付	MENU＋J		

■ 画像一覧画面のメニュー操作

● 選択中の画像によって、利用できないメニューは表示されません。

[スライドショー]	
[メールへ添付] ▶ メールを作成・送信	
[共有] ▶ アプリケーションを選ぶ ▶ 画像を共有	
[赤外線送信]	
▶ [通常送信]	
▶ [IrSS送信]	☞P.178
[Bluetooth送信]	☞P.225
[ブログ投稿]	☞P.177
[画像編集]	☞P.145
[削除] ▶ [はい]	
[複数選択] ▶ データを選ぶ ▶ [削除] ▶ [はい]	
[登録] ▶ 登録先を選ぶ	
[詳細情報]	

■ 画像表示画面のメニュー操作

● 次の機能については、画像一覧画面のメニュー操作（☞P.144）を参照してください。

■ 画像編集　■ メールへ添付　■ Bluetooth送信
■ 削除　■ スライドショー

[画像共有] ▶ アプリケーションを選ぶ ▶ 画像を共有	
[登録]（GIFアニメーション以外）	
▶ [待受画面]	
▶ [電話帳] ▶ 電話帳に登録	
[電話帳に登録]（GIFアニメーションのみ） ▶ 電話帳に登録	
[赤外線送信]	☞P.178
[IrSS送信]	☞P.178
[全画面再生]／[通常画面再生]	
[ファイルサイズ変換]（JPEG、BMP画像のみ） ▶ サイズを選ぶ	
[GPS情報編集]（JPEG画像のみ） ▶ GPS情報を付加 ● 現在地を測位してGPS情報を付加：[はい] ▶ [現在位置を取得] ▶ [OK] ・[地図]を選ぶと、測位した位置情報の地図を表示します。 ● 現在地測位の履歴からGPS情報を付加：[はい] ▶ [位置履歴から] ▶ 履歴を選ぶ ・履歴にカーソルを合わせて[詳細]を選ぶと、履歴の測位日時や緯度、経度を確認できます。 ● 電話帳からGPS情報を付加：[はい] ▶ [電話帳から] ▶ GPS情報を選ぶ ● プロフィールからGPS情報を付加：[はい] ▶ [プロフィールから] ● 付加されているGPS情報を更新：[更新] ● 付加されているGPS情報を削除：[削除]	
[詳細表示]	
[スライドショー設定]	
▶ [スライドショー効果] ▶ 効果を選ぶ	
▶ [スライドショーリピート設定] ▶ 設定を選ぶ	
▶ [スライドショーシャッフル設定] ▶ 設定を選ぶ	
[ヘルプ表示]	

[待受画面]について

● 選択した画像のサイズによっては、画像を切り出すかどうかの確認画面が表示されます。

[GPS情報編集]について

● 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしておいてください（☞P.114）。

画像を編集する<画像編集>

画像に文字を挿入したり、画像のサイズを変更したりすることができます。

- 編集前の静止画のサイズによって、編集できないことがあります。
- プチエステや画像補正、画像エフェクトなどは、静止画によって効果に差があります。
- FOMA端末外から取得した静止画は編集できないときがあります。
- 画像編集を行うと画質が劣化したり、データの容量が増減するときがあります。
- GIFアニメーションは編集できません。
- 人物の顔などを編集した静止画は、人格権および肖像権を尊重し、中傷にならないようにご配慮ください。
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、編集中の静止画とは異なって見えることがあります。

1 画像一覧画面で編集するデータにカーソルを合わせる▶[MENU]▶[画像編集]

2 画像を編集する

◆ **[顔かくし]▶効果を選ぶ**

・操作方法については☞P.146

◆ **[プチエステ]▶効果を選ぶ**

◆ **[落書き]**

・操作方法については☞P.146

◆ **[スタンプ]▶スタンプを選ぶ▶貼り付け位置をタッチ**

◆ **[日付スタンプ]**

・操作方法については☞P.146

◆ **[文字スタンプ]**

・操作方法については☞P.146

◆ **[画像補正]▶効果を選ぶ**

◆ **[画像エフェクト]▶効果を選ぶ**

◆ **[回転]▶効果を選ぶ**

◆ **[リサイズ]▶サイズを選ぶ**

・サイズ変更しても縦横比は変更されません。

3 [編集完了]

- 編集した静止画には、自動的に編集完了日時をもとにしたファイル名が付けられます。
例：2010年８月18日午後１時５分７秒に編集完了→[20100818_130507]

■ 画像編集中画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[編集クリア]	編集中の情報を削除
[モード変更]	編集した情報を残した状態で編集メニューを表示
[編集完了]	編集完了
[補正]※1	編集中の情報を補正
[追加]※2	輪郭を追加
[削除]※2	輪郭を削除
[undo]／[redo]※3	操作を１つ戻る／進む
[色変更]※4	文字色の変更
[普通→大きい]／[大きい→小さい]／[小さい→普通]※4	スタンプのサイズを大きい／小さい／普通に切替
[完了]※1	補正中の編集情報を完了

※1　[顔かくし]、[日付スタンプ]、[文字スタンプ]画面で表示されます。
※2　[顔かくし]の補正中に表示されます。
※3　[スタンプ]の編集中に表示されます。
※4　[日付スタンプ]、[文字スタンプ]の補正中に表示されます。

■ 画像の顔を隠す<顔かくし>

1 画像編集画面で[顔かくし]

2 効果を選ぶ

3 [補正]

4 補正する輪郭を選ぶ

- 選択された輪郭はピンク色、未選択の輪郭は白色で表示されます。

5 輪郭を補正

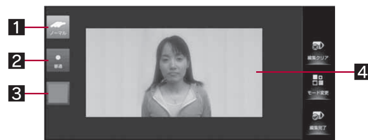
- 輪郭を移動:移動先をタッチ
- 輪郭を拡大／縮小:2本の指の間隔を広げる／狭める
- 輪郭を追加:[追加]
  - ・選択している輪郭に重なって新しい輪郭が追加されます。
- 輪郭を削除:[削除]

6 [完了]

● 静止画から人物の顔を検出できない場合は、操作できません。また、人物の顔が映っていても、静止画によっては検出できないことがあります。

■ 画像に落書きする<落書き>

1 画像編集画面で[落書き]



落書き画面

1 線の種類キー
2 線の太さキー
3 線の色キー
4 編集画像

2 落書きする

- 編集画像内にスライドしたとおりに線を引くことができます。
- 線の種類を選ぶ:線の種類キーをタッチ▶線の種類を選ぶ
- 線の太さを選ぶ:線の太さキーをタッチ▶線の太さを選ぶ
- 線の色を選ぶ:線の色キーをタッチ▶線の色を選ぶ

■ 日付スタンプ、文字スタンプを貼り付ける<日付スタンプ／文字スタンプ>

1 画像編集画面で[日付スタンプ]／[文字スタンプ]

- 文字スタンプのとき:文字を入力▶[OK]
  - ・全角・半角15文字まで入力できます。

2 [補正]

3 スタンプを補正

- スタンプ位置を移動:貼り付け位置をタッチ
- 文字色の変更:[色変更]▶色を選ぶ
- スタンプのサイズを変更:[普通→大きい]／[大きい→小さい]／[小さい→普通]
  - ・タッチするたびに[普通→大きい]→[大きい→小さい]→[小さい→普通]の順にキーが切り替わります。

4 [完了]

メディアプレーヤーについて

インターネット上の音楽配信サイトなどで提供されている音楽（ミュージック）や動画専門サイトなどで提供されている動画（ムービー）を再生できます。

- 容量制限のないストリーミングタイプのムービーなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- 音楽を聴きながら他の機能を利用することができます（バックグラウンド再生）。
- メディアプレーヤーで再生できるデータ形式は次のとおりです。

データの種別	ファイル形式
ミュージック	MP3、AAC、AAC+、HE-AAC、WMA9
ムービー	MP4、3GPP、H.264、H.263、WMV

・データによっては、再生できないことがあります。

- 再生できるムービーの配信方式やファイル形式は次のとおりです。

タイプ	配信方式	説　明
ストリーミングタイプ	ライブ配信	ムービーがリアルタイムで配信されます。一時停止、早送り、早戻し、シークバーの移動はできません。
	オンデマンド配信	あらかじめサーバー上に用意されたムービーが配信されます。

- 保存できるデータの容量は次のとおりです。

データの種別	FOMA端末
ミュージック／ムービー	約3.4Gバイト※

※ メモリを共有する他のアプリケーションの使用状況によって、保存容量は少なくなります。

- サイトによっては動作環境（ブラウザ種別、OS種別など）を確認する場合があり、FOMA端末で再生できないことがあります。

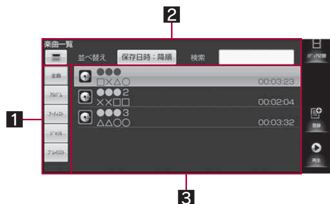
- パソコンからmicroSDカードに転送した音楽・動画データも再生できます。
  ・データの転送方法については☞P.251
- マナーモード設定中や電池残量が少ないとき、再生制限のあるデータを再生するときには、確認画面が表示されます。また、ご使用状態によっては充電中に確認画面が表示されることがあります。
- 再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。
- 再生中に他の機能の操作を行ったりすると、再生が途切れることがあります。

音楽・動画データの取り扱いについて

- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMA／WMVファイルを再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽・動画データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMA／WMVファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMA／WMVファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽・動画データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽・動画データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

メディアプレーヤーリスト画面の見かた

例: 全曲タブ表示



1 タブ

● タブを選択すると、コンテンツ表示エリアに選択したタブのデータが表示されます。

タ　ブ	表示されるデータ
全曲	音楽データを全曲表示
アルバム	アルバムごとに曲を表示
アーティスト	アーティストごとに曲を表示
ジャンル	ジャンルごとに曲を表示
プレイリスト	プレイリストを表示
ムービー	動画データをすべて表示
レコーダー連携	ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画を表示

2 検索エリア

● 保存場所や曲名、保存日時で条件に合った曲を検索できます。また、キーワード(全角・半角50文字まで)を入力して検索することもできます。

3 コンテンツ表示エリア

(アイコン)	ジャケット画像を持たないまたは不明な音楽データ
(アイコン)	プレイリスト上にあるが、ファイルが存在しない音楽データ
(アイコン)	取得した画像が表示できない動画データ
(アイコン)	著作権情報を含む動画データ

■ メディアプレーヤーリスト画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[メディア切替]	ミュージックモード／ムービーモードの切替
[登録]	選択中の音楽データをプレイリストに登録
[再生]	選択中のデータを再生
[一括登録]	選択中の音楽データをまとめてプレイリストに登録
[削除]	プレイリストを削除
[名前変更]	プレイリストの名前を変更
[新規作成]	プレイリストを新規作成
[編集]	プレイリストを編集
[はずす]	選択中の曲をプレイリストからはずす
[上へ]	選択中の曲を上へ移動
[下へ]	選択中の曲を下へ移動
[編集終了]	プレイリストの編集を終了

● プレイリスト編集画面で次のタッチ操作ができます。

選択中の曲を上下に移動	画面をタッチしたまま上下にスライド

ミュージック

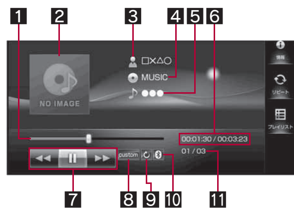
音楽を再生する

● 市販のBluetooth機器を接続すると、音楽をBluetooth機器から再生できます（☞P.225）。

1 メインメニューで[メディアプレーヤー]

2 音楽データを選ぶ

ミュージック再生画面の見かた



ミュージック再生画面

1 シークバー
- シークバーをタッチしたままスライドして、再生位置を変更することができます。

2 ジャケット画像

3 アーティスト名

4 アルバム名

5 曲名

6 再生時間／総再生時間

7 コントロールキー
- 再生中のミュージックを操作できます。

8 サウンド効果

pop	ポップ	dance	ダンス
rock	ロック	classic	クラシック
jazz	ジャズ	custom	カスタム

9 再生モード

(1曲リピートアイコン)	1曲リピート	(ランダム再生アイコン)	ランダム再生
(全曲リピートアイコン)	全曲リピート		

10 外部出力先

(Bluetoothアイコン)	Bluetooth出力中

11 リスト内の曲番号／リストの曲数

■ ミュージック再生画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[◀◀]	前の曲に戻す※1※2
[▶]／[❚❚]	再生／一時停止
[▶▶]	次の曲を再生※2
[情報]	コンテンツ情報表示
[リピート]	再生モード切替
[プレイリスト]	プレイリスト表示

※1　再生経過時間が約1秒以上のときは頭出しになります。

※2　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。

■ ミュージック再生画面のキー操作

前の曲に戻す※1	◀
次の曲を再生	▶
再生／一時停止	□（スペース）
音量を上げる※2	Alt＋9
音量を下げる※2	Alt＋8

※1 再生経過時間が約1秒以上のときは頭出しになります。
※2 キーを押し続けると、連続して音量を調節できます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02(別売)などを接続すると、スイッチを押すたびに、再生／一時停止を切り替えることができます。

- 音楽データによっては操作が制限されているものがあります。

■ ミュージック再生画面のメニュー操作

[プレイリスト表示]

[コンテンツ情報表示]

[ミュージック設定]

▶[再生モード]▶設定を選ぶ

▶[サウンド効果]▶設定を選ぶ
- [カスタム]を選択したときは、詳細を設定してください。

[外部出力設定]

▶[本体出力]

▶[Bluetoothデバイス]▶接続するBluetooth機器にカーソルを合わせる▶[接続]
- Bluetooth機器の登録については☞P.222

[音声切替]▶設定を選ぶ

ムービー

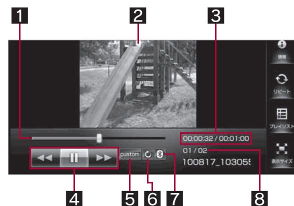
動画を再生する

- 市販のBluetooth機器を接続すると、動画の音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.225)。

1 メインメニューで[メディアプレーヤー]

2 動画データを選ぶ

ムービー再生画面の見かた



ムービー再生画面

1 シークバー
- シークバーをタッチしたままスライドして、再生位置を変更することができます。

2 ムービー再生画面

3 再生時間／総再生時間

4 コントロールキー
- 再生中のムービーを操作できます。

5 サウンド効果

sports	スポーツ	news	ニュース
drama	ドラマ	music	ミュージック
movie	映画	variety	バラエティ
custom	カスタム		

6 再生モード

(アイコン)	1トラックリピート	(アイコン)	ランダム再生
(アイコン)	全トラックリピート		

7 外部出力先

(アイコン)	Bluetooth出力中

8 リスト内のコンテンツ番号/リストのコンテンツ数

■ ムービー再生画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[◀◀]	前のムービーに戻す※1※2
[▶]/[❚❚]	再生/一時停止
[▶▶]	次のムービーを再生※2
[情報]	コンテンツ情報表示
[リピート]	再生モード切替
[プレイリスト]	プレイリスト表示
[表示サイズ]	全画面表示に切替※3

※1 再生経過時間が約1秒以上のときは頭出しになります。
※2 ロングタッチすると、早戻し/早送りになります。
※3 ムービーによっては、切り替えできないことがあります。

- 次のタッチパネル操作ができます。

表示切替※1	画面を2回タッチ
シークバー、再生時間/総再生時間、設定状態表示エリア、コントロールキーを表示※2	画面を1回タッチ

※1 [全画面表示(ノーマル)]→[全画面表示(シネマ)]→[通常表示]の順に切り替わります。
※2 全画面表示中に操作できます。

■ ムービー再生画面のキー操作

前のムービーに戻す※1	◀
次のムービーを再生	▶
再生/一時停止	(スペース)
音量を上げる※2	Alt+9
音量を下げる※2	Alt+8

※1 再生経過時間が約1秒以上のときは頭出しになります。
※2 キーを押し続けると、連続して音量を調節できます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02(別売)などを接続すると、スイッチを押すたびに、再生/一時停止を切り替えることができます。

- ムービーによっては操作が制限されているものがあります。

■ ムービー再生画面のメニュー操作

- 次の機能については、ミュージック再生画面のメニュー操作(☞P.150)を参照してください。
  - ■ プレイリスト表示 ■ コンテンツ情報表示 ■ 外部出力設定
  - ■ 音声切替

[ムービー設定]
- ▶[表示切替]▶設定を選ぶ
- ▶[再生モード]▶設定を選ぶ
- ▶[サウンド効果]▶設定を選ぶ
  - [カスタム]を選択したときは、詳細を設定してください。
- ▶[画質設定]
  - ▶[エフェクト]▶設定を選ぶ
  - ▶[明るさ自動調整]▶設定を選ぶ

プレイリストを利用する

プレイリストを管理する

■ プレイリストを作成する

1 プレイリストタブ表示中に[新規作成]

2 プレイリスト名を入力▶[OK]

■ プレイリストの名前を変更する

1 プレイリストにカーソルを合わせる▶[名前変更]

2 プレイリスト名を編集▶[OK]

■ プレイリストを削除する

1 プレイリストにカーソルを合わせる▶[削除]▶[はい]

● プレイリストを削除しても、音楽データは削除されません。

プレイリストに曲を登録する

■ 1曲ずつ登録する

1 音楽データにカーソルを合わせる▶[登録]

2 プレイリストに登録する

- プレイリストを作成して登録:[新規作成]▶プレイリスト名を入力▶[OK]
- 登録済みのプレイリストに曲を追加:プレイリストを選ぶ

■ アルバムを一括で登録する

1 アルバムにカーソルを合わせる▶[一括登録]

2 プレイリストに登録する

- プレイリストを作成して登録:[新規作成]▶プレイリスト名を入力▶[OK]▶[はい]
- 登録済みのプレイリストに曲を追加:プレイリストを選ぶ▶[はい]

プレイリストを編集する

1 プレイリストを選ぶ▶[編集]

2 編集する

- 順番を並べ替える:[上へ]/[下へ]
- プレイリストから曲を除く:[はずす]▶[はい]

3 [編集終了]

● プレイリストから曲を除いても、音楽データは削除されません。

コンテンツマネージャーのプレイリストファイルの内容をプレイリストに追加する

1 コンテンツマネージャー画面で[Others]

2 プレイリストを選ぶ▶[再生]▶[一括登録]

3 プレイリスト名を入力▶[OK]

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記のホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコンから　http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ■ 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ■ 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ■ トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者(放送局)の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者(放送局)へ送信される場合があります。
放送用保存領域を消去するには☞P.162

ワンセグをご利用になる前に

- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報(ワンセグから録画したビデオ、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など)は移し替えできません。
- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるため利用できません(FOMA端末でビデオ録画したワンセグの番組は視聴できます)。

ワンセグの視聴手順

例：はじめてワンセグを視聴するとき

STEP 1　チャンネルを設定する☞P.155
ご利用になる地域に対応したチャンネル設定を行い、利用するエリアを選択します。



STEP 2　ワンセグを見る☞P.156
ワンセグを起動します。

チャンネルを設定する

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネル設定されたエリアを１つ選択しておく必要があります。

- あらかじめ用意されている各地域の放送局の情報から、ご利用になる都道府県／地域を選び、自動的に放送局を検索してエリアを登録します。
- エリアは10件まで登録できます。また、1つのエリアには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[はい]
- はじめてワンセグを起動したときに、チャンネルを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 エリアを選ぶ

3 都道府県を選ぶ

4 地域を選ぶ
- 放送局の検索が開始されます。
- チャンネル設定の中止：放送局の検索中に[キャンセル]
  - チャンネル設定を中止すると、FOMA端末に登録されているチャンネル情報からチャンネルを設定します。

5 [OK]

利用するエリアを選択する<エリア切替>

1 ワンセグ視聴画面で(MENU)▶[チャンネル設定]▶[エリア切替]

2 エリアを選ぶ

- ワンセグ視聴中に移動してエリアが変わったときは、視聴可能なエリアに変更するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、エリア一覧画面が表示され、エリアを変更できます。

■ エリア一覧画面のメニュー操作

[表示]
- エリア、都道府県、地域を表示します。

[エリア情報設定]
- 以降の操作については☞P.155「チャンネルを設定する」の操作２へ

[チャンネル更新]
- ▶[全更新]▶[はい]▶[OK]
- ▶[追加更新]▶[OK]

[エリア名変更]▶エリア名を入力▶[OK]

[設定リセット]▶[はい]

[エリア名変更]について
- 全角･半角20文字まで入力できます。

デジタルTV

ワンセグを見る

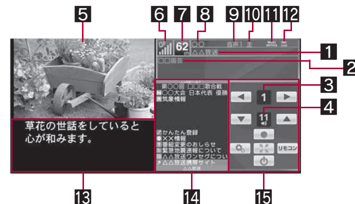
- FOMA端末を閉じると、ワンセグの受信状態が悪くなることがあります。FOMA端末を開いた状態でご利用ください。

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[デジタルTV]

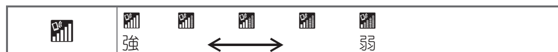
- ワンセグ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- ワンセグ起動中に待受画面を表示したり、FOMA端末を閉じても音声は聞こえます。ワンセグは起動状態となるため、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
- 視聴中に着信があった場合は、視聴を終了します。録画中の場合は、録画はバックグラウンドで継続されます。

■ ワンセグ視聴画面の見かた

- 画面は、画面サイズ設定で[データ放送あり]に設定した場合です。



1 放送局名
2 番組名
3 リモコン番号
4 音量
5 映像
6 放送電波受信状態



- [圏外アイコン]が表示されているときは、放送電波の届かない場所にいます。

7 チャンネル番号
8 エリア名
9 音声言語
10 主／副音声設定
11 サービス選局
- 同じチャンネル内に別のサービス（番組）が放送されている場合に表示されます。

12 データ放送ロック中表示
- データ放送操作用のモードのときに表示されます。

13 字幕
- 映像を全画面表示しているときの字幕の位置は変更できます。

14 データ放送
15 通常パネル

■ ワンセグ視聴画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[▶]／[◀]	UP／DOWN選局※1
[▲]／[▼]	音量調節
[●]	録画開始
[■]	録画停止※2
[設定アイコン]	AV設定パネルを表示
[画面サイズアイコン]	画面サイズ設定の切替
[リモコン]	リモコンパネルを表示
[電源アイコン]	ワンセグ終了

※1 ロングタッチすると、サーチ選局になります。
※2 録画中に表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

画面サイズ設定の切替	映像をタッチ

AV設定パネル

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[戻るアイコン]	通常パネルを表示
[RESET]	設定しているジャンルの各設定をお買い上げ時の状態に戻す
[電源アイコン]	ワンセグ終了

● 次のタッチ操作ができます。

ジャンル変更	[ジャンル]欄をタッチしてジャンルを選ぶ
各設定変更※	各設定の調整バーをスライド

※ ジャンルごとに調整できます。

リモコンパネル

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[▲]	カーソルを上に移動
[▼]	カーソルを下に移動
[選択]	カーソルを合わせているデータ放送サイトに接続
[戻る]	データ放送サイトの前ページへ戻る
[戻るアイコン]	通常パネルを表示
[電源アイコン]	ワンセグ終了
[1]～[12]※1※2	ワンタッチ選局

※1 [1]～[12]はそれぞれ、リモコン番号 1～12に対応しています。
※2 データ放送ロック中は、表示が[1]～[9]、[*]、[0]、[#]に変わり、データ放送の操作キーになります。

■ ワンセグ視聴画面のキー操作

ワンセグの操作	UP／DOWN選局※1※2	◀／▶
	ワンタッチ選局※3	1～9、0、Shift＋1、Shift＋2
	サーチ選局※4	◀（1秒以上）／▶（1秒以上）
	視聴中のチャンネルに、リモコン番号を設定する※3	1～9（1秒以上）、0（1秒以上）、Shift＋1（1秒以上）、Shift＋2（1秒以上）
	音量を上げる※5	Alt＋9
	音量を下げる※5	Alt＋8
	ワンセグ終了※6	終話キー ▶[はい]
データ放送の操作	サイトに接続	Enter
	データ放送項目選択	▲／▼

※1 リモコン番号 1～12を順送り／逆送りで選局します。
※2 同じチャンネル内に複数のサービス（番組）が放送されている場合は、同じチャンネル内のサービス（番組）を順送り／逆送りで選局します。
※3 1～9、0、Shift＋1、Shift＋2はそれぞれ、リモコン番号 1～9、10、11、12に対応しています。
※4 受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。
※5 キーを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※6 録画中は、ワンセグ終了後の動作を選択します。

■ ワンセグ視聴画面のメニュー操作

[録画]

▶ [録画／視聴予約] ☞P.159

▶ [録画開始]／[録画停止]

● 録画開始／停止の詳細については☞P.158

[チャンネル設定](視聴中のみ)

▶ [エリア切替] ☞P.155

▶ [チャンネル切替] ☞P.158

▶ [チャンネル保存] ▶ 保存先を選ぶ

● 視聴中の放送局を利用中のエリアに登録します。

▶ [サービス選局] ▶ サービスを選ぶ

● 同じチャンネル内に別のサービス(番組)が放送されている場合に視聴するサービスを選択できます。

[AV設定]

▶ [画面サイズ設定] ▶ 設定を選ぶ

● データ放送の表示／非表示と、映像の表示サイズを設定します。

▶ [映像・サウンド設定] ▶ 項目を選ぶ ▶ 設定を選ぶ

[詳細設定]

▶ [予約時間お知らせ] ☞P.161

▶ [データ放送](視聴中のみ) ☞P.162

▶ [録画保存先設定](視聴中のみ) ☞P.162

▶ [オートオフ時間設定] ☞P.162

▶ [字幕／音声設定] ☞P.163

[データ放送トップに戻る](データ放送表示中のみ)

[TV終了] ▶ [はい]

● 録画中のとき:ワンセグ終了後の動作を選ぶ

チャンネルを切り替える<チャンネル切替>

1 **ワンセグ視聴画面でMENU ▶ [チャンネル設定] ▶ [チャンネル切替]**

2 **チャンネルを選ぶ**

■ チャンネル一覧画面のメニュー操作

[削除] ▶ [はい]

[削除]について

● チャンネルをすべて削除した場合は、ワンセグ視聴画面に戻ると放送局の検索が開始されます。

ワンセグを録画する

放送中の番組をビデオ録画できます。

● 録画したビデオの再生については☞P.163

● 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。

● 録画したビデオで、次の操作は実行できません。

■ 待受画面設定や各種画面設定などの画面設定

■ メール添付や赤外線通信による送信

■ 映像編集

■ microSDカードからFOMA端末へのコピー／移動

ビデオの保存件数と録画時間の目安

● ビデオ録画の保存先については☞P.162

● ビデオの保存件数と録画時間の目安は次のとおりです。

	保存件数	録画時間
FOMA端末	最大99件	最長約1000分
microSDカード(16Gバイト)※	最大99件	最長約4800分

※ 1回あたりの録画サイズは2Gバイト、録画時間は24時間までです。2Gバイトを超えるmicroSDカードを使用し、空き容量があっても録画を終了します。

● 保存先のメモリの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

1 ワンセグ視聴画面で[●]

- 録画が開始されるまでに時間がかかることがあります。

2 録画を止めるときは[■]

- 録画を終了し、自動的に保存されます。

● 録画中は、次の操作は実行できません。
  ■ チャンネル切替　■ チャンネル設定　■ データ放送の設定
  ■ 録画保存先設定
● 録画中にFOMA端末を閉じても録画は継続されますが、ワンセグの受信状態が悪くなることがあります。FOMA端末を開いた状態で録画を行ってください。
● ビデオ録画中に録画予約を設定した時刻になると、録画予約が優先されます。それまでのビデオ録画は終了し、映像が保存されます。
● 録画中にワンセグを終了しようとすると、録画を継続するかどうかの確認画面が表示されます。[終了]を選択すると、録画中のデータを保存してワンセグを終了します。[録画継続]を選択すると待受画面に戻り、録画はバックグラウンドで継続されます。
● 録画中にオートオフを設定した時刻になると、待受画面に戻り、録画はバックグラウンドで継続されます。

視聴予約設定／録画予約設定

ワンセグの視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴や録画を予約できます。

● あらかじめ、次の操作を行ってください。
  ■ 日時設定(☞P.41)
  ■ チャンネル設定(☞P.155)
● 視聴予約・録画予約合わせて50件まで登録できます。
● 予約視聴・録画の開始時刻をアラーム音やランプでお知らせできます(☞P.161)。
● ビデオ録画の注意事項については☞P.158
● 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。
● FOMA端末を閉じているときは、ワンセグの受信状態が悪くなることがあります。FOMA端末を開いた状態で録画を行ってください。

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[録画／視聴予約]▶[MENU]▶[新規予約]▶[視聴予約設定]／[録画予約設定]

2 予約開始日時を入力▶[OK]

3 予約終了日時を入力▶[OK]

4 [チャンネル]▶チャンネルを選ぶ

5 [番組名]▶番組名を入力▶[OK]

- 全角・半角48文字まで入力できます。

6 [リピート]▶リピート方法を選ぶ

◆ [1回]
◆ [毎日]
◆ [曜日指定]▶曜日を選ぶ▶[完了]
  ・視聴予約のとき：操作8へ

7 [録画保存先切替]▶保存先を選ぶ

8 [保存]▶[はい]

● 次の場合などは、視聴・録画ができない、または途中で録画を終了します。
  ■ ワンセグと同時に起動できない機能を利用中
  ■ すでに最大保存件数に達している場合
  ■ 保存先のメモリの空き容量がない場合
  ■ 電池残量が不足している場合
  ■ 録画が禁止されている番組の場合
  ■ 有料放送の場合
  ■ 録画サイズが2Gバイトを超えた場合
  ■ 録画時間が24時間を超えた場合

■ 予約設定画面のメニュー操作

[メモリ残量表示]
[保存] ▶ [はい]

視聴予約・録画予約を確認する<録画／視聴予約>

1 メインメニューで[ワンセグ] ▶ [録画／視聴予約]

2 予約を選ぶ

■ 予約一覧画面のメニュー操作

[新規予約]	☞P.159
[削除](予約中のみ) ▶ [はい]	
[編集](予約中のみ) ● 編集方法は、登録時の操作と同様です(☞P.159)。	
[結果]	☞P.160
[メモリ残量表示](予約中のみ)	

予約結果を表示する<結果>

予約視聴・録画が終了すると履歴が記憶され、予約結果を確認できます。

1 メインメニューで[ワンセグ] ▶ [録画／視聴予約] ▶ [MENU] ▶ [結果]

2 予約結果を選ぶ

■ 予約結果画面のメニュー操作

[表示]
[再生](録画予約のみ) ● ビデオ再生の詳細については☞P.163
[削除] ▶ [はい]

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、番組に関連したサイトに接続したり、投票などで番組に参加するなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

● データ放送の操作については☞P.157
● サイト表示中の操作については☞P.107

● データ放送／データ放送サイトによっては表示中に音声が流れることがあります。
● 通信接続時確認設定(☞P.162)を解除すると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
● 次の場合は、確認画面が表示されます。[はい]を選択すると操作を実行します。
  ■ サイトに接続するとき
  ■ 位置情報を取得するとき
  ■ 通信が中断され、再度接続するとき
  ■ データ放送サイトの画像を保存するとき
  ■ データ放送サイトから製造番号の通知を求められたとき

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク一覧画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。

テレビリンクに登録する

1 テレビリンク登録可能な項目を選ぶ

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

登録したテレビリンクを表示する<TVリンク>

- 有効期限が切れているテレビリンクは使用できません。

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[TVリンク]

マークの意味

(アイコン)	メモ情報	(アイコン)	リンクコンテンツ
(アイコン)	HTMLコンテンツ		

2 テレビリンクを選ぶ

- HTMLコンテンツ、リンクコンテンツを選択したとき：[はい]

■ リンクコンテンツ表示画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[▲]	カーソルを上に移動
[▼]	カーソルを下に移動
[選択]	カーソルを合わせているサイトに接続

■ テレビリンク一覧画面のメニュー操作

[プロパティ]

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[全件削除]▶[はい]▶ロックNo.を入力▶[OK]

設定

ワンセグの設定を行う

ビデオ録画の保存先やデータ放送についての設定などができます。

予約視聴・録画の開始をアラームで知らせる<予約時間お知らせ>

予約した時刻に、アラーム音やランプでお知らせします。

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[予約時間お知らせ]

2 [アラーム音]／[ライト]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

3 [アラーム音通知時間]▶時間を選ぶ

データ放送について設定する<データ放送>

■ 画像の保存先を設定する<画像保存先設定>

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[データ放送]▶[画像保存先設定]

2 保存先を選ぶ

■ サイト接続時に確認画面を表示する<通信接続時確認設定>

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[データ放送]

2 [通信接続時確認設定]

- 選択するたびに、有効/無効が切り替わります。

■ 位置情報の利用について設定する<位置情報利用設定>

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[データ放送]▶[位置情報利用設定]

2 設定を選ぶ

■ 端末情報の利用について設定する<端末情報利用設定>

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[データ放送]

2 [端末情報利用設定]

- 選択するたびに、有効/無効が切り替わります。

■ 放送用保存領域内のデータを削除する<放送局メモリ削除>

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[データ放送]▶[放送局メモリ削除]

2 系列放送局にカーソルを合わせる

- 放送事業者別に削除するとき:系列放送局を選ぶ▶放送事業者にカーソルを合わせる

3 削除方法を選ぶ

◆ [1件削除]▶[はい]
◆ [全件削除]▶[はい]▶ロックNo.を入力▶[OK]

ビデオ録画の保存先を設定する<録画保存先設定>

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[録画保存先設定]

2 保存先を選ぶ

- 次の場合は自動的に録画先を変更して録画が開始されます。
  - ■ 録画先に設定したメモリの空き容量がないとき
  - ■ 最大保存件数を超えているとき
  - ■ microSDカードが挿入されていないとき
- 保存先をmicroSDカードに設定した場合、録画中に他のアプリケーションからmicroSDカードを利用すると、録画が失敗することがあります。

ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定する<オートオフ時間設定>

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[オートオフ時間設定]

2 設定を選ぶ

字幕／音声について設定する＜字幕／音声設定＞

● 番組によって字幕の有無は異なります。

■ 字幕を表示する＜字幕表示＞

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[字幕／音声設定]▶[字幕表示]

2 設定を選ぶ

● 字幕表示が[マナーモード連動]のときは、マナーモード設定中にワンセグを起動すると字幕が表示されます。

■ 字幕の表示位置を設定する＜字幕表示位置＞

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[字幕／音声設定]▶[字幕表示位置]

2 設定を選ぶ

■ 字幕の言語を設定する＜字幕言語＞

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[字幕／音声設定]▶[字幕言語]

2 設定を選ぶ

■ 主／副音声を切り替える＜音声種別＞

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[字幕／音声設定]▶[音声種別]

2 設定を選ぶ

■ 音声の言語を切り替える＜音声言語＞

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[設定]▶[字幕／音声設定]▶[音声言語]

2 設定を選ぶ

TVプレイヤー

ワンセグを録画したビデオを再生する

1 メインメニューで[ワンセグ]▶[TVプレイヤー]

2 ビデオを選ぶ

- 保存先の切替：[本体]／[microSD]

● 前回再生時に途中で終了したビデオは、停止した位置から再生されます。

● 他の機器などで編集（分割）されたビデオを再生すると、映像や音声が途切れることがあります。

ビデオ再生中のデータ放送表示について

● ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。

■ ビデオ再生画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[▶]	再生
[❚❚]	一時停止
[◀◀]／[▶▶]	早戻し／早送り
[◀❚❚]／[❚❚▶]	コマ戻し／コマ送り※
[❙◀◀]／[▶▶❙]	約15秒前の位置にバック／約30秒先の位置にスキップ
[▲]／[▼]	音量調節
[⚙]	AV設定パネルを表示
[⛶]	画面サイズ設定の切替
[リモコン]	データ放送操作用のリモコンパネルを表示
[■]	再生停止
[⏻]	TVプレイヤー終了

※ 一時停止中のみ表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

画面サイズ設定の切替	映像をタッチ

AV設定パネル

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[↶]	通常パネルを表示
[RESET]	設定しているジャンルの各設定をお買い上げ時の状態に戻す
[⏻]	TVプレイヤー終了

- 次のタッチ操作ができます。

ジャンル変更	[ジャンル]欄をタッチしてジャンルを選ぶ
各設定変更※	各設定の調整バーをスライド

※ ジャンルごとに調整できます。

リモコンパネル

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[▲]	カーソルを上に移動
[▼]	カーソルを下に移動
[選択]	カーソルを合わせているデータ放送サイトに接続
[戻る]	データ放送サイトの前ページへ戻る
[1]～[12]※	データ放送を操作
[↶]	通常パネルを表示
[■]	再生停止
[⏻]	TVプレイヤー終了

※ データ放送ロック中は、表示が[1]～[9]、[*]、[0]、[#]に変わり、データ放送の操作キーになります。

■ ビデオ再生画面のキー操作

- データ放送の操作については、ワンセグ視聴画面のキー操作(☞P.157)を参照してください。

早戻し／早送り※1	◀／▶
コマ戻し／コマ送り(一時停止中)	◀／▶
先頭から再生	◀(1 秒以上)
約15秒前の位置にバック	Shift＋◀
約30秒先の位置にスキップ	Shift＋▶
音量を上げる※2	Alt＋9
音量を下げる※2	Alt＋8
TVプレイヤー終了	(終話)▶[はい]

※ 1　キーを押すたびに、早戻し／早送りの速度が上がります。
※ 2　キーを押し続けると、連続して音量を調節できます。

■ ビデオ一覧画面のメニュー操作

[ファイル名変更]▶ファイル名を編集▶[OK]

[削除]

▶[1 件削除]▶[はい]

▶[全件削除]▶[はい]▶ロックNo.を入力▶[OK]

[microSDへコピー](FOMA端末保存データのみ)▶[はい]

[microSDへ移動](FOMA端末保存データのみ)▶[はい]

[再生モード]▶再生モードを選ぶ

[プロパティ]

[メモリ残量表示]

■ ビデオ再生画面のメニュー操作

- 次の機能については、ワンセグ視聴画面のメニュー操作(☞P.158)を参照してください。

■ AV設定　■ 詳細設定　■ データ放送トップに戻る　■ TV終了

[一時停止]／[再生]

[再生停止]

[再生操作](再生中のみ)

▶[先頭から]

▶[スキップ(進む)]

- 約30秒先の位置にスキップします。

▶[スキップ(戻る)]

- 約15秒前の位置にバックします。

[プロパティ]

ファイルの管理

コンテンツマネージャーを使いこなす

microSDカードを使いこなす

ブログ投稿

赤外線通信を使いこなす

ブルーレイディスクレコーダー連携

DLNAサーバーを利用する

コンテンツマネージャーを利用する

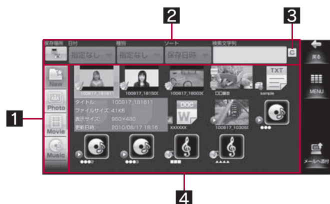
コンテンツマネージャーはFOMA端末、microSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。また、他のアプリケーションとのデータのやりとりはコンテンツマネージャーを利用して行います。

1 **メインメニューで[コンテンツマネージャー]**

2 **データを選ぶ**

- 起動するプレイヤーは変更できます（☞P.170）。
- データを再生できるプレイヤーが複数存在し、プレイヤーが設定されていないときは、プレイヤー選択画面が表示されます。プレイヤーを選択すると再生します。

コンテンツマネージャー画面の見かた



1 カテゴリキー

- データの種類（カテゴリ）を表示します。
- カテゴリキーを選択すると、コンテンツ表示エリアに選択したカテゴリのデータが表示されます。
- コンテンツマネージャーを他のアプリケーションから起動したときは、起動元のアプリケーションが指定したカテゴリのみ表示されます。

カテゴリ	表示されるデータ
New	すべてのカテゴリで保存日付が新しいものを30件
Photo	FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像
Movie	FOMA端末で撮影した動画やダウンロードした動画
Music	FOMA端末で録音したデータやメロディ、WMAファイル
TV	FOMA端末で録画したビデオやレコーダー連携のデータ
Doc.	Office系データ（.doc、.xls、.ppt、.docx、.xlsx、.pptx、.csv）、PDFデータ、Textファイル
Others	その他のデータ

2 検索エリア

- 日付や種別などの条件を設定して、条件に合ったデータを検索できます（☞P.168）。

3 キーワード削除キー

- 入力したキーワードを削除します。

4 コンテンツ表示エリア

- 保存されているデータが表示されます。
- 表示方法は、リストビュー表示、またはグリッドビュー表示に切り替えることができます（☞P.168）。

■ コンテンツマネージャー画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[mixiアップ]	選択したデータをmixiにアップロード
[メールへ添付]	選択したデータをメールに添付

■ コンテンツマネージャー画面のキー操作

カーソルをカテゴリキーに移動	Alt＋1	1件コピー	MENU＋C
		1件削除※3	MENU＋D
カーソルをコンテンツ表示エリアに移動	Alt＋2	ヘルプ	MENU＋H
		赤外線1件送信	MENU＋I
すべての項目を選択／解除※1	Alt＋A／Alt＋F	1件移動	MENU＋M
		設定	MENU＋P
mixiアップ（1件）※2	Alt＋K	詳細情報	MENU＋Q
メールへ添付（1件）	MENU＋J	グリッド／リスト切り替え	MENU＋Y
表示／プレビュー	Alt＋P		
Bluetooth1件送信	MENU＋B		

※1 データの移動や削除などをする場合に、複数選択画面で利用できます。
※2 静止画一覧表示中、動画一覧表示中のみ操作できます。
※3 [New]のデータ表示中は操作できません。

■ コンテンツマネージャー画面のメニュー操作

● 選択中のカテゴリによって、利用できないメニューは表示されません。また、[New]のデータ表示中は、カーソルを合わせているデータによって、利用できないメニューは表示されません。

[スライドショー]（[Photo]のみ）

[メールへ添付]（[TV]以外）▶メールを作成・送信

[共有]（[TV]以外）
● 選択したデータに対応したアプリケーションが起動します。対応したアプリケーションが複数ある場合は選択画面が表示されます。

[赤外線送信]
▶[通常送信]（[TV]以外）
▶[IrSS送信]（[New]、[Photo]のみ） ☞P.178

[Bluetooth送信]（[TV]以外） ☞P.225

[ブログ投稿]（[New]、[Photo]のみ） ☞P.177

[画像編集]（[Photo]のみ） ☞P.145

[ファイル名編集]（[TV]以外）▶ファイル名を編集▶[OK]

[削除]（[New]以外）
▶[1件選択]▶[はい]
▶[複数選択]▶データを選ぶ▶[決定]▶[はい]
▶[全件選択]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[microSDへ移動]（[New]以外） ☞P.173

[microSDへコピー]（[New]以外） ☞P.172

[全チェック]

[全チェック解除]

[登録]（[Photo]、[Music]のみ） ☞P.169

[再生プレイヤー]（[TV]以外）
▶[一覧表示] ☞P.170
▶[プレイヤー変更] ☞P.170

[グリッド／リスト切り替え] ☞P.168

[使用状況]▶保存先を選ぶ
● FOMA端末／microSDカードのメモリ使用状況を示す数値が表示されます。

[詳細情報]

[アプリケーション設定] ☞P.169

[ヘルプ]

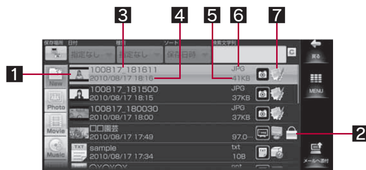
[ファイル名編集]について
● 全角・半角50文字まで入力できます。
● データによってはファイル名を編集できないものもあります。
● ￥/:＊?"<>|;や絵文字、デコメ絵文字®など、ファイル名に登録できない文字もあります。

[削除]について
● プリセットデータや削除不可データ（著作権で削除許可がないデータ）は削除できません。

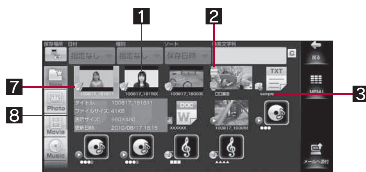
表示方法を変更する<グリッド／リスト切り替え>

コンテンツ表示エリアの表示方法を切り替えます。

1 コンテンツマネージャー画面で[MENU]▶[グリッド／リスト切り替え]



リストビュー表示



グリッドビュー表示

1 サムネイル／データ種別アイコン
- サムネイルが表示できない場合はデータ種別のアイコンが表示されます。サムネイル取得中は、[⌛]が表示されます。

2 著作権保護アイコン
- 著作権がある場合に表示されます。

3 ファイル名
- データの拡張子を除いた名称が表示されます。
- タイトル情報を持つデータの場合は、タイトル名が表示されます。
- ビデオの場合は、番組名が表示されます。

4 更新日時
- 音楽データの場合はアーティスト名も表示されます。

5 ファイルサイズ

6 拡張子

7 プレイヤーアイコン
- データを再生するプレイヤーのアイコンが表示されます。

(アイコン)	存在しない
(アイコン)	2個以上存在し、優先プレイヤーが設定されていない

8 簡易情報表示
- 簡易情報表示設定を設定している場合、データにカーソルを合わせたまま一定時間経過すると表示されます。

コンテンツマネージャーでデータを検索する

タイトル名や保存日付、データ種別などの条件を設定して、条件にあったデータを検索できます。
- 検索条件を設定するたびに、自動的に検索します。
- 複数の条件を設定し、絞り込み検索を行うことができます。
- 検索結果は最大10000件まで表示されます。

1 コンテンツマネージャー画面で検索条件を設定

◆ **[保存場所]欄を選ぶ▶保存場所を選ぶ**

◆ **[日付]欄を選ぶ▶保存日付を選ぶ**
- ・[日付指定]を選んだときは、期間を指定して[設定]を選びます。カレンダーをタッチして選ぶこともできます。

◆ **[種別]欄を選ぶ▶データ種別を選ぶ**

◆ **[ソート]欄を選ぶ▶ソート方法を選ぶ**

◆ **[検索文字列]欄を選ぶ▶キーワードを入力**
- ・タイトル名／アーティスト名で検索します。

- microSDカードの空き容量がなく管理情報が正しく更新されなかった場合、検索結果に表示されないファイルがあります。

アプリケーション設定

コンテンツマネージャーの設定を変更する

検索条件設定	保存場所の対象範囲設定	検索エリアで保存場所、日付、キーワード、ソートを設定するときに、設定した検索条件をすべてのカテゴリに適用するか、表示中のカテゴリにのみ適用するかを設定できます。
	日付の対象範囲設定	
	検索文字列の対象範囲設定	
	ソートの対象範囲設定	
	検索条件の保存設定	検索条件の設定を、コンテンツマネージャー終了後も保持するかどうかを設定します。
簡易情報表示設定	簡易詳細情報の表示設定	データにカーソルを合わせたときに、簡易情報を表示させるかどうかを設定できます。
	選択後の表示時間設定	データにカーソルを合わせてから簡易情報を表示させるまでの時間を設定できます。
設定を初期値に戻す		アプリケーション設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 コンテンツマネージャー画面で[MENU]▶[アプリケーション設定]

2 項目を選ぶ

3 設定を選ぶ

登録

待受画面や着信画面、着信音などに登録する

コンテンツマネージャーから画像、音楽データを選んで待受画面や着信画面、着信音などに登録できます。

- 画像データを選んだ場合は次の画面に登録できます。
  - ■ 音声着信画像 ■ メール受信画像 ■ PCメール受信画像
  - ■ 待受画面(壁紙登録) ■ メール送信中画像 ■ メール受信中画像
- 音楽データを選んだ場合は次の音に登録できます。
  - ■ 音声着信音 ■ メール受信音 ■ PCメール受信音
  - ■ お知らせ受信音

1 コンテンツマネージャー画面でデータにカーソルを合わせる▶[MENU]▶[登録]

2 項目を選ぶ

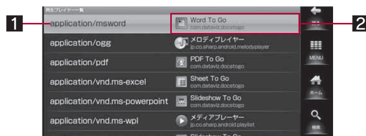
- microSDカード内のデータを選んだ場合はFOMA端末に移動するかどうかの確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると移動後に登録されます。

再生プレイヤーを確認／変更する

再生できるプレイヤーを確認する<一覧表示>

コンテンツマネージャーが対応しているデータのタイプごとに、対応する再生プレイヤーを一覧表示します。

1 コンテンツマネージャー画面で[MENU]▶[再生プレイヤー]▶[一覧表示]



1 データタイプ

2 再生プレイヤー

- 再生プレイヤーのアイコン、名称、パッケージ名を表示します。
- データタイプに対して特定の再生プレイヤーが設定されておらず、対応する再生プレイヤーが複数ある場合は、それを示すアイコンとメッセージが表示されます。

■ 再生プレイヤー一覧画面のメニュー操作

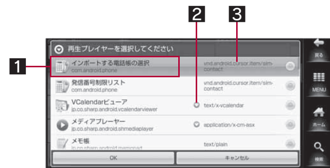
[プレイヤー変更]	☞P.170

再生プレイヤーを変更する<プレイヤー変更>

データを再生するときに起動するプレイヤーを変更します。

1 コンテンツマネージャー画面でデータにカーソルを合わせる▶[MENU]▶[再生プレイヤー]▶[プレイヤー変更]

- 選択しているデータのタイプに対応する再生プレイヤーが一覧表示されます。データタイプが不明の場合は、すべての再生プレイヤーが一覧表示されます。



1 再生プレイヤー

- 再生プレイヤーのアイコン、名称、パッケージ名を表示します。

2 データタイプ選択アイコン

- 再生プレイヤーが複数のデータタイプに対応し、再生するデータタイプを変更できる場合に表示されます。

3 データタイプ

- 選択しているデータタイプが不明の場合に、再生プレイヤーが対応しているデータタイプを表示します。

2 プレイヤーを選ぶ

- 再生するデータタイプを変更：プレイヤーをロングタッチ▶データタイプを選ぶ

3 [OK]

microSDカードについて

FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末に取り込むことができます。

- SH-10Bでは市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年６月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ■ パソコンから
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-10b/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。


サイト接続用QRコード

- 利用できるファイルのサイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- ワンセグの録画サイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、メロディ、電子書籍／電子辞書／電子コミック、ビデオをmicroSDカードに移動できます。ただし、IP（情報サービス提供者）が許可していないときは保存できません。
- FOMA端末にmicroSDカードを挿入した直後（FOMA端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、FOMA端末で初期化する必要があります（☞P.176）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります。
- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDカードを挿入したときは、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。FOMA端末は、閉じた状態で両手でしっかり持ってください。

- 電池パックの取り付け／取り外し方法については☞P.35

■ microSDカードを挿入する

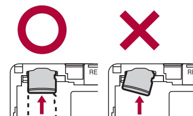
- microSDカードを挿入すると次のマークが表示されます。

マークの意味

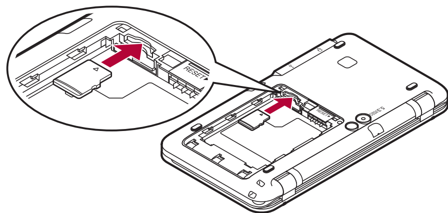
(アイコン)	microSDカードを挿入中

1 microSDカードの金属端子面を下に向けてゆっくりと挿入する

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。
- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。



次ページへ続く



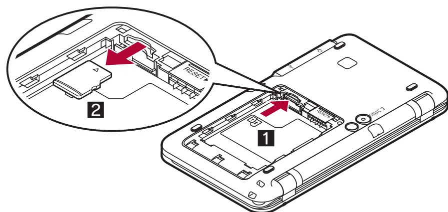
■ microSDカードを取り外す

1 **microSDカードを軽く押し込む（1）**

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

2 **microSDカードを取り外す（2）**

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



- microSDカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとmicroSDカードが飛び出し危険です。

microSDへコピー／本体へコピー

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする

1 **コンテンツマネージャー画面でデータにカーソルを合わせる▶［MENU］▶［microSDへコピー］／［本体へコピー］**

2 **コピー方法を選ぶ**

◆［1件選択］
◆［複数選択］▶データを選ぶ▶［決定］
◆［全件選択］▶ロックNo.を入力▶［OK］▶［はい］

- 次のデータはコピーできません。
  - ■ プリセットデータ
  - ■ レコーダー連携のデータ
- データのサイズやmicroSDカードのメモリ使用状況によっては、microSDカードにコピーできないことがあります。
- DCF規格のファイルは、FOMA端末からmicroSDカードへコピーするときに、DCF規格に準じてファイル名とファイルパスが変更されます。

ビデオについて

- ビデオはFOMA端末→microSDカードへのみコピーできます。
- ダビング10に対応している番組のビデオは9回目までmicroSDカードにコピーできます。

microSDへ移動／本体へ移動

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、FOMA端末とmicroSDカードの間で移動できます。また、録画したビデオをmicroSDカードに移動することができます。

1 **コンテンツマネージャー画面でデータにカーソルを合わせる ▶［MENU］▶［microSDへ移動］／［本体へ移動］**

2 **移動方法を選ぶ**

- ［1件選択］
- ［複数選択］▶データを選ぶ▶［決定］
- ［全件選択］▶ロックNo.を入力▶［OK］▶［はい］

- 次のデータは移動できません。
  - プリセットデータ
  - レコーダー連携のデータ
- DCF規格のファイルは、FOMA端末からmicroSDカードへ移動するときに、DCF規格に準じてファイル名とファイルパスが変更されます。

ビデオについて

- ビデオはFOMA端末→microSDカードへのみ移動できます。
- 移動したビデオはコピーができなくなります。

SDバックアップ

FOMA端末のデータをデータ種別ごとにバックアップする

- バックアップや読み込みを開始すると、電波OFFモードが有効になります。処理が完了しても電波OFFモードが無効にならない場合は、手動で無効にしてください。
- バックアップや読み込みを実行中に電波OFFモードを無効にすると、処理が中止されます。

FOMA端末→microSDカードにバックアップする ＜保存＞

次のデータを、microSDカードにバックアップデータとして保存できます。

- 電話帳
- 受信メール
- 送信メール
- 未送信メール
- ブックマーク
- スケジュール
- タスクリスト
- メモ帳
- ユーザー辞書（iWnn IME - SH edition）

1 **メインメニューで［設定］▶［システム］▶［microSD&内蔵メモリ］▶［SDバックアップ］▶［保存］**

2 **ロックNo.を入力▶［OK］**

3 **データ種別を選ぶ▶［開始］▶［はい］**

4 **［完了］**

- 電池残量が少ないときはバックアップできません。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- バックアップデータはデータ種別ごとに1000件まで保存できます。
- microSDカード内の［BACKUP］フォルダ、［SD_PIM］フォルダのそれぞれに同じバックアップデータが保存されます。

受信メールについて

- Welcomeメール「SHARPからのお知らせ」はバックアップされません。

次ページへ続く▶▶

スケジュールについて

- 同期して表示されているスケジュールはバックアップされません。

■ バックアップ画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[前回選択項目のチェック]	前回選択した項目を選択
[開始]	開始

■ バックアップ画面のキー操作

前回選択した項目を選択	Alt＋H
開始	Alt＋O

■ バックアップ結果画面のキー操作

バックアップを完了	Alt＋O

■ バックアップ画面のメニュー操作

[前回選択項目のチェック]

[全件チェック解除]

[全件チェック]

[開始]

[前回選択項目のチェック]について

- 電話帳に登録している画像の保存については、前回バックアップしたときの設定と同様になります。

[全件チェック]について

- バックアップデータが1000件ある項目は選択されません。

microSDカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む<読み込み>

1 **メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[SDバックアップ]▶[読み込み]**

2 **ロックNo.を入力▶[OK]**

3 **データ種別を選ぶ**

4 **バックアップデータを選ぶ**

- 複数のデータを読み込むときは、操作３～４を繰り返します。

5 **[追加登録開始]／[上書登録開始]▶[はい]▶[はい]**

6 **[完了]**

- 電池残量が少ないときは読み込みできません。
- バックアップデータを上書登録中に操作がキャンセルされた場合は、読み込み中の種別のデータはFOMA端末内から削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。
- バックアップデータがmicroSDカード内の[BACKUP]フォルダ、[SD_PIM]フォルダに複数存在する場合でも、読み込むことができます（ただし、同一のバックアップデータが複数存在する場合、選択できるのは１つだけです）。

電話帳について

- 所有者情報が含まれる電話帳データを読み込んだ場合、プロフィールには登録されず電話帳として登録されます。

メールについて

- メールは、読み込みに時間がかかることがあります。
- 受信メールは9999件、送信メールと未送信メールは合わせて3000件まで読み込むことができます。

ユーザー辞書について

- ユーザー辞書は追加登録を行った場合でも上書きされます。

■ 読み込み画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[追加登録開始]	追加登録開始
[上書登録開始]	上書登録開始

■ 読み込み画面のキー操作

追加登録開始	Alt + O
上書登録開始	Alt + Shift + S

■ 読み込み結果画面のキー操作

読み込みを完了	Alt + O

■ 読み込み画面のメニュー操作

[全件チェック解除]

[全件チェック]

[追加登録開始]

[上書登録開始]

バックアップデータを削除する
<バックアップファイルの整理>

microSDカード内のバックアップデータを削除できます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[SDバックアップ]▶[設定･管理]▶[バックアップファイルの整理]

2 削除するデータ種別を選ぶ

3 削除するバックアップデータを選ぶ

4 [削除]▶[はい]

- バックアップデータは1000件まで表示されます。

■ バックアップデータ選択画面のメニュー操作

[全件チェック解除]

[全件チェック]

[削除]

電話帳に登録された画像を含めてバックアップする
<電話帳バックアップデータの画像設定>

電話帳をバックアップするときに登録された画像も含めてバックアップするかどうかを設定できます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[SDバックアップ]▶[設定･管理]▶[電話帳バックアップデータの画像設定]

2 設定を選ぶ

バックアップ／読み込み履歴を表示する
<結果画面閲覧>

最新のバックアップ結果画面／読み込み結果画面が表示されます。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[SDバックアップ]▶[設定･管理]▶[結果画面閲覧]

2 [バックアップ結果詳細]／[読み込み結果詳細]

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末のデータをバックアップしたときの、microSDカード内のフォルダ構成と、各フォルダに格納されるデータのファイル名などは次のとおりです。

- ファイル名の規則は次のとおりです。
  - ■ aaaaa：00001～65535の５桁の半角数字
  - ■ xxyyzz_nn：半角数字で、xxは年、yyは月、zzは日、nnは00～99

次ページへ続く

```
SD_PIM ...................... 電話帳、受信メール、送信メール、未送
                              信メール、ブックマーク、スケジュー
                              ル、メモ帳用フォルダ
                              PIMaaaaa.vcf／vmg／vbm／vcs／vnt

PRIVATE
└SHARP
  └BACKUP
    ├PHONEBOOK ........ 電話帳用フォルダ
    │                   xxyyzz_nn.vcf
    ├MAIL
    │├INBOX ........... 受信メール用フォルダ
    ││                  xxyyzz_nn.vmg
    │├SENTBOX ......... 送信メール用フォルダ
    ││                  xxyyzz_nn.vmg
    │└OUTBOX .......... 未送信メール用フォルダ
    │                   xxyyzz_nn.vmg
    ├BOOKMARKS ........ ブックマーク用フォルダ
    │                   xxyyzz_nn.vbm
    ├SCHEDULE ......... スケジュール用フォルダ
    │                   xxyyzz_nn.vcs
    ├TASKS ............ タスクリスト用フォルダ
    │                   xxyyzz_nn.vcs
    ├MEMO ............. メモ帳用フォルダ
    │                   xxyyzz_nn.vnt
    └USERDIC .......... ユーザー辞書（iWnn IME - SH edition）
                        用フォルダ
                        Enjuserl.ldc
                        Enjuserw.udc
                        njuserl.ldc
                        njuserw.udc
```

microSD&内蔵メモリ

メモリを管理する

microSDカードの認識を解除する＜microSDのマウント解除＞

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[microSDのマウント解除]

microSDカードの使用状況を確認する＜microSD使用状況＞

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[microSD使用状況]

microSDカードを初期化する＜microSD初期化＞

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- あらかじめ、microSDカードのマウントを解除しておいてください（☞P.176）。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[microSD初期化]▶[はい]

2 ロックNo.を入力▶[OK]▶[microSDをフォーマット]▶[すべて消去]

FOMA端末のメモリ使用状況を確認する＜内蔵メモリ使用状況＞

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[microSD&内蔵メモリ]▶[内蔵メモリ使用状況]

ブログに投稿する

投稿先のブログを登録する

● 投稿先は 5 件まで登録できます。同じ名前の投稿先は、登録できません。

例: コンテンツマネージャーから登録するとき

1 コンテンツマネージャー画面で画像にカーソルを合わせる ▶ [MENU] ▶ [ブログ投稿]

2 [新規]

- 投稿先が登録されていない場合は、[新規登録]でも操作できます。
- 投稿先登録内容の編集:投稿先にカーソルを合わせる ▶ [編集]
- 投稿先登録内容の削除:投稿先にカーソルを合わせる ▶ [削除] ▶ [はい]

3 [投稿先サービス名]欄を選ぶ ▶ 投稿先名を入力

4 [投稿先メールアドレス]欄を選ぶ ▶ 投稿先を入力

5 [保存]

■ ブログ投稿先選択画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除
[編集]	編集
[新規登録]／[新規]	新規登録

■ ブログ投稿先登録画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[保存]	保存

投稿する

例: コンテンツマネージャーから投稿するとき

1 コンテンツマネージャー画面で画像にカーソルを合わせる ▶ [MENU] ▶ [ブログ投稿]

2 投稿先を選ぶ

3 利用する機能を選ぶ

4 メールを作成・送信

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。

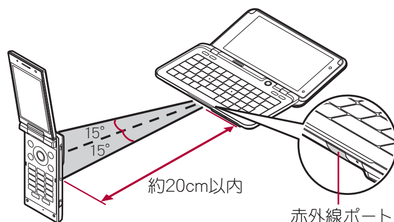
● FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。

● FOMA端末の赤外線送受信機能はIrSimple™規格に対応しています。

● 電波OFFモード中は赤外線通信できません。

● メールの件名が途中までしか受信できないことがあります。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意



- 図のように受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 接続相手が見つからなかったり、認証に失敗したときは、続けるかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、やり直すことができます。FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- IrSS™通信は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

データを送受信する

- 全件データの送受信には、ロックNo.と認証コードの入力が必要になります。認証コードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

データを送信する

■ 通常の赤外線通信でデータを送信する<赤外線送信>

例：電話帳のとき

1 **メインメニューで[電話帳]**

2 **名前にカーソルを合わせる▶MENU▶[赤外線送信]**

- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 **送信方法を選ぶ**

- ◆ **[1件送信]▶[はい]**
- ◆ **[選択送信]▶名前を選ぶ▶[実行]▶[はい]**
- ◆ **[全件送信]▶[はい]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶認証コードを入力▶[OK]**
  - ・受信側で入力した認証コードと一致すると、送信が開始されます。

■ IrSS™通信でデータを送信する<IrSS送信>

例：静止画のとき

1 **メインメニューで[コンテンツマネージャー]**

2 **静止画にカーソルを合わせる▶[MENU]▶[赤外線送信]▶[IrSS送信]▶[はい]**

データを受信する

■ データを1件受信する<受信>

1 メインメニューで[赤外線受信]▶[受信]

- 送信側のFOMA端末を送信状態にします。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

2 [はい]

■ データを全件受信する<全件受信>

1 メインメニューで[赤外線受信]

2 [全件受信]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶送信側と同じ認証コードを入力▶[OK]

- 送信側のFOMA端末を送信状態にします。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

3 登録方法を選ぶ

◆ **[追加登録]**
◆ **[全件削除して登録]▶[はい]**
◆ **[登録しない]**

- 全件受信時に[全件削除して登録]を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。

ブルーレイディスクレコーダーと連携する

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して、メディアプレーヤーで再生できます。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末をPC用microUSBケーブル（試供品）で接続し、動画を転送します。USB接続モードを[外部メモリ転送モード]に設定して接続してください。接続方法は、FOMA端末とパソコンなどを接続する方法と同様です（☞P.250）。動画を転送する操作方法はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 動画を転送すると、microSDカードに保存できるビデオの件数は少なくなります。
- 市販のBluetooth機器を利用して、転送した動画の音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.225）。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末を、PC用microUSBケーブルを使って接続するときは、待受画面を表示させておいてください。

DLNAサーバー設定

DLNAサーバーを利用して静止画や音楽を公開する

Wi-Fi通信を利用して、FOMA端末またはmicroSDカードの静止画データや音楽データを、DLNA対応のテレビなどで視聴することができます。

● コンテンツマネージャーで管理されている次のデータを公開できます。

データの種別	ファイル形式
静止画データ	JPEG
音楽データ	MP3、LPCM(44.1kHz/2ch)、WAV(44.1kHz/2ch)

・ それぞれ1000件を超えるデータは公開できない場合があります。

● 画像サイズが「4096×4096」より大きい静止画データは、縮小します。
● DLNAサーバーを利用するにはあらかじめWi-Fi接続が設定されている必要があります。Wi-Fiについては☞P.218
● 本FOMA端末が接続可能なテレビの機種については、http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/dlna/sh-10b.htmlをご覧ください。
● DLNA対応のテレビからFOMA端末に接続する操作方法は、DLNA対応のテレビの取扱説明書をご覧ください。
● 無線LANアクセスポイントやご使用の環境により、正常に接続できなかったり、使用中に接続が解除される場合があります。その場合は、一度DLNAサーバーを無効にし、再度DLNAサーバーを有効にしてください。

DLNAサーバーを有効にする<DLNAサーバー>

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[DLNAサーバー設定]

2 [DLNAサーバー]

• 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

公開するネットワークを設定する<公開ネットワーク>

Wi-Fi接続で設定したアクセスポイントから利用するネットワークを設定します。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[DLNAサーバー設定]▶[公開ネットワーク]

2 アクセスポイントを選ぶ

● 公開ネットワークを変更しても正常に動作しない場合は、一度DLNAサーバーを無効にし、再度DLNAサーバーを有効にしてください。

FOMA端末とmicroSDカードのどちらのデータを公開するかを設定する<公開フォルダ>

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[DLNAサーバー設定]▶[公開フォルダ]

2 [本体]／[SDカード]▶[はい]

● microSDカードが挿入されていない場合、[SDカード]を公開フォルダに設定できません。

DLNAサーバー名を登録する<サーバー名>

DLNA対応のテレビで表示するDLNAサーバー名を登録することができます。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[DLNAサーバー設定]▶[サーバー名]

2 サーバー名を入力▶[OK]

• 全角20文字(半角40文字)まで入力できます。
• 漢字で入力することはできません。

便利な機能

辞書で調べる

位置情報を利用する

スケジュールを管理する

アラーム・タイマーを利用する

音／画面／照明の設定

マルチアシスタント(マルチタスク)

マルチアシスタント(マルチタスク)

機能を利用中に[ホーム]をタッチするなどして利用を中断した場合、機能は終了せずにバックグラウンドで起動している状態となります。マルチアシスタント(マルチタスク)を利用して、起動中の機能を一覧表示し、利用する機能を切り替えることができます。

1 待受画面で[▭]

- (⌂)(1秒以上)でも操作できます。
- 起動中の機能が一覧表示されます。
- 選択する機能について通常のお知らせがある場合は、機能の画像右上にお知らせの件数が表示されます。また、エラーがある場合は機能の画像左上に[⚠]が表示されます。



マルチタスクメニュー画面

2 機能を選ぶ

■ マルチタスクメニュー画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[✕]	利用中の機能を終了
[◁]/[▷]	前/次のページに移動
[↺]	待受画面に戻る

メモ帳

メモを入力する

よく利用する文章を登録しておき、利用できます。

- メモ帳一覧画面ではメモ帳に電話番号、メールアドレス、URLがあるときは、下線が表示され、タッチすると対応した機能が動作します。

1 メインメニューで[メモ帳]▶[新規]

2 タイトルを入力

- 全角・半角50文字まで入力できます。
  - タイトルが未入力の場合は、本文の先頭15文字がタイトルとして入力されます。

3 メモを入力

4 [保存]

■ メモ帳一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除
[編集]	編集
[新規]	新規登録

■ メモ帳一覧画面のキー操作

削除	1件削除	Del
	選択削除	Shift + Del
	全件削除	Shift + Alt + Del
編集		MENU + E
新規登録		MENU + N
赤外線送信	1件送信	MENU + I
	選択送信	Shift + I
	全件送信	Shift + Alt + I
Bluetooth送信	1件送信	MENU + B
	選択送信	Shift + B
	全件送信	Shift + Alt + B

メールへ添付	1件添付	MENU + J
	選択添付	Shift + J
	全件添付	Shift + Alt + J
メール本文へ挿入		Alt + E
メモ検索		Q

■ メモ帳登録画面のキー操作

保存	Alt + S

■ メモ帳一覧画面のメニュー操作

[編集] ☞P.183

[新規登録]

[赤外線送信] ☞P.178

[Bluetooth送信] ☞P.225

[メールへ添付]

- ▶[1件添付]▶[はい]▶メールを作成・送信
- ▶[選択添付]▶メモ帳を選ぶ▶[実行]▶[はい]▶メールを作成・送信
- ▶[全件添付]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]▶メールを作成・送信

[メール本文へ挿入]▶メールを作成・送信

[.txtに変換]▶保存先を選ぶ

[削除]

- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶メモ帳を選ぶ▶[実行]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[メモ検索]

- 以降の操作については☞P.183「メモを検索する」の操作2へ

[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ

[メール本文へ挿入]について

- メール形式を変更するには優先作成設定を設定してください(☞P.96)。

■ メモ帳登録画面のメニュー操作

[保存]

[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ

メモを修正する

1 メモ帳を選ぶ

2 メモを修正▶[保存]

- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.182)。

メモを検索する

- 入力したキーワードでメモを検索します。

1 メモ帳一覧画面で[検索]

2 キーワード入力欄を選ぶ

3 キーワードを入力

- 全角・半角50文字まで入力できます。

4 [検索]

5 検索結果を選ぶ

■ 検索結果画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除
[編集]	編集
[新規]	新規登録

■ 検索結果画面のキー操作

削除	Del
編集	MENU + E
新規登録	MENU + N
メール本文へ挿入	Alt + E

■ 検索結果画面のメニュー操作

● 次の機能については、メモ帳一覧画面のメニュー操作（☞P.183）を参照してください。

■ 編集　■ 新規登録　■ 赤外線送信
■ Bluetooth送信　■ メールへ添付　■ メール本文へ挿入
■ .txtに変換　■ 削除　■ 文字サイズ設定

メールの添付ファイルやコンテンツマネージャーのデータをメモ帳に登録する

● vNote形式のファイル、またはテキスト形式のファイルをメモとして登録できます。

例：受信メールに添付されているテキスト形式のファイルを登録するとき

1 添付ファイルを選ぶ▶[表示／再生]▶[メモ帳]

• 登録連携画面が表示されます。

2 [登録]

■ 登録連携画面のタッチパネル操作

● 次のタッチ操作ができます。

文字コード変更	文字コードをタッチ ● 画面右下に表示されている文字コードをタッチします。

■ 登録連携画面のキー操作

登録	MENU + A

■ 登録連携画面のメニュー操作

[登録]

[文字サイズ変更]▶文字サイズを選ぶ

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。

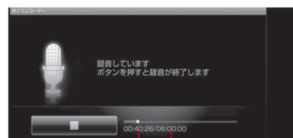
録音する

● 保存先の空き容量が300Kバイト未満のときは、録音できません。

1 メインメニューで[ボイスレコーダー]

2 [●]

• 録音開始音が鳴り、録音が開始されます。録音中は着信ランプが点滅します。



3 [■]

• 録音停止音が鳴り、録音データが保存されます。

● 録音開始音／停止音は、FOMA端末の設定にかかわらず鳴ります。
● 最大録音時間はモードによって異なります。[メール添付モード]に設定した場合、メール添付可能な最大サイズを上限とした録音時間が設定されます。また、[長時間モード]に設定した場合、1件あたり最大6時間録音できます。
● 録音中に最大録音時間に達したときや、保存先の空き容量が不足したときは、自動的に録音が停止します。
● 録音中に電話がかかってくると、録音は停止され、それまでの録音を自動的に保存し、電話に出ることができます。通話終了後、保存完了通知画面が表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[●]／[■]	録音を開始／停止
[モード]	録音時間モードの選択
[再生]	録音したデータの再生※
[本体→SD]／[SD→本体]	保存先の切替

※ 録音前に操作した場合は、コンテンツマネージャーが起動します。録音後に操作した場合は、前回録音したデータが再生されます。

■ ボイスレコーダー画面のキー操作

録音時間モードの選択	MENU＋M
録音したデータの再生※	MENU＋P
保存先の選択	MENU＋D

※ 録音前に操作した場合は、コンテンツマネージャーが起動します。

■ ボイスレコーダー画面のメニュー操作

[モード] ▶ 録音時間を選ぶ

[再生] ☞P.185

[本体→SD]／[SD→本体]

[本体→SD]、[SD→本体]について

● 指定した保存先の空き容量が300Kバイト未満の場合、録音時に保存先が自動的に変更されます。

録音したデータを再生する<ボイスプレイヤー>

1 メインメニューで[ボイスレコーダー] ▶ [再生]

- コンテンツマネージャーが起動します。

2 録音したデータを選ぶ

● 再生中に電話がかかってくると、再生が自動的に一時停止し、電話に出ることができます。通話終了後、停止した状態で再生画面が表示されます。

■ ボイスプレイヤー画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[▶]	再生
[II]	一時停止
[◀◀]	コマ戻し※
[▶▶]	コマ送り※
[録音]	録音
[ファイル]	コンテンツマネージャーの起動

※ ロングタッチすると、連続してコマを移動できます。

● シークバーをスライドして再生位置を操作することもできます。

■ ボイスプレイヤー画面のキー操作

コマ戻し※	◀
コマ送り※	▶
メールへ添付	MENU+J
削除	Del
赤外線送信	MENU+I
Bluetooth送信	MENU+B
詳細情報	Alt+P
録音	MENU+R
コンテンツマネージャーの起動	MENU+F

※ キーを押し続けると、連続してコマを移動できます。

■ ボイスプレイヤー画面のメニュー操作

[メールへ添付] ▶ メールを作成・送信

[削除] ▶ [はい]

[赤外線送信] ☞P.178

[Bluetooth送信] ☞P.225

[詳細情報]

[録音]
- ボイスレコーダーが起動します。

[ファイル]
- コンテンツマネージャーが起動します。

電卓

電卓として使う

- メモリ計算、パーセント計算、平方根計算なども利用できます。

1 メインメニューで[電卓]

2 計算する

電卓のタッチパネル操作

数字入力	[0]～[9]	%(パーセント計算)	[%]
		+/−の切替	[+/−]
「00」と入力	[00]	CM(クリアメモリ)	[CM]
小数点	[.]	RM(メモリ呼び出し)	[RM]
+(加算)	[+]	M+(メモリ加算)	[M+]
−(減算)	[−]	M−(メモリ減算)	[M−]
×(乗算)	[×]	入力数字削除、クリアメモリ	[AC]
÷(除算)	[÷]		
=(計算の実行)	[=]	C/CE(入力数字削除)	[C/CE]
√(平方根計算)	[√]	1桁削除	[Del]

- 電卓を終了すると、メモリは削除されます。
- バックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

■ 電卓画面のキー操作

数値のコピー	Alt+C

■ 電卓画面のメニュー操作

[コピー]
- 表示されている数値をコピーします。

Documents To Go

Word、Excelファイルなどを表示・編集・作成する

Microsoft Wordファイル、Microsoft ExcelファイルやMicrosoft PowerPointファイル、PDFファイルなどを、FOMA端末で表示、編集、作成することができます。

- Documents To Goを使用するには、microSDカードが必要です。
- PDFファイルは新規作成することができません。

■ アイコンの種類

DOC	Microsoft Word(.doc、.docx)
XLS	Microsoft Excel(.xls、.xlsx)
PPT	Microsoft PowerPoint(.ppt、.pptx)
PDF	PDFファイル(.pdf)

1 メインメニューで[Documents To Go]

- はじめて起動したときは、確認画面が表示されます。内容を確認し、[承諾]を選択してください。
- 機能の更新:[MENU]▶[更新チェック]

2 アプリケーションを選ぶ

3 ファイルを開く

- 保存ファイルを開く:[ファイルを開く…]▶ファイルを選ぶ
- 新規ファイルを作成:[新規ファイルを作成…]

4 ファイルを利用

- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なるときがあります。
- フォントの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
- パソコンなどで編集されたファイルの種類によっては利用できないことがあります。

- Documents To Goで編集したファイルは、microSDカードに保存されます。本体への保存はできません。
- Documents To Goではファイルの削除はできません。ファイルを削除する場合は、コンテンツマネージャーで操作するか、パソコンに接続して操作してください。FOMA端末とパソコンの接続については☞P.250

書籍ビューアー

電子書籍／電子コミックを表示する

電子書籍／電子コミックを、FOMA端末で表示できます。

- 電子書籍、電子コミックなどは、サイトなどからダウンロードできます(☞P.106)。

1 メインメニューで[書籍ビューアー]

2 データを選ぶ



内容表示画面

- 2回目以降に閲覧するときは、読み始めるページを選択する画面が表示されます。
- パスワードが必要なとき:パスワードを入力▶[OK]

- 表示できる電子書籍の種類(拡張子)は、XMDF形式(.zbf)、テキスト形式(.zbk、.txt)です。
- 表示できる電子コミックの種類(拡張子)は、XMDF形式(.zbf)です。
- データに埋め込まれている音声や画像によっては、ご利用になれないことがあります。
- 電子書籍などには、閲覧回数／閲覧期限／閲覧期間の閲覧制限が設定されているものがあります。これらのデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。内容を確認してください。

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

● 次のタッチ操作ができます。

行を移動	進める	上にスライド
	戻す	下にスライド
コマを進める（電子コミックのコマ表示中）		コマをタッチ
文字サイズを大きくする／小さくする		2本の指の間隔を広げる／狭める
リンク先の表示		反転表示しているリンクをタッチ
アイコン表示領域の表示／非表示		本文や空白を2回タッチ

■ 内容表示画面のキー操作

ページを戻る※1	Del	行を進める	▼
前ページの表示※2	▶／Shift＋（スペース）	コマを戻す※5	▼／◀
次ページの表示※3	◀／（スペース）	文字サイズを大きくする／小さくする、標準サイズにする	Alt＋L／Alt＋－、Alt＋0
画面を上下左右にスクロール※4	▲／▼／◀／▶	文字サイズ設定画面を表示	MENU＋F
行を戻す	▲	先頭に移動	Alt＋▲
コマを進める※5	▲／▶	最後に移動	Alt＋▼

※1 履歴がないときは動作しません。
※2 電子コミックのページ表示中は、Alt＋▶でページ移動できます。
※3 電子コミックのページ表示中は、Alt＋◀でページ移動できます。
※4 電子コミックのページ表示中に操作できます。
※5 電子コミックのコマ表示中に操作できます。

● 縦書きの書籍の場合は、キー操作が変わります。
- ■ 前ページの表示：▲　■ 次ページの表示：▼
- ■ 行を進める：◀　■ 行を戻す：▶

■ 内容表示画面のメニュー操作

[移動]
- ▶[%・コマ指定移動] ☞P.189
- ▶[しおりに移動]▶しおりを選ぶ
- ▶[目次に移動]▶項目を選ぶ
  - ● 目次からページを表示します。
- ▶[先頭に移動]
- ▶[最後に移動]
- ▶[リンクを戻る]

[しおりをはさむ]▶しおりを選ぶ

[ヘルプ]

[表示設定]
- ▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ
- ▶[太字設定]▶設定を選ぶ
- ▶[縦横設定]▶設定を選ぶ
  - ● 縦書き、横書きを切り替えます。
- ▶[ルビ表示設定]▶設定を選ぶ
  - ● ふりがなを表示します。
- ▶[行間隔設定]▶設定を選ぶ
- ▶[文字間隔設定]▶設定を選ぶ
- ▶[余白設定]▶設定を選ぶ
- ▶[色設定]▶設定を選ぶ
  - ● 背景色と文字色を設定します。

[動作設定]

▶[サウンド設定]▶音量を選ぶ

▶[画像表示設定]▶設定を選ぶ

▶[テロップ速度設定]▶速度を選ぶ

▶[バイブ効果]▶設定を選ぶ

▶[バックライト効果]▶設定を選ぶ
- バックライトを点滅させる効果を含む書籍で、バックライトを点滅させるかを設定します。

▶[コマ・ページ切替]▶設定を選ぶ

▶[ページ解像度切替]▶設定を選ぶ
- ページ画像のサイズを変更します。

[情報表示]

[しおりに移動]について
- 電子コミックのページ表示画面では、[しおりに移動]は選択できません。

[しおりをはさむ]について
- 1冊につき最大2個(最大10冊)のしおりを設定できます。
- 11冊目のしおりを設定すると、一番古いしおりが削除されます。

自動しおりについて
- 書籍ビューアーを終了すると、最後に表示していたページに設定されます。
- 1冊につき1個(最大10冊)の自動しおりを設定できます。
- 11冊目の自動しおりを設定すると、一番古い自動しおりが削除されます。

[文字サイズ設定]、[太字設定]、[縦横設定]、[ルビ表示設定]、[コマ・ページ切替]について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているものがあります。
- 電子コミックの吹き出しの中の文字は画像です。文字サイズ設定や太字設定、縦横設定、ルビ表示設定は反映されません。
- データによってルビの有無は異なります。

[色設定]について
- 色設定で変更される文字の色と背景の色の組み合わせは次のとおりです。

	文字色	背景色
標準	黒	白
赤	赤	黒
緑	緑	薄い黄緑

[サウンド設定]について
- 書籍ビューアーを終了すると、ミュートは解除されます。

%を指定してページを表示する<%・コマ指定移動>

- 全体に対する位置を%で指定してページを移動します。
- 電子コミックの場合は、コマを指定して移動します。

1 内容表示画面でMENU▶[移動]▶[%・コマ指定移動]

2 %を入力▶[OK]

■ %・コマ指定画面のキー操作

数字を増やす	▲
数字を減らす	▼

便利な機能

電話番号の情報、メールアドレスの情報、URLの情報を利用する

電子書籍などで表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)を利用して、電話発信やメール送信、サイト接続ができます。

1 **内容表示画面で電話番号やメールアドレス、URLなどを選ぶ**

2 **操作を選ぶ**

- 電話発信やメール送信、サイト接続の操作については☞P.110

リンク先のページを表示する

テキストや画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 **内容表示画面でテキストや画像を選ぶ**

動画/音声を再生する

画像に動画/音声の情報が設定されているときは、動画/音声を再生できます。

1 **内容表示画面で画像を選ぶ**

マスク(目隠し)された情報を表示する

1 **内容表示画面でテキストや画像を選ぶ**

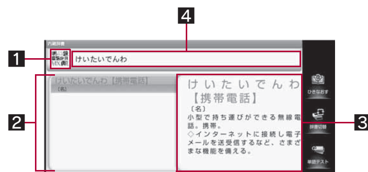
内蔵辞書

電子辞書で調べる

内蔵辞書で、キーワードを入力して調べることができます。

- お買い上げ時は、FOMA端末に次の電子辞書が登録されています(電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります)。
  - ■ ジーニアス英和辞典MX
    英会話や新聞・小説を読むときに便利な英和辞典。約8万9000語句を収録。
  - ■ ジーニアス和英辞典MX
    現代語を中心に約6万9000語句を収録した、本格語数の和英辞典。
  - ■ 明鏡国語辞典MX
    使用頻度の高い現代語を中心に約5万8000語句を収録。
  - ■ 用例でわかるカタカナ新語辞典
    最新重要語を中心に一般語まで含めた約2万9000語を収録。
  - ■ オックスフォード実例現代英語用法辞典
    現代英語の基本用法をまとめた実用辞典の決定版。
  - ■ カタカナで引くスペリング辞典
    カタカナを入力するだけで英語、仏語、独語などの正しい綴りがわかる辞典。

1 メインメニューで[内蔵辞書]



内蔵辞書検索画面

1 辞書キー
- 検索する辞書を表示します。

2 検索結果リスト
- 検索結果の見出しを表示します。

3 検索結果
- 検索結果リストで選択した見出しの内容を表示します。

4 キーワード入力欄
- 検索するキーワードを入力します。

2 辞書キーをタッチ▶利用する辞書を選ぶ

3 キーワード入力欄を選ぶ▶キーワードを入力

- 64文字まで入力できます。
- 文字を入力するたびに、キーワード入力欄の下に検索結果がリスト形式で表示されます。
- 検索結果は150件まで表示されます。

4 検索結果を選ぶ

- 表示できる電子辞書の種類(拡張子)は、XMDF形式(.zbf)です。

■ 内蔵辞書検索画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

辞書キー	辞書切替
[ひきなおす]	辞書をひき直す
[辞書切替]	辞書切替
[単語テスト]	単語テスト

■ 検索結果詳細画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[ひきなおす]	辞書をひき直す
[辞書切替]	辞書切替
[単語カード追加]	単語カード追加

■ 内蔵辞書検索画面のキー操作

- 検索結果リスト選択中に次の操作ができます。

辞書をひき直す	Alt＋Z
辞書切替	MENU＋R
単語テスト	MENU＋T
単語カード追加	MENU＋W
見出し語コピー	MENU＋C
リストを上下にスクロール	Shift＋(スペース)／(スペース)
リストの先頭へ移動	Alt＋▲
リストの末尾へ移動	Alt＋▼

■ 検索結果詳細画面のキー操作

次ページの表示	▶／(スペース)
前ページの表示	◀／Shift＋(スペース)
辞書切替	MENU＋R
単語カード追加	MENU＋W
見出し語コピー	MENU＋C
範囲指定コピー画面の表示	Alt＋C

■ 内蔵辞書検索画面のメニュー操作

[単語テスト]	☞P.193
[単語カード一覧]	☞P.192
[履歴一覧]	☞P.192
[単語カード追加]	
[見出し語コピー]	
[ひきなおす]	
[辞書の使い方]	
[辞書切替]	

[単語カード追加]について
- 単語カードは最大1000件まで登録できます。
- 単語カードに登録した単語は単語テストで使用できます。

■ 検索結果詳細画面のメニュー操作

- 次の機能については、内蔵辞書検索画面のメニュー操作(☞P.192)を参照してください。
  ■ 単語カード追加　■ 見出し語コピー　■ ひきなおす　■ 辞書切替

[範囲指定コピー]	☞P.193

履歴を表示する<履歴一覧>

1 内蔵辞書検索画面でMENU ▶ [履歴一覧]

2 履歴を選ぶ

■ 履歴一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

辞書キー	辞書切替
[削除]	履歴を1件削除

■ 履歴一覧画面のキー操作

辞書切替	MENU＋R
履歴を1件削除	Del
履歴をすべて削除	Shift＋Alt＋Del
画面を上下にスクロール	Shift＋□(スペース)／□(スペース)
リストの先頭へ移動	Alt＋▲
リストの末尾へ移動	Alt＋▼

■ 履歴一覧画面のメニュー操作

[1件削除] ▶ [はい]
[全件削除] ▶ ロックNo.を入力 ▶ [OK] ▶ [はい]
[辞書切替]

単語カード一覧を表示する<単語カード一覧>

1 内蔵辞書検索画面でMENU ▶ [単語カード一覧]

2 単語カードを選ぶ

■ 単語カード一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[単語テスト]	単語テスト
[削除]	単語カードを1件削除

■ 単語カード一覧画面のキー操作

単語テスト	MENU＋T
単語カードを1件削除	Del
単語カードをすべて削除	Shift＋Alt＋Del
画面を上下にスクロール	Shift＋□(スペース)／□(スペース)
リストの先頭へ移動	Alt＋▲
リストの末尾へ移動	Alt＋▼

■ 単語カード一覧画面のメニュー操作

[単語テスト]	☞P.193
[1件削除]▶[はい]	
[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]	

登録した単語で単語テストをする<単語テスト>

1 内蔵辞書検索画面で[単語テスト]

2 件数を選ぶ

3 解答/次の問題を表示

- 解答を表示:[解答へ]
- 次の問題を表示:[次へ]

4 終了時の動作を選ぶ

- 単語テストを終了:[終了する]
- 単語テストを繰り返す:[もう一度]

● 選択したテスト件数が登録してある単語カードの件数を超える場合は、登録してある単語カードをすべて出題するとテストが終了します。同じ問題が繰り返し出題されることはありません。

■ 単語テスト画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[解答へ]	解答を表示
[次へ]	次の問題を表示
[終了]	単語テストを終了

文字をコピーする<範囲指定コピー>

1 検索結果詳細画面で(MENU)▶[範囲指定コピー]

2 開始位置にカーソルを移動▶[始点]

3 終了位置にカーソルを移動▶[終点]

- 始点よりも前の文字は選択できません。

■ 範囲指定コピー画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[始点]/[終点]	始点/終点を選択
[取消]	1つ前の画面に戻る

● 次のタッチ操作ができます。

範囲の選択	開始位置の文字をタッチしたまま、終了位置の文字までスライド

ネット辞書

ネット辞書で調べる

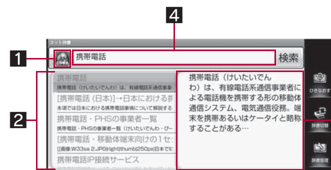
サイト上の辞書で、キーワードを入力して調べることができます。

● 利用にはインターネット接続が必要です。

● お買い上げ時は「百科事典」を利用できます。

1 メインメニューで[ネット辞書]

- はじめて起動したときは、利用規約が表示されます。利用規約をお読みになり[はい]を選択してください。



ネット辞書検索画面

1 辞書キー
- 検索する辞書を表示します。

2 検索結果リスト
- 検索結果の見出しを表示します。

3 検索結果
- 検索結果リストで選択した見出しの内容を表示します。

4 キーワード入力欄
- 検索するキーワードを入力します。

便利な機能

次ページへ続く▶▶

2 辞書キーをタッチ▶利用する辞書を選ぶ

- すべての辞書で検索するとき：[すべての辞書]
  - ・辞書が複数登録されている場合のみ操作できます。

3 キーワード入力欄を選ぶ▶キーワードを入力

- 64文字まで入力できます。

4 [検索]

- [すべての辞書]で検索した場合、辞書ごとに検索結果リストに合計で30件表示されます。
  - ・[もっと見る]を選ぶと、辞書キーが選択した辞書に変わり、選択した辞書の残りの検索結果を表示します。
- 辞書を選択して検索した場合や[もっと見る]を選択した場合は、検索結果リストに30件表示します。31件目以降がある場合は[≫次のページへ]／[≪前のページへ]を選んで表示を切り替えます。
- 検索結果リストに[◇おしらせ]が表示された場合は、辞書に更新情報があります。カーソルを合わせると更新情報の内容が表示されます。最新の辞書を利用する場合は辞書を更新してください。

5 検索結果を選ぶ

- 検索結果詳細表示画面が表示されます。詳細画面に[さらに詳しく]と表示されているときは、[さらに詳しく]を選択するとサイトに接続して詳細を確認できます。

■ ネット辞書検索画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

辞書キー	辞書切替
[ひきなおす]	キーワード入力欄や検索結果リストの削除
[辞書切替]	辞書切替
[辞書管理]	辞書管理

■ 検索結果詳細表示画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[さらに詳しく]	サイトに接続して詳細を表示
[ひきなおす]	キーワードや検索結果をクリア
[辞書切替]	辞書切替

■ ネット辞書検索画面のキー操作

ヘルプ	MENU＋H
辞書切替	MENU＋R
辞書管理※1※2	MENU＋P
履歴一覧※2	Alt＋T
辞書をひき直す※2※3	Alt＋Z
辞書の使い方※2※3	Shift＋H
見出し語コピー※3	MENU＋C
出典について※3	Alt＋P

※1　キーワード入力欄選択中に操作できます。
※2　[検索]キー選択中に操作できます。
※3　検索結果リスト選択中に操作できます。

■ 検索結果詳細表示画面のキー操作

見出し語コピー	MENU＋C
辞書をひき直す	Alt＋Z
出典について	Alt＋P
辞書の使い方	Shift＋H
ヘルプ	MENU＋H
辞書切替	MENU＋R

■ ネット辞書検索画面のメニュー操作

キーワード入力欄にカーソルを合わせているとき

[辞書管理] ☞P.195

[履歴一覧] ☞P.195

[ひきなおす]
● キーワード入力欄や検索結果リストを削除できます。

[辞書の使い方]

[ヘルプ]

[利用規約]▶[はい]

[辞書切替]▶辞書を選ぶ

[検索方法設定](検索方法がある場合) ▶ 検索方法を選ぶ	
[検索範囲設定](検索範囲がある場合) ▶ 検索範囲を選ぶ	
[画像取得設定] ▶ 設定を選ぶ	

[画像取得設定]について
- 画像データは90件(1件の検索結果につき3件)まで取得できます。

検索結果リストにカーソルを合わせているとき
- 次の機能については、ネット辞書検索画面のメニュー操作(☞P.194)のキーワード入力欄にカーソルを合わせているときを参照してください。
  ■ ひきなおす　■ 辞書の使い方　■ ヘルプ　■ 辞書切替

[見出し語コピー]
- 検索結果の見出しをコピーします。

[出典について]

■ 検索結果詳細表示画面のメニュー操作
- 検索結果詳細表示画面のメニュー操作は、ネット辞書検索画面のメニュー操作(☞P.194)の検索結果リストにカーソルを合わせているときを参照してください。

利用する辞書を管理する<辞書管理>

検索で利用する辞書を選択/解除できます。
- 選択できる辞書は30件までです。

1 ネット辞書検索画面で[辞書管理]

2 辞書を選ぶ
- 選択するたびに、有効/無効が切り替わります。

3 [保存]
- 辞書を選択していないときは保存できません。

■ 辞書管理画面のタッチパネル操作
- 表示されるキーで次の操作ができます。

[更新]	更新
[選択]/[解除]	選択/解除
[保存]	保存

■ 辞書管理画面のメニュー操作
[更新]
- 辞書一覧を更新し、最新の辞書を利用できます。

[選択]/[解除]

[保存]
- 辞書一覧を保存できます。

[更新]について
- 更新を行うと、選択できる辞書が増減することがあります。

履歴を利用する

■ 履歴を表示する<履歴一覧>
- 履歴は20件まで保存されます。

1 ネット辞書検索画面でMENU ▶ [履歴一覧]

2 履歴を選ぶ
- 検索結果詳細表示画面が表示されます。

- 履歴データ1件につき、3件まで画像データを保存できます。

■ 履歴一覧画面のタッチパネル操作
- 表示されるキーで次の操作ができます。

辞書キー	辞書切替
[辞書切替]	辞書切替
[削除]	削除

■ 履歴一覧画面のキー操作

1件削除	Del
全件削除	Shift+Alt+Del
辞書切替	MENU+R

便利な機能

■ 履歴一覧画面のメニュー操作

[一件削除]▶[はい]

[全件削除]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶[はい]

[辞書切替]▶辞書を選ぶ

GPS機能のご利用について

- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化、電波の停止など)されることがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - ■ 建物の中や直下
  - ■ 地下やトンネル、地中、水中
  - ■ かばんや箱の中
  - ■ ビル街や住宅密集地
  - ■ 密集した樹木の中や下
  - ■ 高圧線の近く
  - ■ 自動車、電車などの室内
  - ■ 大雨、雪などの悪天候
  - ■ 携帯電話の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - ■ 携帯電話の画面・操作キー・マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしておいてください(☞P.114)。
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度等により、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報等のアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

方位計

現在地や方位を確認する

地図や方位計を表示して、自分がいる場所やFOMA端末が向いている方位を確認できます。

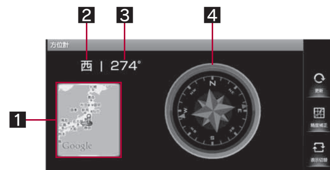
- FOMA端末の向きを方位計で表す方位計モードと、FOMA端末の向きを地図上の方位アイコンで示す地図モードの2種類があります。
- 地図を表示するには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしておいてください(☞P.114)。

1 メインメニューで[方位計]

- はじめて利用するときは、地図モード(標準地図)が起動します。2回目以降は、前回利用していたモードが起動します。

方位計を利用する＜方位計モード＞

■ 方位計モード画面の見かた



1 地図ウィンドウ
- 地図の見かたについては☞P.197

2 方位

3 角度
- 北方向からFOMA端末の前方までの角度を表示します。

4 方位計
- FOMA端末の向きに合わせて針が回転します。
- FOMA端末の傾きに合わせて、平面表示と鳥瞰表示が切り替わります。

■ 方位計モード画面のタッチパネル操作
- 表示されるキーで次の操作ができます。

[更新]	地図を現在地に更新
[精度補正]	方位計の取得精度を補正
[表示切替]	地図モードに切替

- 次のタッチ操作ができます。

地図モードに切替	地図ウィンドウをタッチ

■ 方位計モード画面のキー操作

地図を現在地に更新	MENU＋U
方位計の取得精度を補正	Shift＋C
地図モードに切替	Shift＋V

■ 方位計モード画面のメニュー操作

[表示切替]

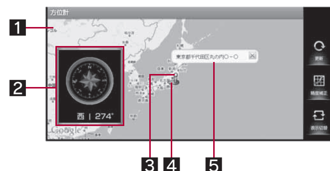
[精度補正]▶[OK]▶表示に従って操作▶[OK]
- 方位計の取得精度を補正します。
- 精度補正の中止：精度補正中に[中止]▶[はい]
- センサーの精度補正の詳細については☞P.198

[更新]
- 地図を現在地に更新します。

地図を利用する<地図モード>
- 地図モードで表示する地図には、次の３種類があります。

標準地図	地図画像上に地点名を表示した地図です。
航空写真	航空写真上に地点名を表示した地図です。
ストリートビュー	ストリートビューが存在する道路に青色の縁を付けた標準地図です。

■ 地図モード画面の見かた



1 地図
- 前回利用していた種類の地図が表示されます。

2 方位計ウィンドウ
- 方位計の見かたについては☞P.196

3 人アイコン
- 現在位置に表示されます。

4 方位アイコン
- 地図上のFOMA端末の向きを表示します。

5 現在地吹き出し
- 人アイコンを表示している場所の住所か道路名を表示します。

■ 地図モード画面のタッチパネル操作
- 表示されるキーで次の操作ができます。

[更新]	地図を現在地に更新
[精度補正]	方位計の取得精度を補正
[表示切替]	方位計モードに切替

- 次のタッチ操作ができます。

標準地図、航空写真

方位計モードに切替	方位計ウィンドウをタッチ
地図の表示位置を変更	地図をスライド

ストリートビュー

方位計モードに切替	方位計ウィンドウをタッチ
地図の表示位置を変更	地図をスライド
ストリートビュー画面を起動	ストリートビュー情報のある地点をロングタッチ

● ストリートビュー画面を起動したとき、ストリートビュー情報のない地点ではエラーが表示されます。

■ 地図モード画面のキー操作

拡大･縮小コントローラを表示	MENU + S
地図を現在地に更新	MENU + U
方位計の取得精度を補正	Shift + C
方位計モードに切替	Shift + V

■ 地図モード画面のメニュー操作

● 次の機能については、方位計モード画面のメニュー操作(☞P.197)を参照してください。

■ 表示切替　■ 精度補正　■ 更新

[拡大･縮小]

[地図モード変更]▶種類を選ぶ

センサー感度補正

センサーの取得精度を補正する

モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[センサー感度補正]▶[OK]

2 表示に従って操作▶[OK]

- センサー感度補正の中止:センサー感度補正中に[中止]▶[はい]

● FOMA端末を閉じる、またはアラームが動作した場合は、精度補正は中断され、補正に失敗します。

● 補正を行う環境や同時に起動しているアプリケーションによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリケーションを終了させるなどしてください。

カレンダーを利用/管理する

カレンダーを利用して予定の管理ができます。登録できる予定には、期間で管理するスケジュールと、期限で管理するタスクの2種類があります。

また、スケジュールは用途に合わせてカレンダーシートに登録できます。

● あらかじめ、日付･時刻を正しく設定しておいてください(☞P.41)。

● 1970年1月1日～2037年12月31日まで登録できます。

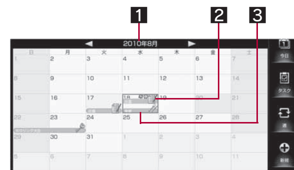
● カレンダーシートは、サイト上のGoogleカレンダーと同期するGoogleカレンダーシートと、FOMA端末のみで利用する端末内カレンダーシートの2種類があります。

カレンダーを表示する<スケジュール>

登録した予定を確認できます。

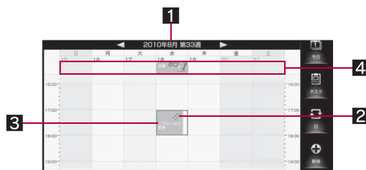
1 メインメニューで[スケジュール]

■ カレンダー画面の見かた

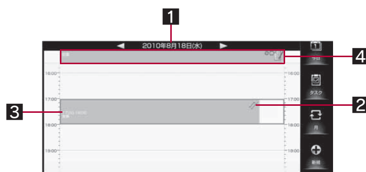


カレンダー画面(1ヶ月表示)

便利な機能



カレンダー画面（1週間表示）



カレンダー画面（1日表示）

1 表示している年、月、週、日付
● 1週間表示では、その年の何週目かが表示されます。

2 カテゴリスタンプ

3 登録されている予定※
● 登録されているカレンダーシートによってカレンダーに表示されるスケジュールの色が異なります。

4 終日予定欄※
● 1週間表示、1日表示のとき、終日に設定されている予定が表示されます。

※ 同じ日付や時間などに表示可能な件数を超える予定が登録されている場合は、[▽]や[▷]が表示されます。[▽]や[▷]を選んで、すべての予定を表示することができます。

■ カレンダー画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[◀]	前月／前週／前日を表示
[▶]	翌月／翌週／翌日を表示
[今日]	カーソルを今日に移動 ● 1週間表示、1日表示では今日の日付の現在の時間にカーソルを合わせます。
[タスク]	未完了タスクリスト表示
[月]／[週]／[日]	月／週／日表示切替
[新規]	新規予定を登録

● 次のタッチ操作ができます。

前月／前週／前日を表示	右にすばやくスライド
翌月／翌週／翌日を表示	左にすばやくスライド
予定を確認	予定をタッチ ● タッチした予定の簡易登録画面が表示されます。
予定を登録	空欄にカーソルを合わせてタッチ

■ カレンダー画面のキー操作

今日		MENU＋Q
スケジュール一覧表示		MENU＋L
未完了タスクリスト表示		Shift＋L
月／週／日表示切替		MENU＋Z
詳細登録	スケジュール	MENU＋N
	タスク	Shift＋N
編集		MENU＋E
カテゴリスタンプの変更		Shift＋K
カテゴリスタンプの新規追加		MENU＋K
日付移動		MENU＋D
時間移動（1ヶ月表示以外）		MENU＋T
メールへ添付（1ヶ月表示以外）		MENU＋J

次ページへ続く

メール作成（1ヶ月表示以外）	MENU + M
赤外線送信（1ヶ月表示以外）	MENU + I
Bluetooth送信（1ヶ月表示以外）	MENU + B
削除	Del
表示カレンダーシート	MENU + Y
カレンダーシート移動	Shift + Y
Googleカレンダー同期	MENU + G
設定	MENU + P
休日設定／解除	MENU + H

■ カレンダー画面のメニュー操作

● 選択中の日付・時間に予定が登録されていない場合、利用できないメニューは表示されません。

[今日]
● 今日の日付にカーソルを合わせます。
● 1週間表示、1日表示では今日の日付の現在の時間にカーソルを合わせます。

[スケジュール一覧表示] ☞P.203

[タスクリスト表示]
● 以降の操作については☞P.204「タスクリストから確認する」の操作2へ

[月／週／日表示切替]
● カレンダー表示を月、週、日の順に切り替えます。

[詳細登録]

▶[スケジュール]
● 以降の操作については☞P.201「スケジュールを登録する」の操作3へ

▶[タスク]
● 以降の操作については☞P.201「タスクを登録する」の操作4へ

[編集]
● 編集方法は、登録時の操作と同様です。
・スケジュールの登録方法については☞P.201
・タスクの登録方法については☞P.201

[カテゴリスタンプの変更]▶カテゴリスタンプを選ぶ

[カテゴリスタンプの新規追加]▶カテゴリスタンプを選ぶ
● 以降の操作については☞P.201「スケジュールを登録する」の操作2へ

[日付移動]▶日付を入力▶[設定]

[時間移動]（1ヶ月表示以外）▶時間を入力▶[設定]

[メールへ添付]（1ヶ月表示以外）▶[はい]▶メールを作成・送信

[メール作成]（1ヶ月表示以外）▶[はい]▶メールを作成・送信

[赤外線送信]（1ヶ月表示以外） ☞P.178

[Bluetooth送信]（1ヶ月表示以外） ☞P.225

[削除]▶[OK]
● 繰り返しが設定されているとき：削除する範囲を選ぶ▶[OK]

[カレンダーメニュー]

▶[表示カレンダーシート] ☞P.207

▶[カレンダーシート移動] ☞P.207

[Googleカレンダー同期] ☞P.206

[設定] ☞P.206

[休日設定／解除] ☞P.202

スケジュールを登録する

1 カレンダー画面で空欄を選ぶ

2 [詳細]

- 簡易登録で保存:簡易登録画面に表示された項目の入力/選択▶[登録]

3 項目の入力/選択

- カテゴリスタンプを変更:カテゴリスタンプを選ぶ▶種類を選ぶ
- タイトル/詳細/場所を入力:[タイトル]/[詳細]/[場所]欄を選ぶ▶タイトル/詳細/場所を入力
- 開始日時/終了日時を設定:[開始日時]/[終了日時]欄を選ぶ▶日付や時間を入力▶[設定]
- カレンダーシートを変更:[カレンダー]欄を選ぶ▶カレンダーシートを選ぶ
- 終日設定の切替:[終日]欄を選ぶ
  - 選択するたびに、[ON]/[OFF]が切り替わります。
- 繰り返しを設定:[繰り返し]欄を選ぶ▶設定を選ぶ
  - 繰り返しを設定するとカレンダーに[繰り返しアイコン]が表示されます。
- アラームの設定については☞P.202

4 [保存]

[開始日時]、[終了日時]について

- 終日を有効にした場合は、日付のみ入力できます。

[ステータス]、[公開設定]について

- 詳細項目を表示の設定を有効にしている場合にカレンダーシートがGoogleカレンダーのとき設定できます。

■ スケジュール編集画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[保存]	保存

■ スケジュール編集画面のメニュー操作

[詳細項目を表示]
- ステータス、公開設定を表示します。
- 選択するたびに、有効/無効が切り替わります。

[保存]

タスクを登録する

1 カレンダー画面で空欄を選ぶ

2 [スケジュール]▶[タスク]

3 [詳細]

- 簡易登録で保存:簡易登録画面に表示された項目の入力/選択▶[登録]

4 項目の入力/選択

- カテゴリスタンプを変更:カテゴリスタンプを選ぶ▶種類を選ぶ
- タイトルを入力:[タイトル]欄を選ぶ▶タイトルを入力
- 期限の有無の切替:期限設定を選ぶ
  - 選択するたびに、[ON]/[OFF]が切り替わります。
- 期限日時を設定:期限日時を選ぶ▶日付や時間を入力▶[設定]
- 完了/未完了の切替:[完了にする]/[未完了にする]▶[OK]
  - 完了状態にするときは、完了日時を入力します。
- アラームの設定については☞P.202

5 [保存]

[期限日時]について

- 期限なしを有効にした場合は設定できません。

■ タスク編集画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[保存]	保存

■ タスク編集画面のメニュー操作

[保存]

アラームを設定する

予定の開始時刻にアラームでお知らせするように設定できます。

- アラームを設定するとカレンダーに[⏰]が表示されます。
- アラーム鳴動中の操作については☞P.209

1 スケジュール編集画面／タスク編集画面でアラームの[⊕]

2 項目の選択

- アラームの開始時刻を設定：開始時刻の設定を選ぶ▶時刻を選ぶ▶[OK]
- アラームの開始時刻を追加：アラームの[⊕]
  - アラームは5件まで登録できます。
- アラームを削除：アラームの開始時刻の[🗑]
- アラーム音を設定：[アラーム音]欄を選ぶ▶アラーム音を選ぶ
- アラーム音量を設定：[音量]欄を選ぶ▶音量バーをタッチしたまま左右にスライド▶[OK]
- バイブレータを設定：[バイブレータ]欄を選ぶ▶設定を選ぶ

休日を登録／解除する<休日設定／解除>

特定の日を休日に設定できます。また、設定した休日を解除することもできます。

- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号）」に基づいた祝日が登録されています（2010年6月現在）。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なるときがあります。
- 設定した休日は、ピンク色で表示されます。

1 カレンダー画面でMENU▶[休日設定／解除]

2 日付を選ぶ

3 [設定完了]

■ 休日設定／解除画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[今日]	今日の日付へ移動
[設定完了]	設定完了

■ 休日設定／解除画面のキー操作

今日	MENU＋Q
曜日設定	MENU＋W
休日設定の期間指定	Alt＋H
休日解除の期間指定	Shift＋Alt＋H
日付移動	MENU＋D
設定完了	MENU＋O
リセット	Alt＋R

■ 休日設定／解除画面のメニュー操作

- 次の機能については、カレンダー画面のメニュー操作（☞P.200）を参照してください。
  - ■ 今日　■ 日付移動

[曜日設定]▶曜日を選ぶ▶[OK]

[期間指定]▶項目を選ぶ▶[開始]欄を選ぶ▶開始日を入力▶[設定]▶[終了]欄を選ぶ▶終了日を入力▶[設定]▶[設定]

[設定完了]

[リセット]▶[はい]

[期間指定]について

- 指定できる期間は1年以内です。1年を超える期間にするとメッセージが表示されます。[OK]を選んで指定し直してください。
- 開始日より前に終了日を設定することはできません。

予定を確認／編集する

1 カレンダー画面で予定を選ぶ

- 繰り返しが設定されているとき：確認／編集する範囲を選ぶ▶[OK]

2 [詳細]

- 編集方法は、登録時の操作と同様です。
  - ・スケジュールの登録方法については☞P.201
  - ・タスクの登録方法については☞P.201
- 招待されたスケジュールでは[参加しますか？]欄が表示されます。回答する場合は[参加しますか？]欄を選んで[はい]／[いいえ]／[未定]を選びます。回答をしていない場合は、[(出欠返信なし)]と表示されます。

スケジュール一覧から確認する
<スケジュール一覧表示>

スケジュール一覧からスケジュールを表示することができます。

1 カレンダー画面でMENU▶[スケジュール一覧表示]

- 表示していた月に期間が設定されているスケジュールが一覧で表示されます。

2 スケジュールを選ぶ

■ スケジュール一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[今日]	今日のスケジュールを表示
[スケジュール]	カレンダー画面表示
[新規]	スケジュール編集画面表示

- 次のタッチ操作ができます。

前月／翌月を表示	左右にすばやくスライド

■ スケジュール詳細画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[編集]	編集

- 次のタッチ操作ができます。

[タイトル]／[詳細]／[場所]欄に入力されている文字をGoogle検索／Googleマップ検索	検索する文字をスライド▶[Google検索]／[Google Map検索]
連携するアプリケーションを起動	電話番号、メールアドレス、URLにタッチ

■ スケジュール一覧画面のキー操作

今日		MENU＋Q
スケジュール		MENU＋Z
詳細表示		Alt＋P
詳細登録		MENU＋N
メール作成		MENU＋M
メールへ添付	1件添付	MENU＋J
	選択添付	Shift＋J
	全件添付	Shift＋Alt＋J
赤外線送信	1件送信	MENU＋I
	選択送信	Shift＋I
	全件送信	Shift＋Alt＋I
Bluetooth送信	1件送信	MENU＋B
	選択送信	Shift＋B
	全件送信	Shift＋Alt＋B
削除	1件削除	Del
	選択削除	Shift＋Del
	終了データ一括削除	Alt＋Del
	全件削除	Shift＋Alt＋Del
カレンダーメニュー	表示カレンダーシート	MENU＋Y
	カレンダーシート移動	Shift＋Y
Googleカレンダー同期		MENU＋G
設定		MENU＋P

■ スケジュール詳細画面のキー操作

編集	MENU＋E
メール作成	MENU＋M
メールへ添付	MENU＋J
赤外線送信	MENU＋I
Bluetooth送信	MENU＋B
削除	Del
別のカレンダーシートにコピー	MENU＋C
詳細項目を表示／詳細項目を非表示	Alt＋P

■ スケジュール一覧画面のメニュー操作

● 次の機能については、カレンダー画面のメニュー操作（☞P.200）を参照してください。

■ 今日　■ メール作成　■ 赤外線送信
■ Bluetooth送信　■ カレンダーメニュー　■ Googleカレンダー同期
■ 設定

[スケジュール]
● カレンダー画面が表示されます。

[詳細表示]

[詳細登録]
● 以降の操作については☞P.201「スケジュールを登録する」の操作3へ

[メールへ添付]
▶[1件添付]▶[はい]▶メールを作成・送信
▶[選択添付]▶添付する予定を選ぶ▶[実行]▶[はい]▶メールを作成・送信
▶[全件添付]▶[はい]▶ロックNo.を入力▶[OK]▶メールを作成・送信

[削除]
▶[1件削除]▶[OK]
● 繰り返しが設定されているとき：削除する範囲を選ぶ▶[OK]
▶[選択削除]▶削除する予定を選ぶ▶[実行]▶[OK]
▶[終了データ一括削除]▶[OK]▶ロックNo.を入力▶[OK]
● すべてのカレンダーシートの終了したスケジュールを削除します。
▶[全件削除]▶[OK]▶ロックNo.を入力▶[OK]
● すべてのカレンダーシートのスケジュールを削除します。

[選択添付]、[選択削除]について
● 期間を指定して登録したスケジュールを選択した場合、同じ期間のすべてのスケジュールが選択されます。
● 選択送信の場合はすべてのカレンダーシートから選択・送信ができます。

■ スケジュール詳細画面のメニュー操作

● 次の機能については、カレンダー画面のメニュー操作（☞P.200）を参照してください。

■ 編集　■ メール作成　■ メールへ添付
■ 赤外線送信　■ Bluetooth送信　■ 削除

[カレンダーメニュー]▶[別のカレンダーシートにコピー]

[詳細項目を表示]／[詳細項目を非表示]

タスクリストから確認する

タスクリストからタスクを表示することができます。

1 **カレンダー画面で[タスク]**
- 未完了のタスクと期限なしタスクが一覧で表示されます。

2 **タスクを選ぶ**

● 期限まで一週間以内のタスクは青文字で表示されます。
● 期限切れのタスクは赤文字で表示されます。

■ タスクリスト画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除
[スケジュール]	カレンダー画面表示
[完了にする]／[未完了にする]	タスクの完了／未完了を切替
[新規]	タスク編集画面表示

■ タスク詳細画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[削除]	削除
[1日延期]	期限を1日延期
[完了にする]／[未完了にする]	タスクの完了／未完了を切替
[編集]	編集

■ タスクリスト画面のキー操作

スケジュール		MENU＋Z
詳細表示		Alt＋P
完了リスト／未完了リスト		Alt＋Z
詳細登録		Shift＋N
1日延期		MENU＋F
メール作成		MENU＋M
メールへ添付	1件添付	MENU＋J
	選択添付	Shift＋J
	全件添付	Shift＋Alt＋J
赤外線送信	1件送信	MENU＋I
	選択送信	Shift＋I
	全件送信	Shift＋Alt＋I
Bluetooth送信	1件送信	MENU＋B
	選択送信	Shift＋B
	全件送信	Shift＋Alt＋B
削除	1件削除	Del
	選択削除	Shift＋Del
	全件削除	Shift＋Alt＋Del
設定		MENU＋P

■ タスク詳細画面のキー操作

編集	MENU＋E
1日延期	MENU＋F
完了／未完了	MENU＋U
メール作成	MENU＋M
メールへ添付	MENU＋J
赤外線送信	MENU＋I
Bluetooth送信	MENU＋B
削除	Del

■ タスクリスト画面のメニュー操作

- 次の機能については、カレンダー画面のメニュー操作（☞P.200）を参照してください。
  - ■ メール作成　■ 赤外線送信　■ Bluetooth送信　■ 設定
- 次の機能については、スケジュール一覧画面のメニュー操作（☞P.204）を参照してください。
  - ■ スケジュール　■ 詳細表示　■ メールへ添付
  - ■ 削除（1件削除、選択削除、全件削除）

[完了リスト]／[未完了リスト]

[詳細登録]

- 以降の操作については☞P.201「タスクを登録する」の操作4へ

[1日延期]▶[OK]

- 選択添付や選択送信、選択削除する場合は、完了／未完了を切り替えることはできません。

■ タスク詳細画面のメニュー操作

● 次の機能については、カレンダー画面のメニュー操作(☞P.200)を参照してください。

■ 編集　■ メール作成　■ メールへ添付
■ 赤外線送信　■ Bluetooth送信　■ 削除

[1日延期]▶[OK]

[完了](未完了タスク)▶[OK]▶項目を選ぶ▶日付や時間を入力▶[設定]

[未完了](完了タスク)▶[OK]

カレンダーについて設定する<設定>

カレンダーの表示設定	辞退の非表示	辞退したGoogleカレンダーのスケジュールを非表示にするか設定します。
	カテゴリスタンプのサイズ	カテゴリスタンプのサイズを選択します。
	タスク表示	カレンダーにタスクを表示するか設定します。
アラーム設定	アラーム時刻	アラーム鳴動時刻を設定します。
	アラーム音	アラーム音を設定します。
	アラーム音量	音量を設定します。
	バイブレータ	バイブレータを有効にするか設定します。
クラウド設定	起動時同期	カレンダー画面を表示したときに自動的にGoogleカレンダーと同期を行うか設定します。
	Googleアカウント	Googleカレンダーの新規シート作成時に使用するアカウントを設定します。
その他の設定	完了タスクの自動削除	完了後2週間が経過したタスクを自動的に削除するか設定します。
	設定リセット	設定を初期状態に戻します。

1 カレンダー画面でMENU▶[設定]

2 設定する

Googleカレンダーを利用する

サイト上のGoogleカレンダーを利用すると、用途別に複数のカレンダーシートに予定を追加して管理することができます。Googleカレンダーの詳細についてはhttp://www.google.com/support/calendar/を参照してください。

新規カレンダーシートを追加する<新規カレンダーシート追加>

Googleカレンダーで作成したカレンダーシートをFOMA端末のカレンダーに追加できます。

● あらかじめ、カレンダー画面のメニュー操作でGoogleアカウントを設定してください(☞P.206)。

1 カレンダー画面でMENU▶[カレンダーメニュー]▶[表示カレンダーシート]▶[MENU]▶[新規カレンダーシート追加]▶[OK]

2 Googleアカウントのパスワードを入力▶[OK]

3 カレンダー名を入力▶[OK]

Googleカレンダーと同期する<Googleカレンダー同期>

追加したカレンダーシートをGoogleカレンダーと同期することができます。

1 カレンダー画面でMENU▶[Googleカレンダー同期]▶[OK]

● 30秒間同期が開始されなかった場合、元の画面に戻ります。

予定を表示するカレンダーシートを選ぶ <表示カレンダーシート>

各カレンダーシートに追加した予定をカレンダー画面に表示するかどうかを切り替えることができます。

1 **カレンダー画面でMENU ▶ [カレンダーメニュー] ▶ [表示カレンダーシート]**

2 **カレンダーシートを選ぶ**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- 端末内カレンダーシートの表示パターンを選択：[パターン選択] ▶ パターンを選ぶ ▶ [OK]

- 選んだカレンダーシートの予定がカレンダー画面に表示されます。
- 登録されているカレンダーシートによってカレンダーに表示されるスケジュールの色が異なります。
- 表示カレンダーリスト画面に表示されているGoogleカレンダーシートは、無効にしてもGoogleカレンダーと同期します。

■ 表示カレンダーシート画面のキー操作

表示カレンダーリストに追加	MENU＋V
表示カレンダーリストから除外	MENU＋X
新規カレンダーシート追加	MENU＋N

■ 表示カレンダーシート画面のメニュー操作

[表示カレンダーリストに追加] ▶ カレンダーシートを選ぶ ▶ [OK]

[表示カレンダーリストから除外] ▶ カレンダーシートを選ぶ ▶ [OK]

[新規カレンダーシート追加] ☞P.206

登録したスケジュールを指定したカレンダーシートに移動する <カレンダーシート移動>

端末内カレンダーのすべてのスケジュールを同期しているカレンダーシートに移動できます。

1 **カレンダー画面でMENU ▶ [カレンダーメニュー] ▶ [カレンダーシート移動] ▶ [OK]**

2 **移動先のカレンダーを選ぶ ▶ [OK]**

登録したスケジュールを指定したカレンダーシートにコピーする <別のカレンダーシートにコピー>

1 **スケジュール詳細画面でMENU ▶ [カレンダーメニュー] ▶ [別のカレンダーシートにコピー]**

2 **コピー先のカレンダーを選ぶ ▶ [OK]**

vCalendar形式のファイルをスケジュールに登録する

例：受信メール詳細画面のとき

1 添付ファイルを選ぶ▶[表示／再生]

2 [登録]▶[OK]

- 登録の中止：登録中に[キャンセル]

- 登録中にFOMA端末のメモリの空き容量がなくなったときは、登録を中止します。登録が完了しているデータは保存され、登録中のデータは破棄されます。

■ vCalendar表示画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[登録]	登録

■ vCalendar表示画面のキー操作

登録	MENU＋A

■ vCalendar表示画面のメニュー操作

[登録]▶[OK]

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- あらかじめ、日時設定を行ってください(☞P.41)。
- アラームは10件まで登録できます。

アラームを登録する

1 メインメニューで[アラーム・タイマー]▶[アラーム]

2 登録先を選ぶ

3 [名称]▶名称を入力▶[OK]

- 全角・半角16文字まで入力できます。

4 [アラーム設定]

- 選択するたびに、[ON]／[OFF]が切り替わります。

5 [時刻]▶時刻(24時間制)を入力▶[設定]

6 [鳴動時間]▶鳴動時間(60～300秒)を入力▶[設定]

7 [繰り返し]▶繰り返し方法を選ぶ

- [曜日]のとき：[曜日]▶曜日を選ぶ▶[OK]
  - すべての曜日を選んだ場合は[毎日]に設定されます。

8 [アラーム音]▶アラーム音を選ぶ

9 [アラーム音量]▶音量バーをタッチしたまま左右にスライド▶[OK]

10 [スヌーズ設定]

- 選択するたびに、[ON]／[OFF]が切り替わります。
- スヌーズ設定を[OFF]に設定した場合は、操作13へ

11 [スヌーズ間隔]▶スヌーズ間隔(1～10分)を入力▶[設定]

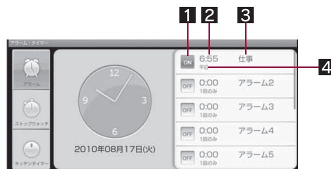
12 [スヌーズ回数]▶スヌーズ回数(1～6回)を入力▶[設定]

13［バイブレータ設定］
- 選択するたびに、[ON]／[OFF]が切り替わります。

- 複数のアラームを同じ時刻に設定したときは、次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
アラーム機能	アラーム→スケジュールアラーム→タスクアラーム

アラーム設定内容画面の見かた



1 アラームの設定
- 選択するたびに、[ON]／[OFF]が切り替わります。

2 設定時刻
3 名称
4 繰り返し設定の内容

■ アラーム設定内容画面のキー操作

リセット	Alt+R

■ アラーム設定内容画面のメニュー操作

[リセット]▶[OK]

[マナー優先設定]▶設定を選ぶ
- マナーモード設定中にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。
- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- アラーム鳴動時間が過ぎると、アラームが止まり、アラーム時間が過ぎた旨のメッセージが表示されます。

■ アラーム鳴動中のタッチパネル操作
- 表示されるキーで次の操作ができます。

[停止]	アラーム停止
[スヌーズ]	アラーム停止(スヌーズ解除確認画面表示) ● スヌーズ解除:[停止]
[詳細情報]	スケジュール詳細画面を表示(スケジュールで設定したアラームを停止時)
[終了]	アラーム終了(アラーム鳴動時間終了時)

- 通話中は、設定時刻になってもアラームが動作しません。通話を終了し、通話前の画面や待受画面に戻ると、アラームが動作します。
- スヌーズ中に通話を開始したときは、スヌーズ通知が中断されます。通話終了後にスヌーズ通知が再開されます。
- アラーム鳴動中に別のアラーム設定時刻となったときは、アラーム鳴動を遅延します。1つ目のアラーム鳴動が停止、またはアラーム鳴動時間を過ぎると、遅延されていたアラーム鳴動が再開されます。

ストップウォッチ

ストップウォッチとして使う

● ラップタイムやスプリットタイムを計測することもできます。

ラップタイム	経過時間の記録です。初回は計測スタートからの経過時間を記録し、2回目以降は前回ラップタイムを計測してからの経過時間を記録します。
スプリットタイム	ラップタイムを計測したときの、計測スタートからの経過時間を記録します。

1 メインメニューで[アラーム・タイマー]▶[ストップウォッチ]

2 [スタート]

- ラップタイム、スプリットタイムの記録：[ラップ]
- 計測の停止：[ストップ]
  - 計測の再開：[スタート]
- 計測した時間、履歴のリセット：[リセット]

● 時間は59分59秒9まで計測することができます。
● ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
● ストップウォッチを終了した場合は、計測した時間、履歴はリセットされます。

キッチンタイマー

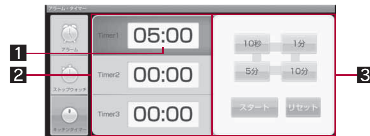
一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレーションでお知らせします。

カウントダウンする時間を設定する

● 設定時間は、3つのキッチンタイマーそれぞれに設定し、動作することができます。

1 メインメニューで[アラーム・タイマー]▶[キッチンタイマー]



1 設定時間
2 タイマー表示部
3 タイマー操作パネル
● カーソルを合わせているタイマーを操作できます。

2 タイマーを選ぶ

3 設定時間をタッチ

4 時間を入力▶[OK]

- 59分59秒まで入力できます。

■ キッチンタイマー表示画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[10秒]	カーソルを合わせているタイマーの設定時間に10秒プラス※1
[１分]	カーソルを合わせているタイマーの設定時間に１分プラス※1
[５分]	カーソルを合わせているタイマーの設定時間に５分プラス※1
[10分]	カーソルを合わせているタイマーの設定時間に10分プラス※1
[スタート]	カーソルを合わせているタイマーのカウントダウンを開始※2
[ストップ]	カーソルを合わせているタイマーのカウントダウンを一時停止、アラーム鳴動を停止※3
[リセット]	カーソルを合わせているタイマーの設定時間を00分00秒へリセット※4

※１　59分59秒を超える場合は操作できません。
※２　カウントダウン停止／一時停止中に表示されます。
※３　カウントダウン中／アラーム鳴動中に表示されます。
※４　カウントダウン中はカウントダウンを停止し、設定していた時間に戻します。また、アラーム鳴動中はアラームを停止します。

■ キッチンタイマー表示画面のメニュー操作

[設定]	☞P.211
[時間入力]▶時間を入力▶[OK]	
[ヘルプ]	

アラーム音やバイブレーションを設定する<設定>

● キッチンタイマーのアラーム音やバイブレーションを設定できます。

1 キッチンタイマー表示画面でMENU▶[設定]

2 設定する

- アラーム音の変更：[アラーム音１]／[アラーム音２]／[アラーム音３]▶音を選ぶ
- アラーム音のリセット：[アラーム音１]／[アラーム音２]／[アラーム音３]をロングタッチ▶[リセット]▶[OK]
- バイブレータの設定：[バイブレータ設定]
  - ・選択するたびに、[ON]／[OFF]が切り替わります。

キッチンタイマーを利用する

1 キッチンタイマー表示画面で[スタート]

- タイマーの切替：タイマーをタッチ
  - ・カウントダウンは継続されます。

2 アラームが鳴ったら[ストップ]

- アラーム鳴動中に[リセット]をタッチするとアラーム鳴動を停止し、設定していた時間に戻します。

● ３つのタイマーが同じ時間に鳴動するように設定されている場合は、[Timer 1]→[Timer 2]→[Timer 3]の順番で鳴動します。
● １つのタイマーが鳴動中の場合、別タイマーのアラーム設定時刻になっても別タイマーのアラーム音は鳴動しません。
● マナーモードを設定している場合、アラーム音は鳴動しません。

■ バックグラウンドでキッチンタイマーの設定時間が経過したとき

バックグラウンドでキッチンタイマーのアラームが動作すると、タイムアップ画面が表示されます。

1 タイムアップ画面で[停止]

- アラーム鳴動を停止します。
- キッチンタイマーを再設定するとき：[再設定]
  - ・キッチンタイマーの時間表示画面が表示されます。

着信時の動作を設定する

電話がかかってきたときやメール、PCメール、お知らせを受信したときの着信音や点滅するランプの色、表示する画面などを設定できます。

- 設定できる項目は次のとおりです。項目によって、設定できる内容が異なります。
  ■ 音声着信　■ SMS受信　■ PCメール受信　■ お知らせ受信

1 メインメニューで[設定]▶[音・バイブ・ランプ]

2 項目を選ぶ

3 [音量]▶音量バーをタッチしたまま左右にスライド▶[OK]

4 [メロディ]▶着信音を選ぶ

5 [バイブレータ]▶バイブレータを選ぶ▶[OK]

- バイブレータのパターンにカーソルを合わせると、振動を確認できます。

6 [表示]▶画像を選ぶ

7 [ランプ]▶ランプパターンを選ぶ▶[OK]▶ランプ色を選ぶ▶[OK]

- ランプを点滅させないとき：[OFF]▶[OK]
- ランプパターンやランプ色にカーソルを合わせると、ランプの点滅パターンと色を確認できます。

8 [鳴動時間]▶設定を選ぶ

◆ **[一曲鳴動]**
◆ **[時間設定]▶時間を設定▶[設定]**

- バイブレータを設定したとき、机の上などにFOMA端末を置いておくと、振動によって落下するおそれがありますので、ご注意ください。

■ お買い上げ時に登録されているメロディ

項　目	曲　名
音声着信	着信メロディ 1 (Citation)
	着信メロディ 2 (Home Telephone)
	着信メロディ 3 (Signal)
	着信メロディ 4 (Vintage Cell Phone)
	着信メロディ 5 (Vintage Office Phone)
	着信メロディ 6 (Afro Space)
	着信メロディ 7 (Gimme The Reason)
	着信メロディ 8 (Exemplified Fact)
	着信メロディ 9 (Kaiser Walzer)
	着信メロディ 10(Around The World)
SMS受信、PCメール受信	メールメロディ 1 (Gleam)
	メールメロディ 2 (Information)
	メールメロディ 3 (Splash)
	メールメロディ 4 (Endless Mail)
	メールメロディ 5 (Flower)
	メールメロディ 6 (Lo Pressure Mail)
	メールメロディ 7 (Quadruplex Mail)
	メールメロディ 8 (J-Style 2 Mail)
	メールメロディ 9 (Lucky Day Mail)
	メールメロディ 10(Hot Sauce Mail)
お知らせ受信	お知らせ音 1 (Flutter)
	お知らせ音 2 (Correct)
	お知らせ音 3 (Blub Horn)

ワンタッチで音声着信音量を設定する

1 Alt＋8／Alt＋9

- マナーモードにも設定できます。

各種操作音の音量を変える

各種操作音の音量を変更する<操作音量>

画面をタッチしたときやFOMA端末を開閉したときなどの操作音の音量を一括して変えることができます。

1 メインメニューで[設定]▶[音・バイブ・ランプ]▶[操作音量]

2 音量バーをタッチしたまま左右にスライド▶[OK]

各種操作音を設定する

操作音の有無を項目ごとに設定することができます。

- 設定できる項目は次のとおりです。

■ ダイヤル音	■ 選択時の操作音	■ microSDの通知※
■ ポップアップの通知	■ オープン	■ クローズ
■ 充電開始	■ 充電完了	■ 電源ON

※ microSDカードのマウント解除を行ったときやmicroSDカードが壊れたときに操作音が鳴ります。

1 メインメニューで[設定]▶[音・バイブ・ランプ]

2 項目を選ぶ

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

- 表示中の画面によっては、操作音が鳴らない場合があります。

メディア再生音量

メディア再生音の音量を変える

1 メインメニューで[設定]▶[音・バイブ・ランプ]▶[メディア再生音量]

2 音量バーをタッチしたまま左右にスライド▶[OK]

音声合成

文字を読み上げる音声を設定する

- 音声合成は、FOMA端末の画面が英語表示に設定されている場合にのみ利用できます（☞P.215）。

1 メインメニューで[設定]▶[音声合成]

2 項目を選ぶ

- ◆ **[サンプルを再生]**
- ◆ **[音声データをインストール]**
  - Androidマーケットホームページが表示されます（☞P.120）。
- ◆ **[常に自分の設定を使用する]**
  - 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- ◆ **[音声の速度]▶速度を選ぶ**
- ◆ **[言語]▶言語を選ぶ**

[サンプルを再生]、[常に自分の設定を使用する]、[音声の速度]、[言語]について

- [音声データをインストール]を実行すると、操作できます。

ユーザー補助

ユーザー補助を利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを利用できます。

- お買い上げ時はユーザー補助オプションが登録されておりません。Androidマーケットから「SoundBack」、「KickBack」、「TalkBack」などのユーザー補助オプションをダウンロードすることで、設定ができるようになります。

1 メインメニューで[設定]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

壁紙

待受画面の表示を変える

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[壁紙]▶[データ選択]**
- 待受画面に画像を表示しないとき：[OFF]

2 **画像を選ぶ**

● サイトなどから取得した画像によっては、正しく表示されないときがあります。

アニメーション表示

画面の切り替えをアニメーションで表現する

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]**

2 **[アニメーション表示]**
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

画面の向き

横／縦表示を自動的に切り替えるかどうかを設定する

横／縦表示の切り替えに対応しているアプリケーションを利用する場合に、FOMA端末の向きに応じて横／縦表示を自動で切り替えるかどうかを設定します。

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]**

2 **[画面の向き]**
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

● FOMA端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、横／縦表示は切り替わりません。

バックライト

バックライトを設定する

バックライトの点灯時間や明るさを変更できます。設定した点灯時間、FOMA端末を使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[バックライト]**

2 **項目を選ぶ**

◆ **[点灯時間]▶点灯時間を選ぶ**

◆ **[明るさ自動調整]**
- ・選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

◆ **[明るさ設定]▶明るさ設定バーをタッチしたまま左右にスライド▶[OK]**

● 点灯時間を長くしたり明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

メール送信中画面／メール受信中画面

メール送受信時の画面を変える

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[メール送信中画面]／[メール受信中画面]**

2 **画像を選ぶ**

ランプを設定する

通話中、お知らせ中にランプを点滅させる
<ランプ設定>

1 **メインメニューで[設定]▶[音・バイブ・ランプ]▶[ランプ設定]**

2 **項目を選ぶ**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

● お知らせランプが点滅し始めてから約24時間何も操作しなかったときは、お知らせランプが消灯します。

文字フォント

文字の設定(フォント)を変える

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[文字設定]▶[文字フォント]**

2 **フォントを選ぶ**

- フォントにカーソルを合わせると、見本のフォントを確認できます。

● 選択したフォントによっては、Androidマーケットなどでダウンロードしたアプリケーションを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

文字サイズ設定

文字のサイズを変える

ディスプレイに表示される文字のサイズを変更できます。

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[文字設定]▶[文字サイズ設定]**

2 **項目を選ぶ**

3 **文字サイズを選ぶ**

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

1 **メインメニューで[設定]▶[地域／言語&文字入力]▶[地域／言語を選択]▶[English]**

- 英語表示から日本語表示に切替:メインメニューで[Settings]▶[Locale & text]▶[Select locale]▶[日本語]

ベールビュー

周りの人からディスプレイを見えにくくする

ディスプレイにパターン(図柄やアニメーション)を表示させて、周りの人から見えにくくします。

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[ベールビュー]**

2 **[ON]**

- ベールビューを解除:[OFF]

● 表示中の画面によっては、画面の色が異なって見える場合があります。

■ ワンタッチでベールビューを設定／解除する

1 Alt + Enter

ベールビューのパターンを設定する <表示パターン設定>

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[ベールビュー]▶[表示パターン設定]**

2 **パターンを選ぶ**

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

ベールビューの濃度を変更する<濃度設定>

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[ベールビュー]▶[濃度設定]**

2 **濃度を選ぶ**

- 濃度は[濃い]、[普通]、[薄い]の順で周りの人から見えにくくする効果があります。

ベールビューの見栄えを補正する<見栄え補正>

1 **メインメニューで[設定]▶[画面表示]▶[ベールビュー]▶[見栄え補正]**

2 **見栄え補正バーをタッチしたまま左右にスライド▶[OK]**

Wi-Fi／データ通信／接続

Wi-Fiを利用する

Wi-Fiは、無線LAN機能を利用してインターネットに接続できる機能です。Wi-Fiを利用するには、無線LANのアクセスポイント(無線LAN親機)に接続する必要があります。

- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親器の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- 無線LAN(IEEE802.11b/g)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、FOMA端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

■ Wi-Fi機能を有効にする<Wi-Fi利用>

1 メインメニューで[設定]▶[通信]

- [設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]でも利用できます。

2 [Wi-Fi利用]

- 選択するたびに、有効/無効が切り替わります。

■ アクセスポイントに接続する

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]

- Wi-Fi利用が有効になっている場合は、Wi-Fiネットワークの下に接続可能なアクセスポイントが表示されます。
- 利用したいアクセスポイントが表示されない場合は、Wi-Fi簡単登録やWi-Fiネットワークを追加でアクセスポイントを登録してください。

2 利用するアクセスポイントを選ぶ

3 [接続]

- セキュリティが設定されたアクセスポイントのとき:パスワードを入力▶[接続]

■ 接続を切断する

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]

2 接続しているアクセスポイントをロングタッチ▶[ネットワークへの接続を解除]▶[はい]

- パスワードを保持したまま切断する場合は、Wi-Fi利用を無効に設定します。

- Wi-Fi利用を無効に設定して切断した場合、接続していたアクセスポイントに接続可能なときはWi-Fi利用を有効にすると自動的に接続されます。

ご自宅などのアクセスポイントを登録する <Wi-Fi簡単登録>

AOSS/WPSに対応しているアクセスポイントをそれぞれの方式で登録します。

- あらかじめWi-Fi利用を有効にしてください。
- 登録処理には、数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。

■ AOSS方式で登録する<AOSS方式>

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]▶[Wi-Fi簡単登録]▶[AOSS方式]

2 利用するアクセスポイントをAOSSモードにする▶[はい]

3 [OK]

■ WPS方式で登録する<WPS方式>

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]▶[Wi-Fi簡単登録]▶[WPS方式]

2 登録方式を選ぶ

- ◆ **[プッシュボタン方式]▶利用するアクセスポイントをWPSモードにする▶[はい]**
- ◆ **[PINコード方式]▶[はい]▶表示されたPINコードを、利用するアクセスポイントに入力▶[OK]**

3 [OK]

アクセスポイントを手動で登録する <Wi-Fiネットワークを追加>

AOSS／WPSに対応していないアクセスポイントを手動で登録します。

- あらかじめWi-Fi利用を有効にしてください。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]▶[Wi-Fiネットワークを追加]

2 [ネットワークSSID]欄を選ぶ▶ネットワークSSIDを入力

3 [セキュリティ]欄を選ぶ▶セキュリティを選ぶ▶[保存]

接続中のアクセスポイントを削除する

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]

2 接続中のアクセスポイントを選ぶ▶[削除]▶[はい]

ネットワーク通知を設定する<ネットワークの通知>

Wi-Fiのネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知します。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]

2 [ネットワークの通知]
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

接続を一時停止するタイミングを設定する <Wi-Fiのスリープ設定>

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]▶[MENU]▶[詳細設定]▶[Wi-Fiのスリープ設定]

2 設定を選ぶ

静的IPを使用して接続する<静的IPを使用する>

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]▶[MENU]▶[詳細設定]

2 [静的IPを使用する]
- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

3 項目を選ぶ▶Wi-Fiネットワークに必要な情報を入力する

4 [MENU]▶[保存]

外出先のアクセスポイント(ドコモ公衆無線LANサービス)に自動的にログインする <ドコモ公衆無線LANサービス>

ドコモ公衆無線LANのサービスエリアに入ったときに、自動でログインするように設定できます。

ご利用に際しては以下の点にご注意ください。

- ドコモ公衆無線LANサービスをご利用になるには別途ご契約が必要です。
- サービスエリアによっては、一部、自動ログイン機能をご利用になれない場合があります(SSIDはdocomoのサービスエリアのみ対応しています)。
- 自動ログインを[ON]に設定すると、サービスエリアに入ったときに自動でログインします。Mzone日額プランをご契約のお客様は、自動ログインを[ON]に設定すると高額請求が発生する場合がありますのでご注意ください。
- 将来、ドコモ公衆無線LANサービスの拡張変更が行われた場合、その内容によっては本機能がお使いになれない場合があります。この場合は、ブラウザでログインしてください。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Wi-Fi設定]▶[公衆無線LAN 自動ログイン設定]▶[ドコモ公衆無線LANサービス]

2 [自動ログイン]欄で設定を選ぶ

次ページへ続く▶▶

3 [ログインID]欄を選ぶ ▶ ログインIDを入力

4 [パスワード]欄を選ぶ ▶ パスワードを入力

5 [ログオフ時Wi-Fi自動OFF]欄で設定を選ぶ

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

6 [OK]

- Wi-Fiネットワークにドコモ公衆無線LANサービスが登録されていない場合は、確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると、Wi-Fiネットワークに追加することができます。[いいえ]を選択した場合は、お客様ご自身でWi-Fiネットワークを追加してください。

■ 公衆無線LAN 自動ログイン設定画面のメニュー操作

[ログイン]

- ログインに失敗したときや自動ログインが[OFF]のときに、手動で公衆無線LANにログインします。

[案内メッセージ設定] ▶ 設定を選ぶ ▶ [OK]

- ログインID／パスワードが未設定の場合、サービスエリアに入ったときに案内メッセージを表示するかどうかを設定します。

[設定初期化] ▶ [はい]

Bluetooth

Bluetooth機能を利用する

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 電波OFFモード中はBluetooth機能を利用できません。

対応バージョンと対応プロファイル

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR※1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

HSP
Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）
HFP
Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）
A2DP
Advanced Audio Distribution Profile
（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）
AVRCP
Audio／Video Remote Control Profile
（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
OPP
Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- すでにBluetooth機器と接続している場合、FOMA端末の状態によってはBluetooth機器を検索できないことがあります。

Bluetooth接続してできること

■ ヘッドセット／ハンズフリーで通話する（HSP／HFP）

FOMA端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
FOMA端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。

■ オーディオ機器で再生する（A2DP／AVRCP）

FOMA端末にワイヤレスイヤホンセット 02（別売）や市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。

■ データを送受信する（ファイル転送）（OPP）

電話帳、プロフィール、スケジュール、タスク、メール、メモ帳、ブックマーク、コンテンツマネージャーで管理されるデータを、Bluetooth機器との間で送受信できます。

- 市販のBluetooth対応イヤホンやヘッドホンには、Bluetooth標準規格に一部適合していないものがあります。この場合、イヤホンやヘッドホンに雑音が入ることがあります。
- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■ FOMA端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■ 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定チャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ■ 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■ Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ■ 電車内　■ 航空機内　■ 病院内
  - ■ 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ■ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機能を有効にする<Bluetooth>

FOMA端末のBluetooth機能を有効にし、Bluetooth設定の操作ができるようにします。また、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態にします。

- 他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ探索受付を［受付］に設定してください（☞P.226）。

1 メインメニューで［設定］▶［通信］▶［Bluetooth］

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。
- ［設定］▶［通信］▶［Bluetooth設定］▶［Bluetooth］でも操作できます。

- 登録待機／接続待機中は、待受画面にBluetoothのステータスアイコンが表示されます（☞P.24）。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

- Bluetooth設定画面を表示中に登録要求／接続要求を受けた場合は、操作３へ

2 お知らせエリアをタッチ▶［ ］

3 登録する

- 登録方法については☞P.223「Bluetooth機器を登録する」の操作３へ
- データの受信については、受信待ち状態でのみ接続することができます。
  - 受信待ち状態にする方法については☞P.226

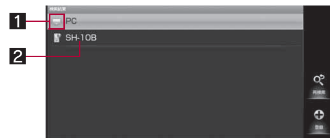
Bluetooth機器を登録する<新規デバイス登録>

接続相手のBluetooth機器を検索（サーチ）し、FOMA端末に登録します。20件まで登録できます。

- Bluetooth機器の登録には、Bluetoothパスキーの入力が必要になります。登録を始める前にお好きな４～16桁の数字を決めておき、FOMA端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力します。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。
- Bluetooth機器と接続中の場合は、検索できません。

1 メインメニューで［設定］▶［通信］▶［Bluetooth設定］▶［新規デバイス登録］▶［OK］

- FOMA端末周辺にあるBluetooth機器を検索します。検索した機器がリストで表示されます。



検索結果一覧画面

1 機器種別、区分アイコン

機器種別	区分			
	未登録	登録済	未接続	接続中
コンピューター				
携帯電話				
ヘッドホン				
ハンズフリー				
オーディオ機器				
その他				

2 機器名称

2 登録するBluetooth機器を選ぶ

- 再検索するとき：[再検索]

3 Bluetoothパスキーを入力▶[OK]

- Bluetoothパスキーは約30秒以内に入力してください。

- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力が不要な場合もあります。
- 相手Bluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください（ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています）。

■ 検索結果一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

[中止]	検索の中止
[登録]	選択したBluetooth機器の登録
[再検索]	再検索

■ 検索結果一覧画面のキー操作

検索の中止	Alt＋C
選択したBluetooth機器の登録	Alt＋S
再検索	Alt＋U

Bluetooth機器と接続する<接続>

登録済みのBluetooth機器に接続します。

- 2台のBluetooth機器と同時に接続できます。ただし、同時に使用可能なサービスの組み合わせは、ハンズフリー（ヘッドセット）とオーディオのみです。また、ハンズフリー通話中はオーディオの音声は流れません。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[Bluetooth設定]▶[登録機器一覧]



登録機器一覧画面

1 機器種別、区分アイコン（☞P.222）
2 保護状態アイコン

(icon)	保護あり

3 優先接続設定表示

(icon)	ハンズフリー機能優先
(icon)	オーディオ機能優先
(icon)(icon)	両方優先

4 機器名称
5 プロファイルアイコン

2 接続するBluetooth機器を選ぶ

- Bluetooth機器と切断：切断するBluetooth機器を選ぶ

- 相手のBluetooth機器によっては、接続を行うときにBluetoothパスキーの入力を要求されることがあります。

次ページへ続く

- ハンズフリー機能／オーディオ機能に対応したBluetooth機器の接続が完了すると、自動的に優先接続設定（☞P.224）が設定されます。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。

■ 登録機器一覧画面のタッチパネル操作

- 表示されるキーで次の操作ができます。

［接続］／［切断］	接続／切断※

※ 選択しているBluetooth機器の対応プロファイルによっては表示されない場合があります。

■ 登録機器一覧画面のキー操作

検索	Alt ＋ U
接続／切断※1	Enter
接続するサービスの選択※1	MENU ＋ B
優先接続設定※1	MENU ＋ M
保護／保護解除	MENU ＋ L
全件保護解除	MENU ＋ R
削除	MENU ＋ D
詳細情報	MENU ＋ P
機器名称を編集※2	Alt ＋ E

※1 選択しているBluetooth機器の対応プロファイルによっては操作できない場合があります。
※2 詳細情報表示中のみ操作できます。また、機器名称編集画面で操作すると、保存することができます。

- メディアプレーヤーからの接続機器選択（☞P.150）、データ送信（☞P.225）をする場合に登録機器一覧を表示したときは、次の操作ができません。
  - ■ 優先接続設定　■ 保護／保護解除　■ 全件保護解除
  - ■ 削除　■ 詳細情報

■ 登録機器一覧画面のメニュー操作

［接続するサービスの選択］▶接続するサービスを選ぶ▶［接続］／［切断］
- Bluetooth機器によって使用できるサービスが異なります。

［優先接続設定］ ☞P.224

［保護］／［保護解除］▶［はい］

［全件保護解除］▶［はい］

［削除］▶削除方法を選ぶ▶［はい］
- 保護されているBluetooth機器の登録も削除されます。

［詳細情報］
- 機器名称を編集するとき：［編集］▶機器名称を編集▶［保存］

［保護］について
- 20件まで保護できます。

［詳細情報］について
- 機器名称は全角・半角16文字まで入力できます。

各機能で接続するBluetooth機器を設定する
＜優先接続設定＞

電話がかかってきたときやメディアプレーヤーの外部出力設定（☞P.150）を［Bluetoothデバイス］に設定したときに、あらかじめ指定したBluetooth機器に自動で接続するように設定できます。
- HSP、HFP、A2DPのプロファイルのいずれかに対応しているBluetooth機器のみ設定できます。
- ハンズフリー機能とオーディオ機能に対して、それぞれ1台のBluetooth機器を設定できます。

1 **登録機器一覧画面でBluetooth機器にカーソルを合わせる▶MENU▶［優先接続設定］**

2 **［ハンズフリー機能ON］／［オーディオ機能ON］**

- 同一の機器に対して、ハンズフリー機能とオーディオ機能の両方を設定することもできます。

Bluetooth機器を使って通話する

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

- Bluetooth機器の検索中、データの送受信中に着信があった場合は、Bluetooth通信を終了します。

■ 着信中のキー操作

着信音量を上げる	Alt + 9
着信音量を下げる	Alt + 8

- Bluetooth機器によっては、操作できないことがあります。

■ 通話中のキー操作

通話音量を上げる	Alt + 9
通話音量を下げる	Alt + 8

- Bluetooth機器によっては、操作できないことがあります。

Bluetooth機器を使ってワンセグやメディアプレーヤーなどの音声・音楽を再生する

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

2 ワンセグやメディアプレーヤーなどを起動して視聴／再生する

- Bluetooth機器の状態やFOMA端末の操作によっては、再生中の音声や音楽が途切れることがあります。
- Bluetooth機器から再生中に音声や音楽などが停止した場合は、Bluetooth圏外やBluetooth機器の電源OFFなどが考えられますのでFOMA端末やBluetooth機器を確認してください。このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断されることがあります。再度Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直してください。
- ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)を接続するときは、FOMA端末から接続してください。
- カーナビによっては、AMR形式の音楽データが再生できないものがあります。

データを送受信する

FOMA端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、データの送受信を行うことができます。

- データ受信時に、OPP以外のプロファイルと接続中の場合、OPPでの接続時に接続済のプロファイルを切断します。

■ データを送信する<Bluetooth送信>

例:電話帳のとき

1 メインメニューで[電話帳]

2 名前にカーソルを合わせる ▶ MENU ▶ [Bluetooth送信]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 送信方法を選ぶ

◆ [1件送信] ▶ [はい]
◆ [選択送信] ▶ 名前を選ぶ ▶ [実行] ▶ [はい]
◆ [全件送信] ▶ [はい]

次ページへ続く ▶▶

4 **接続するBluetooth機器を選ぶ**
- 全件送信するとき：ロックNo.を入力▶［OK］

● Bluetooth設定の起動中は操作できません。

■ データを１件受信する＜データ受信＞

1 **メインメニューで［設定］▶［通信］▶［Bluetooth設定］▶［データ受信］**
- 受信待ち状態になり、送信側のBluetooth機器からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

2 **［はい］**

■ データを全件受信する＜データ受信＞

1 **メインメニューで［設定］▶［通信］▶［Bluetooth設定］▶［データ受信］**
- 受信待ち状態になり、送信側のBluetooth機器からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

2 **ロックNo.を入力▶［OK］**

3 **登録方法を選ぶ**
◆ **［追加登録］**
◆ **［全件削除して登録］▶［はい］**
◆ **［登録しない］**

● 全件受信時に［全件削除して登録］を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
● データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
● 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

Bluetooth機能の設定を行う＜Bluetooth詳細設定＞

■ 自機情報を確認する＜自機情報＞

1 **メインメニューで［設定］▶［通信］▶［Bluetooth設定］▶［Bluetooth詳細設定］▶［自機情報］**
- 機器名称を編集するとき：［編集］▶機器名称を編集▶［保存］
  - 機器名称は全角・半角16文字まで入力できます。

■ 他のBluetooth機器から検索できるようにする＜探索受付＞

1 **メインメニューで［設定］▶［通信］▶［Bluetooth設定］▶［Bluetooth詳細設定］▶［探索受付］**

2 **［受付］**
- 探索を拒否：［拒否］

アクセスポイントを設定する

インターネット接続のためのアクセスポイントの設定は、あらかじめ組み込まれています。手動で追加、変更することもできます。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 **メインメニューで［設定］▶［通信］▶［モバイルネットワーク設定］▶［アクセスポイント名］**

■ アクセスポイント名一覧画面のメニュー操作

［新しいAPN］	☞P.226
［初期設定にリセット］	

アクセスポイントを手動で設定する＜新しいAPN＞

● MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[モバイルネットワーク設定]▶[アクセスポイント名]▶[MENU]▶[新しいAPN]

2 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

3 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

5 [MENU]▶[保存]

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのインターネット接続サービスです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

mopera Uを設定する

mopera U(スマートフォン定額)	接続先をmopera U(スマートフォン定額)「mpr2.bizho.net」に設定します。
mopera U 設定	接続先をmopera U設定用の無料アクセスポイントに設定します。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。設定方法など詳しくはmopera Uホームページをご確認ください。

- ご利用には「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」のご契約が必要です。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[モバイルネットワーク設定]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U(スマートフォン定額)]／[mopera U 設定]

パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル

「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」は、FOMAのｉモード通信、ｉモードフルブラウザ通信、スマートフォン定額対応アクセスポイント(旧:Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイント)を利用した国内におけるFOMAパケット通信(パソコンなどの外部機器に接続しての利用は除きます)、当社が指定したISP以外のISP接続通信およびパソコンなどの外部機器を接続した通信が利用できるパケット定額サービスです。ご利用のプロバイダがmopera Uの場合、通常使う接続先としてスマートフォン定額対応アクセスポイントが登録済みです。パケット定額サービスをご利用いただくために、スマートフォン定額対応アクセスポイントの設定を行ってからご利用ください。設定後は、インターネットアクセスやメールの送受信を行うとき、自動的にスマートフォン定額対応アクセスポイントに接続されます。

■ 注意事項

- ご利用いただくには事前に「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」のご契約が必要です。
- スマートフォン定額対応アクセスポイントを利用した通信をご利用いただくには、対応プロバイダであるmopera U(Uスタンダードプラン、Uライトプラン)またはビジネスmoperaインターネット(URL制限)とのご契約が必要となります。

次ページへ続く▶▶

- ネットワークの混雑状況によっては、従量制でパケット通信をご利用の場合に比べて、通信が遅くなることや接続しづらくなることがあります。また、特にご利用の多いお客様(当日を含む直近3日間のパケット通信が300万パケット以上)は、それ以外のお客様と比べて通信が遅くなることがあります。なお、一定時間内に著しく大量なデータ通信があった場合、または接続時間が長時間にわたる通信があった場合は、その通信が中断されたり、それ以降一定時間接続できなくなることがあります。
- 「パケ・ホーダイ ダブル/パケ・ホーダイ シンプル」のご契約を解約する手続きについては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。
- 「パケ・ホーダイ ダブル/パケ・ホーダイ シンプル」などをご契約で、国際ローミング時にパケット通信を利用される場合は、スマートフォン定額対応アクセスポイントから従量制対応アクセスポイントへ設定を変更していただくことが必要となります(☞P.248)。また、帰国前には、必ず従量制対応アクセスポイントからスマートフォン定額対応アクセスポイントへの設定変更をしてください。

スマートフォン定額対応アクセスポイントを設定する

定額通信サービスをご利用いただくために、スマートフォン定額対応アクセスポイントの設定を行います。
ご利用のプロバイダが「mopera U」の場合、通常使う接続先としてスマートフォン定額対応アクセスポイントが登録済みです。

1 **メインメニューで[設定]▶[通信]▶[モバイルネットワーク設定]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U(スマートフォン定額)]**

スマートフォン定額対応アクセスポイントへの通信をご利用になれないときは

スマートフォン定額対応アクセスポイントを利用した通信をご利用になれない場合は、以下をご確認ください。

状 況	対処方法
スマートフォン定額対応アクセスポイントへ接続できない	外部機器接続中またはBluetoothが無効に設定されているかどうかをお確かめください(☞P.222)。
海外で接続できない	海外では、「パケ・ホーダイ ダブル/パケ・ホーダイ シンプル」をご利用になれません。スマートフォン定額対応アクセスポイント以外への接続をご利用ください。
電波状況が悪い	電波の安定している場所へ移動してご利用ください。
スマートフォン定額対応アクセスポイント以外に接続してしまう場合	スマートフォン定額対応アクセスポイントに接続するようにモデム設定を変更してください。

以上の方法をお試しになってもスマートフォン定額対応アクセスポイントを利用した通信をご利用になれない場合は、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

スマートフォン定額対応アクセスポイントを再登録する

誤って「mopera U(スマートフォン定額)」を削除した場合は、以下の手順でFOMA端末に接続先を再登録します。
- ユーザー名やパスワード、ドメインの入力は不要です。
- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **メインメニューで[設定]▶[通信]▶[モバイルネットワーク設定]▶[アクセスポイント名]▶[MENU]▶[新しいAPN]**

2 **[名前]▶「mopera U(スマートフォン定額)」を入力▶[OK]**

3 **[APN]▶「mpr2.bizho.net」を入力▶[OK]**

4 **[MENU]▶[保存]**

文字入力

「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字を入力して活用する多くのアプリケーションがあります。FOMA端末のキーボードを使って文字を入力します。

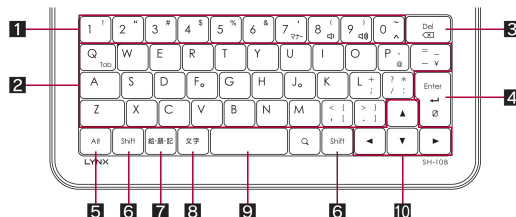
- ひらがなや漢字、カタカナを入力するときは、ローマ字で入力します。
- 縦表示でアプリケーションを利用中は、ディスプレイに表示されるキーボードをタッチして文字を入力する場合があります。

■ 文字入力のしくみ

文字の種類	全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
	半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号
変換方式	予測変換候補※	ひらがなを入力するたびに、入力した文字で始まる単語を、これまでの文字入力・入力履歴や辞書などから推測して、変換候補として表示します。 半角英字を入力すると、入力した文字で始まる英単語を変換候補として表示します。
	つながり変換候補※	文字を確定すると、次につながる変換候補を表示します。 英単語を変換候補から選択した場合は、自動的にスペースを入力し、次につながる変換候補を表示します（変換候補から半角記号[.?!:;]を選択した場合は、自動的に入力したスペースを削除し、次につながる変換候補を表示しません）。

※ 予測変換が有効のときに使用できます（☞P.235）。

文字入力時のキーボード操作について



1 [1]～[9]、[0]：数字入力キー
- 数字を入力します。

2 [A]～[Z]、[-]、[/]、[/]、[・]：文字入力キー
- 文字を入力します。

3 [Del]：削除キー
- 入力した文字を削除します。

4 [Enter]：エンターキー
- 入力した文字を確定したり、改行します。

5 [Alt]：オルトキー
- キーに割り当てられる文字を切り替えるときなどに使用します。

6 [Shift]：シフトキー
- キーに割り当てられる文字を切り替えるときなどに使用します。

7 [絵・顔・記]：絵・顔・記キー
- 絵文字／顔文字／記号リストを表示します。

8 [文字]：文字キー
- 入力モードを変更するときに使用します。

9 [ ]（スペース）：スペースキー
- 入力した文字を変換したり、スペースを入力します。

10 [▲][▼][◀][▶]：カーソルキー
- カーソルを上下左右に移動させます。
- [Shift]と同時に押して文字を選択するときに使用します。

キーボードの文字割り当て一覧

- Shift、Altの有効／無効によって、キーに割り当てられる文字が変わります（☞P.232）。

キー	入力される文字			
	通　常	Shift有効	Alt有効	Shift、Alt有効
Q	q	Q	⬚（タブ）	
W	w	W		
E	e	E		
R	r	R		
T	t	T		
Y	y	Y		
U	u	U		
I	i	I		
O	o	O		
P	p	P	@	`
-	-	=	￥	_
A	a	A		
S	s	S		
D	d	D		
F	f	F		
G	g	G		
H	h	H		
J	j	J		
K	k	K		
L	l	L	;	+
/	/	?	:	*
Z	z	Z		
X	x	X		
C	c	C		
V	v	V		

キー	入力される文字			
	通　常	Shift有効	Alt有効	Shift、Alt有効
B	b	B		
N	n	N		
M	m	M		
,	,	<	[	{
.	.	>	]	}
1	1	!		
2	2	"		
3	3	#		
4	4	$		
5	5	%		
6	6	&		
7	7	'		
8	8	(		
9	9	)		
0	0	～	^	

文字入力

■ Shift、Altを有効にする

Shift、Altを有効にして、キーに割り当てられる文字を変えることができます。

● Shift、Altの状態はガイドエリアに表示されるマークで確認できます。



マークの意味

アイコン	配 色	意 味
SHIFT ALT	文字：黒色、枠：グレー	無効
SHIFT ALT	文字：黒色、枠：青色	1回のみ有効
SHIFT ALT	文字：グレー、枠：なし	常に有効
SHIFT ALT	文字：黒色、背景：青色	押している間のみ有効

1 文字入力画面でShift／Alt

● Shift／Altを押すたびに、1回のみ有効→常に有効→無効の順に切り替わります。

入力モードの種類と切り替え

入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

1 文字入力画面で入力モードを切り替える

● 半角英字入力モードに切替：文字
  ・ Shift＋ （スペース）でも操作できます。
  ・ 半角英字入力モードで同様の操作を行うとひらがな・漢字入力モードに切り替わります。
● 全角英字入力モードに切替：Alt＋文字
  ・ 全角英字入力モードで同様の操作を行うとひらがな・漢字入力モードに切り替わります。
● 区点コードについては☞P.235

■ 入力モードの見かた

入力モード表示	入力される文字
あ	ひらがな・漢字
A	全角英字
AB	半角英字
区	区点コード

文字を入力する

● 各キーの文字の割り当てについては☞P.230、P.267

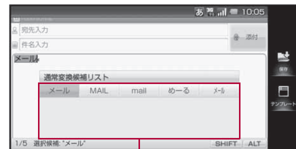
例：「メール」と入力するとき

1 文字入力画面で「めーる」と入力

● めーる：M E − R U
● 変換される文字の区切りを変更：◀／▶
● 未確定文字列は50文字まで入力できます。

2 （スペース）

● 変換候補一覧の次のページを表示：Alt＋▼／Shift＋▼
● 変換候補一覧の前のページを表示：Alt＋▲／Shift＋▲
● 変換される文字の区切りを変更：Alt＋◀／Alt＋▶



変換候補欄

● 選択中の変換候補と変換候補の総数がガイドエリアに表示されます。
● 変換の取消：Del

3 [▼]／[▲]／[◀]／[▶]で「メール」を選ぶ▶[Enter]

- [　](スペース)を押しても変換候補を選択できます。
- 表示されている変換候補をタッチしても入力できます。

■ 直前の操作を取り消す

1 文字入力画面で[Alt]＋[Z]

- 操作によっては取り消しできない場合があります。

■ ひらがな・漢字入力モードで半角英字を入力する

1 文字入力画面で[Shift]を押したまま文字を入力

- 半角英字(大文字)が入力されます。入力した文字を確定せずに[Shift]を離して文字を入力すると、半角英字(小文字)が入力されます。
入力した文字を確定すると通常のひらがな・漢字入力モードに戻ります。

■ ひらがなをカタカナに変換する

1 文字入力画面でひらがなを入力▶[文字]▶[Enter]

- [文字]を押すたびに全角カタカナ→半角カタカナ→ひらがなに切り替わります。

■ 予測変換を利用して文字を入力する

入力した文字から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ、予測変換を有効にしてください(☞P.235)。

1 文字入力画面で文字を入力

- 入力するたびに予測変換候補を表示します。

2 [▼]で変換候補欄にカーソルを移動

- 予測変換候補のリストは通常変換と同様に操作できます。

3 [▼]／[▲]／[◀]／[▶]で入力する文字を選ぶ▶[Enter]

- ひらがな・漢字入力モードまたは半角英字入力モード以外の場合、予測変換候補欄は表示されません。

文字数で変換候補を絞り込む<ワイルドカード予測>

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ、ワイルドカード予測を有効にしてください(☞P.235)。
- ひらがな・漢字入力モード、半角英字入力モードのとき利用できます。

例：「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

- あな：[A][N][A]

2 [▶]▶[▶]▶[▶]

- [▶]を押すたびに[＊]が入力され、文字数に合わせた予測変換候補が表示されます。

3 [▼]で変換候補欄にカーソルを移動

4 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ▶[Enter]

- ひらがな・漢字入力モードで「n」を入力後に[▶]を押したときは「ん」が入力されます。その他のひらがなに変換されていない英字は削除されます。

文字を修正する

■ 文字を追加する

1 追加する文字の位置にカーソルを移動

- 文字入力画面をタッチしてもカーソルを移動できます。

2 文字を入力 ▶ Enter

■ 文字を1文字削除する

1 削除する文字の右側にカーソルを移動 ▶ Del

- カーソル左側の文字が消えます。カーソルが先頭にある場合は右側の文字が消えます。
- カーソルの右側の文字を削除：削除する文字の左側にカーソルを移動 ▶ Alt＋Del
  ・カーソルが最後にある場合は左側の文字が消えます。
- DelまたはAlt＋Delを押し続けると、連続して文字を削除できます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

■ 文字を選択して削除する

1 Shift＋▼／▲／◀／▶で削除する範囲を選ぶ

- すべての文字を選択する：Alt＋A

2 Del

文字をコピーする／切り取る

1 文字入力画面で開始位置にカーソルを移動 ▶ Shift＋▼／▲／◀／▶でコピー／切り取る範囲を選ぶ

- すべての文字を選択：Alt＋A

2 コピーする／切り取る

- コピー：Alt＋C
- 切り取る：Alt＋X

文字を貼り付ける

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを移動

2 Alt＋V

絵文字／顔文字／記号を入力する

- デコメ絵文字®はPCメールの本文入力時のみ入力できます。
- 絵文字一覧表については☞P.268
- 顔文字一覧表については☞P.270

1 文字入力画面で絵・顔・記

- 絵・顔・記を押すたびに絵文字→デコメ絵文字®→顔文字→全半角記号の順に切り替わります。
  ・アプリケーションによって、利用できない文字には切り替わりません。
- 逆戻りで変換候補の切替：Alt＋絵・顔・記
  ・Alt＋絵・顔・記を押すたびに変換候補が切り替わります。

2 ▼／▲／◀／▶で絵文字／顔文字／記号を選ぶ ▶ Enter

- 絵文字／顔文字／記号をタッチしても選ぶことができます。
- 変換候補の前ページ／次ページの表示：Shift＋▲／Shift＋▼
- 選択中の変換候補（顔文字のみ）、変換候補のリスト順と変換候補の総数がガイドエリアに表示されます。
- 前カテゴリ／次カテゴリの表示：Alt＋▲／Alt＋▼

● 絵文字／デコメ絵文字®／顔文字の場合は、変換候補の1ページ目に最近使用された文字が2行まで表示されます。

区点コードで入力する<区点コード入力>

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

● 区点コード一覧表は、ドコモのホームページ上のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面でAlt＋K

- 区点コード入力モードにする前の入力モードに戻す：Alt＋K

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

文字入力の設定を変える

iWnn IME - SH editionを利用する <iWnn IME - SH edition（上）>

1 メインメニューで［設定］▶［地域／言語&文字入力］

2 ［iWnn IME - SH edition］（上）

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

iWnn IME - SH editionの設定を変える <iWnn IME - SH edition（下）>

文字入力時のキー操作の音や変換候補の表示の有無、辞書の設定などを変更できます。

項　目		設定時
キーボード設定	キー操作音	キーを押したときに音を鳴らします。
	キー操作バイブ	キーを押したときにバイブレータが動作します。
	キーポップアップ	入力したタッチパネルのキーを拡大します。
変換設定	自動大文字変換	英字入力時に文章の最初の文字を自動的に大文字にします。
	候補学習	確定した単語を学習辞書に登録します。
	予測変換	入力したときに変換候補を表示します。
	入力ミス補正※	入力間違いをしたときに修正候補を表示します。
	ワイルドカード予測※	読みの文字数から変換候補を表示します。
	メール返信時学習	メール返信時に受信メールの内容を一時的に学習します。
辞書	日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書については☞P.236
	英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書については☞P.236
	連絡先データ読み込み	連絡先データ読み込みについては☞P.237
	学習辞書リセット	学習辞書リセットについては☞P.237
	ダウンロード辞書	ダウンロード辞書については☞P.237

※ 予測変換を無効にすると、設定にかかわらず無効になります。

1 メインメニューで［設定］▶［地域／言語&文字入力］▶［iWnn IME - SH edition］（下）

2 項目を選ぶ

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

単語登録(日本語ユーザー辞書/英語ユーザー辞書)

よく使う単語を登録する

よく使う単語(表記)に読みを付けて、日本語ユーザー辞書、英語ユーザー辞書それぞれ最大500語まで登録できます。読みを入力すると、登録した単語が変換候補欄に表示され、簡単に変換できるようになります。

ユーザー辞書を表示する <日本語ユーザー辞書/英語ユーザー辞書>

1 メインメニューで[設定]▶[地域/言語&文字入力]▶[iWnn IME - SH edition](下)▶[日本語ユーザー辞書]/[英語ユーザー辞書]

- ユーザー辞書に登録済みの単語が一覧で表示されます。
- 1ページあたり50語まで表示されます。

■ 単語一覧画面のタッチパネル操作

● 表示されるキーで次の操作ができます。

[≪]	前ページの表示
[≫]	次ページの表示

■ 単語一覧画面のメニュー操作

[登録]	☞P.236
[編集]	☞P.236
[削除]▶[OK]	
[ユーザー辞書全消去]▶[OK]	

単語を新規登録する<登録>

1 単語一覧画面で[MENU]▶[登録]

2 [読み]欄を選ぶ▶読みを入力

- 全角・半角50文字まで入力できます。

3 [表記]欄を選ぶ▶表記を入力

- 全角・半角50文字まで入力できます。
- 絵文字、デコメ絵文字®は入力できません。

4 [登録]

登録した単語を編集する<編集>

1 単語を選ぶ

2 内容を修正▶[登録]

- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.236)。

連絡先データ読み込み

電話帳データの名前を変換候補に表示させる

文字入力画面で名前を入力したときに、その人の電話帳データを変換候補欄に表示させることができます。

1 **メインメニューで[設定]▶[地域／言語&文字入力]▶[iWnn IME - SH edition](下)▶[連絡先データ読み込み]**

2 **[名前]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

3 **[辞書更新]▶[OK]**

- 電話帳の名前を修正しても、変換候補には反映されません。連絡先データ読み込みで[辞書更新]を行ってください。

学習削除

学習された変換候補を削除する

学習辞書に登録された変換候補(日本語、英語、数字、記号、顔文字、絵文字)を一覧から削除し、変換候補に表示しないようにすることができます。

1 **文字入力画面の変換候補欄で削除する文字をロングタッチ**

- 削除する文字にカーソルを合わせてShift＋Enterでも操作できます。

2 **[学習削除]**

- 選択した変換候補を確定:[選択]
- 変換候補削除確認表示を閉じる:[閉じる]
- 設定している辞書で登録されている変換候補などは、削除することができません。

学習辞書リセット

学習された変換候補をリセットする

予測変換候補やつながり変換候補などで学習された変換候補を、すべてリセットできます。

- 最近使用された絵文字やデコメ絵文字®、顔文字もリセットされます。

1 **メインメニューで[設定]▶[地域／言語&文字入力]▶[iWnn IME - SH edition](下)▶[学習辞書リセット]▶[OK]**

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

サイトなどから辞書をダウンロードして使用できます。ダウンロードした辞書を設定すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示され、簡単に変換できるようになります。

- 辞書のダウンロード方法については☞P.106

使用するダウンロード辞書を選択する

- 10件まで有効にできます。

1 **メインメニューで[設定]▶[地域／言語&文字入力]▶[iWnn IME - SH edition](下)▶[ダウンロード辞書]**

2 **辞書を選ぶ**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

■ ダウンロード辞書一覧画面のキー操作

ダウンロード辞書を1件削除	Del

■ ダウンロード辞書一覧画面のメニュー操作

[全件解除]▶[はい]

[一件削除]▶[はい]

[全件削除]▶[はい]

端末内蔵キーボード

端末内蔵キーボードを設定する

内蔵キーボードでの入力間違い自動修正や、英字入力時の文頭大文字変換などを設定できます。

項　目	設定時
自動修正	文字入力時の入力間違いを自動修正します。
自動大文字変換	英字入力時に文章の最初の文字を自動的に大文字にします。
ピリオド自動挿入※	英字入力時に［　］（スペース）を2回押すとピリオド(.)を挿入します。

※ 対応するアプリケーションをインストールしている場合に、[iWnn IME - SH edition]（上）を無効にしたときのみ利用できます。

1 **メインメニューで[設定]▶[地域／言語&文字入力]▶[端末内蔵キーボード]**

2 **項目を選ぶ**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

ユーザー辞書

ユーザー辞書を登録する

任意の単語を辞書に登録できます。文字入力画面で登録時と同じ読みを入力すると、登録した単語が変換候補に表示されます。

1 **メインメニューで[設定]▶[地域／言語＆文字入力]▶[ユーザー辞書]▶[MENU]▶[追加]**

2 **単語を入力▶[OK]**

登録した単語を修正する

1 **ユーザー辞書画面で単語を選ぶ▶[編集]**

2 **単語を編集▶[OK]**

登録した単語を削除する

1 **ユーザー辞書画面で単語を選ぶ▶[削除]**

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	サービス名称	お申し込み	月額使用料	サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料	転送でんわサービス	要	無料	発信者番号通知サービス	不要	無料
キャッチホン	要	有料	迷惑電話ストップサービス	不要	無料	公共モード（電源OFF）	不要	無料

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます（☞P.243）。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 本FOMA端末はテレビ電話に対応しておりませんが、留守番電話サービスがテレビ電話対応に設定されているとメッセージが蓄積されてしまうため、「1412」へ音声発信をしてテレビ電話非対応に設定してください。
- 伝言メモ（☞P.51）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、お知らせアイコン[▣]が表示されます。

- 伝言メッセージは１件あたり最長約３分、20件まで録音でき、最長約72時間保存されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止します。

基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話がかかる。
STEP 3　音声電話に出られないときは、留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音する。
- 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージを録音することができます。

STEP 5　伝言メッセージを再生する。

サービスを利用する

1 メインメニューで［設定］▶［通話］▶［NWサービス］▶［留守番電話］

2 サービスを選ぶ

◆ **［留守番電話サービス開始］▶［はい］▶［OK］**
◆ **［留守番呼出時間設定］▶呼出秒数を入力▶［OK］▶［OK］**
◆ **［留守番サービス停止］▶［はい］▶［OK］**
◆ **［留守番設定確認］▶［OK］**
◆ **［留守番メッセージ再生］▶［はい］▶音声ガイダンスに従って操作**
◆ **［留守番サービス設定］▶［はい］▶音声ガイダンスに従って操作**
◆ **［メッセージ問い合わせ］▶［OK］**
◆ **［件数お知らせ設定］▶［件数増加時鳴動設定］▶［はい］▶［お知らせ受信］**
・以降の操作については☞P.212「着信時の動作を設定する」の操作３へ
・メッセージが増えたときに着信音、バイブレータで知らせるように設定します。

◆ **［件数お知らせ設定］▶［表示消去］▶［はい］**
・留守番電話のお知らせアイコン[▣]を消去します。

◆ **［着信通知］▶［着信通知開始］▶設定を選ぶ▶［はい］▶［OK］**
・圏外、電波OFFモード中、電源が入っていない場合などに着信があったとき、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMSでお知らせします。

◆ **［着信通知］▶［着信通知停止］▶［はい］▶［OK］**
◆ **［着信通知］▶［着信通知開始設定確認］▶［OK］**

- FOMA端末の電源を切り、再度電源を入れた場合も留守番電話のお知らせアイコン[▣]は消去されます。
- 海外へ渡航すると、留守番電話のお知らせアイコン[▣]を選択しても伝言メッセージを再生できない場合があります。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- 通話中に電話がかかってきた場合、「ププ…ププ…」という音は２回で止まりますが、呼び出しは続いています。

サービスを利用する

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[NWサービス]▶[キャッチホン]

2 サービスを選ぶ

- ◆ [キャッチホンサービス開始]▶[はい]▶[OK]
- ◆ [キャッチホンサービス停止]▶[はい]▶[OK]
- ◆ [キャッチホンサービス設定確認]▶[OK]

- 通話保留中も発信者の方の料金は加算されます。
- キャッチホンを停止しても、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできます。

通話中にかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[通話を保留して応答]

- 最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。
- 通話相手の切替：MENU▶[相手切替]

通話を終了してかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[現在の通話を終了して応答]

- 新しくかかってきた電話の方と通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルして[発信]

- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 通話相手の切替：MENU▶[相手切替]

転送でんわ

転送でんわサービスを利用する

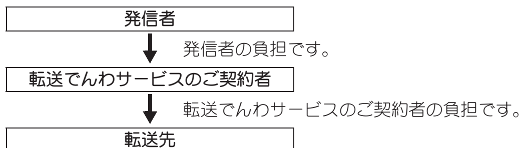
電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（☞P.51）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、お知らせアイコン[]が表示されます。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

基本的な流れ

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様のFOMA端末に音声電話がかかる。
STEP 4　音声電話に出られないときは、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスの料金



サービスを利用する

1 **メインメニューで[設定]▶[通話]▶[NWサービス]▶[転送でんわ]**

2 **サービスを選ぶ**

- ◆ [転送サービス開始]▶[転送サービス開始]▶[はい]▶[OK]
- ◆ [転送サービス開始]▶[呼出秒数設定]▶呼出秒数を入力▶[OK]
- ◆ [転送サービス開始]▶[転送先電話番号入力]▶電話番号を入力▶[OK]
- ◆ [転送サービス停止]▶[はい]▶[OK]
- ◆ [転送先変更]▶電話番号を入力▶[OK]▶[OK]
- ◆ [転送先通話中時設定]▶[はい]▶[OK]
- ◆ [転送サービス設定確認]▶[OK]

転送ガイダンス有・無を設定する

1 **メインメニューで[電話]▶「1429」を入力▶[発信]**

- 音声ガイダンスに従って設定してください。

迷惑電話ストップ

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記憶されません。
- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話は拒否登録できないことがあります。

■ 各サービス利用時の応答

各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があったときは、次のようになります。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。

サービスを利用する

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]

2 サービスを選ぶ

- ◆ **[迷惑電話着信拒否登録]▶[はい]▶[OK]**
  - ・最後に着信応答した相手を登録します。
- ◆ **[電話番号指定拒否登録]▶電話番号を入力▶[OK]▶[はい]▶[OK]**
- ◆ **[迷惑電話全登録削除]▶[はい]▶[OK]**
- ◆ **[迷惑電話 1 登録削除]▶[はい]▶[OK]**
  - ・最後に登録した電話番号を 1 件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より 1 件ずつ削除することができます。
- ◆ **[拒否登録件数確認]▶[OK]**

USSD登録

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスのコマンドを登録できます。コマンドが提供されるときは、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

サービスを利用する

1 メインメニューで[設定]▶[通話]▶[NWサービス]▶[追加サービス]▶[USSD登録]

2 サービスを選ぶ▶[OK]

■ USSD登録画面のメニュー操作

[追加]▶サービス名を入力▶コマンドを入力▶[OK]

[編集]
- 編集方法は、[追加]を選択したときと同様です。

[一件削除]▶[はい]

[全件削除]▶[はい]

[追加]について
- 新しいネットワークサービスは10件まで登録できます。
- サービス名は、全角・半角20文字まで入力できます。

応答メッセージを登録する<応答メッセージ登録>

- 応答メッセージは10件まで登録できます。

1 **メインメニューで[設定]▶[通話]▶[NWサービス]▶[追加サービス]▶[応答メッセージ登録]▶[MENU]▶[追加]**

2 **受信表示名を入力▶コマンドを入力▶[OK]**

■ 応答メッセージ登録画面のメニュー操作

[追加]	☞P.244
[編集] ● 編集方法は、[追加]を選択したときと同様です。	
[一件削除]▶[はい]	
[全件削除]▶[はい]	

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

対応エリアについて

本FOMA端末は3Gネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。GSMネットワーク/GPRSネットワークのサービスエリアでは、本FOMA端末をご利用いただけません。

海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

通信サービス	3G
音声電話	○
SMS※1	○
メール	○
GPSの現在地確認※2	○

※1 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※2 GPS測位にはパケット通信料がかかる場合があります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。
  接続可能な国・地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

ご利用時の準備

■ ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

充電について

- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタ(別売)の取り扱い上のご注意については☞P.13
- ACアダプタでの充電方法については☞P.36

料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

ネットワークオペレーターを[自動選択]に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。

日時設定について

自動時刻補正を有効にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

- 日時設定については☞P.41

お問い合わせについて

- FOMA端末やFOMAカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

■ 帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワークオペレーターを[自動選択]に設定してください（☞P.248）。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から電話をかけることができます。

- ネットワークサービスの発信者番号通知（☞P.41）を「通知」に設定していても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

滞在国から日本または他の国へ電話をかけます。

1 メインメニューで[電話]

2 [＋付加] ▶ 国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります）。

3 [発信]

滞在国内に電話をかける

滞在国で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

1 メインメニューで[電話]

2 電話番号を入力

3 [発信]

- 同一市内でも、必ず地域番号（市外局番）から入力してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 メインメニューで[電話]

2 [＋付加] ▶ 日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力

3 [発信]

電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら[応答]

- 相手と通話できます。

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用している通信事業者によっては発信者番号が通知されないときがあります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本から滞在先に電話をかけてもらう

海外で日本からの電話を受けるときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090(または080)-XXXX-XXXX

- 着信履歴からの発信では、電話番号が正しく表示されていないことがありますので、そのままではかからないことがあります。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう

滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80)-XXXX-XXXX

データローミング

滞在先でパケット通信を利用する

国際ローミングサービスを利用して、海外でパケット通信を利用することができます。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[モバイルネットワーク設定]

2 [データローミング]▶[OK]

- 無効にするとき:[データローミング]

ネットワークオペレーター

ネットワークを設定する

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったときに、利用可能なネットワークを検索して接続できます。

- 利用中のネットワークの確認については☞P.42

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[モバイルネットワーク設定]▶[ネットワークオペレーター]

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 利用するネットワークを選ぶ

- 利用可能なネットワークを検索:[ネットワークを検索]
- 最適なネットワークを自動で設定:[自動選択]

アクセスポイント名

アクセスポイントを切り替える

海外でネットワークに接続する際のアクセスポイントを設定できます。

- アクセスポイントを「mopera U(スマートフォン定額)」に設定している場合は、アクセスポイントの切り替えが必要です。
- 海外利用時はパケット定額サービスが適用されません。通信量に応じた料金がかかるため、パケット通信料が高額になるおそれがあります。

1 メインメニューで[設定]▶[通信]▶[モバイルネットワーク設定]▶[アクセスポイント名]▶[MENU]▶[新しいAPN]

2 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

3 [APN]▶「mopera.net」を入力▶[OK]

4 [MENU]▶[保存]

5 [アクセスポイント名]▶作成したアクセスポイント名の右端にあるアイコンを選ぶ

- 日本に帰国前にはアクセスポイントを「mopera U(スマートフォン定額)」に切り替えてください(☞P.227)。切り替えずに使用した場合は、通信量に応じた料金がかかるため、パケット通信料が高額になるおそれがあります。

パソコン接続

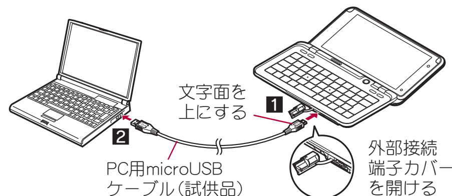
USBドライバのインストールについては、付属のCD-ROM※内またはシャープのホームページ上のPDF版「USBドライバインストールマニュアル」をご覧ください。
PDF版「USBドライバインストールマニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

※ 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、TOP画面が表示されます。[メジャーアップデート]▶[USBドライバインストールマニュアル（PDFファイル）]をクリックします。
何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]▶[SH-10B]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックし、[manual]をダブルクリックし、[SH-10B_J_usbinstallmanual.pdf]をダブルクリックします。

FOMA端末をパソコンに接続する

1 PC用microUSBケーブル(試供品)のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む(1)

2 PC用microUSBケーブルのパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む(2)



- USBケーブルは「PC用microUSBケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、PC用microUSBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。

USB設定

USB設定を変更する

FOMA端末をPC用microUSBケーブル(試供品)でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。

USB接続モードを変更する<USB接続モード>

FOMA端末をパソコンに接続したときに設定されるモードを変更します。

- あらかじめFOMA端末をPC用microUSBケーブルでパソコンと接続してください。
- 次のモードに設定することができます。

外部メモリ転送モード	FOMA端末に挿入したmicroSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用するときのモードです。
高速転送モード	OSをバージョンアップするときのモードです。
MTPモード	Windows Media® Player 11を利用してmicroSDカードに音楽／動画／静止画データを転送するときのモードです。

- FOMA端末をパソコンに接続すると、自動的に次のモードに設定されます。
  - ■ 外部メモリ転送モード(microSDカード挿入時)
  - ■ 高速転送モード(microSDカード未挿入時)

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[USB設定]▶[USB接続モード]

2 モードを選ぶ

- FOMAカードが未挿入のときは、MTPモードに設定できません。
- 高速転送モードでデータを転送中は、電波OFFモードが有効になる場合があります。転送が終了しても電波OFFモードが無効にならない場合は、手動で無効にしてください。

USB充電設定を変更する<USB充電>

PC用microUSBケーブルを接続してFOMA端末を充電するかどうかを設定します。

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[USB設定]▶[USB充電]

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

- USB充電の設定は次回接続時やUSB接続モード変更時に反映されます。

microSDリーダーライターとして使う

PC用microUSBケーブル（試供品）でFOMA端末とパソコンを接続し、microSDリーダーライターとして利用できます。

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 **FOMA端末をPC用microUSBケーブルでパソコンに接続する**

2 **お知らせエリアをタッチ▶［ ］▶［マウント］**

3 **microSDリーダーライターとして利用する**

4 **利用が終わったら、FOMA端末からPC用microUSBケーブルを取り外す**

- microSDリーダーライターとして利用中は、電波OFFモードが有効になります。利用を終了しても電波OFFモードが無効にならない場合は、手動で無効にしてください。
- microSDリーダーライターとして利用中は、他のアプリケーションからmicroSDカードを利用できません。また、他のアプリケーションからmicroSDカードを利用中は、microSDリーダーライターとして利用できない場合があります。

MTPモード

パソコンからデータを転送する

PC用microUSBケーブル（試供品）でFOMA端末とパソコンを接続し、音楽データ、動画データ、静止画データをmicroSDカードに保存します。

- 著作権のあるデータでは、パソコンからの転送時に使用したFOMA端末以外では再生できません。
- データによっては著作権により再生できないものがあります。
- 著作権のないデータでも、SH-10B以外で保存したデータは再生できません。
- SH-10B以外でファイルを保存したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDカードをSH-10Bで初期化することをおすすめします（☞P.176）。なお、microSDカードを初期化すると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

1 **パソコンのWindows Media Player 11を起動する**

2 **FOMA端末をPC用microUSBケーブルでパソコンに接続する**

3 **USB接続モードを［MTPモード］に設定し、MTPアプリケーションを起動する**

4 **Windows Media Player 11の同期リストに保存するデータを登録し、同期を行う**

5 **転送が終わったら、MTPアプリケーションを終了する**

6 **FOMA端末からPC用microUSBケーブルを取り外す**

- MTPアプリケーションを起動中は、電波OFFモードが有効になります。MTPアプリケーションを終了しても電波OFFモードが無効にならない場合は、手動で無効にしてください。

転送ファイルについて

- ファイル名は、FOMA端末では全角・半角63文字まで表示されます。
- 64文字目（拡張子を含む）まで同じ名前のデータを転送したときは、データが上書きされます。
- 著作権のあるデータのライセンス情報は、microSDカードに保存されます。microSDカードの取り外し、ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

OSのバージョンアップについて

動作環境

OSをバージョンアップするためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1／2.0準拠） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7（各日本語版）
必要メモリ	Windows XP：128MB以上、Windows Vista：512MB以上、Windows 7（32ビット版）：1GB以上、Windows 7（64ビット版）：2GB以上
ハードディスク容量	500MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。
- 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、前記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

CD-ROMを利用する

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でOSのバージョンアップを行う際のソフトウェアの案内や、「USBドライバインストールマニュアル」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
  [はい]をクリックしてください。

OSバージョンアップの流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、FOMA端末のOSバージョンアップを行う流れについて説明します。

FOMA端末に「メジャーアップデート」のお知らせが届く



パソコンにメジャーアップデートソフトをダウンロードする
- ソフトのダウンロードサイトからダウンロード（☞P.253）



パソコンにUSBドライバをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール
- シャープ株式会社のホームページからダウンロードして、インストール



パソコンとFOMA端末をPC用microUSBケーブル（試供品）で接続する（☞P.250）



インストール後の確認をする



FOMA端末でメジャーアップデートを実行する（☞P.253）

メジャーアップデートソフトをダウンロードする

付属のCD-ROMをパソコンにセットして、[メジャーアップデート] ▶ [メジャーアップデートソフトのご案内]欄の[メジャーアップデートソフトのご案内]をクリックすると、ダウンロードサイトに接続します。サイトの表示に従ってメジャーアップデートソフトをダウンロードしてください。

メジャーアップデート

OSをバージョンアップする

アップデートファイルがないかを確認する <アップデートの確認>

1 メインメニューで[設定] ▶ [システム] ▶ [メジャーアップデート] ▶ [アップデートの確認] ▶ [OK]

アップデートを実行する<アップデート実行>

- あらかじめパソコンにメジャーアップデートソフトとUSBドライバをインストールし、FOMA端末をPC用microUSBケーブル（試供品）でパソコンと接続しておいてください。

1 パソコンの[メジャーアップデートツール]を起動して、[次へ] ▶ [次へ]をクリックする

2 パソコンで認証パスワードを入力する
- パソコンとFOMA端末に同じ認証コードを入力してください。

3 FOMA端末で注意事項を確認して[はい]

4 FOMA端末でロックNo.を入力 ▶ [OK] ▶ [はい]

5 FOMA端末で認証パスワードを入力 ▶ [OK]
- パソコンとFOMA端末に同じ認証コードを入力してください。

6 パソコンに最新バージョンが表示されたら[次へ]をクリックする

7 パソコンで更新時間を確認して[次へ]をクリックする
- ソフトのダウンロードが開始されます。

8 パソコンで免責事項の確認画面が表示されたら、内容を確認のうえ、同意して[次へ]をクリックする

次ページへ続く

9 **FOMA端末のメインメニューで[設定]▶[システム]▶[メジャーアップデート]▶[アップデート実行]**

- FOMA端末が再起動します。

10 **FOMA端末にアップデートの開始画面が表示されたら、パソコンで[次へ]をクリックする**

- メジャーアップデートが実行されます。

11 **パソコンで[終了]をクリックする**

12 **FOMA端末からPC用microUSBケーブルを取り外す**

アップデートファイルがないかを定期的に自動確認する<アップデートの自動確認>

1 **メインメニューで[設定]▶[システム]▶[メジャーアップデート]▶[アップデートの自動確認]**

- 選択するたびに、有効／無効が切り替わります。

付録／困ったときには

困ったときには

Quick Manual

アプリケーション一覧

■ 設定

メニュー				お買い上げ時	ページ
プロフィール				―	P.42
マナーモード				OFF	P.53
通話					
	エニーキーアンサー設定			なし	P.50
	音声・伝言メモ				
		伝言メモリスト		―	P.52
		音声メモリスト		―	P.52
		伝言メモ設定		無効	P.51
		応答メッセージ設定		通常	P.52
		応答時間設定		16秒	P.51
	着信拒否				
		指定番号		OFF	P.71
		非通知		OFF	P.72
		公衆電話		OFF	P.72
		通知不可能		OFF	P.72
		電話帳登録外		OFF	P.72
		着信履歴保存		有効	P.72
	NWサービス				
		留守番電話			
			留守番電話サービス開始	―	P.240
			留守番呼出時間設定	―	P.240
			留守番サービス停止	―	P.240
			留守番設定確認	―	P.240
			留守番メッセージ再生	―	P.240

メニュー				お買い上げ時	ページ
通話					
	NWサービス				
		留守番電話			
			留守番サービス設定	―	P.240
			メッセージ問い合わせ	―	P.240
			件数お知らせ設定	―	P.240
			着信通知	―	P.240
		キャッチホン			
			キャッチホンサービス開始	―	P.241
			キャッチホンサービス停止	―	P.241
			キャッチホンサービス設定確認	―	P.241
		転送でんわ			
			転送サービス開始	―	P.242
			転送サービス停止	―	P.242
			転送先変更	―	P.242
			転送先通話中時設定	―	P.242
			転送サービス設定確認	―	P.242
		迷惑電話ストップ			
			迷惑電話着信拒否登録	―	P.243
			電話番号指定拒否登録	―	P.243
			迷惑電話全登録削除	―	P.243
			迷惑電話１登録削除	―	P.243
			拒否登録件数確認	―	P.243
		発信者番号通知			
			発信者番号通知設定確認	―	P.41
			発信者番号通知設定	―	P.41

メニュー				お買い上げ時	ページ
通話					
	NWサービス				
		追加サービス			
			USSD登録	−	P.243
			応答メッセージ登録	−	P.244
音・バイブ・ランプ					
	音声着信				
		音量		5	P.212
		メロディ		着信メロディ 1 (Citation)	P.212
		バイブレータ		パターン 1	P.212
		表示		着信中	P.212
		ランプ		パターン選択:パターン 1 カラー選択:緑	P.212
	SMS受信				
		音量		5	P.212
		メロディ		メールメロディ 1 (Gleam)	P.212
		バイブレータ		パターン 2	P.212
		表示		着信中	P.212
		ランプ		パターン選択:パターン 2 カラー選択:青	P.212
		鳴動時間		時間設定／5 秒	P.212
	PCメール受信				
		音量		5	P.212
		メロディ		メールメロディ 1 (Gleam)	P.212
		バイブレータ		パターン 2	P.212
		表示		着信中	P.212
		ランプ		パターン選択:パターン 2 カラー選択:青	P.212
		鳴動時間		時間設定／5 秒	P.212

メニュー			お買い上げ時	ページ
音・バイブ・ランプ				
	お知らせ受信			
		音量	5	P.212
		メロディ	お知らせ音 1 (Flutter)	P.212
		バイブレータ	パターン 2	P.212
		鳴動時間	時間設定／5 秒	P.212
	操作音量		3	P.213
	ダイヤル音		無効	P.213
	選択時の操作音		無効	P.213
	microSDの通知		有効	P.213
	ポップアップの通知		無効	P.213
	オープン		無効	P.213
	クローズ		無効	P.213
	充電開始		無効	P.213
	充電完了		無効	P.213
	電源ON		無効	P.213
	ランプ設定			
		通話中ランプ	無効	P.215
		お知らせランプ	有効	P.215
	イヤホン設定			
		イヤホン種類	マイクなし	P.54
		オート着信	無効	P.54
	メディア再生音量		11	P.213
画面表示				
	壁紙		wp_space_red	P.214
	アニメーション表示		無効	P.214
	画面の向き		無効	P.214

メニュー				お買い上げ時	ページ
画面表示					
	バックライト				
		点灯時間		1分	P.214
		明るさ自動調整		有効	P.214
		明るさ設定		3	P.214
	メール送信中画面			メール送信中	P.214
	メール受信中画面			メール受信中	P.214
	ベールビュー				
		表示パターン設定		フルスクリーンパターン1	P.216
		濃度設定		普通	P.216
		見栄え補正		0	P.216
	文字設定				
		文字フォント		モリサワ 新ゴ R	P.215
		文字サイズ設定			
			メール本文	中	P.215
			メモ帳	中	P.215
セキュリティ&位置情報					
	ワイヤレスネットワークを使用			無効	P.114
	GPS機能をONにする			無効	P.114
	Googleと共有する			無効	P.114
	クローズロック			無効	P.69
	機能制限				
		音声発信制限		無効	P.70
		電話帳制限		無効	P.70
	ロック解除方法			ロックNo.／0000	P.67
	ロック解除パターン変更				
		指リスト		－	P.68
		ロックNo.		0000	P.67

メニュー				お買い上げ時	ページ
セキュリティ&位置情報					
	指の軌跡を線で表示			有効	P.68
	入力時のバイブレーション			無効	P.68
	パスワードを表示			無効	P.69
	PINコード設定				
		入力要否設定		－	P.68
		PINコード変更		－	P.69
	安全な認証情報を使用する			無効	P.73
	パスワードの設定			－	P.73
	ストレージをクリアする			－	P.73
通信					
	Wi-Fi利用			無効	P.218
	Wi-Fi設定				
		Wi-Fi利用		無効	P.218
		ネットワークの通知		有効	P.219
		Wi-Fi簡単登録			
			AOSS方式	－	P.218
			WPS方式	－	P.218
		公衆無線LAN 自動ログイン設定			
			ドコモ公衆無線LANサービス	自動ログイン:OFF ログオフ時Wi-Fi自動OFF:有効	P.219
		Wi-Fiネットワークを追加		－	P.219
	DLNAサーバー設定				
		DLNAサーバー		無効	P.180
		公開ネットワーク		－	P.180
		公開フォルダ		本体	P.180
		サーバー名		SHARP DLNAサーバー	P.180
	Bluetooth			無効	P.222

メニュー				お買い上げ時	ページ
通信					
	Bluetooth設定				
		Bluetooth		無効	P.222
		新規デバイス登録		－	P.222
		登録機器一覧		－	P.223
		データ受信		－	P.226
		Bluetooth詳細設定			
			自機情報	－	P.226
			探索受付	拒否	P.226
	モバイルネットワーク設定				
		データローミング		無効	P.248
		ネットワークオペレーター		－	P.248
		アクセスポイント名		mopera U（スマートフォン定額）	P.248
	電波OFFモード			無効	P.70
アプリケーション					
	提供元不明のアプリ			無効	P.124
	クイック起動			b：ブラウザ、g：Gmail、m：マップ、y：YouTube	P.123
	起動メールソフト設定				
		ファイル送信メールソフト設定		無効	P.100
		ファイル送信メールソフト		－	－
	アプリケーションの管理			－	P.122
	開発				
		USBデバッグ		無効	P.123
		スリープモードにしない		無効	P.123
		擬似ロケーションを許可		無効	P.123

メニュー			お買い上げ時	ページ
データの同期				
	バックグラウンドデータ		－	P.120
	自動同期		－	P.120
	Gmail		－	P.120
	カレンダー		－	P.120
	連絡先		－	P.120
地域／言語&文字入力				
	地域／言語を選択		日本語	P.215
	iWnn IME - SH edition（上）		有効	P.235
	iWnn IME - SH edition（下）			
		キー操作音	無効	P.235
		キー操作バイブ	無効	P.235
		キーポップアップ	有効	P.235
		自動大文字変換	有効	P.235
		候補学習	有効	P.235
		予測変換	無効	P.235
		入力ミス補正	有効	P.235
		ワイルドカード予測	有効	P.235
		メール返信時学習	有効	P.235
		日本語ユーザー辞書	－	P.236
		英語ユーザー辞書	－	P.236
		連絡先データ読み込み	名前：無効	P.237
		学習辞書リセット	－	P.237
		ダウンロード辞書	－	P.237
	端末内蔵キーボード			
		自動修正	有効	P.238
		自動大文字変換	有効	P.238
		ピリオド自動挿入	有効	P.238
	ユーザー辞書		－	P.238

次ページへ続く

メニュー	お買い上げ時	ページ
検索		
Google検索の設定		
検索候補の表示	有効	P.31
検索履歴	有効	P.31
検索履歴を管理する	－	P.31
検索対象		
アプリケーション	有効	P.31
ブラウザ	有効	P.31
電話帳	無効	P.31
メール	無効	P.31
検索ショートカットをクリアする	－	P.31
ユーザー補助		
ユーザー補助	無効	P.213
音声合成		
サンプルを再生	－	P.213
音声データをインストール	－	P.213
常に自分の設定を使用する	無効	P.213
音声の速度	－	P.213
言語	－	P.213

メニュー	お買い上げ時	ページ
システム		
メジャーアップデート		
アップデートの確認	－	P.253
アップデート実行	－	P.253
アップデートの自動確認	有効	P.254
日時設定		
自動時刻補正	有効	P.41
日付設定	－	P.41
タイムゾーン	日本標準時（東京）	P.41
時刻設定	－	P.41
24h表示	有効	P.41
日付形式	標準	P.41
USB設定		
USB充電	有効	P.250
USB接続モード	外部メモリ転送モード（microSDカード挿入時）、高速転送モード（microSDカード未挿入時）	P.250
終話キー設定初期化	－	P.74
タッチパネル補正	－	P.34
センサー感度補正	－	P.198
microSD&内蔵メモリ		
SDバックアップ	設定・管理（電話帳バックアップデータの画像設定：含める）	P.173
microSDのマウント解除	－	P.176
microSD使用状況	－	P.176
microSD初期化	－	P.176
内蔵メモリ使用状況	－	P.176
端末情報		
端末の状態	－	P.42

メニュー	お買い上げ時	ページ
システム		
端末情報		
電池使用量	－	P.42
法的情報		
Sharp Copyright	－	P.42
オープンソースライセンス	－	P.42
Google利用規約	－	P.42
モデル番号	－	P.42
ファームウェアバージョン	－	P.42
ベースバンドバージョン	－	P.42
カーネルバージョン	－	P.42
ビルド番号	－	P.42
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新設定の変更:自動で更新を行う。	P.281
リセット		
設定リセット	－	P.73
オールリセット	－	P.73

■ 音声検索

メニュー	お買い上げ時	ページ
音声検索	－	P.31

■ 電話

メニュー	お買い上げ時	ページ
電話	電話番号入力画面 音声発信制限設定:OFF 通話中画面 マイクON	P.44

■ 電話帳

メニュー	お買い上げ時	ページ
電話帳	電話帳制限:OFF	P.56

■ メール

メニュー	お買い上げ時	ページ
受信ボックス	「SHARPからのお知らせ」 並べ替え:日時順	P.84
送信ボックス	並べ替え:日時順	P.84
未送信ボックス	－	P.84
SMS作成	文字サイズ:中 送信オプション(配信レポート:要求しない)	P.100
PCメール作成	文字サイズ:中 送信オプション(優先度:中、返信アドレス(On／Off設定:Off))	P.78
テンプレートボックス	並べ替え:保存順	P.81
新着メール問合せ	－	P.83
設定		
共通設定		
受信／表示設定		
画像拡大表示	拡縮する	P.95
着信通知テロップ	差出人 + 件名	P.95
送信／作成設定		
引用返信	有効	P.96
優先作成設定	SMS	P.96
送信先限定設定	OFF	P.96
メール機能制限	無効	P.96

次ページへ続く

メニュー				お買い上げ時	ページ
設定					
	PCメール設定				
		アカウント設定		－	P.76
		作成時優先アカウント		－	P.98
		受信単位			
			受信単位	全受信	P.98
			全受信サイズ	1 MB	P.98
		自動受信			
			自動受信	無効	P.99
			受信間隔	2 時間	P.99
			自動受信無効時間	無効	P.99
		サーバーメール保有数通知		10000	P.99
	SMS設定				
		配信レポート		無効	P.101
		文字コード設定		日本語（70文字）	P.101
	メールグループ設定			－	P.97
	メール容量確認			－	P.98
メール容量確認				－	P.98

■ Gmail

メニュー	お買い上げ時	ページ
Gmail	設定（全般設定（削除確認：無効、バッチ操作：無効、ラベル（同期（同期する日数：4 日分）、ラベル（受信トレイ：4 日分同期、スター付き：同期しない、送信済みメール：4 日分同期、プライベート：同期しない、仕事：同期しない、旅行：同期しない、領収書：同期しない）））、通知設定（メール着信通知：有効、着信音を選択：プリセット着信音、バイブレーション：無効））	P.101

■ チャット

メニュー	お買い上げ時	ページ
チャット	その他（設定（全般設定（自動ログイン：有効、モバイルインジケーター：有効）、通知設定（チャットの通知：有効、着信音を選択：プリセット着信音、バイブレーション：無効）））	P.102

■ ブラウザ

メニュー	お買い上げ時	ページ
ブラウザ	設定（ページコンテンツ設定（文字サイズ：中、デフォルトの解像度：中、テキストエンコード：日本語（Shift_JIS）、ポップアップウィンドウをブロック：有効、画像の読み込み：有効、ページの自動調整：無効、JavaScriptを有効にする：有効、バックグラウンドで開く：無効）、プライバシー設定（Cookieを受け入れる：有効、フォームデータを保存：有効）、セキュリティ設定（パスワードを保存：有効、セキュリティ警告を表示：有効）、詳細設定（ダウンロードデータの保存先：microSD、Gearsを有効にする：有効））	P.106

■ マップ

メニュー	お買い上げ時	ページ
マップ	－	P.114

■ UkiUkiView

メニュー	お買い上げ時	ページ
UkiUkiView	－	P.115

■ twit SH

メニュー	お買い上げ時	ページ
twit SH	−	P.116

■ YouTube

メニュー	お買い上げ時	ページ
YouTube	−	P.116

■ RSSリーダー

メニュー	お買い上げ時	ページ
RSSリーダー	−	P.116

■ mixi for SH

メニュー	お買い上げ時	ページ
mixi for SH	−	P.118

■ millmo SH

メニュー	お買い上げ時	ページ
millmo SH	−	P.119

■ Book store

メニュー	お買い上げ時	ページ
Book store	−	P.119

■ マーケット

メニュー	お買い上げ時	ページ
マーケット	−	P.120

■ ドコモマーケット

メニュー	お買い上げ時	ページ
ドコモマーケット	−	P.122

■ カメラ

メニュー	お買い上げ時	ページ
カメラ	カメラ切替：アウトカメラ 撮影サイズ（アウトカメラ：「待受：960×480」、インカメラ：「FWVGA：854×480」） フォーカス設定：顔優先AF シーン設定：自動認識 ホワイトバランス：オート 画質：ノーマル ピクチャーライト：OFF セルフタイマー：OFF 明るさ設定：明るさ 0 撮影モード（連写：OFF、特殊効果：OFF、フレーム撮影：OFF） 各種設定（笑顔レベル：レベル 1（微笑）、アイコン表示：ON、シャッター音：パターン 1、自動保存：ON、カメラモード自動切替：ON、位置情報（自動付加設定：OFF）、手ぶれ補正：OFF、保存先：本体、画面方向記録：ON）	P.132

■ ビデオカメラ

メニュー	お買い上げ時	ページ
ビデオカメラ	カメラ切替：アウトカメラ 録画サイズ：「VGA：640×480」 フォーカス設定：標準AF ホワイトバランス：オート ピクチャーライト：OFF セルフタイマー：OFF 明るさ設定：明るさ 0 各種設定（保存先：microSD、録画音声：ON、アイコン表示設定：ON）	P.135

■ 名刺リーダー

メニュー	お買い上げ時	ページ
名刺リーダー	明るさ調整:明るさ0 ピクチャーライト:OFF フォーカス設定:接写AF	P.139

■ 情報リーダー

メニュー	お買い上げ時	ページ
情報リーダー	明るさ調整:明るさ0 ピクチャーライト:OFF フォーカス設定:接写AF	P.140

■ テキストリーダー

メニュー	お買い上げ時	ページ
テキストリーダー	明るさ調整:明るさ0 ピクチャーライト:OFF フォーカス設定:接写AF	P.141

■ バーコードリーダー

メニュー	お買い上げ時	ページ
バーコードリーダー	明るさ調整:明るさ0 ピクチャーライト:OFF	P.142

■ フォト

メニュー	お買い上げ時	ページ
フォト	スライドショー設定(スライドショー効果:フェードイン&アウト、スライドショーリピート設定:OFF、スライドショーシャッフル設定:OFF)	P.143

■ メディアプレーヤー

メニュー	お買い上げ時	ページ
メディアプレーヤー	ミュージック設定(再生モード:通常再生、サウンド効果:OFF) ムービー設定(表示切替:通常表示、再生モード:通常再生、サウンド効果:OFF、画質設定(エフェクト:標準、明るさ自動調整:ON)) 外部出力設定:本体出力 音声切替:左+右	P.149 P.150

■ ワンセグ

メニュー	お買い上げ時	ページ
デジタルTV	AV設定(画面サイズ設定:全画面、映像・サウンド設定(画質設定(エフェクト:標準、明るさ自動調整:On、環境適応コントラスト補正:On)、サウンド設定:OFF))	P.156
TVプレイヤー	ビデオ一覧画面 再生モード:通常再生 ビデオ再生画面 AV設定(画面サイズ設定:全画面、映像・サウンド設定(画質設定(エフェクト:標準、明るさ自動調整:On、環境適応コントラスト補正:On)、サウンド設定:OFF))	P.163
TVリンク	—	P.161
録画/視聴予約	リピート:1回 録画保存先切替:本体	P.159

メニュー	お買い上げ時	ページ
設定		
予約時間お知らせ		
アラーム音	有効	P.161
ライト	有効	P.161
アラーム音通知時間	1分前	P.161
データ放送		
画像保存先設定	本体	P.162
通信接続時確認設定	有効	P.162
位置情報利用設定	毎回確認	P.162
端末情報利用設定	有効	P.162
放送局メモリ削除	−	P.162
録画保存先設定	本体	P.162
オートオフ時間設定	OFF	P.162
字幕／音声設定		
字幕表示	On	P.163
字幕表示位置	下	P.163
字幕言語	言語1	P.163
音声種別	主	P.163
音声言語	言語1	P.163

■ コンテンツマネージャー

メニュー	お買い上げ時	ページ
コンテンツマネージャー	グリッド／リスト切り替え：グリッドビュー表示（New、Photo、Movie）、リストビュー表示（Music、TV、Doc.、Others） アプリケーション設定（検索条件設定（保存場所の対象範囲設定：全カテゴリ共通、日付の対象範囲設定：各カテゴリ個別、検索文字列の対象範囲設定：各カテゴリ個別、ソートの対象範囲設定：各カテゴリ個別、検索条件の保存設定：保存しない）、簡易情報表示設定（簡易詳細情報の表示設定：表示する、選択後の表示時間設定：2秒））	P.166

■ 赤外線受信

メニュー	お買い上げ時	ページ
受信	−	P.179
全件受信	−	P.179

■ メモ帳

メニュー	お買い上げ時	ページ
メモ帳	文字サイズ設定：中	P.182

■ ボイスレコーダー

メニュー	お買い上げ時	ページ
ボイスレコーダー	モード：長時間モード 本体→SD	P.184

■ 電卓

メニュー	お買い上げ時	ページ
電卓	−	P.186

■ Documents To Go

メニュー	お買い上げ時	ページ
Documents To Go	−	P.187

■ 書籍ビューアー

メニュー	お買い上げ時	ページ
書籍ビューアー	表示設定（文字サイズ設定：中、太字設定：OFF、縦横設定：縦、ルビ表示設定：OFF、行間隔設定：普通、文字間隔設定：普通、余白設定：ON、色設定：標準） 動作設定（サウンド設定：中、画像表示設定：等倍、テロップ速度設定：普通、バイブ効果：ON、バックライト効果：ON、コマ・ページ切替：コマ表示、ページ解像度切替：等倍）	P.187

■ 内蔵辞書

メニュー	お買い上げ時	ページ
内蔵辞書	辞書切替：ジーニアス英和MX	P.190

■ ネット辞書

メニュー	お買い上げ時	ページ
ネット辞書	辞書管理（百科事典：有効） 辞書切替：百科事典 画像取得設定：取得する	P.193

■ 方位計

メニュー	お買い上げ時	ページ
方位計	地図モード変更：標準地図 表示切替：地図モード	P.196

■ スケジュール

メニュー	お買い上げ時	ページ
スケジュール	月／週／日表示切替：月 カレンダーメニュー（表示カレンダーシート：端末内カレンダー（パターン選択：ピンク）） 設定（カレンダーの表示設定（辞退の非表示：無効、カテゴリスタンプのサイズ：大、タスク表示：有効）、アラーム設定（アラーム時刻：なし、アラーム音：アラーム音１（Receiver）、アラーム音量：３、バイブレータ：無効）、クラウド設定（起動時同期：有効）、その他の設定（完了タスクの自動削除：無効））	P.198

■ アラーム・タイマー

メニュー	お買い上げ時	ページ
アラーム	マナー優先設定：アラーム優先	P.208
ストップウォッチ	−	P.210
キッチンタイマー	設定（アラーム音１／アラーム音２／アラーム音３：アラーム音１（Receiver）、バイブレータ設定：OFF） 時間入力：00:00	P.210

ローマ字入力表

ひらがな・漢字入力モードの場合は、次の表のようにローマ字入力を行うことができます。

あ行	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	a	i	u	e	o	la	li	lu	le	lo
		yi	wu			xa	xi	xu	xe	xo
			whu				lyi		lye	
							xyi		xye	
									いぇ	
									ye	
						うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
						wha	whi		whe	who
							wi		we	
か行	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	ca		cu		co					
			qu							
	ヵ			ヶ		くゃ		くゅ		くょ
	lka			lke		qya		qyu		qyo
	xka			xke						
						くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
						qwa	qwi	qwu	qwe	qwo
						qa	qi		qe	qo
						kwa	qyi		qye	
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyi	gyu	gye	gyo
						ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
						gwa	gwi	gwu	gwe	gwo
さ行	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	sa	si	su	se	so	sya	syi	syu	sye	syo
		ci		ce		sha		shu	she	sho
		shi								

さ行						すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
						swa	swi	swu	swe	swo
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyi	zyu	zye	zyo
		ji				ja		ju	je	jo
						jya	jyi	jyu	jye	jyo
た行	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	ta	ti	tu	te	to	tya	tyi	tyu	tye	tyo
		chi	tsu			cha		chu	che	cho
						cya	cyi	cyu	cye	cyo
			っ			つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
			ltu			tsa	tsi		tse	tso
			xtu							
			ltsu							
						てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
						tha	thi	thu	the	tho
						とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
						twa	twi	twu	twe	two
	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	da	di	du	de	do	dya	dyi	dyu	dye	dyo
						でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
						dha	dhi	dhu	dhe	dho
						どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ
						dwa	dwi	dwu	dwe	dwo
な行	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyi	hyu	hye	hyo
			fu							

は行						ふゃ		ふゅ		ふょ
						fya		fyu		fyo
						ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
						fwa	fwi	fwu	fwe	fwo
						fa	fi		fe	fo
							fyi		fye	
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byi	byu	bye	byo
						ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
						va	vi	vu	ve	vo
						ヴゃ	ヴぃ	ヴゅ	ヴぇ	ヴょ
						vya	vyi	vyu	vye	vyo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ま行	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myi	myu	mye	myo
や行	や		ゆ		よ	ゃ		ゅ		ょ
	ya		yu		yo	lya		lyu		lyo
						xya		xyu		xyo
ら行	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ行	わ				を	ん				
	wa				wo	n				
						nn				
						n'				
						xn				
	ゎ									
	lwa									
	xwa									

絵文字一覧

- ここでは、文字入力画面で読みを入力して変換できる絵文字を掲載しています。

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	てんき、はれ、たいよう		すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと
	てんき、くもり、くも		すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
	てんき、あめ、かさ		すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる
	てんき、ゆき、ゆきだるま		すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき		すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい		ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー
	てんき、きり、あめ		のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき
	てんき、こさめ、あめ、かさ		のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ
	せいざ、おひつじざ、おひつじ		のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま
	せいざ、おうしざ、おうし		のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん
	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい		のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい
	せいざ、かにざ、かに		のりもの、こうつう、ばす
	せいざ、ししざ、しし		のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい
	せいざ、おとめざ、おとめ		のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう
	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち		いえ、うち、おうち、じたく
	せいざ、さそりざ、さそり		びる、かいしゃ、しょくば、がっこう
	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ		ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと
	せいざ、やぎざ、やぎ		びょういん、びょうき、けが
	せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ		ぎんこう、ばんく
	せいざ、うおざ、うお、さかな		えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう
	すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ		ほてる
	すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる		こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ
	すぽーつ、うんどう、ごるふ		がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ		けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん
	しんごう、しんごうき		めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん
	といれ、かっぷる、でーと、けっこん		てれび、がめん、ばんぐみ
	しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす		げーむ、こんとろーら
	こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ		しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく
	かくてる、おさけ、さけ、ばー		とらんぷ、はーと、あい、こころ
	びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい		とらんぷ、すぺーど
	はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど		とらんぷ、だいや
	はいひーる、ひーる、くつ、あし		とらんぷ、くらぶ
	はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや		かお、め、からだ
	まいく、からおけ、うた、うたう		かお、みみ、からだ
	えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお		ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ
	やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ		ちょき、じゃんけん、て、ぴーす
	うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち		ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ぱい、さんせい
	おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん		やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした
	え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと		やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ
	えんげき、ひと、しんし、ぼうし		あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける
	いべんと、はた		くつ、しゅーず、すにーかー、あし
	ちけっと、きっぷ		めがね
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく		くるまいす
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん		つき、しんげつ、まる
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ		つき
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう		つき、はんげつ
	ほん、のーと、しょしんしゃ		つき、みかづき
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ		つき、まんげつ、まる
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの		どうぶつ、いぬ
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー		どうぶつ、ねこ
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ		のりもの、よっと、ふね、りぞーと

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	つりー、くりすます、き		いち、すうじ、ばんごう
	やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした		に、すうじ、ばんごう
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ		さん、すうじ、ばんごう
	ふくろ、つぼ		よん、し、すうじ、ばんごう
	ぺんさき、ぺん		ご、すうじ、ばんごう
	はんこ、ひと、ひとかげ		ろく、すうじ、ばんごう
	いす、ざせき、すわる		しち、なな、すうじ、ばんごう
	よる、よなか、しんや、れいと、つき		はち、すうじ、ばんごう
	すぐ、もうすぐ、すーん		きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう
	おん		ぜろ、れい、すうじ、ばんごう
	おわり、えんど		はーと、あい、こころ、すき、らぶ
	じかん、じこく、たいむ、とけい		はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと
	でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん		はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく
	めーる、てがみ、じゅしん		はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち
	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん		かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ、にこ
	めーる、てがみ		かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ
	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん、ゆうりょう		かお、かなしい、こまった、ごめん、がく
	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー		かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ
	あいでぃ、あいでぃー、あいでー		かお、だめ、ふら
	かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく		やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと
	かいぎょう、まがる、つづく、つづき、りたーん		おんぷ、おんがく、うた、るん
	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる		おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん
	さがす、しらべる、むしめがね、さーち		はな、かわいい
	にゅー、にゅう、あたらしい、しん		きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく
	はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち		きらきら、ぴかぴか
	だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある		でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき
	しゃーぷ		いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか
	もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー		がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	ばくだん、ばくはつ		ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど		うでどけい、とけい、うぉっち
	やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと		かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる
	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう		かお、ほっ
	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん		かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん		かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん		かお、おこる、ぶー、ぷー、むか
	しょっく、ぐらぐら、どん		かお、しらー、しらけ
	あせ、あせる、ひやあせ		かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい
	あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー		て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと
	いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる		かお、あっかんべー、べー、いたずら
	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい		かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、ていしゃつ		かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ、にこ
	がまぐち、さいふ、おかね、かね		かお、がまん
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ		かお、どうぶつ、ねこ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく		かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる		かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお
	べる、ちゃぺる、かね		えぬじー、だめ
	どあ、とびら、と		くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ
	どるぶくろ、どる、かね、おかね		こぴーらいと、しー、まるしー
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー		とれーどまーく、てぃーえむ
	てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ		すぽーつ、うんどう、はしる、にげる、ひと
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ		ひみつ、まるひ
	えんぴつ、ぶんぼうぐ		やじるし、りさいくる、かいてん、まわる
	おうかん、かんむり、おうさま		れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ		けいこく、きけん、びっくり
	すなどけい、とけい		きんし、げんきん、だめ
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの		くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から

次ページへ続く

絵文字	見出し（ヨミ）	絵文字	見出し（ヨミ）
	ごうかく		おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう
	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる		けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし
	やじるし、さゆう		とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ
	やじるし、じょうげ		どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば
	がっこう、だいがく		ぱん、ぶれっど、しょくぱん
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ		かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし
	ふじさん、やま		ひよこ、とり、どうぶつ
	くろーばー、よつば、はっぱ		ぺんぎん、とり、どうぶつ
	さくらんぼ、ちぇりー、くだもの		さかな、おさかな、どうぶつ
	ちゅーりっぷ、はな		かお、おいしい、うまい、まんぞく
	ばなな、くだもの		かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、しし
	りんご、あっぷる、くだもの		うま、どうぶつ
	わかば、ふたば、はっぱ、め		ぶた、どうぶつ、ぶー
	もみじ、こうよう、はっぱ		わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ
	さくら、はな		かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく

顔文字一覧

読みを入力して顔文字に変換できます。

- ■部分の顔文字以外は、「かお」と入力しても変換できます。

笑い

顔文字	見出し（ヨミ）	顔文字	見出し（ヨミ）
(^O^)	あーい、あーん、えがお、わーい	(^.^)	えがお、にこっ
d=(^o^)=b	いえい、えがお	(^-^)v	えがお、ぶい
(^—^)	いばり、えがお、えへへ、にこ、にやり	(^^)v	えがお、ぶい
;-)	ういんく、すまいる、にこ、よこおき	(^_^)v	えがお、ぶい
o(^o^)o	うきうき、どきどき、わくわく	(^o^)v	えがお、ぶい
(^-^)	うん、えがお、にこっ	f(^_^)	えがお、ぽりぽり
(^^)	うん、えがお、にこっ	p(^-^)q	がんば、ふぁいと
(^_^)	うん、えがお、にこっ	p(^^)q	がんば、ふぁいと
(⌒-⌒)	うん、えがお、にこっ	q(^-^q)	がんば、ふぁいと
(^q^)	えがお、おいしい、よだれ	(爆)	じばく、ばくしょう
(^o^)	えがお、おー、わーい	(笑)	しょう、わらい
:-)	えがお、すまいる、にこ、よこおき	(*^^*)	てれ
:->	えがお、にこ、よこおき	(￣—￣)	にやり

泣き

顔文字	見出し（ヨミ）	顔文字	見出し（ヨミ）
(´Д`)	あう	(ToT)	うるうる、えーん、しくしく、なきがお
(>_<)	いたい、いてっ	X-<	えーん、しくじる、しまったー、よこおき
(;_;)	うるうる、えーん、しくしく、なきがお	(;_;)/~~~	おわかれ、さようなら、ばいばい
(;o;)	うるうる、えーん、しくしく、なきがお	(/_;)/~~	おわかれ、さようなら、ばいばい
(T-T)	うるうる、えーん、しくしく、なきがお	(泣)	なき
(TT)	うるうる、えーん、しくしく、なきがお	(涙)	なみだ
(T_T)	うるうる、えーん、しくしく、なきがお		

怒り

顔文字	見出し(ヨミ)	顔文字	見出し(ヨミ)
(-_-;)	あきれた、あせ、うーん、たらー、なやむ、まずい	(怒)	いかる、おこる
(--;)	あきれた、あせ、うーん、たらー、まずい	(￣^￣)	いばり、えっへん、とうぜん、どうだ
(-_-)	あきれた、しーん、じとっ	:-(	おこる、かなしい、むー、よこおき
(-.-)	あきれた、じとっ	:-<	おこる、かなしい、むー、よこおき
:-p	あっかんべ、べー、よこおき		

挨拶

顔文字	見出し(ヨミ)	顔文字	見出し(ヨミ)
(-_-)/~~~	あばよ、さようなら、ばいばい	(^^)d	えがお、ぐっど
(/--)/	あら	＼(^-^)／	えがお、ばんざい、わーい
(^^)/	えがお、おーい	＼(^^)／	えがお、ばんざい、わーい
(^o^)/	えがお、おーい	＼(^_^)／	えがお、ばんざい、わーい
(^_^)/~~	えがお、おーい、さようなら、ばいばい	＼(^o^)／	えがお、ばんざい、わーい
(^o^)／~~	えがお、おーい、さようなら、ばいばい	(⌒0⌒)／~~	おーい、さようなら、ばいばい、またね
(^-^)/	えがお、おーい、ではでは	(^∧^)	おねがい、かんしゃ、すみません、たのむ
(^_^)/	えがお、おーい、ではでは	(^人^)	かんしゃ、すみません、たのむ

焦り

顔文字	見出し(ヨミ)	顔文字	見出し(ヨミ)
(汗)	あせ	(^_^;)	あせ、たらー
_(^^;)ゞ	あせ、いやー、てれ	(^o^;)	あせ、たらー
┐('～`;)┌	あせ、おてあげ、さあ	(;´Д`)	あせ、とほほ
(￣▽￣;)	あせ、がーん	f(^^;	あせ、ぽりぽり
f(^ー^;	あせ、かきかき、ぽりぽり	f(^_^;	あせ、ぽりぽり
(^-^ゞ	あせ、けいれい、てれ、ぽりぽり、らじゃ、りょうかい	σ(^_^;)?	おれかな、ぼくかな、わたしかな
(^^ゞ	あせ、けいれい、てれ、ぽりぽり、らじゃ、りょうかい	(((^^;)	こそこそ、ささささ、にげる
(^_^ゞ	あせ、けいれい、てれ、ぽりぽり、らじゃ、りょうかい	(((^_^;)	こそこそ、ささささ、にげる
(^o^ゞ	あせ、けいれい、てれ、ぽりぽり、らじゃ、りょうかい	(^^;)))	こそこそ、ささささ、にげる
(^-^;	あせ、たらー	(^_^;)))	こそこそ、ささささ、にげる
(^^;	あせ、たらー		

驚き

顔文字	見出し(ヨミ)	顔文字	見出し(ヨミ)
(・・;)	あせ、たらー、めがてん	(゜o゜)＼(-_-)	つっこみ、なんでやねん
(*_*)	うーん、びくっ	(゜゜;)＼(--;)	つっこみ、なんでやねん
:-O	おお、おどろき、よこおき	(゜□゜)	はっ
(((・・;)	こそこそ、ささささ、にげる	(゜□゜;	はっ
(・・;)))	こそこそ、ささささ、にげる		

次ページへ続く

その他

顔文字	見出し(ヨミ)	顔文字	見出し(ヨミ)
(>.<)y-~	いっぷく、ごほ	φ(. .)	かきかき、めも
(-.-)y-~	いっぷく、たばこ	(^3^)/	きす、ちゅ
(-。-)y-~	いっぷく、たばこ	(^ з ^)-☆	きす、ちゅ
(^。^)y-~	いっぷく、たばこ	＼(__)	ごめんなさい、しつれい、はんせい
(-.-)Zzz・・・・	いねむり、ぐーぐー	ヾ(^')、	しっし
(__)	うなずき、うん	(-.-)ノ⌒-~	たばこ、ぽいすて
(..)	うなずき、うん、どれどれ	(照)	てれ
へ(^_^)	おいで、こっちこっち	(眠)	ねむい
m(__)m	おじぎ、おねがい、ごめんなさい、すみません、ぺこり	φ(° °)ノ°	ぽい
φ(..)	かきかき、めも		

マルチアクセス

マルチアクセス

FOMA端末では音声電話やメールの送受信など、複数の通信を同時に利用できます。

マルチアクセスの組み合わせ

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の通信状態＼実行する通信	電話		メール		SMS		位置測位	ワンセグ
	発信	着信	送信	受信	送信	受信		
通話中	△※1	△※1	○	○	○	○	○	○
ワンセグ視聴中	×※2	×※2	○	○	○	○	○	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×：現在の通信状態を継続します(実行する通信を処理することはできません)。
△：条件により処理できます。

※1　キャッチホンをご利用の場合は、処理できます(☞P.241)。
※2　ワンセグ視聴中に発信・着信を行うとワンセグが終了します。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス(有料:案内料＋通話料) ● 電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171
コレクトコール(有料:案内料＋通話料)	(局番なし)106

- コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります(2010年6月現在)。
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください(2010年6月現在)。

- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、電波OFFモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれませんので、ご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へかける際の自動クレジット通話はご利用になれます）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01※1※2／02※1※2
- 電池パック SH24
- リアカバー SH43
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01※3
- イヤホンターミナル P001※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- ステレオイヤホンセット P001※4
- スイッチ付イヤホンマイク P001※4／P002※4
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA DCアダプタ01※2／02※2
- 車載ハンズフリーキット 01
- FOMA乾電池アダプタ 01※2
- 骨伝導レシーバマイク 01／02

※1 ACアダプタでの充電方法については、P.36をご覧ください。
※2 充電用microUSB変換アダプタ（試供品）を接続してご利用ください。
※3 FOMA ACアダプタ01／02やFOMA DCアダプタ01／02を接続してご利用ください。
※4 イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してmicroSDカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます。※

対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-10b/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。

※ 保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

> シャープ　データ通信サポートセンター
> TEL 03-5396-2351
> 受付時間：平日 10:00～12:00／13:00～17:00
> （土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。

QuickTime™ Playerは、下記のホームページよりダウンロードできます。

http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.281）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

FOMA端末の電源が入らない	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.35
● 電池切れになっていませんか。	P.39

■ 充電

充電ができない（充電ランプが点灯しない、または点滅する）	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.35
● アダプタ（別売）の電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。	P.38
● アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。	P.38
● ACアダプタをご使用の場合、ACアダプタ、充電用microUSB変換アダプタ（試供品）、FOMA端末がしっかりと接続されていますか。	P.38 P.39
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.37

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
● 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタの温度が高くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.37
電池の使用時間が短い	
● 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	P.37
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.37
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.37
電源断・再起動が起きる	
● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。	－
● FOMAカードのＩＣ部分が汚れていませんか。	P.34
タッチしたり、キーを押しても動作しない	
● クローズロックを設定していませんか。	P.69
● FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.40
タッチしたり、キーを押したときの画面の反応が遅い	
● FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	P.172 P.289
FOMAカードが認識しない	
● FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。	P.35
データが正常に表示されない、正しく操作できない	
● FOMA端末をリセットしてください。	P.74

■ 通話

発信できない	
● クローズロックを設定していませんか。	P.69
● 音声発信制限を設定していませんか。	P.70
● 電波OFFモードを設定していませんか。	P.70
着信音が鳴らない	
● 着信音量を[０]にしていませんか。	P.212
● マナーモード、電波OFFモードを設定していませんか。	P.53 P.70
● 指定着信拒否、非通知理由別着信拒否、電話帳登録外着信拒否を設定していませんか。	P.71 P.72
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「０秒」にしていませんか。	P.240 P.242
通話ができない（場所を移動しても[圏外]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
● 電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。	P.34 P.35 P.40
● 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[電波]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	P.24
● 指定着信拒否など着信制限を設定していませんか。	P.71
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は[しばらくお待ちください]と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	－
スピードダイヤルで電話がかけられない	
● 電話帳制限を設定していませんか。	P.70
● クローズロックを設定していませんか。	P.69

■ 画面

ディスプレイが暗い	
● バックライトの点灯時間を短く設定していませんか。	P.214
● バックライトの明るさ設定を変更していませんか。	P.214
● バックライトの明るさ自動調整を有効にしていませんか。有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。	P.214
● メディアプレーヤーの画質設定で明るさ自動調整を[ON]にしていませんか。	P.151
● ベールビューを設定していませんか。	P.215

画面表示が消えた	
● FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.40
● 電池切れになっていませんか。	P.39
● 一定時間FOMA端末を使用しないと、ディスプレイの表示が消えます。バックライトの点灯時間は変更することができます。	P.214

画面が白っぽく見えたり、模様などが映り込んで見える	
● ベールビューを設定していませんか。	P.215

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
● 通話音量を変更していませんか。	P.50

■ メール

メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	
● グループのメール着信音を設定した相手からメールを受信したときは、そのグループに設定したメール着信音が鳴ります。	P.58
● 個別のメール着信音とグループのメール着信音の両方を設定した相手からメールを受信したときは、個別のメール着信音が鳴ります。	P.56

■ カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
● 近くの被写体を撮影するときは、AFモードを[接写AF]、[接写固定]に切り替えてください。	P.138
● カメラのレンズにくもりや汚れが付いていないかを確認してください。	P.126
● フォーカスロックを利用してください。	P.138
● 人物を撮影するときは、AFモードを[顔優先AF]に設定してください。	P.138
● 手ぶれ補正を[オート]で撮影してください。	P.138

■ ワンセグ

ワンセグの視聴ができない	
● 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	P.154
● チャンネル設定をしていますか。	P.155

■ 海外利用

[ ]が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	
● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。	P.24 P.246
● 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』などの国際サービスガイドで確認してください。	P.246

海外で利用中に突然、発信や着信ができない	
● ドコモ・スマートフォン・ケアで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。	P.246

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	P.247

■ データ管理

データ転送が行われない	
● USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.250

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
● Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.222
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	
● 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.40

■ その他

着信またはメールの受信をしたとき設定した着信ランプ以外の着信ランプが点滅する	
● グループの着信ランプ／メール着信ランプを設定した相手から着信またはメールを受信したときは、そのグループに設定したランプ設定で点滅します。	P.58
● 個別の着信ランプ／メール着信ランプとグループの着信ランプ／メール着信ランプを両方設定した相手から着信またはメールを受信したときは、個別の着信ランプ／メール着信ランプで設定したランプ設定で点滅します。	P.56

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを「英数字」、「50音」の順に記載しております。

[microSD空き容量が不足しています。本体に保存しますか？]

● microSDカードに空き容量がない場合、保存先をmicroSDカードに設定して動画撮影をしようとしたときに表示されます。

[microSD未挿入のため保存先を本体に切り替えて録画します]

● ビデオの録画保存先設定を[microSD]に設定している場合、ビデオ録画開始時にmicroSDカードが挿入されていないときに表示されます。

[xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]

● 何らかの原因ですべてのPCメールを受信できなかった場合に表示されます。

[空き容量が不足しています]

● データのコピー中や移動中などに、メモリの空き容量がなくなったとき表示されます。不要なデータを削除してから、もう一度操作してください。

[位置情報を取得出来ません　しばらくしてから、再度取得してください]

● 現在地を確認しようとした場合、何らかの原因で位置情報が取得できないときに表示されます。

次ページへ続く

[応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー　送信できませんでした]
[接続エラー　送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー　しばらくたってから送り直してください]

- PCメールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。

[圏外のためネットワークに接続できません]
[電波状態の良いところでリトライしてください(003)]

- サービスエリア外や電波が届かないところで、電話発信やメール送信、各種ネットワークサービスの操作をしようとした場合に表示されます。[📶]が表示されるところまで移動して操作をしてください。☞P.24

[このコンテンツを再生する権限がありません]

- 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。☞P.147

[この番組は録画が禁止されています]

- 番組が録画禁止の場合に表示されます。

[コンテンツの有効期限が切れています　コンテンツを削除しますか？]

- 有効期限が切れているテレビリンクを選択すると表示されます。☞P.161

[再生するためにはライセンスを取得する必要があります。ライセンスを取得しますか？]

- microSDカード内のミュージックやムービーを再生しようとした場合、対応するサービスのライセンスがないときに表示されます。

[製造番号を通知しますか？]

- ワンセグ視聴中に表示されることがあります。[はい]を選択すると、「携帯電話／FOMAカードの製造番号」が送信されます。

[接続相手が見つかりません。再接続しますか？]

- 赤外線通信が正確に行えなかった場合に表示されます。[はい]を選択すると、もう一度やり直すことができます。☞P.178
- 赤外線通信の相手が認識できなかった場合に表示されます。[はい]を選択すると、もう一度やり直すことができます。☞P.178

[接続が中断されました。再接続しますか？]

- 通信コンテンツからのアクセス中、圏外になったときに表示されます。
- 電波が弱いため、接続が中断されました。電波の強い場所に移動してから通信サービスをご利用ください。☞P.24
- 電波が強く[📶]が表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。

[接続できません]

- 何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。☞P.160

[(Bluetooth機器名)接続できませんでした]

- Bluetooth機器との接続に失敗した場合に表示されます。☞P.223

[接続できませんでした。再接続しますか？]

- Bluetooth出力を行った場合に優先接続設定されたBluetooth機器やサービスに対応したBluetooth機器と接続できなかったときに表示されます。[はい]を選ぶと再接続を開始し、[いいえ]を選ぶと元の画面に戻ります。

[送信できませんでした]

- SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
- PCメールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。

[チャンネルが見つかりませんでした　もう一度選局しますか？]

- 放送電波の受信状況により、チャンネルが検出できなかった場合に表示されます。
- 放送電波の受信状態が悪いため、オート選局できません。[📶]が表示されるところまで移動してご利用ください。☞P.156

[通信を中止しました]

- 赤外線通信や、Bluetooth通信を中止する操作をした場合に表示されます。☞P.178、P.221

[電池残量が足りない為、録画を終了しました]

● ビデオ録画中に電池残量がなくなった場合に表示されます。

[電池残量が不足しています。カメラを終了します。]
[電池残量が不足しています。ビデオカメラを終了します。]

● 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。☞P.36

[添付可能サイズを超えています。添付できません。]

● サイズを超えているため添付できません。本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。☞P.82

[登録に成功しましたが、接続可能なサービスが検索できませんでした]

● Bluetooth機器の登録を行った場合、対応しているサービス(プロファイル)が相手機器に見つからなかったときに表示されます。☞P.222

[保存先の容量が不足しています。録画開始までにファイルを削除するか保存先を変更してください。]

● FOMA端末のメモリやmicroSDカードの空き容量がないため、ビデオ録画できない場合に表示されます。

[本体の空き容量不足のため録画を終了します]
[microSDの空き容量不足のため録画を終了します]

● ワンセグのビデオ録画中にFOMA端末のメモリやmicroSDカードの空き容量がなくなった場合に表示されます。

[本体の空き容量が不足しています。不要なデータを削除してください。]

● FOMA端末のメモリの空き容量が少なくなっている場合に、静止画モードを起動したときに表示されます。
● microSDカードの空き容量が少なくなっている場合に、ボイスレコーダーを起動したときに表示されます。

[まもなくシャットダウンします　保存していないデータは失われます]

● 電源が切れそうになると表示されます。充電してください。☞P.36

[容量不足です]

● microSDカードの空き容量が少ない場合に表示され、ボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。☞P.184

[容量不足です。登録できません。]

● メモリの空き容量が少なくなっている場合に、新たに電話帳を登録しようとしたときに表示されます。☞P.56

[ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]

● 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

[録画禁止コンテンツに切り替わったため録画を中断します]

● 録画中に録画禁止の番組が開始された場合に表示されます。

[ロックNo.が違います]
[4～8桁で入力してください]

● ロックNo.の入力が必要な機能で、ロックNo.を間違えた場合に表示されます。正しいロックNo.を入力してください。☞P.66

[ロックNo.を入力してください]

● FOMA端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。ロックNo.を入力すると、FOMA端末のロックが一時解除され、操作できます。☞P.69
● ロックNo.の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

● FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
● この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
● FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、電話帳のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■ 火災・けが・故障の原因となります。
  - ■ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  - ■ 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。
  - ■ お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - ■ 使用箇所：スピーカ

- FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

■ メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新について

SH-10Bのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
　ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。

ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の３つの方法があります。

　自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
　即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
　予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のSH-10Bの状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ 通話中・圏外にいるとき
  - ■ 国際ローミング中
  - ■ 電波OFFモード中
  - ■ Wi-Fiネットワークとの接続中
  - ■ USB接続時のマウント中
  - ■ OSバージョンアップ中
  - ■ MTP接続中
  - ■ 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です。ただし、音声着信時はダウンロードが中断されます）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが４本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください。］と表示されます。

次ページへ続く

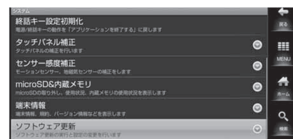
- ソフトウェア更新中に送信されてきた、SMSはSMSセンターに保管されます。
  ※ ソフトウェアダウンロード中はSMSの受信は可能ですが、メールアプリを起動するとダウンロードは中断されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-10B固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、ドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- ソフトウェア更新中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。
  ※ ソフトウェアダウンロード中は視聴予約アラーム、録画予約アラームが動作すると、視聴・録画が開始され、ダウンロードは中断されます。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェア更新を自動で行う<自動更新>

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が[自動で更新を行う。]に設定されています。
書換え可能な状態になるとお知らせアイコン[⬇]（ソフトウェア更新有）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。
お知らせアイコン[⬇]（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、お知らせアイコン[⬇]（ソフトウェア更新有）は消去されます。
書換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が[自動で更新を行わない。]になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

■ 自動更新の設定

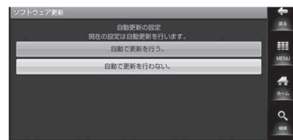
1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]









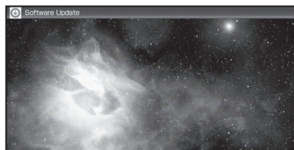


2 ソフトウェア更新通知があったときの動作を選ぶ

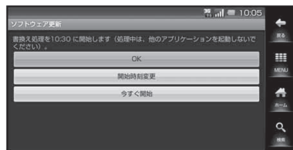
- 自動でソフトウェア更新をするとき：[自動で更新を行う。]
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：[自動で更新を行わない。]

■ 更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、待受画面にお知らせアイコン[⬇]（ソフトウェア更新有）が表示されます。







1 待受画面でお知らせアイコン[⬇]（ソフトウェア更新有）

2 書換え方法を選ぶ

- ソフトウェア更新が必要なときは、書換え時刻が表示されます。

◆ **[OK]**
- ・設定時刻になると書換えを開始します。

◆ **[開始時刻変更]▶☞P.286「時刻を予約してソフトウェアを更新する」の操作 1 へ**
- ・アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

◆ **[今すぐ開始]▶☞P.284「すぐにソフトウェアを更新する」の操作 1 へ**
- ・書換えを開始します。
- ・書換えが完了するとお知らせアイコン[☑]（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。

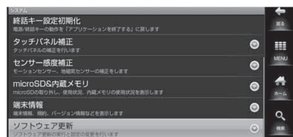
- お知らせアイコンは、一度確認すると消えます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-10B固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

● 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、待受画面にお知らせアイコン[⬇]（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する<即時更新>

1 メインメニューで[設定]▶[システム]▶[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。







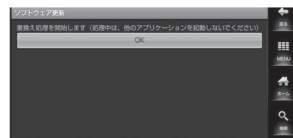
- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。]と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、[充電不足のため更新できません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。]と表示されます。

2 [OK]

- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止したり、電話を受けることはできません。
- 更新中に２回自動的に再起動します。







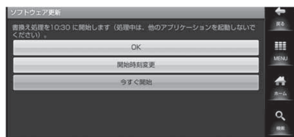


3 待受画面が表示

- お知らせエリアに[☑]が表示されます。[☑]は、一度確認すると消去されます。

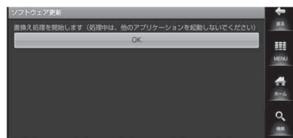
すぐにソフトウェアを更新する

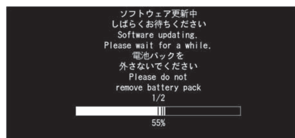
1 [今すぐ開始]



2 [書換え処理を開始します]が表示▶[OK]

- [書換え処理を開始します]の表示が約３秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのキー操作が無効となります。書換えを中止したり、電話を受けることはできません。
- 書換えが終了すると、自動的に再起動します。





3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべてのキー操作が無効になります。更新を中止したり、電話を受けることはできません。
- 更新を終了すると、約５秒後に自動的に再起動します。

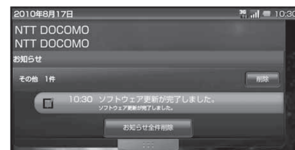
4 お知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)

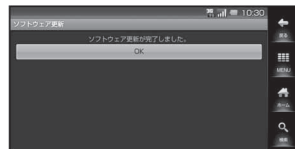
- ソフトウェア更新を終了し、待受画面が表示されます。
- 待受画面に更新が完了したことを表すお知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)が表示されます。お知らせアイコン[☑](ソフトウェア更新が完了しました。)は、一度確認すると消去されます。

■ ソフトウェア更新終了後の表示について

待受画面のお知らせエリアに[☑]が表示されます。[☑]をタッチすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。





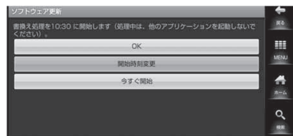


時刻を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 [開始時刻変更]

- 書換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、端末の時刻に合わせて表示されます。





2 希望の時刻を入力▶[OK]

- 時刻を設定します。

■ 予約した時刻になると







1 [書換え処理を開始します]が表示▶[OK]

- [書換え処理を開始します]の表示後約３秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻にUSB接続時のマウント中、OSバージョンアップ中、MTP接続中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときSH-10Bの電源を切った場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

主な仕様

■ 本体

品名		SH-10B
サイズ		高さ約83mm×幅約148mm×厚さ約17.8mm(折りたたみ時)
質量		約230g(電池パック装着時)
連続通話時間※1※2	FOMA／3G	約270分
連続待受時間※2※3	FOMA／3G	移動時:約360時間※4
		静止時:約410時間※5
ワンセグ視聴時間		約310分
充電時間		ACアダプタ:約200分
		DCアダプタ:約200分
液晶部	方式	NEWモバイルASV液晶　65,536色
	サイズ	約5.0inch
	画素数	460,800画素(960×480ドット)
撮像素子	種類	アウトカメラ:CMOS※6 インカメラ:CMOS※6
	サイズ	アウトカメラ:1/4.0inch インカメラ:1/8.2inch
カメラ部	有効画素数	アウトカメラ:約530万画素 インカメラ:約43万画素
	記録画素数(最大時)	アウトカメラ:約500万画素 インカメラ:約41万画素
	ズーム(デジタル)	最大約13.4倍

記録部	静止画記録枚数	約140000枚※7※8
		約83000枚(microSDカード(2Gバイト)保存時)※7
	静止画連続撮影	QVGA:4枚、9枚／VGA:4枚／FWVGA:4枚／待受:4枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	1件あたり約120分※9
		1件あたり約120分(microSDカード(2Gバイト)保存時)※9
	動画ファイル形式	3GPP
音楽再生	連続再生時間	WMA(バックグラウンド再生対応):約1080分
		MP3(バックグラウンド再生対応):約1080分
動画再生	連続再生時間	WMV:約470分
保存容量		約3.4Gバイト※10

※1　連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※2　データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※3　連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。また、通話をしなくても、ワンセグの視聴、Bluetooth機能を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。

※4　FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※5　FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※6　CMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。

次ページへ続く

※7　画像サイズ：QVGA（320×240ドット）／画質：ノーマル／ファイルサイズ：25Kバイト
※8　お買い上げ時に登録されているデータ（削除可能なデータ）を削除していない場合の撮影枚数です。
※9　画像サイズ：QCIF（176×144ドット）／種別：映像＋音声
※10　メモリを共有するアプリケーションの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。

■ 電池パック

品名	電池パック SH24
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	1400 mAh

撮影／保存できる目安

撮影枚数／撮影時間は、FOMA端末、2Gバイトのmicro SDカードに保存したときの目安です。FOMA端末、2Gバイトのmicro SDカードに他の画像などが保存されているとき、撮影できる枚数や時間は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる枚数や時間が少なくなることがあります。

● 静止画および動画の撮影サイズの設定方法については☞P.136

■ 静止画の撮影枚数

FOMA端末

	ノーマル	ファイン
5M：2560×1920	約8900枚	約3100枚
3M：2048×1536	約9100枚	約4600枚
2M：1600×1200	約16000枚	約5500枚
フルHD：1920×1080	約13000枚	約5200枚
1.2M：1280×960	約23000枚	約13000枚
待受：960×480	約50000枚	約25000枚
FWVGA：854×480	約59000枚	約25000枚
VGA：640×480	約59000枚	約29000枚
QVGA：320×240	約140000枚	約89000枚

2Gバイトのmicro SDカード

	ノーマル	ファイン
5M：2560×1920	約5200枚	約1800枚
3M：2048×1536	約5300枚	約2700枚
2M：1600×1200	約9500枚	約3200枚
フルHD：1920×1080	約8000枚	約3000枚
1.2M：1280×960	約13000枚	約7700枚
待受：960×480	約29000枚	約14000枚
FWVGA：854×480	約34000枚	約14000枚
VGA：640×480	約34000枚	約17000枚
QVGA：320×240	約83000枚	約52000枚

■ 動画の撮影時間

FOMA端末の1回あたりの連続撮影時間

QVGA：320×240	約120分	QCIF：176×144	約120分

FOMA端末の合計撮影時間

QVGA：320×240	約1387分	QCIF：176×144	約2666分

2Gバイトのmicro SDカードの1回あたりの連続撮影時間

VGA:640×480	約90分	QCIF:176×144	約120分
QVGA:320×240	約120分		

2Gバイトのmicro SDカードの合計撮影時間

VGA:640×480	約147分	QCIF:176×144	約1568分
QVGA:320×240	約816分		

ボイスレコーダーの録音時間

	保存件数	録画時間
microSDカード(2Gバイト)※	最大40件	最長約240時間

※ 1回あたりの録音時間は約360分までです。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別			保存・登録可能件数	保護可能件数
ワンセグ	テレビリンク		50	−
	視聴予約/録画予約		50※1	−
	エリア		10	−
メール(SMSとメールの合計)	受信メール		9999※2※3	5000
		ユーザーフォルダ	80	−
	送信メール		3000※2※4	3000
		ユーザーフォルダ	80	−
	未送信メール		3000※2※4	−
ワンセグのビデオ			99※2	−

※1 視聴予約と録画予約を合わせた件数です。
※2 メモリの使用状況によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります(☞P.176)。
※3 お買い上げ時に登録されている削除可能なデータも含みます。
※4 送信メールと未送信メールを合わせた件数です。

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

● お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

● 「FOMA」、「mopera」、「mopera U」、「デコメ絵文字®」、「iアプリ」、「iモード」、「パケ・ホーダイ」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「iモード.net」、「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
● フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

次ページへ続く

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。
  © 2010 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved. DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび LC® は、シャープ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- PhotoSolid®、FaceSolid®、PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標です。
- AOSS™ 及び、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。
  The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。
- Droidget®は、その商標権者が所有しておりシャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2009 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2010 All Rights Reserved.
- Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
  emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴRを搭載しています。
  *新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- 「ベールビュー」、「VeilView」、「笑顔フォーカスシャッター」、「振り向きシャッター」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Reader Mobile Copyright © 1993-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- コンテンツ所有者は、WMDRM(Windows Media digital rights management)技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 「CP8 PATENT」
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済
  Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Android マーケット、Android マーケットロゴ、Gmail、Google Apps、Google Calendar、Google Checkout、Google Earth、Google Latitude、Google Maps、Google Talk、Picasa、およびYouTube は、Google Inc. の商標です。その他会社名および製品も、関連する会社の商標である場合があります。

Quick Manual

CAUTION

Use only the battery packs and adapters specified by NTT DOCOMO for use with the FOMA terminal.
May cause fires, burns, bodily injury or electric shock.

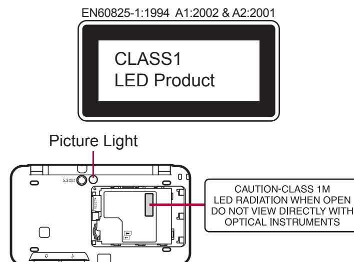
Do not throw the battery pack into a fire.
The battery pack may catch fire, explode, overheat or leak.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.
May cause fires or damage to the environment. Place tape over the terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a docomo Shop, retailer or institution that handles used batteries in your area.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.
Use the FOMA terminal within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.
Do not use Picture Light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.



CAUTION:
Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Picture Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

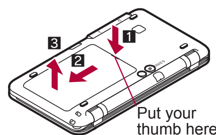
Picture light source LED characteristics

a) Continuous illumination
b) Wavelength
   White: 400-700 nm
   Red: 600-670 nm
c) Maximum output
   White: 372 μW (inside FOMA terminal 1.46 mW)
   Red: 242 μW (inside FOMA terminal 916 μW)

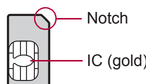
Before Use

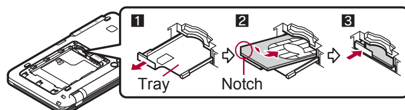
Inserting UIM (FOMA card) and battery pack

1 **Push the catch on the back cover in the direction of the arrow (❶) with your thumb, slide approximately 3 mm (❷) and remove the back cover (❸)**

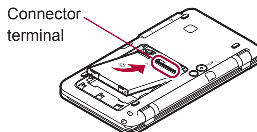


2 **Pull out the tray straight (❶). Set the UIM on the tray with the IC (gold) side turned up (❷) and push the tray all the way in (❸)**

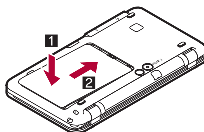




3 **With the recycle mark side turned up, match connector terminals and attach the battery pack**



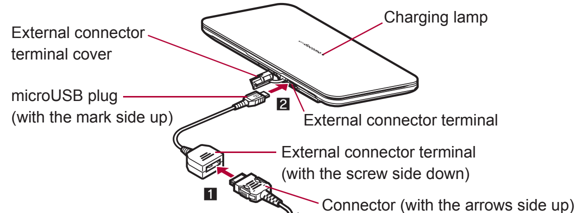
4 **Place the back cover to the FOMA terminal slot with the back cover open approximately 3 mm, push it (❶) and slide it to the direction of arrow to insert (❷)**



- Perform with the FOMA terminal turned off and closed while holding with your both hands. Note that excessive force may damage the FOMA terminal, UIM and battery pack.
- Securely close the back cover. If not closed securely, the back cover may come off and the battery pack may fall out due to vibration.

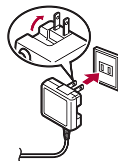
Charging

1 **Insert the AC adapter connector horizontally into the external connector terminal of the microUSB adapter for charge (sample) (❶). Open the external connector terminal cover of the FOMA terminal and insert the microUSB plug of the microUSB adapter for charge horizontally into the external connector terminal (❷)**



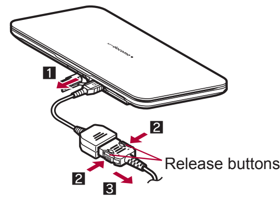
2 **Insert the AC adapter power plug into an outlet**

- Charging lamp illuminates and charging starts.

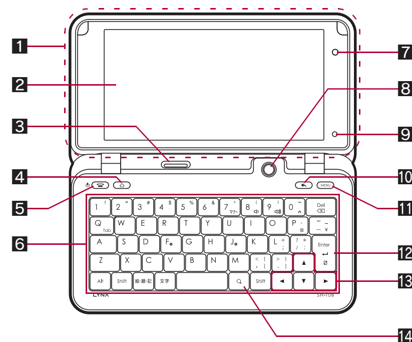


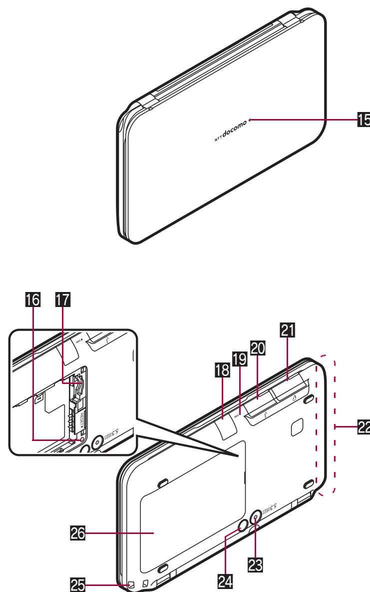
3 **When charging is complete, remove the microUSB plug horizontally from the FOMA terminal (❶). Hold the release buttons (❷) and remove the connector from the microUSB adapter for charge horizontally (❸)**

- When charging lamp turns off, charging is complete.



- Note that excessive force may damage the FOMA terminal and AC adapter.





1 1Seg antenna
2 Display/Touch panel
3 Speaker
4 : Home key
5 : Power/End key
6 Keyboard
7 In-camera
8 Trackball
9 Brightness sensor
10 : Back key
11 MENU: Menu key
12 Enter: Enter key
13 ▲▼◀▶: Cursor keys
14 : Search key
15 Incoming/Charging lamp
16 RESET button
17 microSD Card slot
18 Infrared port
19 Mouthpiece/Microphone
20 External connector terminal
21 Earphone/Microphone terminal
22 FOMA antenna
23 Out-camera
24 Picture Light
25 Strap hole
26 Back cover

- Key illustrations are examples and may look different from actual keys.

Viewing Display/Icon

Status icons appear in the right side of the status bar (status area) and notification icons in the left side of the status bar (notification area).

Status bar



Main status icons

Icon	Details
	Alarm is set
	Snooze is set
	Battery level ● While charging, the battery icon appears with [ ] superimposed.
	Signal strength Strong ⟷ Weak
	Outside the service area or in a place with no signal
	International roaming
	3G is available
	Sending or receiving 3G data
	UIM is not inserted
	Offline mode is set
あ A AB 区	Character entry mode
	Standard manner mode is set
	Silent manner mode is set
	Driving mode is set
	Mute
	Talking through a speaker without using an external device
	Wi-Fi signal strength
	Stand-by for Bluetooth
	Bluetooth connecting
	Data communicating with another device via infrared communication
	External memory transfer mode with USB connection
	Fast transfer mode with USB connection
MTP	MTP mode with USB connection
	GPS positioning
	GPS positioning is completed
	Synchronizing data
	VeilView is set
	microSD Card is inserted
	Restrict calls is set
	There is no message when Answering Memo is set
	There are one to nine messages when Answering Memo is set
	There are ten messages when Answering Memo is set
	Two or more applications are running
DMS	DLNA

Main notification icons

Icon	Details
	Missed call
	Answering memo
	Voice call message
	New SMS
	New PC-mail
	New Gmail
	1Seg information
	Downloading/Downloaded data
	Installed application
	Update for installed application
	System error
	Playing music/Fast reversing/Fast forwarding in the background
	microSD Card is unmounted
	Wi-Fi connection status
	Wi-Fi authenticating
	Wi-Fi authentication error
	Wi-Fi authentication is completed (Logoff available)
	Registration request/Connection request from Bluetooth device
	Available to use as a microSD reader/writer
	Notification for major update
	Software update is available
	Software update is completed

Basic Operations

Turning power on/off

■ Turning power on

1 (for at least 4 seconds)

■ Turning power off

1 (for at least 1 second) ▶ [Power off] ▶ [OK]

Changing screen display to English

1 In the main menu, [設定] (Settings) ▶ [地域/言語 & 文字入力] (Locale & text) ▶ [地域/言語を選択] (Select locale) ▶ [English]

Setting up Google account

When activating the application that requires a Google account without setting the account, the setup screen appears. Set up a Google account according to instructions on the screen.

※ You can use this FOMA terminal without setting a Google account, but Google services such as Google Talk, Gmail, Android Market, etc. will not be available.

Checking the FOMA terminal status

You can check the battery level, phone number, network in use, etc.

1 In the main menu, [Settings] ▶ [System] ▶ [Device information] ▶ [Device status]

Character entry

※ Operate in the character entry screen.

■ Switching entry modes

1 **Switch the entry mode**

- To switch to the single-byte alphabet entry mode/hiragana and kanji entry mode: 文字
- To switch to the double-byte alphabet entry mode/hiragana and kanji entry mode: Alt+文字

■ Entering upper case

1 **Keep pressing Shift and enter a character**

■ Deleting one character

1 **Move the cursor to the right side of a character to delete ▶ Del**

- To delete selected characters: Select the range to delete with Shift+▼/▲/◄/► ▶ Del

■ Entering pictograms/emoticons/symbols

1 絵・顔・記

- Each time you press 絵・顔・記, the setting is switched from pictogram → Deco-mail pictogram → emoticon → single- and double-byte symbol.

2 **Select a pictogram/emoticon/symbol with ▼/▲/◄/► ▶ Enter**

■ Character entry example

Ex.) When entering "メール"

1 **Switch to hiragana and kanji entry mode with 文字**

2 M E − R U

3 **(space)**

4 **Select "メール" with ▼/▲/◄/► ▶ Enter**

Setting action for receiving

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Sound/vibration/lamp]**

2 **Select an item**

3 **[Volume] ▶ keep touching the volume bar and slide it to the left/right ▶ [OK]**

4 **[Melody] ▶ select a ring tone**

5 **[Vibrator] ▶ select a vibrator ▶ [OK]**

6 **[Rcv pic] ▶ select an image**

7 **[Lamp] ▶ select the lamp pattern ▶ [OK] ▶ select the lamp color ▶ [OK]**

8 **[Ring duration] ▶ select the setting**

Lock/Security

Changing lock no.

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Security & location information] ▶ [Change unlock pattern] ▶ [Lock No.] ▶ enter the lock no. ▶ [OK]**

2 **Enter the new lock no. ▶ [OK] ▶ enter the new lock no. again ▶ [Confirm] ▶ [Confirm]**

Changing PIN code

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Security & location information] ▶ [SIM card lock] ▶ [Change SIM PIN]**

2 **Enter the current PIN code ▶ [OK]**

3 **Enter the new PIN code ▶ [OK] ▶ enter the new PIN code again ▶ [OK]**

Various lock functions

■ Close lock

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Security & location information] ▶ [Close lock] ▶ enter the lock no. ▶ [OK]**

■ Restrict address book

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Security & location information] ▶ [Restrict function] ▶ [Restrict address book] ▶ enter the lock no. ▶ [OK]**

■ Restrict calls

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Security & location information] ▶ [Restrict function] ▶ [Restrict calls] ▶ enter the lock no. ▶ [OK]**

■ Offline mode

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Transmission] ▶ [Offline mode]**

Incoming call restriction

■ Rejecting a call with no caller ID

1 In the main menu, [Settings] ▶ [Call Settings] ▶ [Call blocking] ▶ enter the lock no. ▶ [OK]
2 Select a reason
3 Select the setting

■ Rejecting a call from a caller unset in phonebook

1 In the main menu, [Settings] ▶ [Call Settings] ▶ [Call blocking] ▶ enter the lock no. ▶ [OK] ▶ [Not registered in address book]
2 Select the setting

Calls

Making a call

1 In the main menu, [Dialer]
2 Enter a phone number
3 [Call]
4 [Disconnect] to end the call

Receiving a call

1 When a call is received, the ring tone sounds and the incoming lamp flashes
2 [Answer]
3 [Disconnect] to end the call

Making a call with call history

1 In the main menu, [Dialer] ▶ [Redial]/[Incoming History]
2 Select a phone number
3 [Call]

Overseas use

■ Making a call outside your country of stay (including Japan)

1 In the main menu, [Dialer] ▶ [Add +] ▶ enter country code, area code (city code) and the other party's phone number ▶ [Call]
   - When the area code (city code) begins with "0", omit the "0" when dialing (Include "0" when making a call to some countries or regions such as Italy).

■ Making a call in your country of stay

1 In the main menu, [Dialer] ▶ enter a phone number ▶ [Call]

■ Making a call to a WORLD WING subscriber overseas

When you make a call to a "WORLD WING" subscriber overseas, the call is made as an international call to Japan regardless of your country of stay.

1 In the main menu, [Dialer] ▶ [Add +] ▶ enter country code "81" (Japan), the other party's mobile phone number excluding the first "0" ▶ [Call]

Mail

Setting up PC-mail account

1 In the main menu, [Mail] ▶ [Settings] ▶ [PC-mail settings] ▶ [Account settings]
2 Select a register destination
3 [Displayed name settings] ▶ enter the displayed name ▶ [OK]
4 [Receive settings] ▶ enter/select an item ▶ [Return]
5 [Send settings] ▶ enter/select an item ▶ [Return] ▶ [Done] ▶ [OK]

Composing and sending PC-mail

1 In the main menu, [Mail] ▶ [Create PC-mail]
2 Select the [👤] field ▶ [Direct entry]*1 ▶ enter a destination ▶ [OK] ▶ point the cursor to the [☰] field ▶ enter a subject ▶ point the cursor to the message entry field ▶ enter messages ▶ [Send]*2

*1 To select a recipient from a phonebook, select [Use phonebook].
*2 To attach a file, select [Attachment] ▶ select a file to attach.

Checking new mail

1 In the main menu, [Mail] ▶ [Check new mail]

Replying to mail

1 In the received mail details screen, [Reply]
2 Compose and send a mail

Forwarding mail

1 In the received mail details screen, [Forward]
2 Enter a destination and send a mail

Displaying mail in Inbox/Outbox/Unsent box

1 In the main menu, [Mail] ▶ select a box
2 Select a mail

Phonebook

Adding entries to phonebook

1 In the main menu, [Address Book] ▶ [Add]
2 Select the name entry field ▶ enter a name ▶ select the reading entry field ▶ enter a reading ▶ select the [Phone number] field ▶ enter a phone number ▶ select a phone number type icon ▶ select a phone number type ▶ select the [Mail address] field ▶ enter a mail address ▶ select a mail address type icon ▶ select a mail address type ▶ [Save] ▶ [Yes]

※ Other items can be saved as well.

Camera

Shooting still pictures

1 In the main menu, [Camera] ▶ [Shutter]

Shooting moving pictures

1 In the main menu, [Video Camera] ▶ [Record] ▶ [Stop] ▶ [Save]

Displaying still pictures/moving pictures

1 In the main menu, [Contents Manager] ▶ select a still picture/moving picture

Watching 1Seg

Setting channel

1 In the main menu, [One-Seg] ▶ [Yes]
2 Select a region ▶ select a prefecture ▶ select a locality ▶ [OK]

Watching 1Seg

1 In the main menu, [One-Seg] ▶ [DigitalTV]

- To record a video of 1Seg programs: While watching 1Seg, [●]

Playing Videos of 1Seg Programs

1 In the main menu, [One-Seg] ▶ [TVPlayer]
2 Select a video

Playing Music/Movie

1 In the main menu, [Media Player]
2 Select the data

Network Services

Using Voice Mail Service

Voice Mail Service is a paid option (monthly fees apply) that requires subscription.

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Call Settings] ▶ [NWService] ▶ [Voice Mail]**

2 **[Activate Voice Mail] ▶ [Yes] ▶ [OK]**

Using Call Waiting Service

Call Waiting Service is a paid option (monthly fees apply) that requires subscription.

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Call Settings] ▶ [NWService] ▶ [Call Waiting]**

2 **[Activate Call Waiting] ▶ [Yes] ▶ [OK]**

Using Call Forwarding Service

Call Forwarding Service is a free option (no monthly fees) that requires subscription.

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Call Settings] ▶ [NWService] ▶ [Call Forwarding]**

2 **[Activate Call Forwarding] ▶ [Activate Call Forwarding] ▶ [Yes] ▶ [OK]**

Bluetooth Function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Enabling Bluetooth function

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Transmission] ▶ [Bluetooth]**

Registering Bluetooth device

- Set the other party's Bluetooth device to the registration stand-by status in advance.

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Transmission] ▶ [Bluetooth setting] ▶ [Register New Device] ▶ [OK]**

2 **Select the Bluetooth device to register**

3 **Enter the Bluetooth passkey ▶ [OK]**

Connecting to Bluetooth devices

1 **In the main menu, [Settings] ▶ [Transmission] ▶ [Bluetooth setting] ▶ [List of Registered Devices]**

2 **Select the Bluetooth device to connect to**

General Notes

Introduction of options and related devices

- Battery Pack SH24
- FOMA AC Adapter 01/02
- FOMA AC Adapter 01 for Global use

Main specifications

Size		83 (H) × 148 (W) × 17.8 (D) mm (when folded)*
Weight		230 g (with battery pack attached)*
Continuous talk time	FOMA/3G	270 min*
Continuous stand-by time	FOMA/3G	When mobile: 360 hr*
		At rest: 410 hr*
Charge time	FOMA AC Adapter 01/02	200 min*
	FOMA DC Adapter 01/02	200 min*

* Approximate value

Declaration of Conformity

CE0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-10B is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/ (in Japanese only)

Inquiries

General inquiries on SH-10B <docomo Smartphone Care>

(Business hours: 9:30 a.m. to 9:00 p.m.)

0120-045-360 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

docomo Smartphone website: http://smartphone.nttdocomo.co.jp/english

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website.
  NTT DOCOMO website: http://www.nttdocomo.co.jp/english/

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-10B, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter "+", touch [Add +]).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8000120-0151*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6718-1414* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-10B, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", touch [Add +]).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8005931-8600*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

- If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.
- If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

索引

索引

索引

本索引は、機能名や記載内容を要約した用語を「50音」、「英数字」の順に収録しています。
- メニュー操作については、P.311「画面別メニュー一覧」をご利用ください。

あ

か

さ

た

ま

や

ら

わ

英数字

画面別メニュー一覧

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申し込み、各種資料請求をオンライン上で承っております。

My docomo(http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モード(電源OFF)に設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード(☞P.53)
操作音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します。
● 公共モード(電源OFF)(☞P.50)
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、通話を終了します。
● バイブレータ(☞P.212)
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。
● 伝言メモ(☞P.51)
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※ その他にも、留守番電話サービス(☞P.240)、転送でんわサービス(☞P.242)などのオプションサービスが利用できます。

SH-10Bに関するお問い合わせ先＜ドコモ・スマートフォン・ケア＞

0120-045-360
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9:30～午後9:00
ドコモスマートフォンサイト　http://smartphone.nttdocomo.co.jp/

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※ 一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて ＜ドコモ インフォメーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-10Bからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。
（「＋」は［＋付加］をタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について ＜ネットワークオペレーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-10Bからご利用の場合は、＋81-3-6718-1414でつながります。
（「＋」は［＋付加］をタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　シャープ株式会社



環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。



大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています

'10.7（1.2版）
TINSJA686AFZZ
10F 42.9 DS TU316①

区点コード一覧

’10.6（1版）

4 桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  区点コードでの入力のしかたについては、取扱説明書の「区点コードで入力する」を参照してください。
- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、何も入力されないか、またはスペースが入力されます。
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
— こ —										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
— さ —										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
— し —										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
— す —										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
— せ —										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
— そ —										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
— た —										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
— ち —										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
— つ —										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
— て —										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
— と —										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
— な —										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
— に —										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
— ぬ〜の —										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
— は —										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
— ひ —										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
— ふ —										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
— へ —										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
						ほ				
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
						ま				
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
						み				
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
						む				
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
						め				
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
						も				
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
						や				
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る～れ				
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			